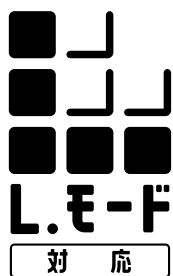


取扱説明書

NTT FAX

JC-761LC



暗号化通信

コンテンツ印刷

写真Eメール

ND ナンバー・ディスプレイ 対応
ネームディスプレイ / キャッチホンディスプレイ



このたびはNTT FAX JC-761LCをお買い求めいただきまして、
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、
内容を理解してからお使いください。
- お使いになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

NTT西日本用



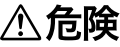





⚠️ 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

注意

本製品は、外国為替及び外国貿易法が定める規制対象貨物に該当いたします。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取り下さい。

注意

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（P.9）にしたがって消去願います。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品は、お買い求めのときには国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 当社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示にしたがってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

危険

- 電池パックの充電は、本商品指定の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス（赤）・マイナス（黒）の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。間違った接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ プラス（赤）とマイナス（黒）を針金などの金属類で接触しない。
 - ・ 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。

⚠ 危険

- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 電池パックは2年程度で交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。
- めれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、本商品の電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。
- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品の電源プラグや電源アダプタを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグや電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- めれた手で本商品の操作や電源プラグ、電源アダプタの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。

警告

- ぬれた手で本商品进行操作しないでください。故障や感電の原因となることがあります。
- 電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグや電源アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 本商品は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重い物を乗せたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
- 充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源アダプタをコンセントに差し込んでおくと振動でゆるみ、すきまができる場合があります。そのすきまにピンなどが入り込むと接触して、火災・感電の原因となることがあります。コンセントと電源アダプタの間にすきまができていないか、定期的に点検してください。

注意

お使いになる前に

- 本商品を直射日光の当たるところや、暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 本商品を調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 充電器を壁に取り付けるときは、充電器の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。落下してけが・破損の原因となることがあります。

⚠ 注意

お使いのとき

- 近くに雷が発生したときは、電源プラグ、電源アダプタ、電話機コードを電源コンセント、電話線コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コード、電源アダプタコード、電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。また、電池パックを使用しているときは、電池パックを取り出してください。
- インクタンクの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に引っ掛けたり、開閉部で手を挟むとけがの原因となることがあります。ご注意ください。
- 記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないようにご注意ください。
- 詰まった原稿や記録紙を取り除くときは、原稿や記録紙の端で手を切ったりしないように注意してください。
- 紙づまりの処理などで本商品内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が本商品内部に触れないようにしてください。やけど・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグや電源アダプタ、電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグや電源アダプタ、電話機コードが電源コンセント、電話線コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 給紙ローラーや記録紙ローラーのお手入れには、中性洗剤を使用しないでください。ローラー類を傷める原因となることがあります。
- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、直射日光の強いところや高温多湿の場所での使用、保管は避けてください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となる場合があります。
- 電池パックの充電温度範囲は5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。電池パックの液がもれたり、発熱・破裂させる原因となることがあります。

STOP お願い

置き場所について

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 温度が急激に変化する場所には置かないでください。冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、故障の原因となることがあります。
- 本商品が正常に動作しなかったり、故障の原因となることがありますので、以下のようなところには置かないでください。
 - ・ 製氷倉庫など特に温度が下がる場所
 - ・ 塵、ほこり、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - ・ クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
 - ・ 換気の悪い場所
 - ・ 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ 温度が急激に変化する場所

置き場所について

- 本商品の設置場所などによっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響によると思われる場合は、本商品の電源プラグや電源アダプタを抜いてください。電源プラグや電源アダプタを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下のような方法を試みてください。
 - ・ 本商品をテレビなどから遠ざける。
 - ・ 本商品またはテレビなどの向きを変える。

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大ききときは、本商品の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎる場合は、子機が使用できないことがあります。

- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

- 本商品の金属製家具などの近くへの設置は避けてください。親機と子機間の電波が飛びにくくなります。

- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
 - ・ 親機と子機間で内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

- 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。
 - ・ 親機と子機間、子機どうし間は約 1 m 以上離してご使用ください。
 - ・ 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉あって正常に動作しないことがあります。
 - ・ 隣接する電話回線 2 本以上に、それぞれコードレスホンを 1 セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。

- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。
 - ・ 親機と子機間で内線通話をして、雑音の入らない場所かどうかを確かめてから親機を設置してください。

- 子機を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなる場合があります。

- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファーなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

- 本商品の底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

取り扱いについて

- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、やわらかい布でから拭きしてください。

- 本商品の上に重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。本商品の破損・故障の原因となることがあります。

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

取り扱いについて

- ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の用件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 通信やコピーなどの動作中に電源プラグを抜いたり、本商品の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 記録紙は当社指定品をご使用ください。指定品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。
- 紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずにすべて取り除いてください。
- 本商品から微弱の磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方で、異常を感じた場合は、本商品から離れ、その後、医師にご相談ください。
- 充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。子機が充電できません。子機は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電器に置いてください。
- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。
- 子機は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。
 - ・ ぬらさないでください。
 - ・ 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
 - ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
 - ・ 受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - ・ 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
 - ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。
- 本商品は、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。子機を使つての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
- インクタンクは当社指定品をご使用ください。指定品以外のインクタンクをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

原稿などを読み込むときに注意してほしいこと

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき、違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- ・紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- ・郵便為替証書
- ・株券、社債券
- ・定期券、回数券、乗車券
- ・国債証券、地方債証券
- ・郵便切手、印紙
- ・手形、小切手
- ・その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- ・公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- ・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- ・役所または公務員の印影、署名または記号
- ・私人の印影または署名

[関係法律]	<ul style="list-style-type: none"> ・刑法 ・著作権法 ・通貨及証券模造取締法 ・外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律 	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便法 ・郵便切手類模造等取締法 ・印紙犯罪処罰法 ・印紙等模造取締法
--------	---	---

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を下表にしたがって消去または変更願います。

記録内容		処置 (取扱説明書参照ページ)	記録内容	処置 (取扱説明書参照ページ)
あなたの名前と電話番号		P.47 を元に【消去／キャッチ】で消去してください。	リモート暗証番号	P.76 を元に内容を変更してください。
電話帳 (メールアドレスを含む)	親機	P.50 をご覧ください。	Lモードのパスワード情報*2	電源を切ると消去されます。
再ダイヤル	親機	電源を切ると消去されます。	受信したメール*2	P.144 をご覧ください。
着信履歴*1	親機	P.101 をご覧ください。	送信済メール*2	P.131 をご覧ください。
ワンタッチ番号		P.48 をご覧ください。	未送信メール*2	P.134 をご覧ください。
受信したファクス		P.87 をご覧ください。	画面メモ*2	P.119 をご覧ください。
着信拒否番号*1		P.100 をご覧ください。	待機画像*2	P.156 を元に別の画像に変更してください。
用件録音 (通話録音を含む)		P.161 をご覧ください。	ブックマーク*2	P.118 をご覧ください。
自作応答メッセージ		P.73 をご覧ください。	子機のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻す	P.165 をご覧ください。
転送先電話番号		P.76 をご覧ください。		

* 1：ナンバー・ディスプレイをご利用の方の情報です。

* 2：Lモードをご利用の方の情報です。

マニュアルの使いかた

各マニュアルは、次の順序でお読みください。

『工事説明書』

設置・接続から、電話やLモード操作の準備完了までの手順を紹介しています。



『取扱説明書』 (本書)








写真の印刷以外のすべての機能を、詳しく解説しています。使いかたの詳細を知りたいときや、便利な機能をもっと使いこなしたいときにご活用ください。

『ダイレクトプリントガイド』

メモリーカードやデジタルカメラ、携帯電話に保存されている写真を印刷する機能について、詳しく解説しています。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書および商品には、本商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。本商品をお使いになる前に必ずお読みになり、内容をよく理解してから、本商品をお使いになってください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。
	この表示は、タッチパネルで操作できることを示しています。

< 操作手順中の記載について >

文章中の表記は、下記のような意味および操作を表しています。

- **[]**、**▲**、**▼**などは操作パネルのボタン名およびイラストのボタンです。詳しくは、「親機 操作パネル部」(P.16)、「子機 操作パネル部」(P.18)または「本文中の操作パネル部ボタン名」(P.207)をご覧ください。

例：【メニュー】【L/セット】など

● 本文中に記載の社名や商品名は、該当各社の商標または登録商標です。

目次

安全にお使いいただくために 2

マニュアルの使いかた 10

準備 14

商品の構成 14

各部のなまえとはたらき 15

親機 正面 15

親機 背面 15

親機 操作パネル部 16

ディスプレイ 17

子機 操作パネル部 18

子機 背面 19

子機 充電器 19

ナビを使う 20

ナビの使いかた 20

メニュー項目一覧 21

親機メニュー 21

親機メニューの使いかた 21

子機メニュー 22

子機メニューの使いかた 22

親機を準備する 23

回線と電源に接続する 23

ナビにしたがって初期設定をする 25

プリントヘッドを取り付ける 26

インクタンクを取り付ける 28

ファクスやコピーに使用する

記録紙を準備する 30

記録紙について (ファクス・コピー) 30

記録紙をセットする 31

原稿について 32

子機を準備する 34

子機を充電する 34

バッテリーマークについて 35

子機を設置する 35

子機の電池パックについて 35

子機の電池パックを交換する 36

日付と時刻を合わせる 37

親機を合わせる 37

子機を合わせる 37

音量を調節する 38

親機の音量を調節する 38

子機の音量を調節する 39

着信音を設定する 40

親機の着信音を設定する 40

子機の着信音を設定する 41

文字入力について 42

親機で入力する 42

付属子機 (漢字) で入力する 45

あなたの名前と電話番号を登録する 47

ワンタッチダイヤルに登録する 48

電話帳に登録する 49

親機に登録する 49

子機に登録する 51

電話 52

電話をかける 52

電話番号をダイヤルして

電話をかける 52

ワンタッチダイヤルで

電話をかける 54

電話帳ダイヤルで電話をかける 54

電話をかけ直す (再ダイヤル) 54

親機にかける・子機にかける

(内線通話) 55

電話を受ける 57

かかってきた電話を受ける 57

子機で受ける 57

キャッチホンを受ける 57

話している相手をお待たせする (保留) 57

親機や子機に転送する (保留転送) 57

便利な子機の設定 60

子機を持たずに話をする

(スピーカホン) 60

優先呼出を設定する 61

クイック通話を設定する 61

固定電話から携帯電話への

サービスを利用する 62

固定電話から携帯電話への

通話サービスとは 62

携帯通話設定を利用する 62

携帯番号帯設定を行う 66

留守番電話 67

留守モードを使う 67

留守モードをセットする 67

留守モードを解除する 68

用件を再生する 69

子機から操作する

(内線リモート操作) 70

留守モードをセット/解除する 70

用件を再生する 70

おやすみモードを使う 71

おやすみモードをセットする 71

おやすみモードを解除する 71

おやすみタイマーを設定する 72

自作応答メッセージを録音する 73

外出先から操作する

(外線リモート操作) 74

リモート暗証番号を変更する 76

留守録転送を使う 76

留守録転送を設定する 76

転送先で用件を聞く 77

トールセーバーを設定する 78

留守録保存を設定する 79

ファクス..... 80

ファクスを送信する.....	80
モノクロファクスを送信する.....	80
カラーファクスを送信する.....	81
ファクスを受信する.....	83
親機で受信する.....	83
子機で受信する.....	84
受信ファクスをディスプレイで確認する (ディスプレイ FAX).....	85
メモリ内の受信ファクスを確認する.....	86
メモリ内の受信ファクスを印刷する.....	86
メモリ内の受信ファクスを消去する.....	87
便利なファクス設定.....	88
ファクスの受信モードを設定する (電話モード/ファクス優先/ ファクス専用).....	88
ファクス受信同時プリントを設定する...	89
らくらくファクス機能を設定する.....	90

コピー..... 91

コピーをする.....	91
モノクロコピーをする.....	91
カラーコピーをする.....	92

ナンバー・ディスプレイ..... 93

相手の電話番号を表示する (発信電話番号表示機能).....	93
ネーム・ディスプレイを利用する.....	96
キャッチホン・ディスプレイを 利用する.....	97
鳴り分け着信音を設定する.....	98
親機を設定する.....	98
子機を設定する.....	98
非通知や特定の相手からの電話を受けない (着信拒否).....	99
かけてきた相手の電話番号を利用する (着信履歴).....	101
親機の着信履歴を利用する.....	101
子機の着信履歴を利用する.....	103

Lモード..... 104

Lモードとは.....	104
Lモードのしくみ.....	104
Lモードでできること.....	105
パスワードの変更・ メールの設定について.....	107
パスワード設定.....	107
メールアドレス設定.....	107
料金割引サービスについて.....	107
番号指定型料金割引サービス (i・アイプランなど).....	107

Lモードをえるように設定する..... 108

Lモード中の ディスプレイ表示について.....	109
Lモード画面を表示する.....	109
Lモード中に回線を切断する.....	109
Lモード画面を終了する.....	109
サイト(番組)に接続する (メインメニュー).....	109
インターネットホームページを見る (URL入力).....	111
パスワードを入力/変更する.....	112
パスワードを入力する.....	112
パスワードを変更する.....	113
メールアドレスを設定/変更する.....	114
メールアドレスを設定/変更する.....	114
迷惑メールを防止する.....	115
迷惑メールお断り機能を設定する.....	115
マイメニューを使う.....	116
マイメニューに登録する.....	116
マイメニューからサイトを表示する.....	116
ブックマークを使う.....	117
ブックマークに登録する.....	117
ブックマークからサイトを表示する.....	117
ブックマークのタイトル/ URLを編集する.....	117
登録したブックマークを削除する.....	118
画面メモを使う.....	119
画面メモに登録する.....	119
画面メモを表示する.....	119
画面メモを削除する.....	119
画面メモを印刷する.....	119
画面メモの画像を待機画面に登録する.....	119
表示しているページを印刷する.....	121
表示を更新して最新情報を見る (再読込).....	122
画面上の電話番号/アドレス/URL/ ファクス番号を利用する.....	123
電話をかける(PHONE TO機能).....	123
メールを送信する(MAIL TO機能).....	123
サイトやインターネットホームページに 接続する(WEB TO機能).....	123
ファクスを受信する(FAX TO機能).....	123
コンテンツ印刷をする.....	125
暗号化(SSL)サイトを見る.....	126
サイトからメロディを ダウンロードする.....	128
メールを送信する.....	129
送信済メール一覧を使う.....	131
送信済メールを確認/削除/印刷する.....	131
送信済メールからメールアドレスを 電話帳に登録する.....	132
送信済メールを編集して再送信する.....	133
未送信メール一覧を使う.....	134
未送信メールを確認/削除/印刷する.....	134
未送信メールからメールアドレスを 電話帳に登録する.....	135
保存していた未送信メールを送信する.....	135
未送信メールを編集して送信する.....	136
写真Lメールを送信する.....	137

メールを受信する	139
メールを受信する／読む.....	139
メール受信動作を設定する.....	141
メールを手動受信して読む.....	142
親機のメール通知音を設定する.....	143
Lメールで画像を受信する (写真Lメール).....	143
受信メール一覧を使う	144
受信メールを確認／削除／印刷する.....	144
受信メールに返事を出す(返信).....	145
受信メールを他の宛先に送信する (転送).....	146
差出人のメールアドレスを電話帳に 登録する.....	147
受信メールを保護／保護解除する.....	147
Lモードの設定を変更する	148
画像表示の設定をする.....	148
端末機器の自動設定をする.....	149
センタ番号を確認する.....	149
無通信監視時間を設定する.....	150
メール一覧の表示を設定する.....	150
暗号化サイト用の証明書を設定する.....	151
Lモード通信速度を変更する.....	151

その他のサービス..... **152**

ファクシミリ通信網 (F ネット)を使う	152
ファクシミリ通信網でできること.....	152
iFAXを使う	153
Eメールにファクスを送信する.....	153

ドアホン..... **154**

ドアホンを接続する	154
ドアホンの呼び出しに応答する	154
親機で応答する.....	154
子機で応答する.....	154

設定..... **156**

親機のディスプレイを設定する	156
待機画面を選択する.....	156
ディスプレイの コントラストを調節する.....	157
キータッチ音量を設定する	158
電話がかかってきたときの 音声読上げを設定する	159
親機の便利な機能を設定する	159
親機のボタン操作を無効にする (キーロック)	160
キーロックをセットする.....	160
キーロックを解除する.....	160
メモリに保存されている内容を 一括消去する(全消去)	161
子機の便利な機能を設定する	162
子機のモーニングコールを利用する	163
モーニングコールを設定する.....	163
モーニングコールの設定／ 解除を切り替える.....	163
鳴っているアラームを止める.....	163

子機のキッチンタイマを使う	164
キッチンタイマを設定する.....	164
鳴っているアラームを止める.....	164
子機に使う人の名前を表示する	165
使用者名を登録する.....	165
登録した使用者名を消去する.....	165
子機をお買い上げ時の状態に戻す	165
さまざまなリストを印刷する	166
リストを印刷する.....	166
通信結果リストの見かた.....	167
電話帳リストの見かた.....	167
機能設定リストの見かた.....	167

こんなときは..... **168**

正常に動作しないときは	168
電話が正常に動作しない.....	168
記録紙がうまく送られない／ 記録紙がつまった.....	169
白紙が出る.....	169
デジタルカメラから うまく印刷できない.....	169
赤外線通信でうまく印刷できない.....	169
記録紙や原稿が汚れるときは	170
インクふき取りクリーニングをする.....	170
プリンタ内部の突起を クリーニングする.....	171
印刷にかすれやむらがあるときは	172
ノズルチェックパターンを印刷する.....	172
ノズルチェックパターンを確認する.....	172
プリントヘッドをクリーニングする.....	173
プリントヘッドをリフレッシュする.....	173
プリントヘッド位置を調整する.....	174
インクタンクを交換する.....	174
交換の操作.....	174
原稿または記録紙がつまったときは	177
停電になったときは	178
故障かな?と思ったら	179
親機のトラブル.....	179
子機のトラブル.....	185
各部のお手入れ	187
親機外部と子機.....	187
充電端子.....	187
親機ディスプレイ.....	187
親機内部.....	188

参考..... **189**

主な仕様	189
消耗品／別売品について	190
各機能に使用可能な記録紙サイズ	192
区点コード表—JIS 漢字第一水準漢字 ..	193
区点コード表—JIS 漢字第二水準漢字 ..	196
保守サービスのご案内	199

索引..... **200**

索引	200
外出先からのリモート操作早見表	205

準備

商品の構成

お買い上げ後、はじめてお使いになる前に、次のものがそろっているかご確認ください。もしも足りない場合や、違うものが入っている場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。消耗品のご購入に関しては「消耗品／別売品について」(P.190)をご覧ください。

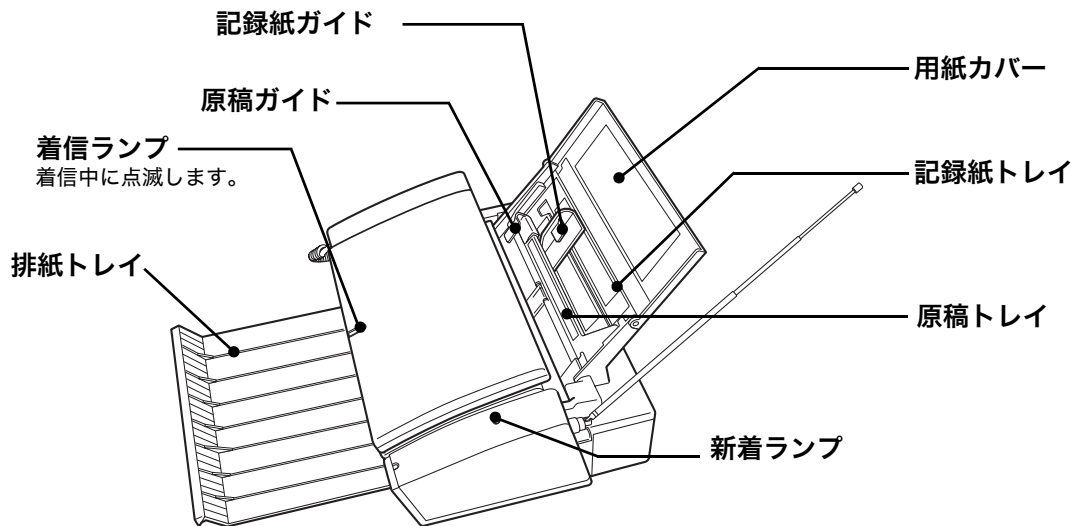
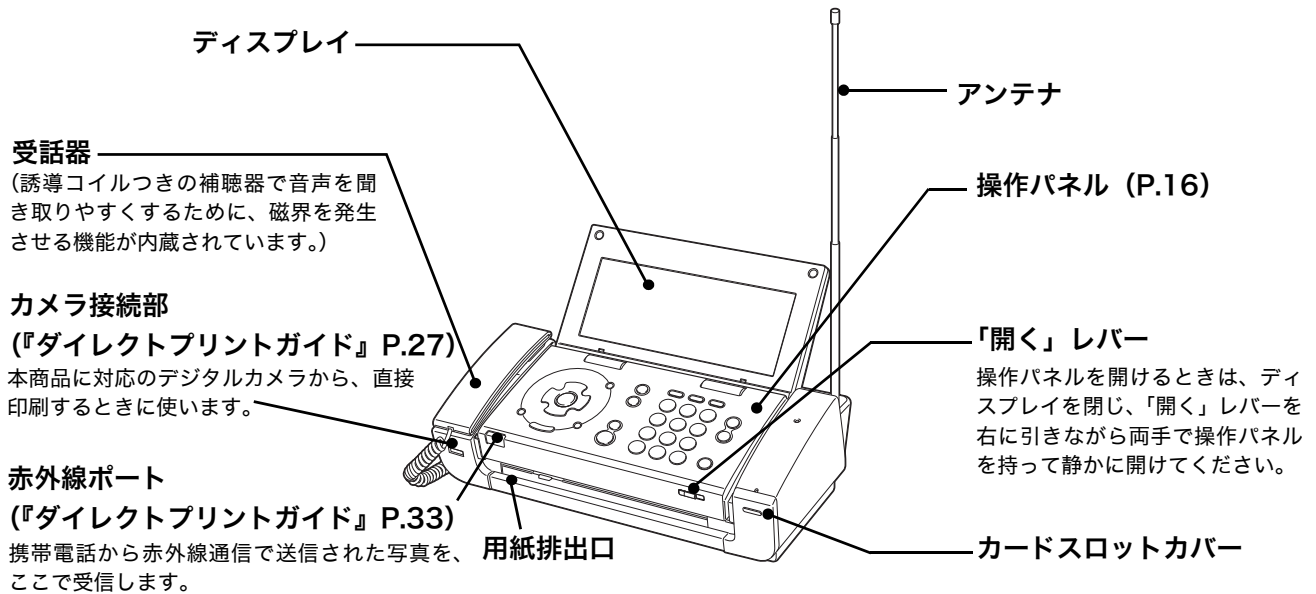
-
- 親機 (1 台)
 - 電話機コード (1 本)
 - 受話器 (1 台)
 - プリントヘッド (1 個)
 - ブラックインクタンク (IJ-155 Black) (1 個)
 - カラーインクタンク (IJ-165 Color) (1 個)
 - コードレス子機 (1 台)
 - コードレス子機用電池カバー (1 個)
 - 子機充電器 (1 台)
 - 電源アダプタ (1 個)
 - 子機用電池パック (1 個)

-
- 工事説明書 (1 冊)
 - 取扱説明書 (本書—1 冊)
 - ダイレクトプリントガイド (1 冊)
 - 保証書 (1 部)
 - 記録紙 (5 枚)
 - 「NTT 通信機器お取扱相談センタ」シール (1 枚)
 - 宛先ラベルシート (1 枚)
-

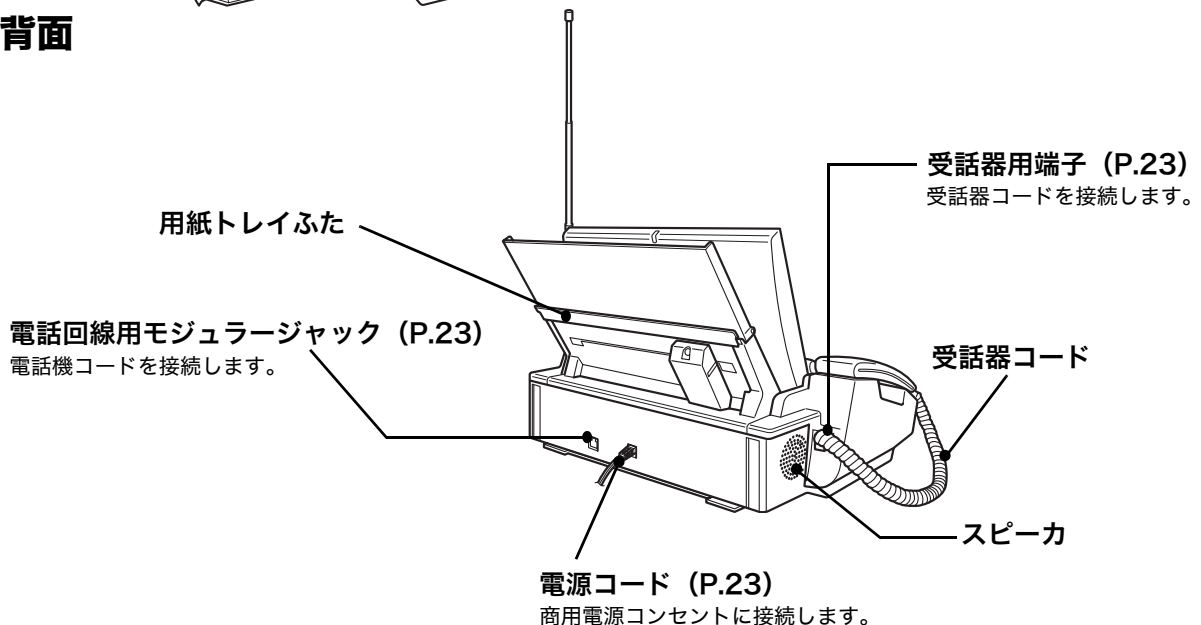
各部のなまえとはたらき

() のページに詳しい説明があります。

親機 正面



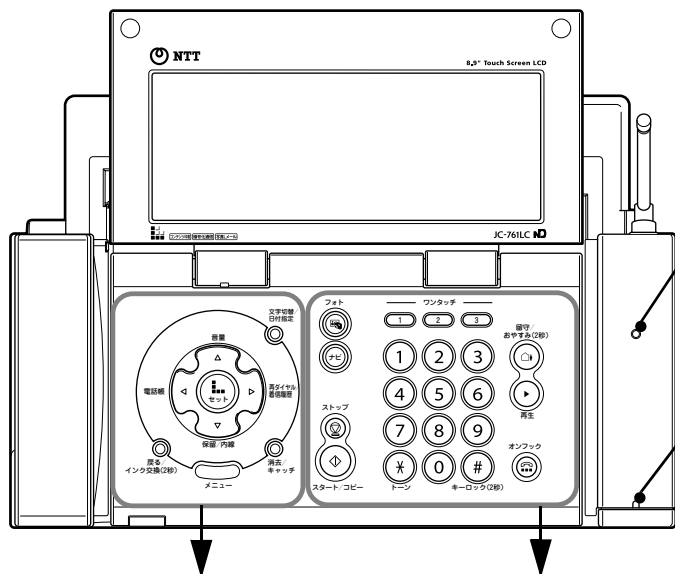
親機 背面



親機 操作パネル部

※ 本文中のボタンの表記は、イラスト下の【 】および▲、▼などで記載しています。
207ページのイラストもご覧ください。

準備










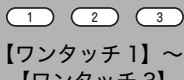









新着ランプ

新着のファクス、メール、留守録があるときに点滅します (P.68、71、139)。

メモリーカードアクセスランプ

メモリーカードにアクセスしているときに点滅します。メモリーカードが挿入されている間は点灯します。(『ダイレクトプリントガイド』参照)

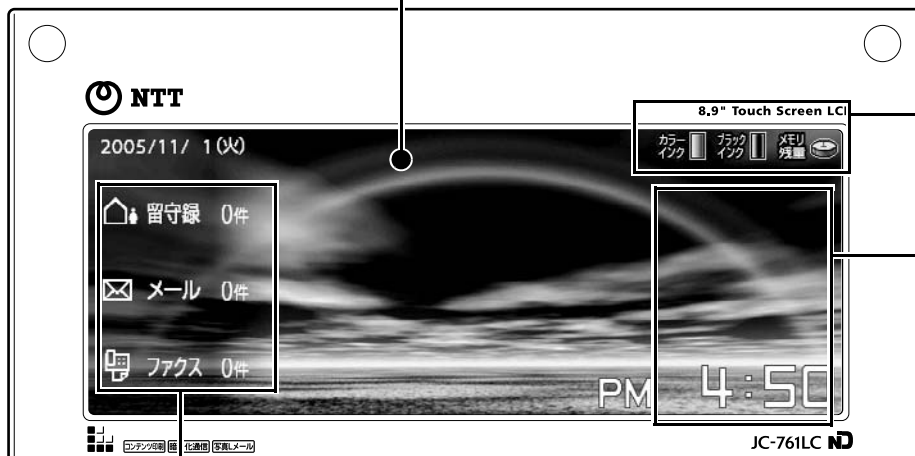
 【L / セット】	<ul style="list-style-type: none"> ・選択した項目を確定するときに使います。 ・Lモードサイト(番組)を見るときや、メールを送受信するときに使います (P.108、129、139)。 	 【フォト】	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリーカードやデジタルカメラ、携帯電話に保存されている写真を印刷する操作をするときに使います (『ダイレクトプリントガイド』参照)。 ・電話番号の間にポーズを入れるときに使います (P.52)。
	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の選択などに使います。 ・▲は、音量を調節するときに使います (P.38)。 ・▼は、通話中に相手に待ってもらうときに使います (P.57)。また、子機を呼び出すときにも使います (P.55)。 ・◀は、電話帳メニューを表示するときに使います (P.54)。 ・▶は、最後にかけた相手にもう一度かけるときに使います (P.54)。また、かかってきた電話の着信日時や相手の電話番号などを表示するときにも使います (P.59)。 	 【ナビ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビにしたがって操作をするときに使います (P.20)。
 【文字切替 / 日付指定】	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の入力モードを切り替えるときに使います。 ・特定の日に撮影した写真を表示させるときに使います (『ダイレクトプリントガイド』参照)。 	 【ストップ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクスの送受信、コピー、再生、設定などを中止したり、操作を途中でやめるときに使います。
 【戻る / インク交換 (2秒)】	<ul style="list-style-type: none"> ・前の画面や文字入力開始前の画面に戻るときなどに使います。 ・インクタンクを交換するときに使います (2秒間長押し) (P.174)。 	 【スタート / コピー】	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した項目を登録するときに使います。 ・コピーを開始するとき (P.91) やファクスを送信するときに使います。 ・ファクス受信一覧を見るときに使います (P.85 ~ 86)。
 【メニュー】	<ul style="list-style-type: none"> ・設定や登録をはじめるときに使います (P.21)。 	 【ワンタッチ1】 ~ 【ワンタッチ3】	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンタッチで電話をかけるときやファクスを送信するときに使います (P.54、P.82)。
 【消去 / キャッチ】	<ul style="list-style-type: none"> ・入力した文字や番号を消去するときに使います (P.66)。 ・キャッチホンを受けるときに使います (P.57)。 ・再生中の留守番電話の用件、電話帳の消去に使います (P.69)。 ・留守番電話の用件、ファクス、受信メールをメモリから一括消去するときに使います (P.161)。 	 ダイヤルボタン / 【0】 ~ 【9】、【*】、【#】	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤルするときや、電話番号、文字を入力するときに使います。 ・[*]は、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに使います (P.53)。 ・[#]は、キーロックをセット / 解除するときにも使います (2秒間長押し) (P.160)。 ・[*] / [#]は、通常のダイヤル発信以外の新しいサービスにも使用する機能ボタンです。
 【留守 / おやすみ (2秒)】		 【留守 / おやすみ (2秒)】	<ul style="list-style-type: none"> ・留守モードをセット / 解除するときに使います (P.67)。 ・おやすみモードをセット / 解除するときに使います (2秒間長押し) (P.71)。
 【再生】		 【再生】	<ul style="list-style-type: none"> ・留守番電話の用件を聞くときに使います (P.69)。
		 【オンフック】	<ul style="list-style-type: none"> ・受話器を置いたまま電話をかけるときに使います (P.52)。

ディスプレイ

ディスプレイの表示について

ディスプレイ

待機時に表示される画面を切り替えることもできます (P.156)。
※待機画面表示について
待機画面は約 5 分間何も操作しないと、OFF になります。【ストップ】を押すと、元の待機画面の表示に戻ります。
※本書内で操作手順説明中の画面は、ディスプレイの中央部分を表しています。



インク/メモリ残量

インク残量とメモリ残量が表示されます。


ガイド表示

操作を行っているときには、ここに操作ガイドが表示されます。

メモリ保存件数


メモリに保存されている用件、メール、ファクスの件数が表示されます。未読のものがあるときにはアイコンのまわりに回転するリングが表示されます。アイコンにタッチすると着信内容が表示されます。

タッチパネルについて

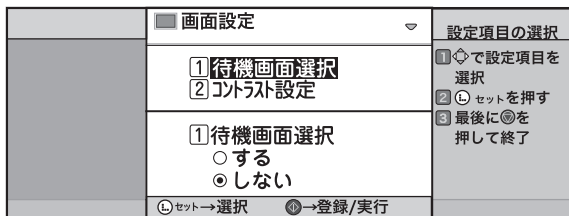
一部の操作画面は、上部に「」が表示されています。この画面は、ディスプレイ上の項目を指で直接タッチすることにより操作できます。項目をタッチする代わりに、 Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright で項目を選択して【L /セット】を押すこともできます。



この表示がある画面は、タッチ操作できます。

↓ 「画面設定」をタッチする 

または Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright で「画面設定」を選択して【L /セット】を押す



ワンポイント

■ ディスプレイが汚れたときは

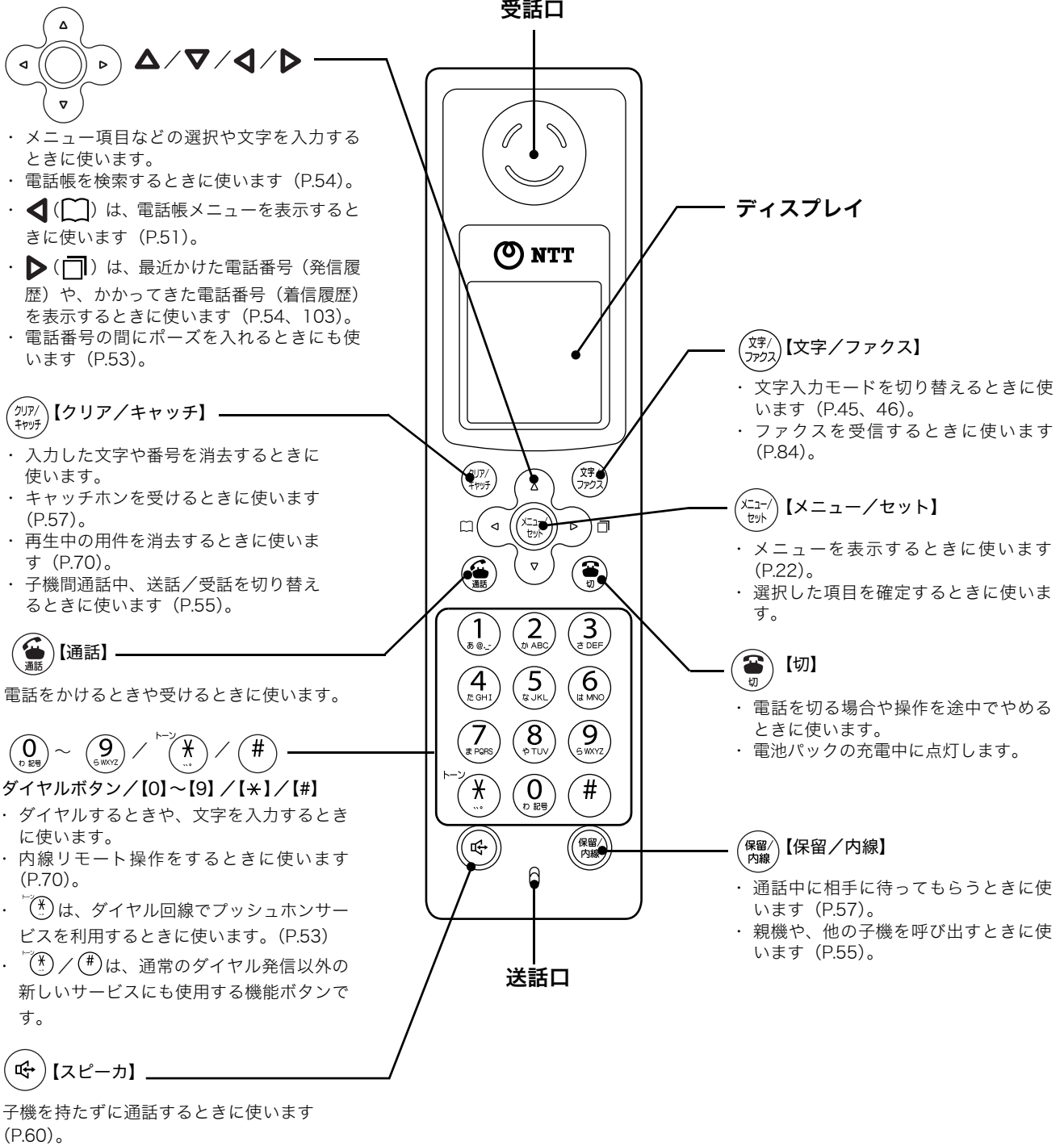
乾いたやわらかい布、または中性洗剤に浸し、よく絞った布で拭いてください。

警告 ディスプレイを拭くときは、酸性またはアルカリ性の洗剤や有機溶剤などを使用しないでください。

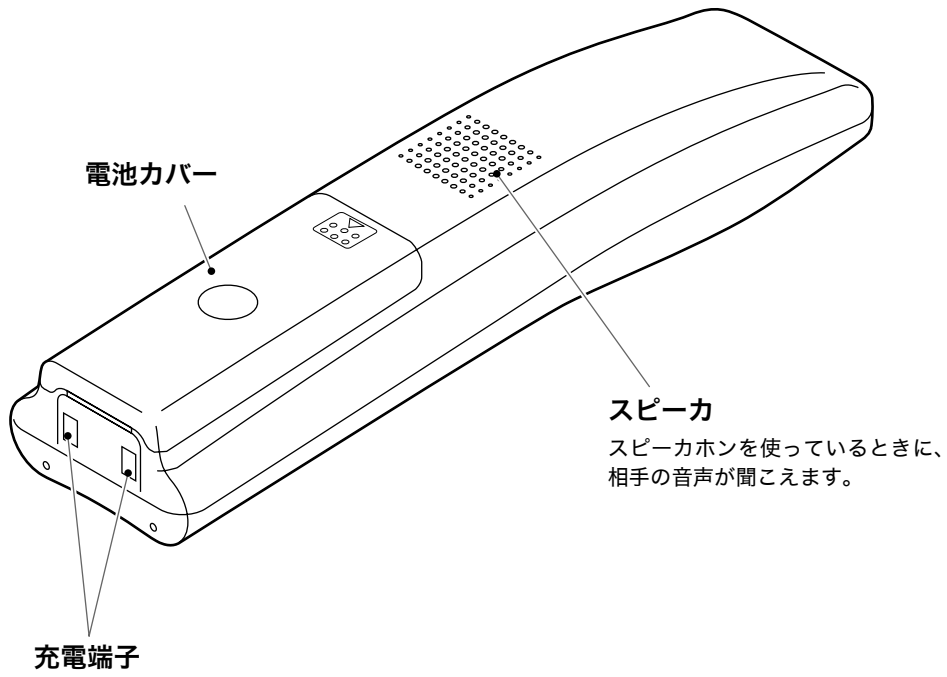
子機 操作パネル部

※ 本文中のボタンの表記は、イラスト横または下の【 】および△/▽などで記載しています。
207ページのイラストもご覧ください。

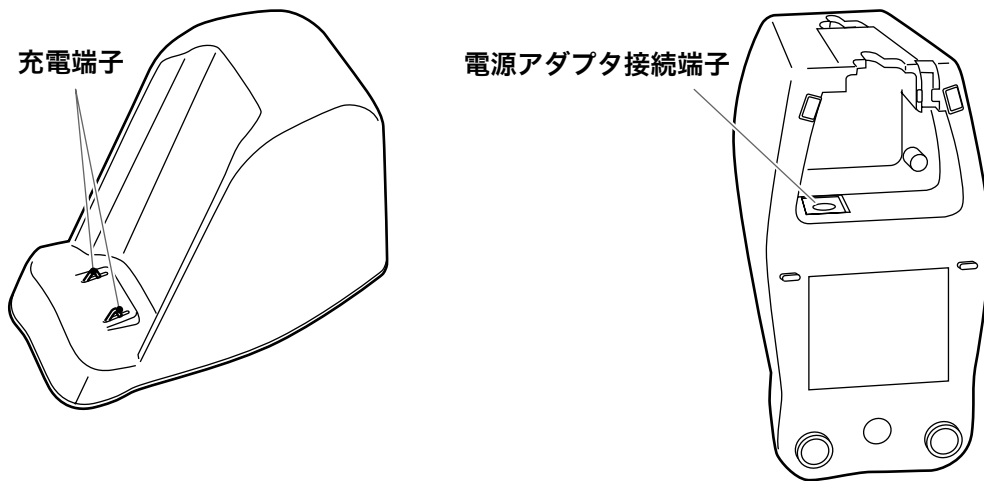
準備



子機 背面



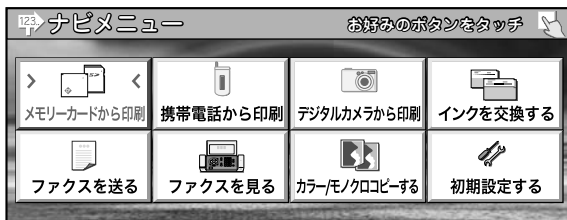
子機 充電器



ナビを使う

待機画面で【ナビ】を押し、表示されたナビメニューから操作を選択すると、わかりやすい画面表示で操作のしかたをガイドします。


◆ナビメニュー



ナビメニュー項目	参照先
メモリーカードから印刷 写真を印刷する手順を、記録紙やメモリーカードをセットするところからガイドします。	『ダイレクトプリントガイド』P.13
携帯電話から印刷 携帯電話に保存されている写真を、赤外線通信を使って印刷する手順をガイドします。	『ダイレクトプリントガイド』P.32
デジタルカメラから印刷 デジタルカメラと親機を接続して、写真を印刷する手順をガイドします。	『ダイレクトプリントガイド』P.27
インクを交換する インク交換のしかたをガイドします。	P.174
ファクスを送る ファクスの送信のしかたを、原稿をセットするところからガイドします。	P.80
ファクスを見る メモリ内の受信ファクスの確認/印刷/消去のしかたをガイドします。	P.85
カラー/モノクロコピーする コピーのしかたを、記録紙や原稿をセットするところからガイドします。	P.91
初期設定する 初期設定（回線種別、ナンバー・ディスプレイ、電話番号入力、名前入力）のしかたからインクタンクの取り付けまでをガイドします。	P.25

ナビの使いかた

ナビメニューから操作を選択し、画面表示にしたがっていきただけで簡単に操作できます。

- 1 【ナビ】を押し
ナビメニューが表示されます。
- 2 操作したい項目をタッチする 
△/▽/◀/▶で項目を選択し、【L/セット】を押して選ぶこともできます。
- 3 ナビにしたがって操作する

メニュー項目一覧


親機メニュー

【メニュー】を押したときに選ぶことができるメニュー項目です。


大項目	項目一覧
画面設定	待機画面選択 (P.156)
	コントラスト設定 (P.157)
留守番電話	応答メッセージ録音 (P.73)
	おやすみタイマー設定 (P.72)
	留守録転送 (P.76)
	リモート暗証番号 (P.76)
	留守録保存 (P.79)
	トールセーバー (P.78)
ライフサポート	ワンタッチ (P.48)
	キータッチ確定時間 (P.159)
	タッチパネル確定時間 (P.159)
	キーロックタイマー (P.159)
	音声読上げ辞書 (P.159)
初期設定	あなたの名前と TEL (P.47)
	日付時刻設定 (P.37)
	回線種別 (P.24)
	ナンバー・ディスプレイ (P.93)
	Lモード通信速度 (P.151)
	回線検出 (P.82)
	携帯通話設定 (P.62)
	各種プリント
	電話帳リスト (P.167)
	機能設定リスト (P.167)
着信設定	らくらく FAX (P.90)
	FAX 受信動作 (P.88)
	FAX 受信同時プリント (P.89)
	メール通知音 (P.143)
	メール受信動作 (P.141)
	優先呼出 (P.61)
	電話帳着信音呼出* (P.98)
	着信拒否設定* (P.99)
音設定	着信音選択 (P.40)
	キータッチ音量 (P.158)
	子機受話音量 (P.39)
	子機送話音量 (P.39)
	着信相手読上げ (P.159)
プリンタ設定	ノズルチェック (P.172)
	ヘッドクリーニング (P.173)
	ヘッドリフレッシュ (P.173)
	ヘッド位置調整 (P.174)
	インクふき取りクリーニング (P.170)

* ナンバー・ディスプレイを「する」に設定している場合に表示されます。

親機メニューの使いかた

- 1 【メニュー】を押す
メニューが表示されます。
- 2 操作したい大項目をタッチする 
△/▽/◀/▶で項目を選択し、【L/セット】を押して選ぶこともできます。
- 3 △/▽で設定したい項目を選択し、【L/セット】を押す

文字を入力するときは

- 4 △/▽でテキストボックスを選択し、【L/セット】を押す
- 5 タッチパネルを使って文字を入力する 
文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。
- 6 文字入力画面が終了し、項目選択画面に戻ったら【スタート/コピー】を押す
設定が登録されます。

ラジオボタン (1 つだけ選択できる丸ボタン) のついた項目を選択するときは

- 4 △/▽で項目を選択し、【L/セット】を押す
選択した項目に黒丸がつきます。
- 5 【スタート/コピー】を押す
項目を選択するだけの場合は、これで設定が完了します。項目によっては、この後の操作手順が異なりますので、それぞれの項目の説明ページをご覧ください。

子機メニュー

【メニュー/セット】を押したときに選ぶことができるメニュー項目です。

大項目	項目一覧
留守電操作	留守セット/留守解除 (P.70)
	用件再生 (P.70)
着信音設定	着信音選択 (P.41)
	着信音量 (P.39)
	鳴り分け (P.98)
モーニングコール	時刻 (P.163)
	設定 (P.163)
キッチンタイマ (P.164)	—
便利設定	キータッチトーン (P.162)
	クイック通話 (P.61)
	液晶コントラスト (P.162)
初期設定	使用者表示 (P.165)
	時刻設定 (P.37)
	初期化 (P.165)

子機メニューの使いかた

- 1 【メニュー/セット】を押す
メニューが表示されます。
- 2 Δ/∇ で設定したい大項目（左記参照）を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で設定したい項目（左記、項目一覧参照）を選択し、【メニュー/セット】を押す
メニュー項目の中にメニューがある場合は、さらにメニューが表示されます。同様の手順で設定したい項目を選択します。

文字を入力するときは

- 4 文字を入力し、【メニュー/セット】を押す
設定が登録されます。文字の入力のしかたは 45 ページをご覧ください。

設定値を選択するときは

- 4 Δ/∇ で設定値を選択し、【メニュー/セット】を押す
設定値を選択するだけの場合は、これで設定が終わります。項目によっては、この後の操作手順が異なりますので、それぞれの項目の説明ページをご覧ください。



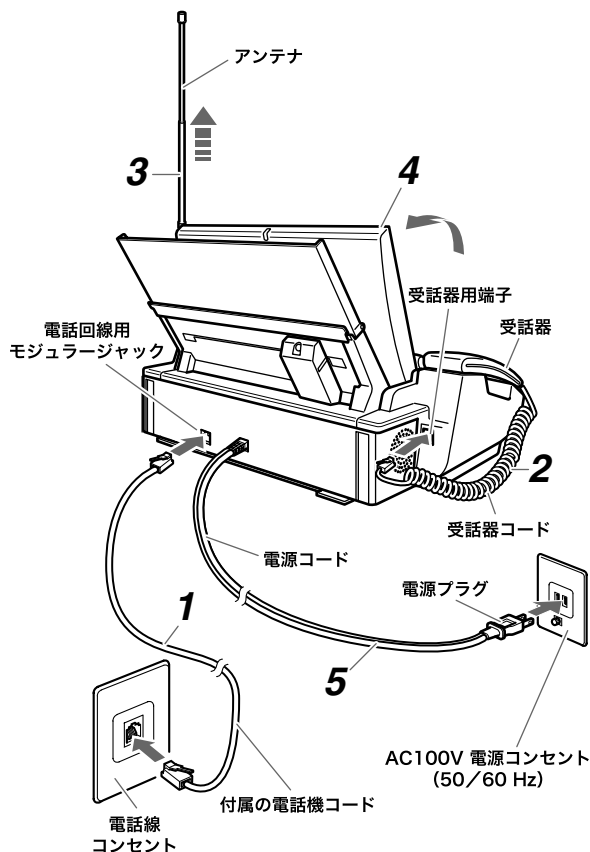
ワンポイント

- 親機で設定や登録を中止するには
【ストップ】を押すか、約 5 分間何も操作しないと、設定や登録が中止され、待機画面に戻ります。
- 子機で設定や登録を中止するには
【切】を押すか、約 2 分間何も操作しないと、設定や登録が中止され、待機状態に戻ります。

親機を準備する

『工事説明書』では、梱包材を取り除く作業から子機の充電までの手順をわかりやすく説明しています。まず最初に『工事説明書』をご覧ください、準備をしてください。

回線と電源に接続する



- 1 電話機コードの一方を親機の電話回線用モジュラージャックに、もう一方を壁の電話線コンセントに差し込む
「カチッ」と音がするまで差し込みます。壁側の電話線コンセントの形状によって、接続のしかたが異なります。
- 2 受話器コードを親機の受話器用端子に接続する
「カチッ」と音がするまで差し込みます。受話器は親機の受話器台にセットしてください。
- 3 アンテナを立てて伸ばす
- 4 ディスプレイを開ける
- 5 電源プラグを電源コンセントに差し込む
Lモードサービス紹介画面が表示されたあと、電話回線（「プッシュホン回線」または「ダイヤル回線」）の自動識別が始まります。「初期設定ナビを開始します」と表示されたら、ナビにしたがって初期設定を行ってください。

⚠ 注意 別売りのドアホンボックス (P.154) を接続しないときは、必ず付属の電話機コード (2 芯) をお使いください。4 芯コードや 6 芯コードを接続すると故障の原因となります。

STOP お願い

- ・今お使いの電話機／ホームテレホン、ビジネスホンなどをブランチ式（並列）接続しないでください。正常に動作しなくなります。
- ・NTTのピンク電話の回線には接続しないでください。



お知らせ

- ・本商品を ISDN ターミナルアダプタ (TA) や構内交換機 (PBX) に接続すると、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。ISDN 回線でナンバー・ディスプレイや L モードを利用するときは、各サービスに対応したターミナルアダプタをお使いください。
- ・回線の種類がわからないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。



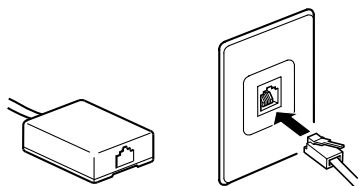
ワンポイント

■ 「回線接続を確認して下さい」と表示されたときは

「ナビにしたがって初期設定する」または「電話回線の種類を手動で設定するには」(P.24)の手順にしたがって設定してください。

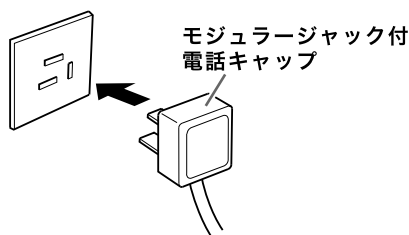
■ 電話線コンセントのタイプについて

- ・ モジュラー式コンセントの場合



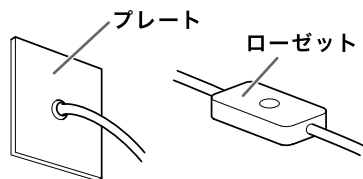
そのまま使えます。

- ・ 3ピンプラグ式コンセントの場合



市販のモジュラージャック付電話キャップをお買い求めください。

- ・ 直接配線の場合 (プレート/ローゼット)



モジュラー式コンセントに変える必要があります。当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。

■ 電話回線の種類を手動で設定するには

- ① 【メニュー】を押す
- ② 「初期設定」をタッチする
- ③ ▲/▼で「回線種別」を選択し、【L /セット】を押す
- ④ 【L /セット】を押し、▲/▼で回線の種類を選択し、【L /セット】を押す
- ⑤ 選択できる回線の種類は次のとおりです。
プッシュ：プッシュホン（トーン）回線
ダイヤル：ダイヤル回線（速度：20PPS）
- ⑥ 【スタート/コピー】を押す
- ⑦ 177（天気予報）にダイヤルし、電話がかかることを確認する

電話がかからない場合は、④で選択した回線の種類が間違っています。手順①～⑥を繰り返し、正しい回線の種類に設定し直してください。



お知らせ


- ・ 通話料金はおお客様のご負担となります。

ナビにしたがって初期設定をする

本商品は、電源プラグを接続すると、自動的に初期設定ナビの画面が表示されます。

画面表示を確認し、下記の手順にしたがって設定してください。

- 1 「初期設定ナビを開始します」と表示されたら、【L / セット】を押す
- 2 「ひかり電話を利用していますか?」と表示されたら、◀ / ▶で「はい」または「いいえ」を選択し、【L / セット】を押す
ひかり電話サービスをご利用になる場合は、「携帯通話設定機能」を利用することはできません。「はい」を選択し、設定を終了します。
ひかり電話サービスをご利用にならない場合は、「いいえ」を選択し、手順3へ進みます。
- 3 「携帯電話への発信に、自動的に 0039 を付けてダイヤルする設定を行います」と表示されたら、◀ / ▶で「はい」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 ▲ / ▼で「1 IP 電話を利用している」 / 「2 IP 電話を利用していない」のいずれかを選択し、【L / セット】を押す
IP 電話サービスを契約している場合は「IP 電話を利用している」を選択し、手順5へ進みます。「IP 電話を利用していない」を選択した場合は、手順6へ進みます。
- 5 加入電話選択番号を入力し、【L / セット】を押す
NTT 西日本が提供しているIP電話サービスを利用されている場合は、加入電話選択番号は「0000」（お買い上げ時の設定）を登録してください（「加入電話選択番号一覧表」64 ページ）。
- 6 登録内容を確認し、【L / セット】を押す
【戻る / インク交換（2 秒）】を押すと、登録し直すことができます。
- 7 「セットボタンを押して時刻設定して下さい」と表示されたら、【L / セット】を押す

- 8 【0】～【9】を押して日付と時刻を入力し、【L / セット】を押す
入力を修正するには ◀ / ▶ で修正したい数字にカーソルを合わせ、入力し直します。
- 9 「回線種別を選択してください」と表示されたら、▲ / ▼で「1 プッシュ回線」「2 ダイヤル回線」のいずれかを選択し、【L / セット】を押す
回線種別は自動識別されています。間違いがなければそのまま【L / セット】を押してください。
- 10 「契約状態を選択してください」と表示されたら、▲ / ▼で「1 契約している」「2 契約していない」のいずれかを選択し、【L / セット】を押す
ナンバー・ディスプレイをご契約になった方は、工事完了通知後、必ず「契約している」を選択してください。
- 11 「電話番号を入力することができます」と表示されるので、「1 電話番号を入力します」を選択し、【L / セット】を押す
「後で入力します」を選択したときは手順13へ進んでください。
- 12 【0】～【9】を押して電話番号を入力し、【L / セット】を押す
- 13 「名前を入力することができます」と表示されるので、「1 名前を入力します」を選択し、【L / セット】を押す
「後で入力します」を選択したときは手順15へ進んでください。
- 14 タッチパネルを使って名前を入力し、「確定」をタッチする 
文字の入力のしかたは42ページをご覧ください。
- 15 登録内容を確認し、【L / セット】を押す
登録し直す場合は、【戻る / インク交換（2 秒）】を押してください。
- 16 インク取り付けについては「プリントヘッドを取り付ける」(P.26)と「インクタンクを取り付ける」(P.28)をご覧ください。

⚠ 注意

- ・設定の操作は途中で中止できません。変更する場合は、設定終了後、「携帯通話設定（NTT 西日本）を設定 / 解除するには」（P.63）の手順にしたがって解除してから、再度設定してください。
- ・携帯通話設定を設定しない場合、電源を入れるたびにひかり電話の設定と携帯通話設定画面が表示されません。
- ・「ひかり電話」サービスをご利用になる場合は、「携帯通話設定」を「設定しない」にセットしてください。「携帯通話設定」で事業者を選択した場合は、携帯電話へのダイヤル発信ができなくなります。

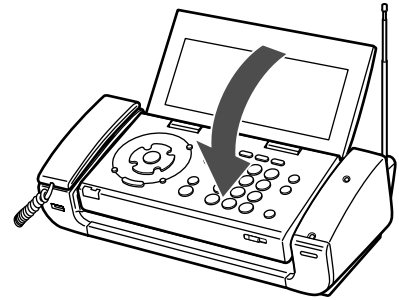
プリントヘッドを取り付ける

準備

- 1** 【戻る/インク交換 (2 秒)】を 2 秒間押す
【戻る/インク交換 (2 秒)】を 2 秒以上押さないとプリントヘッドホルダが中央に出てきません

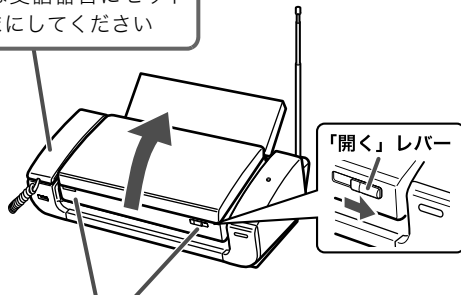


- 2** ディスプレイを閉める



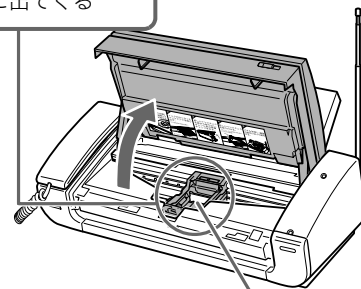
- 3** 「開く」レバーを右に引きながら、操作パネルを止まるまで開ける

受話器は受話器台にセットしたままにしてください



両手で操作パネルのここを持って、静かに持ち上げてください

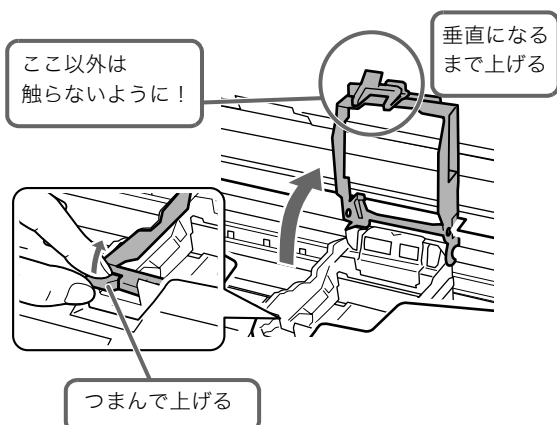
プリントヘッドホルダが中央に出てくる



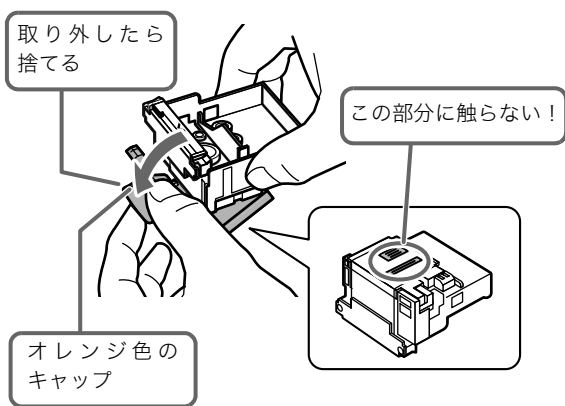
ここに取り付けます

4 プリントヘッドを取り付ける

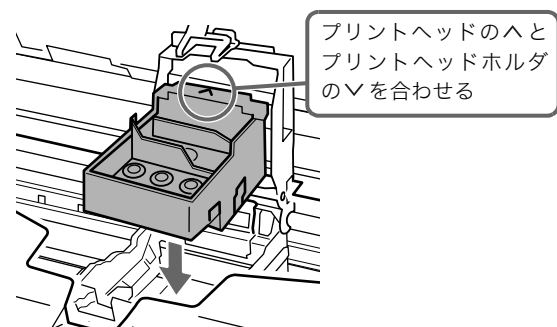
- ① プリントヘッドホルダの固定レバーを垂直になるまで上げる



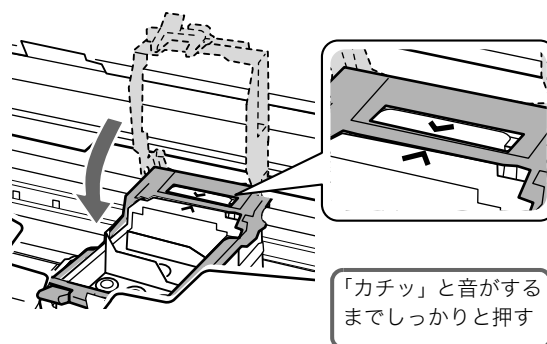
- ② プリントヘッドからオレンジ色のキャップを外し、捨てる



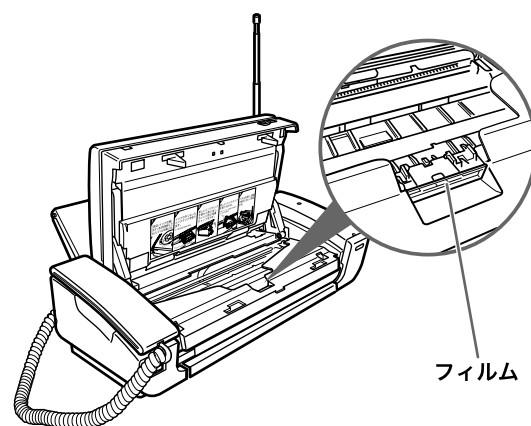
- ③ プリントヘッドホルダにプリントヘッドを差し込む



- ④ プリントヘッドホルダの固定レバーを下げる



⚠ 注意 フィルムには、絶対触れないようにしてください。印字不良や故障の原因となり、印刷できなくなります。



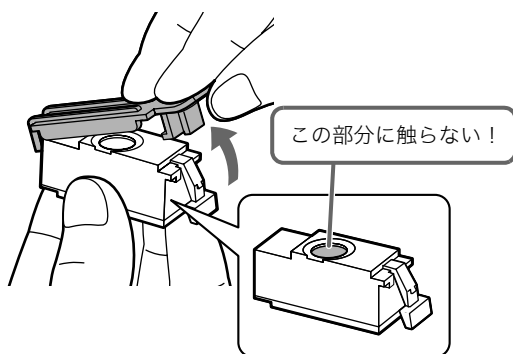
⚠ 注意

- ・プリントヘッドの取り付け中にプリントヘッドホルダが右端に戻ってしまったら、先にほかの設定を終え、【ストップ】を押して待機画面に戻ってください。そのあと【戻る/インク交換 (2 秒)】を 2 秒押し、プリントヘッドの取り付けを続けてください。
- ・プリントヘッドが入っている袋の内側と保護キャップの内側に透明または薄い青色のインクが付着している場合がありますが、品質上問題ありません。取り扱いの際には、インクで手などを汚さないようにご注意ください。

インクタンクを取り付ける

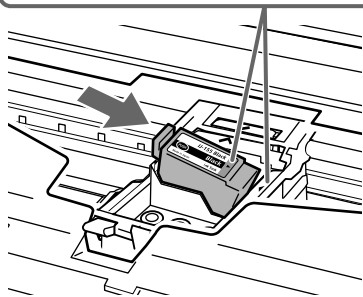
1 インクタンクを取り付ける

- ① インクタンクからオレンジ色のキャップを外し、捨てる



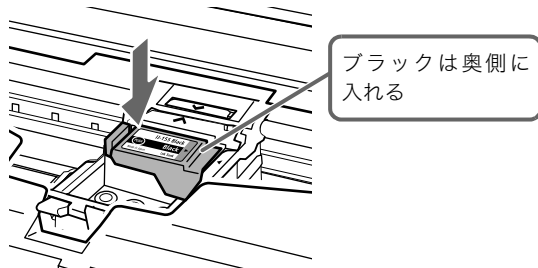
- ② インクタンクを取り付ける

(1) ▶と◀を合わせて、斜めに差し込む



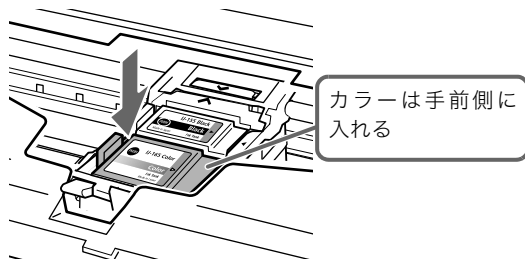
③

(2) ブラックのインクがカチッというまで (PUSH) をしっかりと押す!



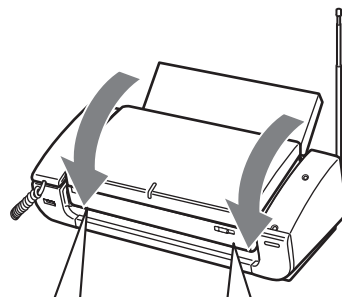
④

(3) カラーのインクがカチッというまで (PUSH) をしっかりと押す!



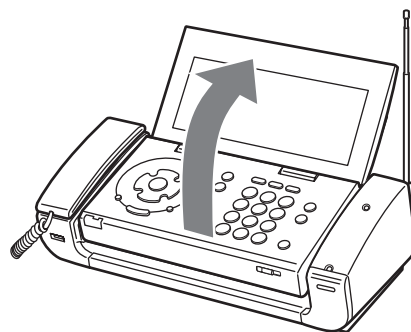
- ## 2 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉め、ディスプレイを開く

- ① 操作パネルを閉める



お願い 両手で操作パネルのここを持って、静かに閉めてください。

- ② ディスプレイを開く



- ## 3 【ストップ】を押す

- ## 4 「ブラックインクタンクを交換しましたか?」と表示されるので、◀/▶で「はい」を選択し、【L/セット】を押す

- ## 5 「カラーインクタンクを交換しましたか?」と表示されるので、◀/▶で「はい」を選択し、【L/セット】を押す

- ## 6 「この後、177 (天気予報) に電話をして、正常に通話できることを確認してください」と表示されたら、【L/セット】を押す

177 に電話をかける操作については「電話をかける」(P.52) をご覧ください。

⚠ 注意

- ・プリントヘッドの取り付け中にプリントヘッドホルダが右端に戻ってしまったら、先にほかの設定を終え、【ストップ】を押して待機画面に戻ってください。そのあと【戻る/インク交換 (2 秒)】を 2 秒押し、プリントヘッドの取り付けを続けてください。
- ・ふき取りクリーニングをおすすめする画面が出ることがありますが、初めてインクタンクを取り付ける場合にはふき取りクリーニングは必要ありません。【ストップ】を押して画面を消してください。



お知らせ

- ・通話料金はおお客様のご負担となります。
 - ・初期設定の操作中に着信があったり、【ストップ】を押すなどで処理が中断されたりしたときは、表示された画面から操作をやり直してください。
 - ・最適な印刷品質を保つため、当社指定インクタンクのご使用をおすすめします。また、インクのための詰め替えはおすすめできません。
 - ・最適な印刷品質を保つため、インクタンクは開封後 6 か月以内に、未開封の場合でも購入後 2 年以内に使い切ってください。(取り付けた年月日を控えておくことをおすすめします)。
 - ・付属品のインクがなくなった場合は、別売品のインクタンク (ブラックインクタンク IJ-155 Black、カラーインクタンク IJ-165 Color) に交換してください。
- 消耗品については、パーツサービスセンター (☎0120-86-8289) またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。



ワンポイント

- **インクタンクを取り付け終わったら**
コピーをする (P.91) などして正しくプリントできることを確認することをおすすめします。
- **インクの残量が少なくなったときは**
ディスプレイに「ブラックインクが少なくなっています」、「カラーインクが少なくなっています」または「ブラック・カラーインクが少なくなっています」と表示されたときは、交換時期が近づいています。新しいインクタンクを用意しておいてください。
- **インクがなくなったときは**
印刷中に白紙が出たり、色のバランスがくずれたり、かすれたりしたときは、インクタンクを交換してください。

ファクスやコピーに使用する記録紙を準備する

受信ファクスや表示中のサイトなどを印刷するとき、またはコピーをするときの記録紙について説明します。メモリーカードに保存されている画像や、デジタルカメラまたは携帯電話で撮影した画像を印刷する記録紙については、『ダイレクトプリントガイド』をご覧ください。

記録紙について (ファクス・コピー)

A4 サイズ (縦) の普通紙 (複写機で使う標準的なコピー用紙) L判、はがきの各サイズの記録紙が利用できます。

用途や一度にセットできる枚数は、記録紙のサイズによって異なります。「各機能に使用可能な記録紙サイズ」(P.192) もあわせてご覧ください。

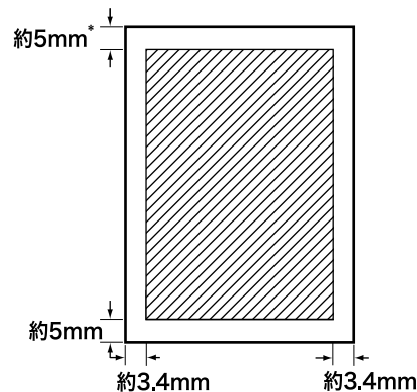
サイズ	用途	セットできる枚数	フチの有無
A4	モノクロ/カラーコピー 受信ファクスやサイト、リストなどの印刷	約 30 枚	選択不可 (フチありのみ)
はがき	カラーコピーのみ*	約 10 枚	選択不可 (フチありのみ)
L判	カラーコピーのみ*	約 10 枚	フチあり/なし

* モノクロの原稿をコピーするときも、カラーコピーの手順で操作する必要があります。

印刷可能範囲

L判のカラーコピーで「フチなし」を選択した場合のみ、記録紙の全面に印刷されます。

それ以外の場合 (A4 およびはがきサイズ使用時すべて)、L判のカラーコピーで「フチあり」を選択時)、印刷される範囲は斜線部分です。斜線の外側部分には印刷されません。



* 受信ファクス、サイト、画面メモ、メール、リストなどの印刷時：約 3mm

STOP お願い

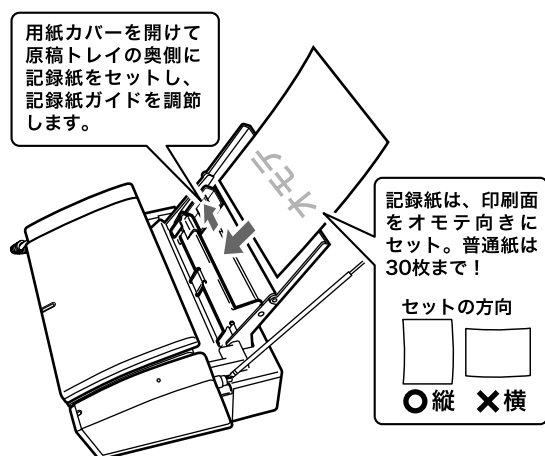
- ・ 次のような用紙を記録紙として使用しないでください。紙づまりの原因となります。
 - ・ 破れ、しわ、折り目、大きい反りのある用紙
 - ・ 濡れている用紙
 - ・ 薄すぎる用紙 (重さ 64g/m² 未満)
 - ・ 厚すぎる用紙 (当社指定紙以外で重さ 105g/m² を超えるもの)
 - ・ 絵はがき
 - ・ 往復はがき
 - ・ 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
 - ・ 長期間、記録紙トレイにセットされたままで劣化した用紙

記録紙をセットする

記録紙トレイに印刷面を上にしてセットします。セットのしかたは、用紙カバーに書かれている説明を参考にしてください。

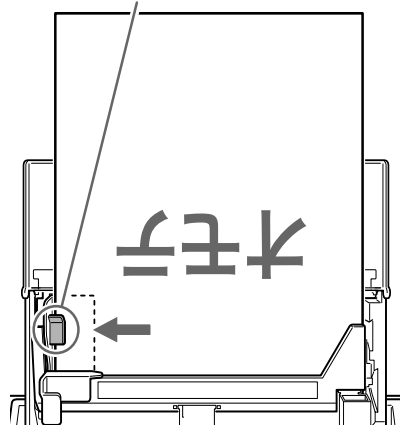
- 1 用紙カバーを開ける
- 2 記録紙をよくさばいてそろえる
普通紙は約 30 枚まで、はがきや L 判用紙は約 10 枚までセットできます。
- 3 記録紙トレイに記録紙をセットし、紙の幅に合わせて記録紙ガイドを調節する

◆記録紙のセット方法



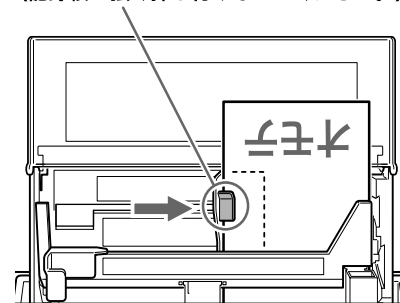
◆普通紙 (A4) サイズの記録紙のセット方法

記録紙の幅に合わせて記録紙ガイドを調節する。
(記録紙に強く押し付けしないでください。)



◆はがき、L 判サイズの記録紙のセット方法

記録紙の幅に合わせて記録紙ガイドを調節する。
(記録紙に強く押し付けしないでください。)



STOP お願い

- ・記録紙トレイが壁などに触れないように設置してください。
- ・記録紙を複数枚セットするときはていねいにセットしてください。
複数枚同時に送られてしまうなど、紙送りがうまくいかないときは、もう一度セットし直してください。それでもうまく送れないときは、1 枚ずつセットしてください。
- ・記録紙を追加するときは記録紙トレイに残っている記録紙をいったん取り出し、追加する記録紙の縁をそろえてから、再度セットしてください。
- ・記録紙が引き込まれている最中は、記録紙を追加しないでください。
紙づまりの原因となります。
- ・反りのある記録紙は、必ず反りを直してからセットしてください。
- ・排出された記録紙は適宜取り除いてください。用紙排出口に記録紙がたまと、折り重なったりつまったりする場合があります。
- ・印刷直後の記録紙を持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- ・長期間、記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含んで劣化し、紙づまりの原因となります。
- ・印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着した場合、インクがにじむことがあります。

原稿について

基準を満たさない原稿をセットしたり、誤った方法でセットすると、コピーやファクスが正しく行われなかったり、紙づまりの原因となることがあります。

セットできる原稿

使用できる原稿のサイズは、A4、L判、はがきの3種類です。

● 枚数

一度にセットできる枚数は、次のとおりです。

原稿サイズ	セットできる枚数
A4 (普通紙)	10枚
A4 (フォト紙)	1枚
L判、はがき	1枚

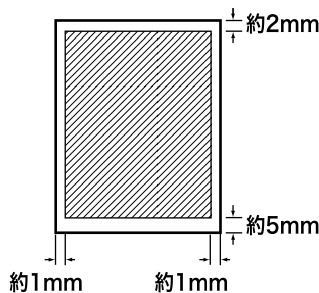
● 厚さ

原稿入口にセットできる原稿の厚さは、次のとおりです。

原稿の枚数	原稿の厚さ
1枚のとき	0.06～0.23mm
複数枚のとき	0.06～0.13mm

読み取り可能範囲

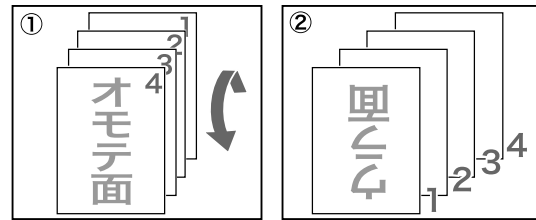
A4サイズの原稿の場合、読み取り可能な範囲は下記の斜線部分です。斜線の外側部分は読み取れません。L判、はがきの場合は全面的読み取りが可能です。



原稿のセット方法

原稿トレイに、原稿面（送信したりコピーしたりする面）をウラ向きにしてセットします。セットのしかたは、用紙カバーに書かれている説明を参考にしてください。

複数の原稿をセットする場合は、1枚目の原稿が1番上になるように並べます。



- ①のように置いた原稿を縦方向に180度回転させて
- ②のように最初のページが裏面で下向きになるよう並べる

- 1 用紙カバーを開ける
- 2 原稿トレイに原稿をセットし、原稿の幅に合わせて原稿ガイドを調節する



- ・原稿を複数枚セットするときはいねいにセットしてください。
複数枚同時に送られてしまうなど、紙送りがうまくいかないときは、もう一度セットし直してください。それでもうまく送れないときは、1枚ずつセットしてください。
- ・次のような原稿は、紙づまりなどの原因となるため、使用しないでください。
 - ・前記の「セットできる原稿」のサイズや厚さの範囲外の原稿
 - ・のりやセロハンテープで貼り合わせたもの
 - ・破れ、しわ、反りや折り目のあるもの
 - ・感熱紙、裏カーボン紙など
 - ・フィルムやトレーシングペーパーなど透明なもの
- ・大切な写真や原稿は、キャリアシート（別売、P.190 参照）に狭んで原稿トレイにセットすることで、万一の汚れや破損を防ぐことができます。
- ・原稿をセットする前に以下のことを確認してください。
セットできる原稿の基準を満たしている原稿かどうか確認してください。
ホチキスやクリップは必ず取り外してください。
インク、修正液などは完全に乾かしてからセットしてください。
- ・原稿ガイドは、必ず原稿の幅に合わせてください。
原稿ガイドを正しく合わせないと、原稿が斜めに送られてしまうことがあります。
- ・厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。
送信もれやコピーもれ、紙づまりなどの原因となることがあります。厚さが異なる原稿は1枚ずつセットしてください。
- ・厚紙原稿は反りを直してセットしてください。
厚紙原稿の場合、原稿が反っていると原稿がうまく送られないことがあります。
反りを直してからセットし、原稿後端の中央部分を持って軽く押してください。
- ・フチなしで写真を大量に印刷した直後にファクス送信やコピーなどを行うと、原稿が汚れることがあります。大切な原稿を読み取る場合は、しばらく待ってからご利用いただくか、インクふき取りクリーニング（P.170）を行ってからご利用いただきますようお願いいたします。

子機を準備する

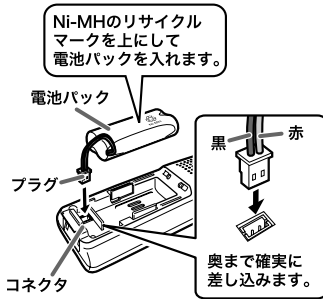
子機を充電する

子機をはじめとお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず連続15時間以上充電してください。

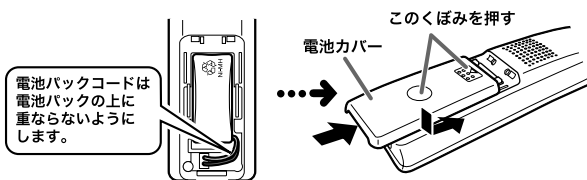
- 警告**
- 充電器や子機の充電端子をショート（短絡）させないでください。
 - 充電器や子機の充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。

1 子機に電池パックを入れる

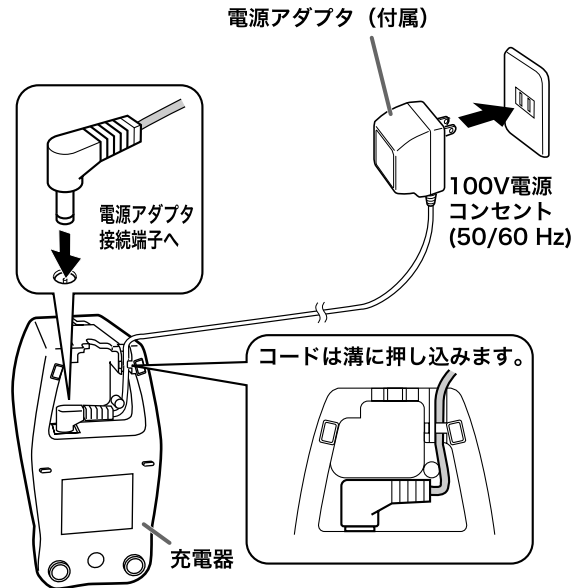
電池パックのプラグを子機のコネクタに接続します。



Ni-MH のリサイクルマークを上にして電池パックを入れ、電池カバーを閉めます。



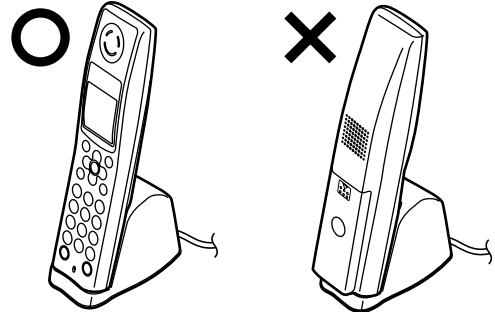
2 充電器に電源アダプタを接続し、電源アダプタを電源コンセントに差し込む



3 操作パネル面を手前に向けて、子機を充電器に置く

【切】が点灯し、充電がはじまります。

子機を使わないときは、いつも充電器に戻しておいてください。



- 電池パックが完全に消耗しているときは、【切】が点灯していても充電できないことがあります。そのときは新しい電池パックに交換してください。

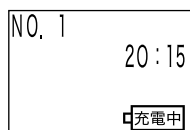
ワンポイント

- ・ 完全に充電できるまで約 15 時間かかります。
- ・ 新しい電池パックをフル充電した場合、連続して通話ができる時間は約 7 時間、待ち受け時間は約 200 時間です（※使用環境が 25℃ の時）。
- ・ 充電のしすぎによって故障することはありません。

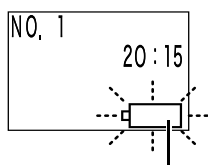
バッテリーマークについて

充電中や電池パックが消耗しているときには、ディスプレイに電池パックの状態を示すマークやメッセージが表示されます。

◆充電器に置いているとき

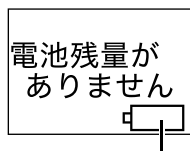


◆電池残量が少なくなったとき



バッテリーマークが点滅する

◆電池残量がなくなったとき



バッテリーマークが点灯する

子機を設置する

子機の設置場所の選びかたについて

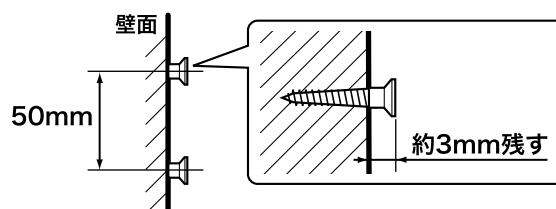
- 金属製家具やテレビ、OA 機器などの近くは避けてください。
- 親機と子機の間になるべく障害物がないところに設置してください。
- 親機と子機は約 1m 以上離して設置してください。
- 子機増設時は、子機どうしを約 1m 以上離してください。

子機を壁にかけて使うには

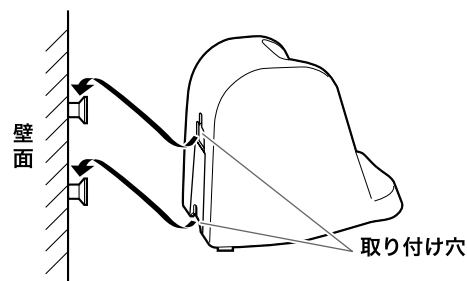
市販の壁掛け用ねじを使って、充電器を壁に取り付けてください。

⚠ 注意 ベニヤ板など薄い壁板やボード材（石こう板）には直接取り付けしないでください。取り付ける場合は、子機の重みで落下しないようにしっかりと取り付けてください。子機が落下すると、ケガの原因となることがあります。

1 壁掛け用ねじ 2 本を壁に取り付ける

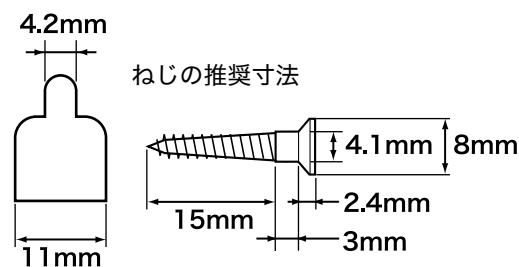


2 ねじの頭に充電器の取り付け穴をかける



・壁掛け用ねじは付属していません。
取り付ける場合は、図の推奨寸法に近いねじをお買い求めください。子機 1 台：2 本

取り付け穴の寸法



子機の電池パックについて

子機に使用している電池パックは消耗品です。長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときは新しい電池パックと交換してください。使用頻度により違いはありますが、約 1 年程度で電池パックの容量が減少していきます。交換の際は、下記の注意事項をよくお読みください。消耗品については、パーツサービスセンター（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

⚠ 警告 電池パックは誤った使いかたをすると破裂や過熱してケガや火災の原因となります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物（カギや装飾品、ネックレスなど）と一緒にポケットやかばんなどに入れないでください。
- 端子をショート（短絡）させないでください。
- 分解しないでください。
- 水や火の中に投げ入れないでください。
- 取り出した電池パックを保管するときは、プラス（+）とマイナス（-）がショートしないようにしてください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。

■ 電池パック回収のお願い



Ni-MH

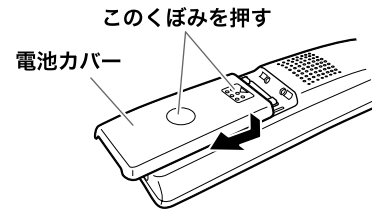
使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示にしたがってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

<p>⚠ 警告</p>	<p>電池パックのコードを強く引っ張らないでください。断線・故障の原因となることがあります。</p>
<p>⚠ 危険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックについて 電池パックの取り扱い、次の点にご注意ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・必ず指定のものをお使いください。 ・取り出して充電しないでください。 ・火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。 ・充電には、指定の充電器をお使いください。 ・端子を接触させないでください。 ● 電池パックのコードを子機と電池カバーとの間に挟まないようにしてください。断線・故障の原因となることがあります。 ● 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。

子機の電池パックを交換する

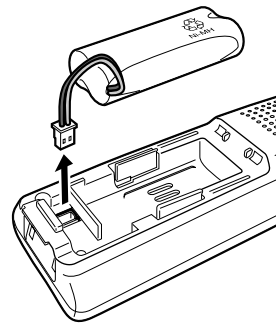
1 電池カバーを開ける

指で電池カバーを押し出すようにしてください。



2 古い電池パックを取り出す

コネクタからプラグを抜いて古い電池パックを取り外します。



3 「子機を充電する」(P.34) と同じ手順で、新しい電池パックを取り付け、充電する



お知らせ

- ・電池パックは使わないで放置していても自己放電します。このため、新しい電池パックでもはじめから容量が少なくなっていたり、まったくないことがあります。これは、電池パックの不良ではありません。
- ・電池パックが自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。このようなときは、充電と通話（充電・放電）を何回か繰り返すうちに通常の状態に戻ります。
- ・必ず当社指定の電池パック（品名：電池パック-086）を使用してください。
- ・子機を長期間ご使用にならないときには、電池パックを子機から取り外してください。

日付と時刻を合わせる

親機のディスプレイに表示される日付と時刻を合わせます。また、日付と時刻を合わせると、ファクス送信時に相手側の記録紙に発信した日付と時刻を印刷したり、留守番電話で用件が録音された日付と時刻を確認したりすることもできます。子機では時刻のみ設定できます。

親機を合わせる

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「初期設定」をタッチする
- 3 Δ/∇ で「日付時刻設定」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート / コピー】を押す
日付時刻入力の画面が表示されます。
- 6 【0】～【9】を押して日付と時刻（24 時間制）を入力し、【L / セット】を押す
例 AM 8 時 → 08:00
PM 5 時 → 17:00

子機を合わせる

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー / セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー / セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「時刻設定」を選択し、【メニュー / セット】を押す
- 4 【0】～【9】を押して時刻（24 時間制）を入力し、【メニュー / セット】を押す
例 AM 8 時 → 08:00
PM 5 時 → 17:00



お知らせ

- ・電源プラグを抜いたり、停電があったりすると、ディスプレイに「セットボタンを押して 時刻設定して下さい」と表示されます。その場合は【L / セット】を押し、日付と時刻を入力し直してください。
- ・時刻表示はあくまでめやすとしてご利用ください。誤差（平均月差± 90 秒以内）が生じた場合は、設定をやり直してください。



ワンポイント

- 親機で数字を入力し直すには
手順 6 で Δ/∇ を押して、修正したい数字までカーソルを移動し、正しい数字を入力します。
- 子機で数字を入力し直すには
手順 4 で Δ/∇ を押して、修正したい数字までカーソルを移動し、正しい数字を入力します。

音量を調節する

準備

親機の音量を調節する

親機の各種音量は、△/▽で調節します。

◆親機の外線着信音量を調節する場合



調節中の着信音量はディスプレイで確認できる

外線着信音量を調節する

- 1 待機画面表示中に△を押す
- 2 △/▽を押す
5段階/消音に調節できます。△/▽で変更することにディスプレイの音量表示が変わります。表示の一番下まで▽を押すと、「消音」(OFF)になります。
- 3 【ストップ】を押す

その他の音量を調節する

各種の音は次の5つのグループに分類されています。音量を調節すると、同じグループの音の大きさが一括で変更されます。

- 1 調節したい音が鳴っているときに△を押す
- 2 △/▽を押す

音量種別	内容	調整レベル
外線着信音	外線の着信音量	5段階
内線呼出音	内線呼出、ドアホン	5段階
受話音	受話器の受話音量	3段階
モニタ音	スピーカ(オンフック)、擬似ビジートーン	5段階
ガイド音	留守録用件再生、留守電設定時のガイダンス	5段階



お知らせ

・親機の送話音量は調節できません。

子機の音量を調節する

着信音量を調節する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「着信音設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「着信音量」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で音量を選択し、【メニュー/セット】を押す
「音量大」「音量小」「消音」の3つから選択します。「消音」を選択している場合は、ディスプレイに「消音」マークが表示されます。

受話音量を調節する

- 1 好みの音量になるまで、 Δ/∇ を押す
 - 相手の声（受話口）の音量
通話中に Δ/∇ を押します。2段階に調節できます。
 - 相手の声（スピーカ）の音量
スピーカホン（P.60）で通話中に Δ/∇ を押します。2段階に調節できます。
 - 用件の再生音量
再生中に Δ/∇ を押します。2段階に調節できます。



お知らせ


- ・子機で受話音量を調節してもまだ聞こえにくいときは、通話終了後に次の操作を親機側で行い、音量を調節してください。音量の調節は内線通話には適用されません。（お買い上げ時は「普通」の設定になっています。）
 - ① 親機の【メニュー】を押す
 - ② 「音設定」をタッチする
 - ③ Δ/∇ で「子機受話音量」/「子機送話音量」を選択し、【L/セット】を押す
 - ④ Δ/∇ で「普通」/「大きく」を選択し、【L/セット】を押す
 - ⑤ 【スタート/コピー】を押す
- ・子機の着信音量を「消音」にしても、内線やドアホンの呼出音（P.55、154）は「音量小」と同じ音量で鳴ります。
- ・子機使用中は、親機から子機の音量を調節できません。

着信音を設定する

準備

親機の着信音を設定する

親機の着信音を変えることができます。
(お買い上げ時の設定は「ベル音 1」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「音設定」をタッチする
- 3 Δ / ∇ で「着信音選択」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ / ∇ で「変更する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート / コピー】を押す
- 6 Δ / ∇ で設定したい着信音を選択し、【L / セット】を押す



お知らせ

- ・ダウンロードしたメロディのみ削除することができます (P.128)。
- ・ナンバー・ディスプレイ (有料) を契約している場合は、電話帳に登録されている相手かどうかによって着信音を変えることができます (P.98)。



ワンポイント

■ 選択できる着信音は

森のくまさん ^{*1}
人形の夢 ^{*1}
プレリユード ^{*1}
カノン ^{*1}
ハイ・ホー ^{*1}
ベル音 1
ベル音 2
ベル音 3
ダウンロードしたメロディ 1 ^{*2}
ダウンロードしたメロディ 2 ^{*2}
ダウンロードしたメロディ 3 ^{*2}

*1 : 4 和音

*2 : L モードからメロディを 3 曲までダウンロードできます (P.128)。ダウンロードした曲が登録されていない場合は、「未登録」と表示されます。

子機の着信音を設定する

子機の着信音を、2種類のベル音または3種類のメロディから選択できます。

(お買い上げ時の設定は「ベル音1」になっています。)

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ / ∇ で「着信音設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ / ∇ で「着信音選択」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 Δ / ∇ で着信音を選択する
設定を変更しない場合は、【切】を押します。
- 5 【メニュー/セット】を押す



お知らせ

- ・ ナンバー・ディスプレイ(有料)を契約している場合は、かかってきた電話によって着信音を変えることができます(P.98)。
- ・ 子機の着信音量を「消音」にしても、内線やドアホンの呼出音(P.55、154)は「音量小」と同じ音量で鳴ります。
- ・ 子機使用中は、親機から子機の音量を調節できません。
- ・ 親機でLモードからダウンロードしたメロディを子機の着信音に設定することはできません。









ワンポイント

■ 選択できる着信音は



ベル音1
ベル音2
森のくまさん
メヌエット
キラキラ星

※子機のディスプレイには曲名は表示されません。



ひらがな、全角カタカナ、漢字入力するには

- 1 「かな」をタッチする
- 2 文字をタッチしてひらがなを入力する
入力エリアに文字が全角で表示されます。変換が必要なときは手順3に、ひらがなのままでよい場合は手順4に進みます。
- 3 「変換」をタッチして、/で目的の変換候補を選択する
- 4 「決定」をタッチする
確定エリアに文字が表示されます。



半角カタカナ入力するには

- 1 「カナ」をタッチする
- 2 文字をタッチしてカタカナを入力する
入力エリアに文字が半角で表示されます。



英字入力・数字入力するには

- 1 「英字」または「数字」をタッチする
- 2 文字をタッチして英字または数字を入力する
入力エリアに文字が半角で表示されます。



記号入力するには

- 1 「記号」をタッチする
目的の記号が表示されていないときは、「次の一覧」をタッチして画面を切り替えます。
- 2 入力する記号をタッチする

絵文字入力するには




- 1 「絵文字」をタッチする
目的の絵文字が表示されていないときは、「次の一覧」をタッチして画面を切り替えます。
- 2 入力する絵文字をタッチする

区点コードで入力するには

- 1 「区点」をタッチする
- 2 [0] ~ [9] をタッチして区点コード（4桁）を入力する
区点コードで入力できる文字については「区点コード表」（P.193）をご覧ください。

定型文入力するには

電話帳の名前やメールアドレス、メール作成時の宛先、題名、本文を入力するときに便利です。

- 1 「定型」をタッチする
電話帳の名前やメールアドレス、メール作成の宛先の入力時は手順3に進みます。
- 2 「本文」「人称」「アドレス」「顔文字」のいずれかをタッチして、定型文の種類を選択する
目的の定型文が表示されていないときは、「次の一覧」をタッチして画面を切り替えます。
- 3 入力する定型文をタッチする
確定エリアに定型文が表示されます。



お知らせ

- ・漢字がうまく変換されないときは、変換文字数を1文字分にしたり、濁点や半濁点を外したり、読み（音読み・訓読み）を変えて入力し直してください。
- ・「かな」と「漢字」は半角に変換することはできません。
- ・メールアドレスを入力する場合は、全角文字を入力できません。
- ・メール文章作成時にのみ、手順1で「特殊記号」が表示されます。
- ・絵文字はLメールでのみ使用できます。
- ・入力した区点コードに割り当てられた文字がない場合は、エラー音が「ピピピ」と鳴って入力されません。
- ・区点コードで入力した文字はすべて全角となります。入力スペースが半角しか残っていない場合は、区点コードによる入力はできません。



ワンポイント

■ 入力した文字を消去するには

「消去」をタッチすると、カーソル位置の文字を消去できます。

■ 文字を追加するには

△／▽／◀／▶ にタッチして確定エリアにあるカーソルを挿入したい位置に移動し、文字を入力します。

■ 文字を修正するには

△／▽／◀／▶ にタッチして修正したい文字までカーソルを移動し、「消去」にタッチして文字を消去してから入力し直します。

■ 半角／全角／大文字／小文字の英字を入力するには

英字入力モードの画面で「半角」／「全角」／「大文字」／「小文字」をタッチして入力する文字の種類を切り替えます。

■ 半角／全角の数字を入力するには

英字／数字入力モードの画面で「半角」／「全角」をタッチして入力する文字の種類を切り替えます。

ひらがな入力と漢字入力をするには

- 1 【文字／ファクス】 を押し、「漢」を選択する
- 2 【0】～【9】／【*】 を押し、ひらがなを入力する
入力エリアに文字が全角で表示されます。
漢字変換をしないときは、手順4に進みます。
- 3 **△／▽** で変換したい漢字を選択する
【クリア／キャッチ】 を1回押し、変換を取り消します。
- 4 【メニュー／セット】 を押す
確定エリアに文字が表示されます。

カタカナ入力・英字入力・数字入力をするには

- 1 【文字／ファクス】 を押し、「カナ」「英」または「数」を選択する
- 2 【0】～【9】／【*】 を押し、文字を入力する
- 3 【メニュー／セット】 を押す
確定エリアに文字が表示されます。

記号入力をするには

- 1 【文字／ファクス】 を押し、「記号入力」を選択する
- 2 **△／▽／◀／▶** で記号を選択する
- 3 【メニュー／セット】 を押す
確定エリアに記号が表示されます。

定型文入力をするには

- 1 【文字／ファクス】 を押し、「定型文」を選択する
- 2 **△／▽** で定型文を選択する
- 3 【メニュー／セット】 を押す
確定エリアに定型文が表示されます。



お知らせ

- ・漢字がうまく変換されないときは、変換文字数を1文字分にしたり、濁点や半濁点を外したり、読み（音読み・訓読み）を変えて入力し直してください。





ワンポイント

- 入力した文字を消去するには
【クリア／キャッチ】 を押し、1文字ずつ消去することができます。2秒以上押し続けると、すべての文字を消去することができます。
- 文字を追加するには
◀／▶ で挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。
- 文字を修正するには
◀／▶ で修正したい文字までカーソルを移動し、【クリア／キャッチ】 を押し、入力し直します。
- 全角のカタカナ入力をするには
「漢」モードでひらがなを入力後、**△／▽** で変換候補の中から全角のカタカナを選択します。

あなたの名前と電話番号を登録する

こちらの親機に登録した名前と電話番号がファクス送信時に相手側の記録紙に印刷されます。

準備

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「初期設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「あなたの名前と TEL」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「名前」を選択し、【L /セット】を押す
- 5 タッチパネルで名前を入力し、「確定」をタッチする 
文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。
最大全角 8 文字、半角 16 文字まで入力できます。
- 6 Δ/∇ で「TEL」を選択し、【L /セット】を押す
- 7 ダイヤルボタンを押して電話番号を入力し、【L /セット】を押す
スペースは \blacktriangleright で入力します。入力し直すには、【消去 / キャッチ】を押して正しい数字を入力してください。最大 20 桁まで入力できます。
- 8 【スタート / コピー】を押す

ワンポイント

■ ナビを使って登録するには

【ナビ】を押し、「初期設定する」をタッチします。あとはナビにしたがって登録してください。




■ 登録内容を変更・削除したいときは

手順 3 の後、「名前」または「TEL」を選択し、【L /セット】を押します。【消去 / キャッチ】を押すと「名前」は 1 文字ずつ、「TEL」は一括で文字が消去されます。変更のときは新しい「名前」または「TEL」を入力してから【L /セット】を押してください。削除したいときはそのまま【L /セット】を押してください。

ワンタッチダイヤルに登録する

準備

ワンタッチダイヤルは、【ワンタッチ 1】～【ワンタッチ 3】を押すだけで電話をかけたりファクスを送ったりできる機能です。最大 3 件まで登録できます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「ライフサポート」をタッチする 
- 3 Δ / ∇ で「ワンタッチ」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ / ∇ で【ワンタッチ 1】 / 【ワンタッチ 2】 / 【ワンタッチ 3】のいずれかの「名前」のテキストボックスを選択し、【L / セット】を押す
- 5 タッチパネルで名前を入力し、「確定」をタッチする 
最大全角 6 文字、半角 12 文字まで入力できます。
- 6 Δ / ∇ で「フリガナ」のテキストボックスを選択し、【L / セット】を押す
- 7 タッチパネルでフリガナを入力し、「確定」をタッチする 
最大半角 12 文字まで入力できます。
- 8 Δ / ∇ で「TEL」のテキストボックスを選択し、【L / セット】を押す
- 9 ダイヤルボタンを押して電話番号を入力し、【L / セット】を押す
最大 32 桁まで入力できます。市外局番から入力してください。
続けてほかのワンタッチダイヤルに登録するときは、手順 4～9 の操作を繰り返してください。
- 10 【スタート / コピー】を押す



お知らせ

フリガナは、電話を受けたときの相手の名前の読み上げなどに使われます。



ワンポイント

■登録内容を変更・削除したいときは

手順 4 / 6 / 8 の後、【消去 / キャッチ】を押すと、「名前」と「カナ」は 1 文字ずつ、「TEL」は一括で文字が消去されます。変更のときは新しい「名前」「カナ」「TEL」を入力してから【L / セット】を押してください。削除したいときは、すべての文字や名前を消去してから【L / セット】を押してください。

電話帳に登録する

よく利用する電話番号などは、前もって電話帳に登録しておく便利です。



親機に登録する


親機の電話帳は最大 100 件まで登録できます。それぞれに電話番号とメールアドレスを各 1 件ずつ登録できます。文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。

◆親機の電話帳登録画面

電話帳登録		入力方法
なまえ：松浦弘幸	① 項目を選択	
フリガナ：マツラヒロキ	② セットを押す	
TEL：031234XXXX	③ 最後に【登録】を選んだら【セット】を押して終了	
メール：hiro_xx@xxx.ne.jp		
登録		

各項目を登録したら、「登録」を選択して【L / セット】を押して電話帳の登録を完了する

- 1 ◀を押す
- 2 【メニュー】を押し、△/▽で「新規登録」を選択し、【L / セット】を押す
- 3 △/▽で「なまえ」の行を選択し、【L / セット】を押す
- 4 タッチパネルで名前を入力し、「確定」をタッチする 
最大全角 6 文字、半角 12 文字まで入力できます。名前を入力した後に、入力した文字のフリガナが「フリガナ」の行に表示されます。修正する必要がないときは、手順 7 に進みます。
- 5 △/▽で「フリガナ」の行を選択し、【L / セット】を押す
- 6 タッチパネルでフリガナを入力し、「確定」をタッチする 
最大半角 12 文字まで入力できます。
- 7 △/▽で「TEL」の行を選択し、【L / セット】を押す

- 8 ダイヤルボタンを押して電話番号を入力し、【L / セット】を押す
最大 23 桁まで入力できます。市外局番から入力してください。
24 桁以上の電話番号を登録する場合は、ワンタッチに登録してください (P.48)。
ポーズ (P.52) を入力するには【フォト】を押します (6 回まで入力することができます。ただし 1 ケタ目にポーズを使用することはできません)。登録できる電話番号は 1 件につき 1 つのみです。
- 9 △/▽で「メール」の行を選択し、【L / セット】を押す
- 10 タッチパネルでメールアドレスを入力し、「確定」をタッチする 
最大半角 50 文字まで入力できます。
登録できるメールアドレスは 1 件につき 1 つのみです。
- 11 △/▽で「登録」を選択し、【L / セット】を押す
「登録しました」と表示されます。続けて登録するときは、手順 2 ~ 11 を繰り返します。



お知らせ

- ・間違い電話や誤送信を防ぐため、番号は正確に入力してください。
- ・お買い上げ時には、あらかじめ 3 か所の相手先 (天気予報、電報、番号案内) が登録されています (電話帳プリセット)。
電話帳プリセットは修正/消去することもできます。



ワンポイント

■ 電話帳を修正するには

- ① ◀ を押し、△ / ▽ で修正する相手を選択する
- ② 【メニュー】 を押し、△ / ▽ で「編集」を選択して【L / セット】 を押す
- ③ △ / ▽ で修正する項目を選択し、【L / セット】 を押す
- ④ 内容を修正し、「確定」をタッチする
- ⑤ 他に修正する項目がある場合は、手順③～④を繰り返す
- ⑥ △ / ▽ で「登録」を選択し、【L / セット】 を押す

■ 電話帳を消去するには

- ① ◀ を押し、△ / ▽ で消去する相手を選択する
- ② 【メニュー】 を押し、△ / ▽ で「一件消去」を選択して【L / セット】 を押す
- ③ ◀ / ▶ で「はい」を選択し、【L / セット】 を押す

■ 電話帳の登録内容を確認するには

- ① ◀ を押し、△ / ▽ で確認する相手を選択する
- ② 【メニュー】 を押し、△ / ▽ で「詳細を見る」を選択して【L / セット】 を押す

■ 親機の電話帳を子機にコピーするには

親機の電話帳データを、子機に全件転送することができます (P.51)。

■ 「メモリがありません」と表示された場合は

すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を消去してください。

■ かかってきた電話番号 (着信履歴) を電話帳に登録するには

ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、かかってきた相手の電話番号を電話帳に登録することができます (P.101)。

■ 海外の電話番号を入力するには

「マイライン」「マイラインプラス」の登録状況で電話番号の入力のしかたが異なります。

登録しているとき：

「010」 + (国番号) + (相手国内番号)

登録していないとき：

(ご利用になる電話会社の回線選択番号) + 「010」 + (国番号) + (相手国内番号)

子機に登録する

名前と電話番号を、最大 100 件まで登録できます。
文字の入力のしかたは 45 ページをご覧ください。

- 1 待機中【通話】が消灯している状態で ◀ を押す
- 2 ▲/▼ で「登録」を選択し、【メニュー/セット】を押す
「通信中」と表示されたあと、名前の登録画面が表示されます。
- 3 名前を入力したら、もう一度【メニュー/セット】を押す
最大全角 6 文字、半角 12 文字まで入力できます。
入力した文字の読みがなが表示されます。

- 4 読みがなを入力したら、もう一度【メニュー/セット】を押す
最大半角 12 文字まで入力できます。
- 5 電話番号を入力したら、【メニュー/セット】を押す
ポーズを含めて最大 23 桁まで入力できます。市外局番から入力してください。
ポーズを入力するには ▶ を押します。



お知らせ

- ・間違い電話や誤送信を防ぐため、番号は正確に入力してください。
- ・お買い上げ時には、あらかじめ 3 か所の相手先（天気予報、電報、番号案内）が登録されています（電話帳プリセット）。電話帳プリセットは修正/消去することもできます。
- ・操作中に親機が使用されると、操作が強制終了されることがあります。
- ・子機の電話帳や登録データなどを親機や他の子機にコピーすることはできません。



ワンポイント

■ 電話帳を修正するには

- ① 【通話】が消灯している状態で、▲/▼ で修正する電話帳を表示し、【メニュー/セット】を押す
- ② ▲/▼ で「内容修正」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- ③ 手順 3～5 にしたがって、項目を修正する

■ 電話帳を消去するには

- ① 【通話】が消灯している状態で、▲/▼ で消去する電話帳を表示し、【メニュー/セット】を押す
- ② ▲/▼ で「一件消去」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- ③ ▲/▼ で「はい」を選択し、【メニュー/セット】を押す

■ 「電話帳 メモリ一杯です」と表示された場合は

すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を消去してください。

■ かけた電話番号（発信履歴）を電話帳に登録するには

- ① 待機中【通話】が消灯している状態で ▶ を押す
- ② ▲/▼ で登録する電話番号を表示し、【メニュー/セット】を押す
- ③ ▲/▼ で「電話帳登録」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- ④ 手順 3～5 にしたがって登録する

■ かかってきた電話番号（着信履歴）を電話帳に登録するには

ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、かかってきた相手の電話番号を電話帳に登録することができます (P.103)。

■ 親機の電話帳を子機にコピーするには（電話帳転送）

親機の電話帳データを子機に一括転送できます。このとき、子機に登録されている電話帳データはすべて消去されますのでご注意ください。

- ① 子機で【通話】が消灯している状態で ◀ を押す
- ② ▲/▼ で「転送」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- ③ ▲/▼ で「はい」を選択し、【メニュー/セット】を押す

■ 海外の電話番号を入力するには

「マイライン」「マイラインプラス」の登録状況で電話番号の入力のしかたが異なります。

登録しているとき：

「010」+（国番号）+（相手国内番号）

登録していないとき：

（ご利用になる電話会社の回線選択番号）+「010」+（国番号）+（相手国内番号）

電話をかける

電話番号をダイヤルして電話をかける

親機でかける

- 1 受話器を取る**
発信音（ツー音）を確認します。
- 2 ダイヤルする**
ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます。
- 3 相手が応答したら、話す**
通話時間の目安がディスプレイに表示されます。
話し終わったら受話器を戻します。

STOP お願い

受話器を取ってからかける場合は、ダイヤルする前に必ず発信音（ツー音）を確認してください。発信音が聞こえる前にダイヤルしてしまうと、間違い電話などの原因となります。



お知らせ

- ・【フォト】がポーズになるのはダイヤル時、電話帳登録時、留守録転送設定時およびワンタッチ登録時です。
- ・親機では、ファクスの送信中や子機の通話中には、電話をかけることができません。
- ・携帯通話設定機能（P.62～66）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。



ワンポイント

- オンフック機能を利用してかけるには
【オンフック】を押して発信音（ツー音）を確認してからダイヤルするか、ダイヤルして【オンフック】を押します。相手が出たら受話器を取って話します。
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには
各種サービスにダイヤル後、【*】（トーン）を押します。詳しくは各種サービスの提供元にお問い合わせください。
- 電話がつながりにくい場合は
受話器を取らずにダイヤルし、ポーズが必要なところで【フォト】を押します。番号を入力したら、受話器を取ってください。1回ごとに約1秒の待ち時間が入ります（ディスプレイに「P」と表示されます）。国際電話などで電話がつながりにくいとき、外線発信番号やご利用になる電話会社の回線番号と電話番号の間にポーズを入れるとつながりやすくなります。

子機でかける

- 1 充電器から取る
充電器に置いていないときは【通話】を押します。
発信音（ツー音）を確認します。
- 2 ダイヤルする
- 3 相手が応答したら、話す
話し終わったら充電器に戻します。充電器に置かないときは【切】を押します。

STOP お願い

ダイヤルする前に、必ず発信音（ツー音）を確認してください。発信音が聞こえる前にダイヤルしてしまうと、間違い電話などの原因となります。



お知らせ

- ・子機では、ファクスの送受信中には、電話をかけることができません。



ワンポイント

- 子機を充電器から取らずにかけるには
【通話】を押して発信音（ツー音）を確認してからダイヤルするか、ダイヤルして【通話】を押します。相手が出たら充電器から取って話します。
- 充電器から取っても外線につながらないようにするには
子機を充電器から取った後、【通話】を押さないと外線につながらないように設定することができます（P.61）。
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには
各種サービスにダイヤル後、【*】（トーン）を押します。詳しくは各種サービスの提供元にお問い合わせください。
- 電話がつながりにくい場合は
【切】を押してダイヤルし、ポーズが必要なところで▶を押してから【通話】を押します。1回ごとに約1秒の待ち時間が入ります（ディスプレイに「P」と表示されます）。国際電話などで電話がつながりにくいとき、外線発信番号やご利用になる電話会社の回線番号と電話番号の間にポーズを入れるとつながりやすくなります。なお、ポーズを含めて最大23桁までダイヤルすることができます。

ワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤルの登録方法については、48ページをご覧ください。

- 1 【ワンタッチ 1】 / 【ワンタッチ 2】 / 【ワンタッチ 3】 のいずれかを押す
- 2 受話器を取る
自動的にダイヤルします。

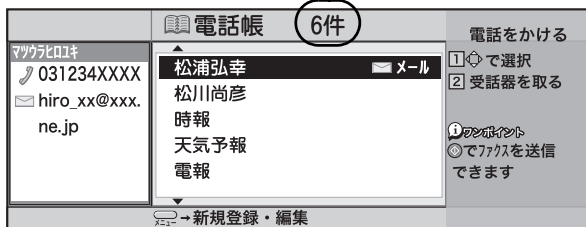
電話帳ダイヤルで電話をかける

親機でかける

電話帳から目的の相手先の名前を選択し、電話をかけます。

◆親機の電話帳画面

現在登録済みの件数



フリガナを基準に、フリガナなし→50音順→アルファベット順→数字順→記号順に表示されます。

- 1 ◀を押し、△/▽でかけたい相手先名を選択する
- 2 受話器を取る
自動的にダイヤルします。

子機でかける

目的の電話帳を選択し、電話をかけます。

◆子機の電話帳画面



▽を押すごとに、読みがなを基準に、読みがななし→50音順→アルファベット順→数字順→記号順に表示される。
△を押すと逆順に表示されます。

- 1 充電器から取る
【通話】が点灯します。
充電器に置いていないときは、手順3へ進みます。
- 2 【切】を押す
【通話】が消灯します。
- 3 △/▽でかけたい相手先を表示させる
- 4 【通話】を押す
表示している電話番号を自動的にダイヤルします。
スピーカホンでかけるときは、【スピーカ】を押します。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

親機で再ダイヤルする

最後にかけた電話番号にかけ直すことができます。

- 1 ▶を押す
親機から最後にかけた電話番号がディスプレイに表示され、自動的にダイヤルします。
- 2 受話器を取る

子機で再ダイヤルする

子機からかけた過去10件分の電話番号が発信履歴として記録されています。

- 1 充電器から取る
【通話】が点灯します。
充電器に置いていないときは、手順3へ進みます。
- 2 【切】を押す
【通話】が消灯します。
- 3 ▶を押す
子機から最後にかけた電話番号がディスプレイに表示されます。
- 4 △/▽を押してかけ直したい電話番号を表示させる
- 5 【通話】を押す

親機にかける・子機にかける (内線通話)

親機と子機、または子機どうして通話ができます。

親機から呼び出す

- 1 ▽を押す
- 2 呼び出す子機の番号【1】～【4】を押す
子機を一台しか登録していない場合は、この手順は不要です。
- 3 子機が応答したら、受話器を取って話す
- 4 終わったら、受話器を戻す

子機から呼び出す

親機を呼び出す

- 1 充電器から取るか、【通話】を押す
【通話】が点灯します。
- 2 【保留／内線】を押す
- 3 ダイヤルボタンで親機番号【0】を押す
親機の呼出音が鳴ります。
- 4 親機が応答したら、話す
- 5 終わったら、子機を充電器に戻すか、【切】を押す

他の子機を呼び出す

- 1 充電器から取るか、【通話】を押す
【通話】が点灯します。
- 2 【保留／内線】を押す
- 3 ダイヤルボタンで呼び出す子機の子機番号【1】～【4】を押す
呼び出された子機の呼出音が鳴ります。
- 4 ディスプレイに「送話モード」と表示されたら、話す
- 5 話し終わったら、【クリア／キャッチ】を押す
ディスプレイに「受話モード」と表示され、相手の話を聞くことができます。
- 6 通話を続けるときは、手順4～5を繰り返す
「送話モード」と表示中の子機で【クリア／キャッチ】を押すたびに、送話／受話が切り替わります。
- 7 終わったら、子機を充電器に戻すか、【切】を押す



お知らせ

- ・原稿がセットされている状態でワンタッチボタンを押すと、すぐにファクス送信をします。
- ・携帯通話設定機能 (P.62～66) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。
- ・子機間通話では、送話側(「送話モード」と表示中の子機)には受話側(「受話モード」と表示中の子機)の声は聞こえません。
- ・子機間通話を続けるには、60秒以内に送話／受話を切り替えてください。最後に切り替えてから60秒が過ぎると、自動的に通話が切れます。
- ・親機の外線着信音量が「消音」に設定されていても、内線の着信音は設定された内線呼出音量で鳴ります。
- ・子機の着信音量が「消音」に設定されていても、内線の着信音は「音量小」で鳴ります。



ワンポイント

■ 親機で相手先をすばやく探すには

◀ を押し、電話帳を表示させてからダイヤルボタンを押すと、各ボタンに対応する「行」に登録されている最初の相手先名が表示されます。

【1】…あ行 【2】…か行 【3】…さ行 【4】…た行 【5】…な行
【6】…は行 【7】…ま行 【8】…や行 【9】…ら行 【0】…わ行

押したボタンの「行」に該当する相手先が登録されていないときは、「ピピピ」と音が鳴ります。

■ 親機で操作を間違えたときは

【ストップ】を押して、操作をやり直してください。

■ 子機で相手先をすばやく探すには

子機で◀ を押し、△/▽で「検索」を選択し、【メニュー/セット】を押してからダイヤルボタンを押すと、ボタンに刻印された「行」に登録されている最初の相手先名が表示されます。

【1】…あ行 【2】…か行 【3】…さ行 【4】…た行 【5】…な行
【6】…は行 【7】…ま行 【8】…や行 【9】…ら行 【0】…わ行

押したボタンの「行」に該当する相手先が登録されていないときは、「ピピピ」と音が鳴ります。

■ 子機で操作を間違えたときは

【切】を押して、操作をやり直してください。

■ 子機の発信履歴の電話番号を電話帳に登録するには

- ① 登録したい電話番号を表示させ、【メニュー/セット】を押す
- ② △/▽で「電話帳登録」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- ③ 名前を入力し、【メニュー/セット】を押す
- ④ 読みを確認し、【メニュー/セット】を押す
- ⑤ 電話番号を確認し、【メニュー/セット】を押す

■ 子機の発信履歴を消去するには

- ① 消去したい電話番号を表示させ、【メニュー/セット】を押す
- ② △/▽で「一件消去」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- ③ △/▽で「はい」を選択し、【メニュー/セット】を押す

■ 子機が応答しないときは

【ストップ】を押すと呼び出しが止まります。

また、80 秒間呼び出ししても子機が応答しないと、自動的に呼び出しを中止します。

■ 親機で内線呼び出し中に外から電話がかかってきたら

内線呼び出しを自動的に中止し、外からの電話の着信音 (P.40) が鳴ります。受話器を取ってお話してください。

■ 内線通話中に外から電話がかかってきたら

受話器から呼出音 (ブルルルル〜) が聞こえますので、いったん受話器を戻して内線通話を切ります。その後、もう一度受話器を取ってお話ください。

■ 親機で子機から呼び出されたら

受話器を取ってお話してください。

■ 呼び出した親機または子機が応答しないときは

【保留/内線】または【切】を押すと呼び出しが止まります。

また、80 秒間呼び出ししても親機または他の子機が応答しないと、自動的に呼び出しを中止します。

■ 子機で内線呼び出し中に外から電話がかかってきたら

内線呼び出しを自動的に中止し、外からの電話の着信音 (P.40) が鳴ります。【通話】を押すと、外線の手と通話できます。

■ 子機どうして通話中に外から電話がかかってきたら

内線通話を自動的に中止し、外からの電話の着信音 (P.40) が鳴ります。【通話】を押すと、外線の手と通話できます。

■ 子機で親機または他の子機から呼び出されたら

充電器から取るか、【通話】を押します。

電話を受ける

かかってきた電話を受ける

親機で受ける

- 1 着信音が鳴ったら、受話器を取る
「電話です」という音声も流れます。ナンバー・ディスプレイを契約されている場合は、電話をかけてきた相手の電話番号（電話帳やワンタッチに登録している場合は名前）が音声で読み上げられます。(P.93)
話し終わったら受話器を戻します。

子機で受ける

- 1 着信音が鳴ったら、充電器から取る
充電器に置いていないときは【通話】を押します。
話し終わったら充電器に戻します。充電器に置かないときは【切】を押します。

キャッチホンを受ける

キャッチホンサービスを利用すると、通話中に別の人から着信があったときにキャッチホン信号が聞こえ、別の人との通話に切り替えることができます。キャッチホンサービスを利用するには、あらかじめ当社との契約（有料）が必要です。

親機で受ける

- 1 通話中にキャッチホン信号が聞こえる
- 2 【消去／キャッチ】を押す
話していた相手は保留状態となり、後からかけてきた相手と通話できます。
- 3 もう一度【消去／キャッチ】を押す
後からかけてきた相手が保留状態となり、先に話していた相手と通話を続けることができます。

子機で受ける

- 1 通話中にキャッチホン信号が聞こえる
- 2 【クリア／キャッチ】を押す
話していた相手は保留状態となり、後からかけてきた相手と通話できます。
- 3 もう一度【クリア／キャッチ】を押す
後からかけてきた相手が保留状態となり、先に話していた相手と通話を続けることができます。

話している相手をお待たせする（保留）

相手をお待たせする間、メロディを流すことができます。

親機で保留にする

- 1 通話中に▽を押す
保留音が流れ、ディスプレイに「保留中」と表示されます。
受話器を戻しても電話は切れません。
- 2 再び相手と話すときは▽を押す
受話器が戻してあるときは、受話器を取るとそのまま話せます。

子機で保留にする

- 1 通話中に【保留／内線】を押す
保留音が流れます。
充電器に戻しても電話は切れません。
- 2 再び相手と話すときは【保留／内線】を押す
子機を充電器に戻してあるときは、充電器から取るとそのまま話せます。

親機や子機に転送する（保留転送）

外線の相手との電話を、親機または子機に取りつぐことができます。

親機から転送する

電話を親機から子機へ転送します。

- 1 通話中に▽を押す
外線の相手には、保留音が流れます。
- 2 ダイヤルボタンで子機番号【1】を押す
増設子機を登録している場合は、ダイヤルボタンで呼び出す子機の子機番号【1】～【4】を押してください。
呼び出された子機の呼出音が鳴ります。
- 3 子機が応答したら、子機と話をする
内線通話で、外線を転送することを伝えます。
- 4 受話器を戻す
子機と外線がつながります。

子機から転送する

電話を子機から親機へ、または増設している他の子機へ転送します。

- 1 通話中に【保留/内線】を押す
外線の相手には、保留音が流れます。
- 2 ダイヤルボタンで親機番号【0】を押す
増設子機を登録している場合は、ダイヤルボタンで呼び出す子機の子機番号【1】～【4】を押してください。
呼び出された親機または子機の呼出音が鳴ります。

- 3 呼び出された親機または子機が応答したら、話をする
内線通話で、外線を転送することを伝えます。
内線通話のしかたについては、55 ページをご覧ください。

転送するときは

- 4 充電器に戻すか、【切】を押す
親機または他の子機と外線がつながります。

転送しないときは

- 4 【通話】を押す
再び外線の相手との通話に戻ります。



お知らせ

- ・親機では、ファクスの送受信中や子機の外線通話中には、電話を受けることができません。
- ・ワンタッチボタンや電話帳に登録をしていない相手で、ネーム・ディスプレイの契約をしている場合は、ネーム・ディスプレイの名前を読み上げます。このとき、正しく名前が読み上げられない場合があります。
- ・「着信相手読上げ」を「しない」に設定し、電話番号（または名前）の音声読み上げをやめることもできます（P.159）。
- ・子機では、ファクスの送受信中および親機の外線通話中には、電話を受けることができません。
- ・通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れて元の相手との通話に戻れなくなります。
- ・キャッチホンとは別にキャッチホン・ディスプレイをご契約の場合は、手順 1 で相手の電話番号などが表示されます。
- ・キャッチホンサービスを利用するには、当社との契約（有料）が必要です。
- ・ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承ください。
- ・キャッチホン II サービスをご利用になり、割り込み回数を「0 回」に設定していただくとファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
- ・通話中にキャッチホンが入ったときは、必ず【消去/キャッチ】（子機では【クリア/キャッチ】）を押して切り替えてください。
他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。
- ・通話中にキャッチホンサービスにより割り込んだ相手がファクスの場合は「ポーポー」という音が聞こえてもらくらくファクス機能（P.90）ははたらきません。
ファクスを受信する場合は、手動受信の操作（【スタート/コピー】（親機）、【文字/ファクス】（子機））を行ってください。ただし、ファクス受信を開始してしまうと元の相手との通話に戻れなくなってしまいますので、もう一度【消去/キャッチ】（子機では【クリア/キャッチ】）を押して元の相手との通話を終了してから、手動受信の操作を行うことをおすすめします。
ファクス受信を完了すると回線は切断されます。
なお手動受信の操作を行わなかった場合は、ファクスを送った相手は通信エラーになります。また続けてファクスが送られてくるのが考えられますので、早めにお話しを終わられることをおすすめします。
- ・Lモードゲートウェイに接続しているときに、キャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり、切断されることがあります。
- ・キャッチホンが入っていないときに【消去/キャッチ】を押すと、通話が切れてしまうことがあります。
- ・親機で約 10 分以上保留にしたままにすると、電話が自動的に切れます。
- ・子機を保留にしてから子機を充電器に戻すか【切】を押した後、約 10 分以上保留にしたままにすると、電話が自動的に切れます。充電器に戻さず【切】も押さない場合、約 10 分を過ぎても保留中のままです。
- ・80 秒間呼び出しても子機が応答しないと、自動的に呼び出しを中止し、再び外線の相手と通話することができます。
- ・内線通話中に子機で【切】を押すと、親機と外線の相手との通話に戻ります。
- ・子機間で通話できるのは 60 秒までです。60 秒が過ぎると、自動的に呼び出された子機が外線通話につながります。
- ・60 秒以内に送話側で【クリア/キャッチ】を押して送話/受話を切り替えると、子機間通話を続けることができます。



ワンポイント

■ 電話に出なかった場合は

電話に出なかった場合は、設定された時間 (P.88) だけ着信音が鳴った後、電話がつながって相手に応答メッセージを流すことができます。詳しくは 88 ページをご覧ください。

■ かかってきた電話の着信日時を確認するには

待機画面表示中に **▶** を 2 回押すと、最新 30 件まで着信履歴が表示されます。**▲** / **▼** で確認したい着信履歴を選んで【メニュー】を押し、**▲** / **▼** で「詳細を見る」を選んで【L / セット】を押すと、着信日時を確認することができます。ナンバー・ディスプレイを契約されている場合は、着信日時の他に相手の電話番号や名前も確認することができます (P.95)。

■ 充電器から取っても外線につながらないようにするには

子機を充電器から取った後、【通話】を押さないと外線につながらないように設定することができます (P.61)。

■ 親機で保留後、子機で話すには

保留中に親機の受話器を戻した後、子機を充電器から取ります。充電器に置いていないときは、【通話】を押します。

■ 子機で保留後、親機で話すには

保留中に子機を充電器に戻すか、【切】を押した後、親機の受話器を取ります。

■ 子機で保留後、他の子機で話すには

増設子機を登録している場合は、保留中に子機を充電器に戻すか、【切】を押した後、他の子機を充電器から取ります。充電器に置いていないときは、【通話】を押します。

■ 子機の応答がないときは

もう一度 **▼** を押すと、呼び出しを中止し、再び外線の相手と通話することができます。

■ 親機で子機から呼び出されたら

受話器を取ってお話してください。

■ 呼び出した親機または子機の応答がないときは

【保留 / 内線】または【通話】を押すと、再び外線の相手と通話することができます。

■ 子機で親機または他の子機から呼び出されたら

充電器から取るか、【通話】を押します。

便利な子機の設定

子機を持たずに話をする (スピーカホン)

子機を持たずに相手と話ができます。

スピーカホンで電話をかける

- 1 【スピーカ】を押す
- 2 ダイヤルして話す
送話口から 50cm 以内の距離で話してください。
- 3 終わったら、【切】を押す

スピーカホンで電話を受ける

- 1 着信音が鳴ったら、【スピーカ】を押す
- 2 話す
送話口から 50cm 以内の距離で話してください。
- 3 終わったら、【切】を押す

STOP お願い

- ・送話口の前には、物を置かないでください。
- ・送話口を手でおおわないでください。「ピー」と鳴ることがあります。



お知らせ

- ・【スピーカ】を押して電話に出たとき、約 3 秒間はこちらの声が相手に聞こえにくい場合があります。
- ・通話中に充電器に戻すと、電話が切れてしまいます。
- ・携帯通話設定機能 (P.62 ~ 66) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。
- ・スピーカホンでダイヤル中に、ダイヤル音が聞こえない場合があります。




ワンポイント

- 通常の通話中にスピーカホン通話に切り替えるには
【スピーカ】を押します。
- スピーカホン通話中に通常の通話に切り替えるには
充電器に置いてあるときは、充電器から取ります。充電器に置いていないときは【スピーカ】を押します。
- 相手の声 (スピーカ) の音量を調節するには
通話中に ▲ / ▼ で押します。

優先呼出を設定する

特定の子機や親機の着信音を約 20 秒、先に鳴らすことができます。設定は親機で行います。

(お買い上げ時の設定は「しない」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「優先呼出」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 Δ/∇ で「優先機」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ で先に着信音を鳴らしたい子機や親機を選択し、【L / セット】を押す
- 7 【スタート / コピー】を押し登録する

クイック通話を設定する

子機を充電器から取るとすぐに外線につながる機能を設定します。設定は子機で行います。

(お買い上げ時の設定は「ON」になっています。)

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー / セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「便利設定」を選択し、【メニュー / セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「クイック通話」を選択し、【メニュー / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「ON」または「OFF」を選択し、【メニュー / セット】を押す



お知らせ

- ・「OFF」に設定すると、子機を充電器から取っても通話状態になりません。電話をかけたり受けたりするときは、【通話】を押してください。

固定電話から携帯電話へのサービスを利用する

固定電話から携帯電話への通話サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです。

(例) NTT 西日本のサービスを利用する場合

0039 - 090 - x x x x - x x x x

事業者識別番号 携帯電話番号

携帯通話設定とは

本商品の「携帯通話設定」(P.63)を設定すると、本商品から携帯電話に電話をかける際、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。

携帯通話設定を利用する

携帯通話設定を「NTT 西日本 (0039)」または「その他事業者」に設定しておくこと、本商品から携帯電話に電話をかける際、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルします。携帯通話設定を利用する場合は、必ず設定してください。お買い上げ時は「設定しない(解除)」の設定になっています。親機で設定すると、親機と子機で携帯通話設定の機能を利用することができます。


- 次の場合でも携帯通話設定をご利用になれます。
 - ・ 再ダイヤル (P.54) からかけ直すとき
 - ・ 電話帳 (P.49)、ワンタッチ (P.48) からかけるとき
 - ・ 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)をつけてかけたとき
 - ・ 留守録転送先を呼出するとき (P.76) ※ 1
 - ・ 着信履歴からかけ直すとき (P.101) ※ 2
 - ・ PHONE TO 機能でかけるとき (P.123) ※ 3
- ※ 1…留守録転送ご利用時
※ 2…ナンバー・ディスプレイご利用時
※ 3…Lモードご利用時




お知らせ

- ・ 「ひかり電話」サービスをご利用になる場合は、「携帯通話設定」を「設定しない(解除)」に設定してください。事業者を選択した場合は、携帯電話へのダイヤル発信ができなくなります。
- ・ IP電話サービスをご利用の場合でも、本機能の設定により、固定電話網経由で電話をかけることができます。
- ・ 通話先・通話時間や発信事業者の料金プランなどによっては、料金が異なります。各固定電話事業者へお問い合わせください。
- ・ PHS への通話をご利用いただけません。携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけない場合があります。
- ・ 携帯通話設定をご利用になるときは、携帯電話番号の前に、事業者識別番号や加入電話選択番号 (P.62、64) をダイヤルしないでください。電話がかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。
- ・ 携帯通話設定機能 (P.62～66) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。
- ・ 携帯通話設定は、携帯電話への発信のみに動作します。携帯電話以外の通話をご利用できません。
- ・ 通話先・通話時間や発信事業者の料金プランなどによっては、一部お安くならない場合があります。

携帯通話設定 (NTT 西日本) を設定/解除するには

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「初期設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「携帯通話設定変更」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L /セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す
- 6 Δ/∇ で「1 NTT 西日本」を選択し、【L /セット】を押す
解除する場合は、「設定しない」を選択します。「携帯通話設定解除しました」と表示され、設定が解除されます。
- 7 Δ/∇ で「1 IP 電話を利用している」 / 「2 IP 電話を利用していない」のいずれかを選択し、【L /セット】を押す
IP 電話サービスを契約している場合は「IP 電話を利用している」を選択し、手順8へ進みます。「IP 電話を利用していない」を選択した場合は、手順9へ進みます。
- 8 加入電話選択番号を入力し、【L /セット】を押す
NTT 西日本が提供している VoIP 機器 (ルータなど) を利用されている場合は、加入電話選択番号 (P.64) へは「0000」(お買い上げ時の設定) を登録してください。
- 9 登録内容を確認し、【L /セット】を押す
【戻る/インク交換2秒】を押すと、登録し直すことができます。

携帯通話設定 (その他事業者) を設定/解除するには

- 1 「携帯通話設定 (NTT 西日本) を設定/解除する」(左記) の手順1~4の操作をする 
- 2 Δ/∇ で「2 その他事業者」を選択し、【L /セット】を押す
解除する場合は、「設定しない」を選択します。「携帯通話設定解除しました」と表示され、設定が解除されます。ただし、登録した事業者識別番号は保持されています。
- 3 事業者識別番号の3桁目以降の番号を入力し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「1 IP 電話を利用している」 / 「2 IP 電話を利用していない」のいずれかを選択し、【L /セット】を押す
IP 電話サービスを契約している場合は「IP 電話を利用している」を選択し、手順5へ進みます。「IP 電話を利用していない」を選択した場合は、手順6へ進みます。
- 5 加入電話選択番号を入力し、【L /セット】を押す
加入電話選択番号については「加入電話選択番号一覧表」(P.64) をご覧ください。
- 6 登録内容を確認し、【L /セット】を押す
【戻る/インク交換2秒】を押すと、登録し直すことができます。



お知らせ

- ・「ひかり電話」サービスをご利用になる場合は、「携帯通話設定」を「設定しない (解除)」に設定してください。事業者を選択した場合は、携帯電話へのダイヤル発信ができなくなります。



ワンポイント

■ 加入電話選択番号とは

IP 電話サービスをご契約時に、IP 電話サービスを利用せずに電話をかけるための番号です (P.64)。

■ 加入電話選択番号一覧表

IP 電話サービスをご利用されているお客様が携帯通話設定機能 (P.62) を利用する場合、携帯電話へ発信する際に、自動的に IP 電話サービスを解除するために、下記の加入電話選択番号を登録してください (下記以外の事業者が提供する IP 電話番号の加入電話選択番号に関しては、直接、IP 電話サービス事業者にご確認ください)。

事業者名	愛称	加入電話選択番号
フレッツ対応プロバイダ (例：ぶららネットワークス)	～ for フレッツ (例：ぶららフォン for フレッツ)	0000
NTT コミュニケーションズ	OCN ドットフォン	
NTT - ME	WAKWAK フォン	
NTT PC コミュニケーションズ	InfoSphere IP プラストーク	
BB テクノロジー	BB フォン	
フュージョン・コミュニケーションズ	FUSION IP-Phone	
ケイ・オブティコム	eo-net フォン	
九州通信ネットワーク	BBIQ フォン	
長野県協同電算	JANIS フォン	
日本テレコム	ODN IP フォン	
KDDI	KDDI-IP 電話	0000 0009
アットネットホーム	ケーブルトーク	0009 9
中部テレコミュニケーション	はなしてフォン	0009
東北インテリジェント通信	@nifty フォン - K	
パワードコム	POINT Phone select	
STNet	@nifty フォン - K	
ケーブルテレビ富山	け～ふるふおん富山	9
KMN	catphone	
シーテック	CCNet ケーブルフォン	
ZTV	Z-PHONE	
ジャパンケーブルネット	JCNetPHONE	

(2005 年 10 月現在)



お知らせ

- ・ IP 電話サービスを契約している場合は、携帯通話設定画面で、設定する事業者 (NTT 西日本を推奨) を選択した際に、必ず IP 電話利用有無設定で「IP 電話を利用している」を選択してください。
※ IP 電話サービスを契約していない場合は、IP 電話利用有無設定で「IP 電話を利用していない」を選択してください。
- ・ IP 電話利用有無設定で「IP 電話を利用している」を選択した場合、必ず加入電話選択番号を登録してください。
※ NTT 西日本が提供している IP 電話サービスを利用されている場合は、加入電話選択番号は「0000」(お買い上げ時の設定) を登録してください。
※ ご契約の IP 電話サービスによって加入電話選択番号は異なりますので、加入電話選択番号が不明な場合は、契約している IP 電話サービス事業者へご確認ください (P.64)。
- ・ 加入電話を利用して通話される場合は、「携帯通話設定」を解除してからおかけください。
※ 「IP 電話を利用している」と「携帯通話設定」を同時に設定している場合、加入者電話選択番号「0000」をダイヤルしても加入電話を選択して通話することができない場合があります。
- ・ 携帯通話設定画面で、「NTT 西日本」を選択した場合、当社サービス提供エリア (富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県) 以外では利用できませんので、当社サービス提供エリア以外の地域で利用される場合は、「その他事業者」を選択してください。
- ・ 事業者識別番号設定に、市外局番や存在しない事業者識別番号などを設定すると、相手につながりません。
- ・ ホームテレホンや構内交換機 (PBX) に接続した場合は、携帯通話設定を「設定しない (解除)」に設定してください。
- ・ ひかり電話を廃止された場合、通常携帯通話設定は解除されています。携帯通話設定をご利用になる場合は、「携帯通話設定」を「設定する」にセットしてください。
- ・ 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などには、「0000」(携帯通話設定解除番号) をつけてダイヤルしてください。その通話に限り、携帯通話設定機能を利用せずに電話をかけることができます。
- ・ 携帯通話設定を利用していると、再ダイヤルに事業者識別番号や加入電話選択番号は記録されません。
- ・ その他事業者のサービス内容、および通話料金については、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- ・ その他事業者の事業者識別番号は、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- ・ 設定の途中で設定動作を中断した場合は、設定変更内容は反映されません。

■ 携帯通話設定を利用したダイヤル方法

- ・ IP 電話サービスを利用されていないお客様
 (25 ページの手順 3、63 ページ「携帯通話設定 (NTT 西日本) を設定/解除するには」の手順 6、または 63 ページ「携帯通話設定 (その他事業者) を設定/解除するには」の手順 4 で「IP 電話を利用していない」を選択した場合)

携帯通話設定を利用して発信する場合	携帯電話番号をダイヤルします。登録した事業者識別番号が自動的に付加されます。 090 - XXXX - XXXX または 080 - XXXX - XXXX (親機の【オンフック】が点滅します。携帯通話設定の機能がはたらいけないときは【オンフック】は点滅しません。)
一時的に携帯通話設定を解除して発信する場合	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号(「0000」)をつけてダイヤルします。 0000 - 090 - XXXX - XXXX または 0000 - 080 - XXXX - XXXX ↓ ↓ ↓ ↓ 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号

- ・ IP 電話サービスを利用されているお客様
 (25 ページの手順 3、63 ページ「携帯通話設定 (NTT 西日本) を設定/解除するには」の手順 6、または 63 ページ「携帯通話設定 (その他事業者) を設定/解除するには」の手順 4 で「IP 電話を利用している」を選択した場合)

携帯通話設定を利用して発信する場合	携帯電話番号をダイヤルします。登録した事業者識別番号と加入電話選択番号が自動的に付加されます。 090 - XXXX - XXXX または 080 - XXXX - XXXX (親機の【オンフック】が点滅します。携帯通話設定の機能がはたらいけないときは【オンフック】は点滅しません。)
一時的に携帯通話設定を解除して IP 電話網経由で発信する場合	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号(「0000」)をつけてダイヤルします。*1 0000 - 090 - XXXX - XXXX または 0000 - 080 - XXXX - XXXX ↓ ↓ ↓ ↓ 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号
一時的に携帯通話設定を解除して加入電話網経由で発信する場合	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号(「0000」)と加入電話選択番号*2(「0000」)をつけてダイヤルします。*3 0000 - 0000 - 090 - XXXX - XXXX または 0000 - 0000 - 080 - XXXX - XXXX ↓ ↓ ↓ ↓ 携帯通話設定解除番号 加入電話選択番号*2 携帯通話設定解除番号 加入電話選択番号*2

*1 携帯通話設定解除番号(「0000」)と加入電話選択番号(「0000」)が同一の場合は、携帯通話設定解除番号を優先します。
 *2 加入電話選択番号の「0000」は例です。ご利用の IP 電話サービスに合わせてダイヤルしてください。
 *3 加入電話選択番号の後にポーズ(3秒)を入力しないと、相手につながらない場合があります。



お知らせ

- ・ 停電時、携帯通話設定は利用できません。
- ・ 携帯通話設定を「NTT 西日本 (0039)」に設定して、通話できる回線の種類は、NTT 西日本サービス提供エリア内(富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県)の加入電話、加入電話・ライトプラン、INS ネット 64、INS ネット 64・ライト、INS ネット 1500 となります。
- ・ 携帯通話設定を設定した場合でも、「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルすると、その通話に限り、携帯通話設定を利用せずに電話をかけることができます。
- ・ 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など、一部ご利用いただけない番号があります。この場合は「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルしてください。
- ・ IP 電話サービスをご利用時、接続する VoIP 機器(ルータなど)の状態によっては、携帯通話設定が正しく動作しない場合があります。
- ・ 携帯通話設定の機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤルが聞こえない場合があります。これは本商品が事業者識別番号の付与判定を行っているためであり、故障ではありません。
- ・ 電話をかけるとき、「ツー」音が聞こえてから約 18 秒以内に携帯電話番号の最初の「090」または「080」と次の 1 桁をダイヤルしないと、本機能ははたらかません。
- ・ 携帯通話設定は、電話をかけるときに有効な機能ですが、お話し中に親機の【消去/キャッチ】、または子機の【クリア/キャッチ】を利用して電話をかけるとき(トリオホンご利用時など)には、携帯通話設定の機能は動作しません。
- ・ PHS への通話をご利用いただけません。

携帯番号帯設定を行う


以下の操作は、携帯番号帯が追加・変更されたとき以外は行わないでください。2005年10月現在、この操作を行う必要はありません。

携帯番号帯とは

「080」「090」で始まる携帯電話番号の上位4桁のことです。

お買い上げ時は、あらかじめ携帯番号帯が18件設定されています。最大30件まで設定することができます。


携帯番号帯を設定するには

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「初期設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「携帯通話設定変更」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L /セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す
- 6 【メニュー】を押す
「携帯番号帯リスト」設定画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で登録する番号を選択し、【L /セット】を押す
- 8 携帯番号帯を入力し、【L /セット】を押す
登録済みの番号を入力した場合は、「登録されています」と表示されたあと、携帯番号帯リスト画面に戻ります。再度登録し直してください。

携帯番号帯を確認するには

- 1 「携帯番号帯を設定するには」(左記)の手順1～6の操作をする
- 2 Δ/∇ で登録されている携帯番号帯を確認する

携帯番号帯を消去するには

- 1 「携帯番号帯を設定するには」(左記)の手順1～6の操作をする 
- 2 Δ/∇ で消去する携帯番号帯を選択し、【消去/キャッチ】を押す
- 3 $\triangleleft/\triangleright$ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
「いいえ」を選択し、【L /セット】を押すと、携帯番号帯リスト画面に戻ります。



お知らせ

- ・すでに設定されている携帯番号帯を、誤って設定・消去すると、その携帯番号帯に電話をかけるときに携帯通話設定が利用できなくなります。
- ・PHS(「070」で始まる電話番号)や、市外局番、事業者識別番号など携帯電話番号以外の番号は設定しないでください。

留守番電話

留守モードを使う

留守モードをセットする

外出したり電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。ファクスが送られてきた場合には、自動的に受信します。

- 1 【留守/おやすみ (2 秒)】 を押す
【留守/おやすみ (2 秒)】 が点灯し、「留守録セットしました」と表示されます。

留守モードがセットされていると

お買い上げ時の設定では、留守モードにセットしているときに電話がかかってくると、相手に次のような応答メッセージが流れます。

「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音の後に名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」このメッセージは「自作応答メッセージ」(P.73)で変更することができます。

メッセージが流れた後、本商品が自動的に相手の用件を録音したり、ファクスを受信したりします。用件録音中は相手の声がスピーカから聞こえます。ファクスが送信されてきたときは自動的に受信します。



お知らせ

- ・留守モードを設定した場合、かかってきた電話の用件録音中に受話器を取ると、その電話に出て通話することができます。その場合、子機の着信音を消音に設定していると、用件録音中であることに気がつかず電話に出てしまうこともありますのでご注意ください。



ワンポイント

■ 録音件数と録音時間について

- 録音件数は、最大 30 件、1 件につき最大約 3 分、合計で約 20 分録音できます。ただし、自作応答メッセージが録音されている場合は、用件を録音できる件数が 1 件少なくなります (P.73)。
- 1 件の最大録音時間である 3 分を経過した時点で録音は終了され、待機状態に戻ります。
- 留守モードにセットして次のようなメッセージが流れるときは、不要な用件やファクスを消去してください (P.69、70、73、87、161)。
 - ・「メモリがもうすぐいっぱいです。不要なメッセージ、ファクスを消去してください。」(残り件数 3 件以下または、残り時間約 3 分以下になったとき)
 - ・「メモリがいっぱいです。不要なメッセージ、ファクスを消去してください。」(残り件数か残り時間がなく、用件を録音できないとき)
- メモリはファクス受信メモリと共用するため、録音時間が 20 分未満になることがあります。

■ メモリがいっぱいのときは

- メモリが足りなくて用件の録音やファクスの受信ができないときは、応答メッセージが自動的に切り替わります。
- ファクスの受信ができない場合のメッセージ
「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音の後に名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は、恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
 - 用件の録音もファクスの受信もできない場合のメッセージ
「ただいま留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」

留守モードを解除する

留守モード中に新しい用件が録音されているときは、【留守／おやすみ（2 秒）】および新着ランプが点滅し、ディスプレイ左端のアイコンのまわりに回転するリングが表示され、用件数表示が変わります。

1 【留守／おやすみ（2 秒）】を押す

【留守／おやすみ（2 秒）】が消灯し、「留守録を解除しました」と表示されます。

新しい用件があったときは、自動的に新しい用件の再生がはじまります。



お知らせ

- 待機画面のディスプレイ左端に表示される用件数は、すでに再生済みの用件も含めてメモリに残っているすべての用件数を示しています。



ワンポイント

- **新着の留守録があるときは**
画面上の留守録アイコンのまわりが光り、新着ランプが光ります。
- **留守モード中に新しい用件がなかった場合は**
留守モードを解除したときに、「新しい留守録はありません」と音声ガイダンスが流れます。
- **用件の再生中にできる操作**
69 ページ、70 ページをご覧ください。

用件を再生する

録音されているすべての用件を、古いものから順に再生します。

1 【再生】を押す

用件が古いものから順に再生されます。
録音した日時を音声で読み上げます。

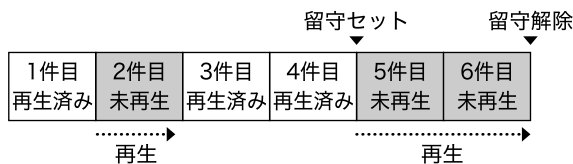
「留守モード解除」と「再生」の違い

【再生】を押すと、すべての用件が再生されます。これに対して留守モードを解除した場合は、未再生の用件のみが再生されます。

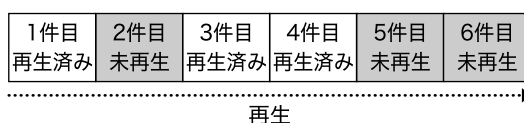
用件を再生中、ディスプレイの表示は次のようになります。



例)すでに4件の用件があり、そのうちの2件目が未再生だとします。この状態で留守モードをセットした後、さらに2件の用件の録音があった場合、留守モードを解除すると「2件目」→「5件目」→「6件目」の順で再生されます。



例)6件の用件があり、そのうちの3件が未再生だとします。この状態で【再生】を押すと、1件目から6件目までのすべての用件が再生されます。



お知らせ

- 留守モードを解除した後に【留守/おやすみ (2秒)】が点滅する場合は、未再生の用件が残っています。
- 停電復帰後や、電源プラグを抜いた後再び電源を入れたときには、強制的に留守モードになります (P.178)。



ワンポイント

■ 用件の再生中にできる操作

▷ ボタンを押す	次の用件を再生する
◁ ボタンを押す	現在再生中の用件を最初から再生する
◁ ボタンを2回押す	前の用件を再生する。◁ ボタンを押した回数だけ前の用件に戻って聞くことができる
【ストップ】を押す	再生を途中でやめる
△ を押す	音量を調節する
【消去/キャッチ】を押す	再生中の用件を消去する。消去を中止するときは◁ / ▷ で「いいえ」を選択し、【L / セット】を押す

■ すべての用件を消去するには

「メモリに保存されている内容を一括消去する」(P.161)をご覧ください。

■ 相手が留守番電話に録音中には

- スピーカから相手の声が聞こえます。
- 受話器を取ると通話に切り替わります。
- 【オンフック】を押すと、通話に切り替わりますが、スピーカから相手の声が聞こえるだけで、こちらの声は相手に聞こえません。
- 子機の【通話】を押すか、子機を充電器から取り上げると、子機での通話に切り替わります。
- 親機または子機での通話に切り替えた場合でも、それまでに録音された内容は消去されません。

子機から操作する（内線リモート操作）

留守モードのセットや解除、用件の再生が子機からもできます。

留守モードをセット／解除する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「留守電操作」を選択し、【メニュー／セット】を押す

セットするとき

- 3 Δ/∇ で「留守セット」を選択し、【メニュー／セット】を押す
留守モードがセットされます。
- 4 【切】を押す

解除するとき

- 3 Δ/∇ で「留守解除」を選択し、【メニュー／セット】を押す
留守モードが解除されます。未再生の用件がある場合は、自動的に用件再生画面が表示されます。
- 4 【切】を押す

用件を再生する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「留守電操作」を選択し、【メニュー／セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「用件再生」を選択し、【メニュー／セット】を押す
用件の再生がはじまります。用件はスピーカから聞こえます。



お知らせ

- ・動作終了後、30秒間操作が行われない場合は、待機状態に戻ります。
- ・内線リモート操作中に電話がかかってきた場合は、内線リモートは終了されます。



ワンポイント

■ 用件の再生中にできる操作

[1] を押す	現在再生中の用件を最初から再生する
[1] を2回押す	1つ前の用件を再生する
[3] を押す	次の用件を再生する
【クリア／キャッチ】を押す	再生中の用件を消去する
【切】を押す	再生を途中でやめる
Δ/∇ を押す	音量を調節する

- すべての用件を消去するには
すべての用件の再生終了後に、【クリア／キャッチ】を2回押します。
- もう一度再生するには
【切】を押して内線リモート操作をやり直してください。

おやすみモードを使う

電話がかかってきても着信音を鳴らさずに留守応答します。また、ファクスの場合はメモリ受信します。着信音で起こされたくない場合などに便利です。親機の待機画面からのみ設定・解除できます。

おやすみモードをセットする

- 1 【留守／おやすみ（2秒）】を約2秒間押す
おやすみモード画面に切り替わります。

おやすみモードを解除する

おやすみモード・留守モードともに解除する

- 1 【留守／おやすみ（2秒）】を押す
【留守／おやすみ（2秒）】が消灯します。【留守／おやすみ（2秒）】が点滅していたときは、未再生の用件が再生されます。

おやすみモードのみ解除する

- 1 【留守／おやすみ（2秒）】を約2秒間押す
「おやすみモードを解除しました」と表示され、通常の留守モードになります。



お知らせ

- ・おやすみモードにセットしているときは、留守録転送（P.76）ができません。留守録転送したい場合は、おやすみモードを一度解除してから留守モードにセットしてください。
- ・おやすみモードにセットしているときは、電話やファクスの着信音や応答メッセージ、相手の声が本体スピーカーから聞こえません。
- ・おやすみモードにセットしているときでも、ドアホンからの呼出音（P.154）と内線呼出音は鳴ります。



ワンポイント


■ おやすみモード中にファクスを受信したときは

おやすみモード中に受信したファクスは、記録紙がセットされていても印刷されずにメモリに保存されます。新しい受信ファクスがメモリに保存されると、新着ランプが点滅し、ディスプレイに「新着ファクスがあります」と表示されます（P.85）。

おやすみタイマーを設定する

親機でおやすみタイマーを設定すると、毎日決まった時間におやすみモードになり、終了時間になると解除されます。

(お買い上げ時の設定は「しない」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「留守番電話」をタッチする
- 3 Δ/∇ で「おやすみタイマー設定」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 Δ/∇ で「タイマー」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 【0】～【9】を押して開始時刻を入力する
1桁の数字は0から入力します。
時刻は24時間制で入力します。
- 7 ∇ を押す
- 8 【0】～【9】を押して終了時刻を入力し、【L / セット】を押す
1桁の数字は0から入力します。
時刻は24時間制で入力します。
- 9 【スタート/コピー】を押す



お知らせ

- ・留守番電話を一日中ONにし、就寝時間だけおやすみモードにすることができます。
- ・手動の操作は常におやすみタイマーよりも優先されます。




ワンポイント

- おやすみタイマーをやめるには
手順4で「しない」を選択し、【L / セット】を押します。
- おやすみタイマーの時刻を変えるには
手順6または手順8で、変更したい数字にカーソルを合わせ、入力し直します。

自作応答メッセージを録音する

自作応答メッセージをセットすると電話がかかってきた時に、自分の声で留守応答することができます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「留守番電話」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「応答メッセージ録音」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート / コピー】を押す
- 6 Δ/∇ で「録音」を選択して【L / セット】を押し、画面上の指示にしたがって、受話器を取る
- 7 【L / セット】を押し、「ピーツ」という音の後に応答メッセージを受話器に向かって話す
最大 40 秒間録音できます。
- 8 録音が終わったら、【L / セット】を押す
- 9 受話器を戻して、【戻る / インク交換 (2 秒)】を押し、操作を終了する



お知らせ

- ・自作応答メッセージが 3 秒以内の場合は、手順 9 で「やり直して下さい」と表示されます。
メモリ残量が少なくなると応答メッセージを録音することができなくなります。不要な用件やファクスなどを消去してください (P.69、70、73、87、161)。
- ・メモリが足りなくて用件の録音やファクスの受信ができないときは、応答メッセージが自動的に切り替わります。
 - ・ファクスの受信のみができない場合のメッセージ
「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音の後に名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は、恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
 - ・用件の録音もファクスの受信もできない場合のメッセージ
「ただいま留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
- ・すでに自作応答メッセージが録音されている場合、上書き録音されます。



ワンポイント

- 応答メッセージを切り替えるには
【留守 / おやすみ (2 秒)】を押して応答メッセージが再生されているときに $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「自作」を選択すると自作応答メッセージ (自分で録音したメッセージ) と固定メッセージ (お買い上げ時にあらかじめ録音されているメッセージ) を切り替えることができます。
- 録音してある応答メッセージを確認するには
手順 5 の後、 Δ/∇ で「再生」を選択して【L / セット】を押します。
- 手順 6 で「入れ替えしますか?」と表示されたときは
すでに自作応答メッセージが録音されています。新しいメッセージに変更したい場合は、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「はい」を選択します。入れ替えをしない場合は、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「いいえ」を選択し、【L / セット】を押してください。
- 録音してある応答メッセージを消去するには
手順 5 の後、 Δ/∇ で「消去」を選択し、【L / セット】を押します。「消去しますか?」と表示されますので、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「はい」を選択し、【L / セット】を押してください。消去しない場合は、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で「いいえ」を選択して、【L / セット】を押してください。

外出先から操作する（外線リモート操作）

外出先から用件を聞いたり、留守モードをセットすることができます。外線リモート操作できるのはプッシュ回線の電話機か、トーン（プッシュ）信号の出せる電話機からのみです。

- 1 外出先から自宅に電話をかける
- 2 応答メッセージが流れている間に **[#]** を押す
トーン信号に切り替える電話機から操作するとき
は、**[#]** を押す前にトーン信号に切り替えてく
ださい。
- 3 「暗証番号を入れてください」というメッセ
ージが流れ終わったら、暗証番号（4桁の数字）
を入力する
お買い上げ時は「1234」に設定されています。独
自の暗証番号に変更することをおすすめします
（P.76）。
暗証番号を2回間違えると電話は切れます。
- 4 「操作番号を入れてください」というメッセ
ージが流れたら、操作番号を入力する
ダイヤルボタンを押して操作番号を入力します。
（次ページの表「外線リモートでできる操作」参照）
- 5 操作が終わったら、**[9] [#]** を押す
- 6 電話を切る



お知らせ

- ・未再生の用件がある場合は、手順4で「新しい留守録は〇〇件です。操作番号を入れてください」というメッセージが流れます。
- ・本商品が操作待ちの状態、20秒間何も操作をしないと回線が切断されます。
- ・手順5の**[9] [#]**を押さずに電話を切ると、20秒間話し中の状態になったあと待機状態に戻ります。



ワンポイント

- あらかじめ留守モードにセットされている場合は
トールセーバーを「する」に設定しておくと、手順1で電話をかけたとき、応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数で、未再生の用件の有無がわかります（P.78）。

外線リモートでできる操作

外出時などには、205 ページのリモート操作早見表をご活用ください。

用件を聞く		2 #
再生中にできること	次の用件を聞く	6
	再生中の用件を最初から聞く	4
	1つ前の用件を聞く	4 4
	再生を途中で止める	5 #
	今聞いている用件を消去する	0 #
	再生速度を変える	2 #
留守モードのセット/解除		1 #
留守録転送のセット/解除		7 #
すべての用件を消去する		0 0 #
外線リモート操作終了		9 #




お知らせ

- ・ 自動車電話や携帯電話からは、正しく操作できないことがあります。
- ・ 古い用件から順に再生します。
- ・ 転送先の電話番号が登録されていない場合は、外線リモート操作で留守録転送をセットすることはできません。
- ・ 外線リモートで留守録を再生しても、再生済とはなりません。ただし、その後の留守録転送の対象にはなりません。
- ・ 留守モードがセットされていて、トールセーバー (P.78) が「する」に設定されている場合は手順 2 で、応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数で新しい用件の有無がわかります。
2 回：未再生の用件があります。
5 回：未再生の用件はありません。
- ・ **1** **#** は、留守モードがセットされていない場合はセットされ、留守モードがセットされている場合は解除されます。ただし、ファクスの受信モードが電話モードに設定されていて、かつ留守応答が「しない」に設定されている場合には、外出先からの留守モードのセット/解除はできません。
- ・ **7** **#** は、留守録転送がセットされていない場合はセットされ、留守録転送がセットされている場合は解除されます。また、留守録転送をセットしたときに留守モードがセットされていない場合は、同時に留守モードがセットされます。
- ・ 再生速度は **2** **#** を押すごとに早聞き (1.5 倍) → 遅聞き (0.7 倍) → 通常の順に切り替わります。
- ・ 外線リモート中、20 秒間操作をしないと、リモートモードを終了して待機状態に戻ります。

リモート暗証番号を変更する

外出先からリモート操作をするための暗証番号（4桁の数字）を変更できます。
（お買い上げ時の設定は「1234」になっています。）


- 1 【メニュー】を押す
- 2 「留守番電話」をタッチする
- 3 Δ/∇ で「リモート暗証番号」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 【L / セット】を押し、【0】～【9】を押して新しい暗証番号（4桁の数字）を入力し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート / コピー】を押す

留守録転送を使う

留守モードにセットしてあるときに新しい用件が録音された場合、あらかじめ登録した電話番号に自動的にダイヤル（転送）することができます。転送先では、外線リモート操作で用件を聞くことができます。

留守録転送を設定する

親機でのみ操作できます。
（お買い上げ時の設定は「しない」になっています。）

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「留守番電話」をタッチする
- 3 Δ/∇ で「留守録転送」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 【L / セット】を押し、 Δ/∇ で設定を選択し、もう一度【L / セット】を押す
暗証あり：留守録転送をします。暗証番号を入力しないと外線リモート操作ができません。
暗証なし：留守録転送をします。暗証番号を入力しなくても外線リモート操作ができます。
しない：留守録転送をしません。
「しない」を選んだ場合は手順7へ進みます。
- 5 Δ/∇ で「TEL」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 【0】～【9】を押して転送先の電話番号を入力し、【L / セット】を押す
- 7 【スタート / コピー】を押す



お知らせ

- ・ 回線検出を「する」（お買い上げ時は「する」）にしていると、留守録転送ができない場合があります。
- ・ おやすみモードをセットしている場合は、留守録転送はできません。
- ・ 携帯通話設定機能（P.62～66）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。



ワンポイント

- 登録した電話番号を変えるには
手順6で【消去 / キャッチ】を押して番号を消去した後、新しい番号を入力します。
- 留守録転送をやめるには
手順4で「しない」を選びます。

転送先で用件を聞く

転送先の呼び出しは、新しい用件が録音されてから約 1 分後に行われます。転送先では次のように操作してください。

- 1 転送先に電話がかかってくる
- 2 電話を受けると「こちらは留守番電話です。留守録を転送します。シャープ（**#**）を押してください」というメッセージが繰り返し流れる間に **#** を押す
トーン信号に切り替える電話機から操作するときは、**#** を押す前にトーン信号に切り替えてください。
「暗証なし」に設定しているときは手順 4 に進みます。
- 3 「暗証番号を入れてください」というメッセージが流れ終わったら暗証番号（4 桁の数字）を入力する
お買い上げ時は「1234」に設定されています。
「暗証番号が間違っています」というメッセージが流れるときは、正しい暗証番号を入力し直してください。2 回間違えると電話は切れます。
- 4 「留守録を再生します」というメッセージが流れる
新しい用件が再生されます。
- 5 「操作番号を入れてください」というメッセージが流れる
外線リモート操作（P.74）ができます。
- 6 操作が終わったら、**9** **#** を押す。
- 7 電話を切る。



お知らせ

- ・留守録転送で用件を聞くことができるのは、プッシュ回線の電話機か、トーン（プッシュ）信号を出せる電話機からのみです。
- ・本商品が操作待ちの状態、20 秒間何も操作をしないと回線が切断されます。
- ・手順 5 の **9** **#** を押さずに電話を切ると、20 秒間話し中の状態になったあと待機状態に戻ります。



ワンポイント

■ 転送ができなかった場合は

転送先が話し中のときや電話に出なかったときなど、転送ができなかったときは、2 分間隔で、2 回まで再転送します。それでも転送できなかったときや、手順 5 で暗証番号を 2 回間違えたときは、転送動作が解除されます。ただし、また新しい用件が録音された場合は、その都度転送先の電話番号に電話をかけます。

トールセーバーを設定する

トールセーバーとは、外出先から本商品に電話をかけたときの呼出音の回数で、未再生の留守録の有無を確認するための機能です。未再生の留守録があるときは、2回で留守応答します。未再生の留守録がないときは、呼出音が5回鳴ってから留守応答します。

(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「留守番電話」をタッチする
- 3 Δ/∇ で「トールセーバー」を選択し、【L / セット】を押す

「する」に設定するとき

- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す

「しない」に設定するとき

- 4 Δ/∇ で「しない」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 Δ/∇ で「呼出回数」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ で回数(1 ~ 15)を選択し、【L / セット】を押す
お買い上げ時の設定は「2回」になっています。
- 7 【スタート/コピー】を押す




お知らせ

- ・トールセーバーが「する」に設定されている場合、2回呼出音が鳴って留守応答するときは、留守モードセット後に未再生の留守録があります。未再生の留守録がない場合は、5回呼出音が鳴ってから応答します。3回目の呼出音が鳴った時点で新しい留守録がないことが確認できるので、そこで電話を切れば通話料金はかかりません。
- ・トールセーバーを「しない」に設定しているときは、未再生の留守録の有無にかかわらず、設定された回数の呼出音が鳴ります。

留守録保存を設定する

再生済みの用件をメモリに保存するかどうかを設定します。「しない」に設定すると、留守モードをセットするときに再生済みの用件が自動的にメモリから消去されます。
(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「留守番電話」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「留守録保存」を選択し、【L / セット】を押す
する： 留守録保存 する
しない： 留守録保存 しない
- 4 Δ/∇ で設定を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す



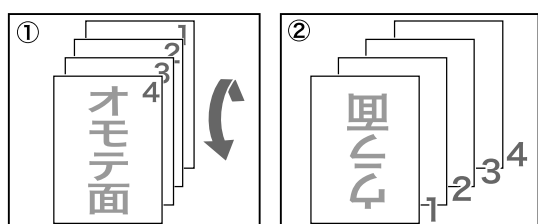
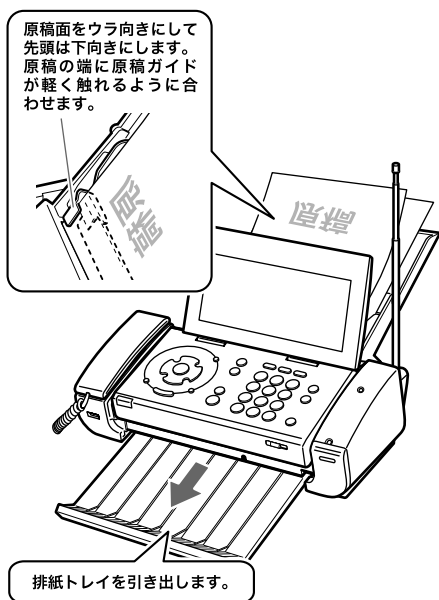
お知らせ

・メモリから消去された用件は、再度聞くことができませんのでご注意ください。

ファクス

ファクスを送信する

◆原稿のセット方法



- ①のように置いた原稿を縦方向に180度回転させて
- ②のように最初のページが裏面で下向きになるよう並べる

モノクロファクスを送信する

1 原稿をセットする

原稿トレイにウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。(複数ページを送る場合、先に送りたいページを一番上になるようセットします。) ディスプレイにコピーおよびファクス送信の選択画面が表示されます。

2 原稿ガイドを合わせる

原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえすぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

3 Δ / ∇ で「モノクロファクス送信」を選択し、【L / セット】を押す

「濃さ/画質」の選択画面が表示されます。

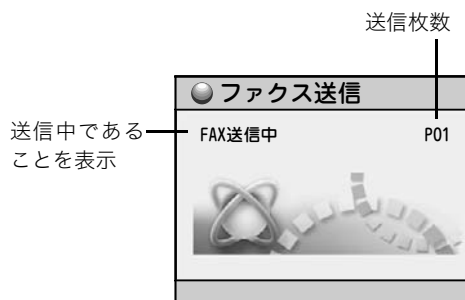
4 Δ / ∇ / \triangleleft / \triangleright で濃さと画質を選択し、【L / セット】を押す

宛先入力の画面が表示されます。

「ふつう」	普通の文字の大きさ（本書の文字と同じくらいの大きさ）の原稿を送信するのに適している。送信にかかる時間は、「細かい」や「写真」よりも短くなる
「細かい」	小さい文字の原稿を送信するのに適している
「写真」	写真のように濃淡のある原稿を送信するのに適している

5 ファクス送信先のダイヤルを入力し、【スタート/コピー】を押す

相手につながると、すぐにファクスを送信します。



お知らせ

- ・通話中にモノクロファクスを送信する場合、濃さ/画質の選択はできません。
- ・「細かい」「写真」を選択すると、「ふつう」よりも送信に時間がかかります。
- ・ナビメニューでも手順の確認ができます。



ワンポイント

- ・ナビメニューを利用してファクス送信を行った場合、濃度の選択はできません。

カラーファクスを送信する

相手先のファクスもカラーに対応している場合は、カラー送信もできます。

1 原稿をセットする

原稿トレイにウラ向きに、先頭を下に向けてセットします。(複数ページを送る場合、先に送りたいページを一番上になるようセットします。)

ディスプレイにコピーおよびファクス送信の選択画面が表示されます。

2 原稿ガイドを合わせる

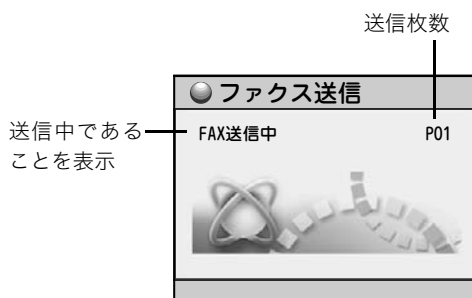
原稿ガイドが原稿の両端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえすぎると原稿がつまる原因になる場合があります。

3 Δ / ∇ で「カラーファクス送信」を選択し、【L / セット】を押す

宛先入力の画面が表示されます。

4 ファクス送信先のダイヤルを入力し、【スタート / コピー】を押す

相手につながると、すぐにファクスを送信します。



STOP お願い

- ・フチなしで写真を大量に印刷した直後に原稿を読み取ると、原稿が汚れることがあります。大切な原稿を読み取る場合は、約5分待ってからご利用いただくか、インクふき取りクリーニング (P.170) を行ってからご利用いただきますようお願いいたします。
- ・受話器を取ってからかける場合は、ダイヤルする前に必ず発信音 (ツー音) を確認してください。発信音が聞こえる前にダイヤルしてしまうと、間違い電話などの原因となります。

お知らせ

- ・カラーファクスを送信するには、相手先のファクスもカラーに対応している必要があります。カラー非対応のファクスへは、モノクロファクスを送信してください。
- ・通話中のカラーファクス送信はできません。
- ・カラーファクスはモノクロファクスより送信に時間がかかります。
- ・ナビメニューでも手順の確認ができます。



ワンポイント

■ ワンタッチボタンを使ってモノクロファクス送信するには

原稿がセットされている状態でワンタッチボタンを押すと、すぐにファクス送信をします。

■ 途中でファクス送信をやめるには

【ストップ】を押します。原稿が途中で止まっていたら取り除いてください。詳しくは「原稿または記録紙がつまったりきは」(P.177)をご覧ください。

■ 相手と話してからモノクロファクス送信するには

手順 2 の後、受話器を取って発信音（ツープ）を確認してからダイヤルし、相手が応答したら話します。送信するときは、【スタート/コピー】を押し、受話器を戻します。途中でファクス送信をやめるには、【ストップ】を押します。

■ 電話帳の相手先にファクス送信するには

手順 5 (カラーファクスは手順 4) でダイヤル入力する代わりに ◀ で電話帳選択画面を表示させ、▲/▼ で相手先を選択します。その後、【L /セット】を押すと選んだ相手先の電話番号が表示されます。さらに【L /セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。

■ 再ダイヤルの相手先にファクス送信するには

手順 5 (カラーファクスは手順 4) でダイヤル入力する代わりに ▶ で再ダイヤル画面を表示させて【L /セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。

■ 着信履歴の相手先にファクス送信するには

手順 5 (カラーファクスは手順 4) でダイヤル入力する代わりに ▶ を 2 回押して着信履歴選択画面を表示させ、▲/▼ で相手先を選択します。その後、【L /セット】を押すと選んだ相手先の電話番号が表示されます。さらに【L /セット】を押すと、相手先が宛先に設定されます。

■ 「回線検出できません」と表示され、ファクス送信できないときは

- ① 電話回線が正しく接続されているか確認してください。
- ② ① が正しければ、少し時間をおいてから再度送信してください。
- ③ ② でもファクス送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。(お買い上げ時は「する」の設定になっています。)

【メニュー】を押して「初期設定」をタッチし、▲/▼ で「回線検出」を選択します。

■ 「ファクス送信が失敗しました。【L /セット】を押して下さい」と表示されたときは

ファクスの送信ができませんでした。【L /セット】を押して表示を消し、必要な場合はファクスの送信をやり直してください。

ファクスを受信する

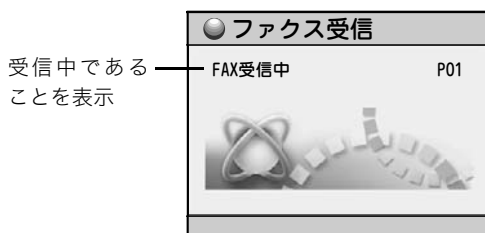
親機でも子機でも受信操作が行えます。お買い上げ時の設定ではファクス受信と同時に印刷をしない設定になっています（「ファクス受信同時プリントを設定する」(P.89)）。

親機で受信する

らくらくファクス機能 (P.90) が「する」のとき

電話に出たとき、相手がファクスであれば自動的に受信します。

- 1 電話に出たとき、「ファクスを受信します 受話器を戻してください」という音声ガイダンスが流れたら、受話器を戻す
ファクスの受信が始まります。ファクス受信中、ディスプレイには次のような情報が表示されます。



らくらくファクス機能が「しない」のとき

- 1 電話に出たときに、「ポー、ポー」というファクス呼出音が聞こえたら、呼びかけて応答がないことを確認したうえで、【スタート/コピー】を押す
- 2 受話器を戻す
ファクスの受信が始まります。

相手と話をした後で受信するとき

- 1 通話中に相手がファクス送信を開始したら、【スタート/コピー】を押す
- 2 受話器を戻す

お知らせ

- ・ 相手が利用しているサービスによっては、ファクス呼出音が鳴らないことがあります。呼びかけて応答がない場合は、【スタート/コピー】を押してください。
- ・ ファクス受信同時プリント (P.89) が「しない」の場合（お買い上げ時の設定は「しない」になっています。）や、記録紙トレイに用紙がない場合は、受信した内容を印刷しません「受信ファクスをディスプレイで確認する（ディスプレイFAX）」(P.85) で確認し、必要に応じて印刷することができます。
- ・ L モード (P.104) を操作中は【スタート/コピー】を押してもファクス受信ができません。【ストップ】を押して、メニューやLモードを終了後、【スタート/コピー】を押してください（この場合、Lモードでの操作内容は保存されません）。

ワンポイント

■ 新着ファクスがあるときは

ディスプレイ上のファクスアイコンのまわりが光り、新着ランプが点滅し、ディスプレイ中央上部に「新着ファクスがあります ④→確認」と表示されます。

ファクスのすべのページを確認または印刷すると、中央上部のメッセージは「ファクスがあります ④→確認」に変わり、ファクスアイコンのまわりの光は消え、新着ランプの点滅も消えます。

「ファクスがあります ④→確認」のメッセージは、メモリー内すべてのファクスを消去 (P.87) するまで消えません。

■ 電話に出なかった場合は

電話に出なかった場合は、設定された時間 (P.88) だけ着信音が鳴った後、電話がつながって相手に応答メッセージが流れます。ファクス優先モード (P.88) に設定してあるときは、着信音が鳴らずに電話が自動的につながります（この時点から相手には通話料金がかかります）。応答メッセージはメモリの残量に応じて、以下のいずれかが流れます（電話モードかファクス優先モードがセットされている場合のみ）。

- ・ 用件の録音もファクス受信も可能なとき
「呼び出しましたが近くにおりません。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」
- ・ 用件の録音のみ可能なとき
「呼び出しましたが近くにおりません。電話の方はピーという音の後にお名前とご用件をお話してください。ファクシミリをご利用の方は恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
- ・ 用件の録音もファクス受信もできないとき
「呼び出しましたが近くにおりません。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」

■ ファクス情報サービスを利用するには

お使いの電話がダイヤル（パルス）回線の場合は、各種サービス提供元ヘダイヤル後、【*】（トーン）を押します。詳しくは各サービス提供元にお問い合わせください。

子機で受信する

らくらくファクス機能 (P.90) が「する」のとき

電話に出たとき、相手がファクスであれば自動的に親機で受信します。

(お買い上げ時はこの設定になっています。)

- 1 電話に出たとき、「ファクスを受信します」という音声ガイダンスが流れたら、充電器に戻す
親機でファクス受信がはじまります。

らくらくファクス機能が「しない」のとき

- 1 電話に出たときに、「ポー、ポー」というファクス呼出音が聞こえたら、呼びかけて応答がないことを確認したうえで【文字/ファクス】を押す
親機でファクス受信がはじまります。
- 2 充電器に戻す

相手と話をした後で受信するとき

- 1 通話中に相手がファクス送信を開始したら、【文字/ファクス】を押す
親機でファクス受信がはじまります。
- 2 充電器に戻す



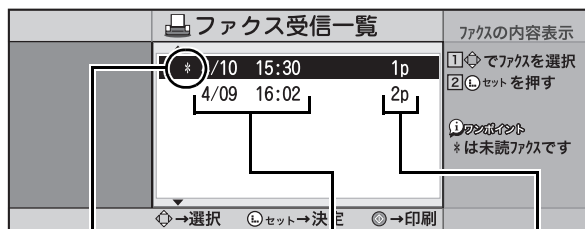
お知らせ

- ・ 相手が利用しているサービスによっては、ファクス呼出音が鳴らないことがあります。呼びかけて応答がない場合は、【スタート/コピー】を押してください。

受信ファクスをディスプレイで確認する (ディスプレイ FAX)

新しい受信ファクスがメモリに保存されると、ディスプレイに「新着ファクスがあります」と表示されます。メモリに保存されている受信ファクスは、ファクス受信一覧で確認できます。

◆ファクス受信一覧の見かた



まだ印刷も確認もしていないファクスのマーク

受信した日時

ページ枚数

STOP お願い

印刷操作は待機中（通話や用件再生などをしていないとき）に行ってください。



お知らせ

- ・メモリには、当社 A4 標準原稿（A4 サイズ 700 字程度：標準画質（8 × 3.85 本/mm））を 20 件約 50 枚まで保存することができます。ただし、原稿の内容によって、受信できる枚数は異なります。また、留守番電話の用件が録音されている場合は、記録できる枚数が少なくなります。
- ・「*」がついているファクスは、受信内容をすべて印刷するか、全ページをディスプレイで確認するとマークが消えます。
- ・ナビメニューでも受信ファクスの確認ができます。

メモリ内の受信ファクスを確認する

- 1 【スタート/コピー】を押す
ファクス受信一覧が表示されます。
- 2 **△/▽**で確認するファクスを選択する
- 3 【L /セット】を押す
ファクスの内容が表示されます。
 - ・表示しきれていない部分は、**△/▽/◀/▶**で確認できます。
 - ・2 ページ以上ある場合、【#】を押すと確認できます。（【*】を押すと前ページを確認できます）
 - ・【L /セット】を押すごとに、表示倍率が 100%→200%→25%→50%に切り替わります。
 - ・【メニュー】を押し **△/▽**で右回転を選択後【L /セット】を押すと、90 度ずつ右回転します。

メモリ内の受信ファクスを印刷する

- 1 記録紙トレイに記録紙をセットする (P.31)
- 2 【スタート/コピー】を押す
ファクス受信一覧が表示されます。
- 3 **△/▽**で確認するファクスを選択し、【L /セット】を押す
ファクスの内容がディスプレイに表示されます。
- 4 【スタート/コピー】を押す
ファクスの内容が印刷されます。
 - ・ファクスが 2 ページ以上ある場合、「全ページ」「表示ページ」「このページ以降」という画面が表示されます。**△/▽**で印刷する範囲を選択し、【L /セット】を押してください。
 - ・必要のなくなったファクスはメモリから削除してください。

STOP お願い

印刷操作は待機画面表示中（通話や用件再生などをしていないとき）に行ってください。



お知らせ

- ・倍率の切り替えや回転を行っても、印刷の倍率や向きは変わりません。
- ・ナビメニューを使って印刷することができます。
- ・受信したファクスの長さが A4 サイズの縦よりも長い場合は、ファクスの内容が画面に表示されないことがあります。



ワンポイント

- ディスプレイで確認せずに印刷するには
「メモリ内の受信ファクスを確認する」(上記)の手順 2 の後、【スタート/コピー】を押します。
- 途中で印刷をやめるには
【ストップ】を押します。

メモリ内の受信ファクスを消去する

- 1 【スタート/コピー】を押す
ファクス受信一覧が表示されます。
- 2 **△/▽**で消去するファクスを選択する
- 3 【消去/キャッチ】を押す
消去確認画面が表示されます。
- 4 **◀**で「はい」を選択し、【L /セット】を押す



お知らせ

- ・メモリ内の受信ファクスを確認中に【消去/キャッチ】を押すことでも消去ができます。その際は手順4にしたがって消去を行ってください。



ワンポイント

- すべてのファクスを消去するには
「メモリに保存されている内容を一括消去する」(P.161)をご覧ください。

便利なファクス設定

ファクスの受信モードを設定する (電話モード/ファクス優先/ファクス専用)


ファクスの受信モードには、「電話モード」、「ファクス優先」と「ファクス専用」があります (お買い上げ時は「電話モード」の設定になっています)。

電話モードおよびファクス優先では、「留守応答」が設定できます。この機能を利用すると、留守モード (P.67) をセットしていないときでも用件の録音やファクスの受信が行えます。

<p>電話モード 電話がかかってくることが多い場合に適した設定</p>	<p>電話のときもファクスのときも着信音が鳴ります。電話のときはそのまま話し、ファクスのときは、電話に出たあと受信操作を行ってください。留守応答の秒数を設定した場合は、着信音が鳴ったあと、「呼び出しましたが近くにおりません…」というメッセージを相手に流して用件の録音またはファクスの受信に切り替わります。</p>
<p>ファクス優先 ファクスを受信することが多い場合に適した設定</p>	<p>ファクスのときは、着信音を鳴らさずに自動的に受信します。電話のときは相手に「電話の方はこのままお待ちください。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」というメッセージを流します。このあと着信音が鳴るので、電話に出られます。着信音は留守応答で設定されている秒数鳴り、そのあと、「呼び出しましたが近くにおりません…」というメッセージを相手に流して用件の録音またはファクスの受信に切り替わります。</p>
<p>ファクス専用 ファクスのみを受ける場合に適した設定</p>	<p>着信音を鳴らさず、自動的に受信します。ただし、メモリがいっぱいの場合は自動受信できず、着信音が鳴ります。メモリを消去してから再度ファクスを送信してもらってください。</p>

電話モードを設定する

電話がかかってきてから本商品が留守応答するまでの秒数 (呼出時間) を 15 ~ 65 秒の間、または留守応答「しない」から選択できます。(お買い上げ時は「しない」の設定になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「FAX 受信動作」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「電話モード」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 Δ/∇ で「留守応答」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ で設定したい秒数を選択し、【L / セット】を押す
- 7 【スタート/コピー】を押し、登録する




お知らせ

- ・留守番電話にセットされているときは、留守モード (P.67) をご覧ください。
- ・新着ファクスがあるときは、ディスプレイ上のファクスアイコンのまわりが光り、新着ランプが点滅し、ディスプレイ中央上部に「新着ファクスがあります \odot →確認」と表示されます。
ファクスのすべてのページを確認または印刷すると、中央上部のメッセージは「ファクスがあります \odot →確認」に変わり、ファクスアイコンのまわりの光は消え、新着ランプの点滅も消えます。
「ファクスがあります \odot →確認」のメッセージは、ファクスを消去 (P.87) するまで消えません。


ファクス優先を設定する

電話がかかってきてから本商品が留守応答するまでの秒数（呼出時間）を 15 ～ 65 秒の間から選択できます。また、応答メッセージを流さない設定にもできます。

（お買い上げ時は「45 秒」の設定になっています。）

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「FAX受信動作」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「ファクス優先」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 Δ/∇ で「留守応答」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ で設定したい秒数を選択し、【L / セット】を押す
- 7 応答メッセージを流さない場合は、 Δ/∇ で「応答メッセージ」のチェックボックスを選択し、【L / セット】を押して、チェックをはずす
- 8 【スタート/コピー】を押し、登録する


ファクス専用を設定する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「FAX 受信動作」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「ファクス専用」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押し、登録する

ファクス受信同時プリントを設定する


ファクス受信同時プリントが「する」に設定されていると、受信と同時に印刷が行われます。「しない」に設定すると、印刷の操作を行うまで印刷されません。どちらの場合も、受信ファクスは消去するまでメモリに保存されているので、ディスプレイで内容を確認したり、必要に応じて印刷することができます（P.86）。

（お買い上げ時は「しない」の設定になっています。）

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「FAX 受信同時プリント」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」または「しない」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押し、登録する

らくらくファクス機能を設定する

親機のらくらくファクス機能を「する」に設定すると、電話に出たときに相手がファクスだった場合は、音声ガイダンスが流れ、自動的にファクスを受信します。
(お買い上げ時は「する」の設定になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「らくらくFAX」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」または「しない」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押し、登録する



ワンポイント

■ 通話中にファクス受信に切り替わってしまう場合は

相手がファクスを送信していないのにファクス受信に切り替わってしまうなど、らくらくファクス機能が正常にはたらかない場合は、「しない」に設定してください。

「しない」に設定した場合、ファクスを受信するときは親機の【スタート/コピー】(子機の場合は【文字/ファクス】)を押します。

コピー

コピーをする

記録紙や原稿をセットするときは、用紙カバーに書かれている説明を参考にしてください。また、原稿がL判、はがきの場合は、カラーコピーの手順で操作してください。

◆記録紙と原稿のセット方法



- 6 【スタート/コピー】を押す
モノクロコピーが開始されます。



モノクロコピーをする

モノクロコピーできる原稿のサイズは、A4 サイズのみです。

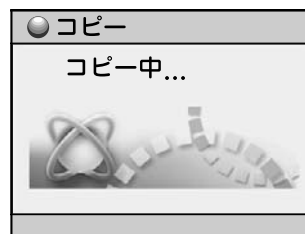
- 1 記録紙をセットする (P.31)
原稿と同じサイズの記録紙をセットしてください。
- 2 原稿をセットする (P.32)
読取面を下にして原稿トレイに原稿をセットし、原稿に合わせて原稿ガイドを調節します。原稿ガイドが原稿の端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえすぎると原稿がつまる原因になる場合があります。
- 3 Δ/∇ で選択画面から「モノクロコピー」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「濃さ」を選択し、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で印刷濃度を「うすく」、「ふつう」、「こく」の中から選択する
- 5 Δ/∇ で「部数」を選択し、【0】～【9】を押してコピー部数を入力する
 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ でも部数を選ぶことができます。

カラーコピーをする

カラーコピーできる原稿のサイズは A4、L 判、はがきです。また、一度にコピーできる原稿の枚数は 1 枚のみです。カラーコピー時には、原稿トレイに原稿を 1 枚だけセットしてください。

- 1** 記録紙をセットする (P.31)
原稿と同じサイズの記録紙をセットしてください。
- 2** 原稿をセットする (P.32)
読取面を下にして原稿トレイに原稿を 1 枚だけセットし、原稿に合わせて原稿ガイドを調節します。原稿ガイドが原稿の端に軽く触れる程度に合っていることを確認してください。このとき、強く押さえすぎると原稿がつまる原因になる場合があります。
- 3** Δ/∇ で選択画面から「カラーコピー」を選択し、【L / セット】を押す
- 4** Δ/∇ で「原稿サイズ」を選択し、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ でサイズを「L 判」、「はがき」、「A4」の中から選択する
- 5** Δ/∇ で「記録紙種別」を選択し、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で種類を選択する
原稿サイズで A4 を選んだ場合、「フォト紙」か「普通紙」のいずれかを選択します。「L 判」か「はがき」を選択した場合は自動的に「フォト紙」が選ばれます。

- 6** Δ/∇ で「濃さ」を選択し、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で印刷濃度を「うすく」、「ふつう」、「こく」の中から選択する
- 7** Δ/∇ で「部数」を選択し、【0】～【9】を押してコピー部数を入力する
 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ でも部数を選ぶことができます。
L 判ではフチの有無を選択します。
- 8** 【スタート/コピー】を押す
カラーコピーが開始されます。



STOP お願い

- ・フチなしで写真を大量に印刷した直後に原稿を読み取ると、原稿が汚れることがあります。大切な原稿を読み取る場合は、約 5 分待ってからご利用いただくか、インクふき取りクリーニング (P.170) を行ってからご利用いただきますようお願いいたします。
- ・大切な写真や原稿は、キャリアシート (別売、P.190 参照) に狭んで原稿トレイにセットすることで、万一の汚れや破損を防ぐことができます。



お知らせ

- ・ナビメニューでも手順の確認ができます。
- ・L 判コピーの際、フチなしを選択すると、原稿の中心を規準にして、原稿を 5% 拡大してコピーします。この時、記録紙からはみ出す部分はコピーされません。フチありを選択すると原稿等倍で印刷されます。
- ・ナビメニューを利用してコピーを行った場合、濃度の選択はできません。



ワンポイント


- 途中でコピーをやめるには
【ストップ】を押します。原稿が途中で止まっているときは取り除いてください。詳しくは、「原稿または記録紙がつまったときは」(P.177) をご覧ください。
- コピー部数を指定するには
手順 6 の後で【0】～【9】を押してコピー部数を入力します。コピー部数は、コピー枚数が 10 枚以内となるように設定してください。

ナンバー・ディスプレイ

相手の電話番号を表示する（発信電話番号表示機能）

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、電話をかけた方またはファクスを送った方の電話（ファクス）番号などが、受信側のディスプレイに表示されるサービスです。

このサービスをご利用になるには、当社との契約（有料）が必要です。詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。（お買い上げ時は「する」の設定になっています。）

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「初期設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「ナンバー・ディスプレイ」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L /セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押して登録する

お願い

ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ずナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください。「しない」に設定していると、ボイスワープ*の呼出回数が異なることがあります。

* ボイスワープについて詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。




お知らせ

- ・ 電話の着信を「電話です」などの音声でお知らせする機能は解除できます。(P.159)
- ・ 次のような場合は、発信電話番号表示機能や相手先名前表示機能、音声による読み上げがご利用になれないことがあります。
 - ・ 電話帳に相手の電話番号が市外局番から正しく登録されていない場合
 - ・ 電話帳に特番ダイヤル (186 / 184) をつけて相手の電話番号を登録している場合
 - ・ 本商品をナンバー・ディスプレイに未対応の通信機器 (ターミナルアダプタなど) に接続している場合
 - ・ 1本の電話回線で2セット以上の電話機をご使用の場合
- ・ 電話番号は、親機では下 13 桁が表示されます。子機では最初の 12 桁が表示された後、1 桁ずつスクロールして表示されます。
- ・ 受話器を取ったときに「ザー」という音が聞こえる場合は、電話がかかってきています。受話器を置いてお待ちください。このような場合は、着信音が鳴っても相手の電話番号はディスプレイに表示されません。
- ・ 着信拒否を設定した相手からの電話の場合は、ディスプレイに「着信拒否番号」などが表示されます (P.99)。
- ・ キャッチホン・ディスプレイをご利用になる場合には、ナンバー・ディスプレイとは別に当社とのご契約が必要です (有料)。
- ・ ネーム・ディスプレイをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとは別に当社とのご契約が必要です (有料)。

お問い合わせ先 (無料)

ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター
ハッシンバンゴウツチ

 **0120-848521**

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00
(日曜・祝日・年末年始は除きます)

- ・ ナビメニューの「初期設定する」でも手順の確認ができます。(P.25)
- ・ 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「しない」に設定してください。
- ・ ナンバー・ディスプレイを ISDN 回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ (TA) をお使いください。
- ・ ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、留守モード時の呼出回数 (P.78) を 2 回以上に設定してください。
- ・ 相手の番号は親機、子機ともに 20 桁まで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは、親機では下 13 桁、子機では 12 桁までです (子機で 12 桁を超える電話番号は最初の 12 桁が表示された後、1 桁ずつスクロールして表示されます)。
- ・ 内線通話中に電話がかかってきたときは、子機では、着信表示されません。
- ・ ナンバー・ディスプレイは、当社の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは、局番なしの 116 番または当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- ・ ISDN 回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機 (PBX) や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- ・ 同じ番号を親機や子機の電話帳に登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示 (親機や子機の電話帳に登録している相手の名前表示) が正常に動作しないことがあります。
- ・ 相手が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に呼出音が聞こえるまでの時間や相手につながるまでの時間が長くなる場合があります。
- ・ 1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続 (ブランチ式接続) してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。
- ・ CES (事業所集団電話) に接続しているときは、CES 内部からの着信時には「ナンバー・ディスプレイ」は提供されません。

電話がかかってきたときの表示と音声

電話がかかってきたときの表示、および着信をお知らせする音声の内容は、相手の状況などに応じて次のようになります。キャッチホン (P.57) が入ったときも同様です (キャッチホン・ディスプレイ)。

ディスプレイ表示	音声の内容
<親機> 031234XXXX <子機> 031234XXXX	相手が電話番号を通知してかけてきたときは、電話番号を読み上げて着信をお知らせします。 親機ではディスプレイの背景が黄色くなります。
<親機> 松浦弘幸 031234XXXX <子機> 9月1日 15:00 松浦弘幸 031234XXXX	電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときは、電話帳に登録されている名前 (フリガナが優先される) が読み上げられます。 親機ではディスプレイの背景が青くなります。
非通知	電話番号を表示しない契約の相手からのとき、または電話番号の前に「184」をつけてかけてきたときには、「非通知の着信です」という音声でお知らせします。 親機ではディスプレイの背景が赤くなります。
公衆電話	公衆電話からかかってきたときは、「公衆電話からの着信です」という音声でお知らせします。
表示圏外	サービス対象外の地域 (海外など) や、サービスに対応していない携帯電話や PHS などからの電話です。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、電話番号の情報を正しく受信できませんでした。
<親機> 松浦尚彦 031234XXXX <子機> 9月1日 15:00 松浦尚彦 031234XXXX	ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、相手が登録している発信者名が表示され、読み上げられます。ただし、相手の名前が電話帳、またはワンタッチに登録されている場合は、電話帳、またはワンタッチに登録されている名前 (フリガナが優先される) が読み上げられます。



お知らせ

- ・ かかってきたときに「161」と表示されているときは、F ネット (P.152) からファクスが送信されています。
- ・ 音声で読み上げられる電話帳の登録名などが聞き取りにくい場合は、聞き取りやすいニックネームなどでお知らせされるように別の呼び名を登録することができます。

ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイ（有料）をご契約になると、電話をかけてきた相手の名前や会社名がディスプレイに表示されます。この機能をご利用になる場合は、ネーム・ディスプレイとは別にナンバー・ディスプレイのご契約（有料）が必要です。ナンバー・ディスプレイのご契約後は、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください（P.93）。（お買い上げ時は「する」の設定になっています。）

電話がかかってきたときの表示

ディスプレイ表示	内容
〈親機〉 松浦尚彦 031234XXXX	ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、相手の名前（または会社名）と電話番号がディスプレイに表示されます（相手が発信者名を「非通知」で契約している場合やダイヤルする前に「184」を押した場合は、相手の名前や番号は表示されません）。 相手の名前が電話帳に登録されている場合は、その名前が表示されます。
〈子機〉 9月1日 15:00 松浦尚彦 031234XXXX	



お知らせ

- ・電話をかけてきた相手が発信者名を表示するに設定していない場合、名前は表示されません。ただし、その場合でも、電話番号が親機の電話帳（子機の場合は子機の電話帳）に登録している番号と一致すると、電話帳に登録している名前を表示します。
- ・親機（または子機）の電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
- ・携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- ・本商品で表示できる漢字（JIS 第一水準および JIS 第二水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイにはスペースを表示します。
- ・キャッチホン・ディスプレイ（P.97）をご利用の場合は、通話中にかかってきた相手の電話番号をディスプレイに表示します。
- ・電話帳に登録できる発信者名は、最大全角 6 文字までです。
- ・着信履歴には、発信者名は最大全角 6 文字までしか表示できません。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイ（有料）をご契約になると、通話中に別の人から着信があった場合、相手の電話番号がディスプレイに表示されますので、相手の電話番号を確認してからキャッチホンを受けることができます。この機能をご利用になる場合は、キャッチホン・ディスプレイとは別にナンバー・ディスプレイのご契約（有料）が必要です。ナンバー・ディスプレイのご契約後は、ナンバー・ディスプレイの利用を「する」に設定してください（P.93）。（お買い上げ時は「する」の設定になっています。）

キャッチホンの受けかたについては、57 ページをご覧ください。

電話がかかってきたときの表示

ディスプレイ表示	内容
<親機> （電話帳に登録されていない番号の場合） 035678XXXX （電話帳に登録されている番号の場合） 松浦尚彦 031234XXXX	キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます（相手が発信者名を「非通知」で契約している場合やダイヤルする前に「184」を押した場合は、相手の電話番号は表示されません）。 相手の名前が電話帳に登録されている場合は、その名前が表示されます。

ディスプレイ表示	内容
<子機> （電話帳に登録されていない番号の場合） 9月1日 15:00 035678XXXX （電話帳に登録されている番号の場合） 9月1日 15:00 松浦尚彦 031234XXXX	



お知らせ

- ・保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の名前などをディスプレイに表示しません。
- ・キャッチホン・ディスプレイは、他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは当社の営業所などにお問い合わせください。
- ・キャッチホン・ディスプレイをご利用になる場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり通信エラーになることがあります。
 - ・キャッチホンIIを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入りづらくなりますので番号表示できません。
 - ・通話中にキャッチホンでファクスを受信した場合、らくらくファクス機能がご利用になれません。親機で受信する場合は【スタート／コピー】を、子機で受信する場合は【文字／ファクス】を押してください。
- ・通話中にキャッチホンが入ると、約1秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ・ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- ・着信拒否相手からのキャッチホンを受けた場合は、【消去／キャッチ】で話し相手を切り替えることはできません。また、最初の相手との通話が終わって電話を切った時点でまだ着信拒否相手が呼び出し中のままだったときには、その着信拒否相手に対して着信拒否動作（P.99）を行います。
- ・1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続（ブランチ接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- ・CES（事業所集団電話）に接続しているときは、CES内部からの着信時には、「キャッチホン・ディスプレイ」は提供されません。
- ・通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- ・キャッチホンの着信時には、1秒程度の無音状態が発生します。また、従来の着信表示音に加えて「ピポッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なると電話番号の表示ができないことがあります。
- ・あとからかけてきた方の電話番号などは親機、子機ともに約30秒間表示されます。
- ・次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
 - ・大きな声で通話しているとき
 - ・周囲が騒がしいとき


鳴り分け着信音を設定する

かかってきた電話によって、違った着信音を鳴らすことができます。

この機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイのご契約をした後、本商品で利用を「する」に設定してください (P.93)。(お買い上げ時は「しない」の設定になっています。)

親機を設定する

親機の電話帳に登録されている相手からの電話のみ、設定している着信音 (P.40) が鳴るように設定できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、特別なベル音が鳴ります。

- 1 【メニュー】 を押す
- 2 「着信設定」 をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「電話帳着信音呼出」を選択し、【L / セット】 を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】 を押す
- 5 【スタート / コピー】 を押して登録する

子機を設定する

子機では、電話帳に登録されている相手、非通知、公衆電話、表示圏外からの電話ごとに、それぞれ違った着信音を鳴らすことができます。

【通話】 が消灯している状態で操作してください。

- 1 【メニュー / セット】 を押す
- 2 Δ/∇ で「着信音設定」を選択し、【メニュー / セット】 を押す
- 3 Δ/∇ で「鳴り分け」を選択し、【メニュー / セット】 を押す
- 4 Δ/∇ で設定したい項目を選択し、【メニュー / セット】 を押す
- 5 Δ/∇ で着信音を選択し、【メニュー / セット】 を押す
「鳴り分け OFF」を選択すると、子機の着信音として設定されている音で鳴ります。



お知らせ

- ・電話帳に相手の電話番号が市外局番から正しく登録されていない場合、鳴り分け着信が正しく動作しないことがあります。
- ・電話帳の相手の電話番号に特番ダイヤル (186 / 184) をつけて登録している場合、鳴り分け着信が正しく動作しないことがあります。

非通知や特定の相手からの電話を受けない（着信拒否）


非通知や特定の相手からの電話の着信を拒否できます。かけてきた相手に音声メッセージを流してから電話を切るか、即座に切るかのどちらかを選択できます。設定は親機で行います。

この機能をご利用になる場合は、あらかじめナンバー・ディスプレイのご契約をした後、本商品で利用を「する」に設定してください（P.93）。

（お買い上げ時は、着信拒否をしない設定になっています。）

着信拒否の種類と内容

着信拒否の種類	内容
非通知	非通知契約の電話番号からの着信や、ダイヤルする前に「184」を押した電話の着信を拒否できます。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否できます。
表示圏外	電話番号を通知できない地域やサービスに対応していない携帯電話、PHSなどからの着信を拒否できます。
指定番号	着信を拒否したい相手の電話番号を30件まで登録できます。登録された電話番号からの着信はっさい受け付けなくなります。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「着信拒否設定」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「変更する」、「変更しない」のいずれかを選択し、【L / セット】を押した後、【スタート / コピー】を押す

非通知 / 公衆電話 / 表示圏外に着信拒否を設定するとき

- 5 Δ/∇ で「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」のいずれかを選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 7 Δ/∇ で拒否メッセージの有無を選択し、【L / セット】を押す
- 8 複数の着信拒否を設定するときは、手順5～7を繰り返す
- 9 終了するときは【ストップ】を押す

着信拒否する電話番号を登録するとき

- 5 Δ/∇ で「指定番号」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ でリスト番号を選択し、【L / セット】を押す
- 7 着信を拒否したい電話番号を市外局番から入力し、【L / セット】を押す
- 8 Δ/∇ で拒否メッセージの有無を選択し、【L / セット】を押す
- 9 複数の電話番号を登録するときは、手順5～7を繰り返す
- 10 終了するときは【ストップ】を押す

STOP お願い

着信を拒否する電話番号を登録するときは慎重に行ってください。緊急の電話がかかってきても、登録した相手からの電話はっさい受けられません。



お知らせ

- ・着信拒否した相手から電話がかかってきたときは、着信音は鳴りません。親機のディスプレイには「非通知着信拒否」、「公衆電話拒否」、「表示圏外拒否」または「着信拒否番号」と表示されます。子機のディスプレイには何も表示されません。
- ・着信拒否した相手から待機状態以外のときに電話がかかってきた場合、拒否メッセージを流す設定にしている場合、即座に電話を切ります。
- ・「ナンバー・ディスプレイ」が「する」に設定されていないと、着信拒否設定を行うことはできません。



ワンポイント

■ 登録した電話番号を消去するには

「着信拒否する電話番号を登録するとき」の手順 6 で【消去／キャッチ】を押し、◀/▶で「はい」を選択して【L / セット】を押します。

■ 着信拒否の種類と音声メッセージについて

着信拒否した相手が電話をかけてきた場合、その相手の方に電話料金がかかります。

● 非通知着信拒否の場合のメッセージ

「186 を電話番号の前につけておかけ直してください」

● その他の場合のメッセージ

「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません」

かけてきた相手の電話番号を利用する（着信履歴）

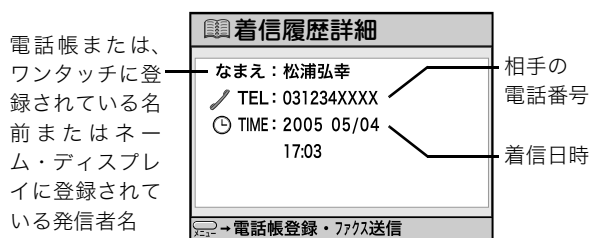
電話をかけてきた相手の電話番号は、親機 30 件、子機 20 件まで記憶されています（着信履歴）。着信履歴をディスプレイに表示して確認したり（着信履歴検索機能）、その相手に簡単な操作で電話をかけたりできます（着信履歴ダイヤル機能）。また、着信履歴の電話番号を電話帳に登録できます。着信履歴に電話番号や名前を表示させるには、ナンバー・ディスプレイのご契約をした後、本商品で利用を「する」に設定してください（P.93）。

親機の着信履歴を利用する

- ▶ を 2 回押す
着信履歴が着信日時の新しい順に表示されます。
- △/▽ で着信履歴を選択する
▽ を押すと、古いものへ 1 件ずつスクロールします。

詳細を確認するときは

- 【メニュー】を押す
- △/▽ で「詳細を見る」を選択し、【L / セット】を押す
着信履歴の詳細を確認できます。



電話をかけるときは

- 受話器を取る
選択している相手にダイヤルされます。

電話帳に登録するときは

- 【メニュー】を押す
- △/▽ で「電話帳登録」を選択し、【L / セット】を押す
- 「親機に登録する」（P.49）の手順 3～11 にしたがって登録する

モノクロファクスを送信するときは

- 【メニュー】を押す
- △/▽ で「ファクスを送信」を選択し、【L / セット】を押す
- 原稿をセットする（P.32）
- △/▽/◀/▶ で濃さと画質を選択し、【L / セット】を押す

一件消去するときは

- 【メニュー】を押す
- △/▽ で「一件消去」を選択し、【L / セット】を押す
- ◀/▶ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す

すべての着信履歴を消去するときは

- 【メニュー】を押す
- △/▽ で「全件消去」を選択し、【L / セット】を押す
- ◀/▶ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す



お知らせ

- ・着信履歴が記憶できる件数を越えたときは、古いものから順に消去されます。
- ・非通知や公衆電話などの着信は、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」、「受信エラー」と表示され、電話番号は記憶されません。
- ・ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定していても、かかってきた電話の着信日時のみ確認することができます。
- ・ネーム・ディスプレイをご利用の場合でも、かかってきた電話の相手が電話帳または、ワンタッチに登録されているときは、電話帳に登録されている名前が着信履歴に表示されます。
- ・携帯通話設定機能（P.62～66）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。



ワンポイント

■ 着信履歴を利用してファクスを送信するには

「着信履歴の相手先にファクス送信するには」（P.82）の手順で送信してください。

■ 親機で着信履歴を消去するには

- ① 手順2で消去する着信履歴を表示させ、【消去／キャッチ】を押す
- ② ◀/▶で「はい」を選択して【L／セット】を押す

子機の着信履歴を利用する

【通話】が消灯している状態で操作してください。

◆着信履歴の見かた（子機）

電話帳に登録されている名前か、ネーム・ディスプレイに登録されている発信者名、または電話番号

01 着信履歴 12月20日 22:55 お父さん	— 着信日時
---------------------------------	--------

- 1 **▶**を2回押す
最新の着信履歴が表示されます。
- 2 **▲/▼**で着信履歴を選択する
▼を押すと、着信日時の新しい順に1件ずつ表示されます。

電話番号を確認するときは

- 3 **◀**を押す
◀を押すたびに、名前と電話番号の表示が切り替わります。

電話をかけるときは

- 3 **【通話】**を押す
選択している相手にダイヤルされます。

電話帳に登録するときは

- 3 **【メニュー/セット】**を押す
- 4 **▲/▼**で「電話帳登録」を選択し、**【メニュー/セット】**を押す
- 5 名前を入力したら、もう一度**【メニュー/セット】**を押す
- 6 読みがなを入力したら、もう一度**【メニュー/セット】**を押す
- 7 **【メニュー/セット】**を押す

一件消去するときは

- 3 **【メニュー/セット】**を押す
- 4 **▲/▼**で「一件消去」を選択し、**【メニュー/セット】**を押す
- 5 **▲/▼**で「はい」を選択し、**【メニュー/セット】**を押す



お知らせ

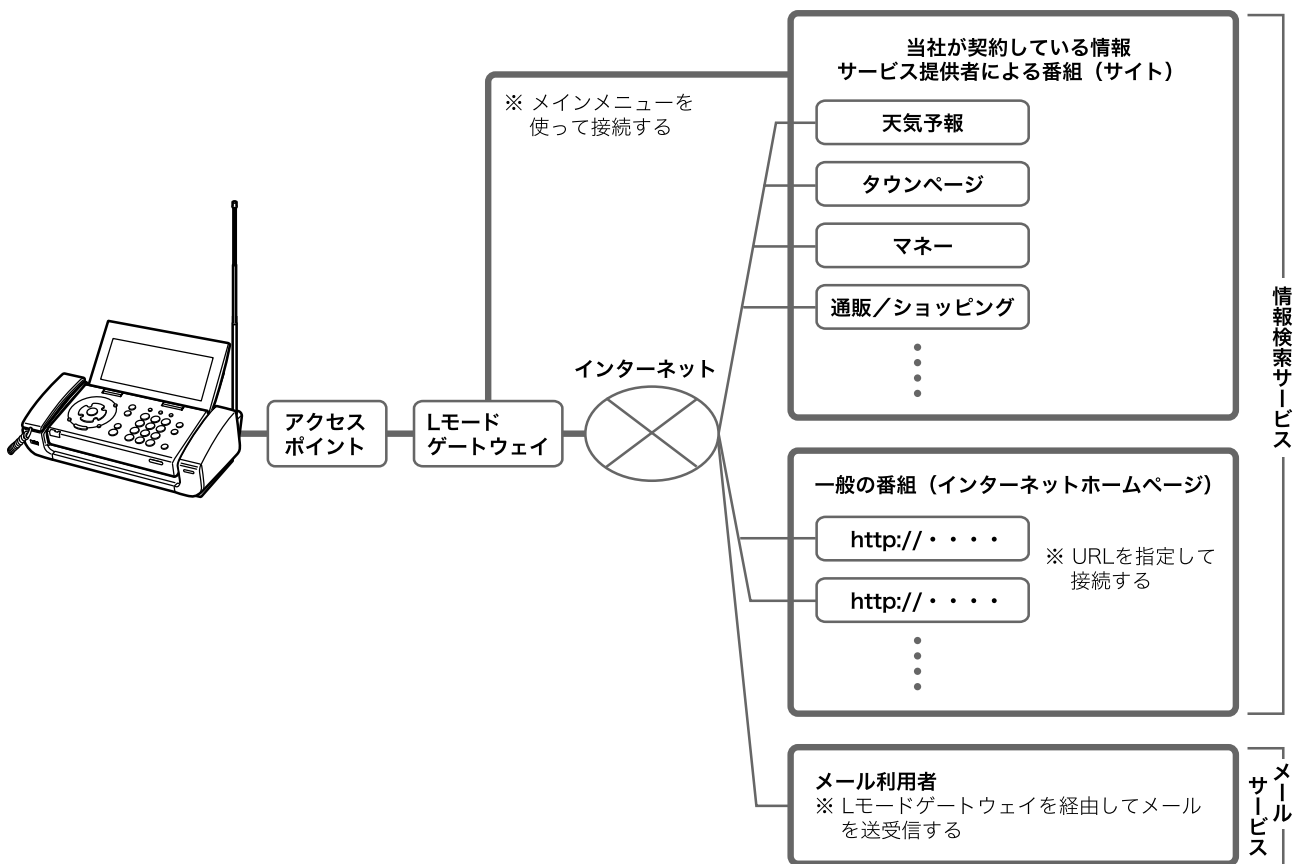
- ・着信履歴が記憶できる件数を超えたときは、古いものから順に消去されます。
- ・非通知や公衆電話などの着信は、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」、「受信エラー」と表示され、電話番号は記憶されません。
- ・ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定していても、かかってきた電話の着信日時のみ確認することができます。
- ・着信履歴から電話帳に登録できる発信者名は、最大全角6文字までです。
- ・子機の表示は12桁までです。電話番号が12桁以上の場合、最初の12桁を表示したあと、残りをスクロールして表示します。

Lモード

Lモードとは

Lモードとは、ブラウザ（情報検索）サービスの利用やメールのやりとりといったインターネットの活用が、電話機を使って手軽にお楽しみいただけるサービスです。Lモードを利用するためには、当社と契約（有料）したあと、108ページの操作を行う必要があります。

Lモードのしくみ



お知らせ

- ・ 当社の他のサービスと同時に使えない場合があります。詳しくは局番なしの116番にお問い合わせください。
- ・ 当社のISDN回線をご利用の場合、接続するターミナルアダプタによっては使えない場合があります。Lモード対応のアナログポートのあるターミナルアダプタなどを接続してください。
- ・ Lモード契約に基づき情報検索サービスを利用されるとき、Lモードの利便性などを向上させるため、当社が情報提供者へユーザIDおよび地域識別コードなどを通知することがあります。また、ユーザIDおよび地域識別コードなど、申込書に記載した情報およびLモードを利用する際に提供する情報について当社が使わせていただくことがあります。
- ・ NTT西日本の都合によりサービスの内容の一部を変更させていただくことがあります。
- ・ iナンバーサービスの追加番号ごとにLモードサービスをご契約いただくことが可能です。その際、契約ごとにアカウントが付与されますので、契約数に応じたLモード対応機器が必要になります。
- ・ 1つの回線には、Lモード対応の機器を1台接続することができます。複数台接続すると、正しく動作しない場合があります。

Lモードでできること

情報検索サービス

本商品の簡単なメニュー操作により、Lモードゲートウェイに接続してオンラインショッピングや各種チケットの予約をはじめ、タウンページの検索やメロディのダウンロードなどのサービスをご利用になれます。

また、見たいインターネットホームページのアドレスを直接入力すると、Lモードゲートウェイを経由してインターネットに接続してインターネットホームページを見ることができます。情報検索サービスの操作ができるのは、親機のみです。

※Lモードの情報は、一部有料のものがあります。

メールサービス

Lモードゲートウェイに接続してLモード対応の電話機/ファクス同士だけでなく、パソコンや携帯電話などとメールを送受信することができます。最大全角500文字、半角1000文字まで送受信することができます。

Lモードご契約時のメールアドレスは、「お客様の電話番号 @pipopa.ne.jp」です。メールサービスの操作ができるのは、親機のみです。

「お客様の電話番号」の部分は、お客様の好きな英数字と「_ (アンダーバー)」、「. (ピリオド)」および「- (ハイフン)」の組み合わせによる「マイアドレス」に変えることができます。変えるときに簡単なメールアドレス（名前など）にすると間違いメールや迷惑メールが届くことがあります。すでに他のお客様が利用しているメールアドレスに変えることはできません。

Lモードゲートウェイではメールを14日間保存します。また、最大200件まで保存します。


写真Lメール

写真Lメールは、Lモード間およびパソコンや携帯電話との間で写真などの画像が添付されたメール（写真つきメール）の送受信ができるサービスです。写真Lメールの受信では、写真つきメールに記載された画像参照用URLにアクセスすることにより、Lモードゲートウェイに蓄積された画像が閲覧できます。Lモードゲートウェイでの受信メール保存期間は14日間です。写真Lメールの送信では、送信機能に対応した端末から、写真などの画像を添付したメールを送信します（本商品は写真Lメール送信を利用した写真Lメール送信に対応しています）。

Lモードゲートウェイでのメール保存期間は14日間です（本商品からLモード対応機または携帯電話に送信した場合のみ）。14日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。



お知らせ

- ・ Lモードをご利用になるには、お客様の電話番号（発信電話番号）を通知する必要があります。
- ・ 情報検索サービスをご利用する際、Lモードの利便性の向上のため、情報提供者へユーザ ID および地域識別コード、ブラウザバージョンなどの通信機器に関わる情報を通知します。
- ・ Lモードの操作には、Lモードゲートウェイに接続して行う操作と接続しないで行う操作があります。ディスプレイの「」は、Lモードゲートウェイと接続しているときにだけ表示され、【オンフック】が点滅します。この間は通信料金がかかります。
- ・ Lモードの通信中に、回線の通信状況等によりメールの送受信および情報検索ができなかった場合でも、通信料が発生します。
- ・ Lモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイが入ると、通信状態が不安定になり、Lモードゲートウェイとの接続が切断される場合があります。
- ・ Lモードゲートウェイに接続しているときは通話中となり、電話を受けたり、ファクスを受信することができません。ドアホンからの呼出音が鳴りませんのでご注意ください。
- ・ 構内交換機 (PBX)、ホームテレホンなど、発信元の電話番号の先頭に「0」をつける必要がある通信機器に本商品を接続した場合は、Lモードをご利用になることはできません。
- ・ Lモードをご利用の電話回線には、複数台の電話機をブランチ式（並列）接続しないでください。Lモードが正常に動作しない場合があります。
- ・ 何も操作をしていないのに「切断されました」と表示された場合は、【L /セット】を押してください。Lモードゲートウェイとの接続が切断されています。ディスプレイの表示は変わりません。
- ・ Lモードゲートウェイとの接続中に一定の時間何も操作をしないと、無通信監視時間 (P.150) により、自動的にLモードゲートウェイとの接続が切断されます。接続が切断されるまでの時間を設定したり、自動的に切断されないように設定することもできます。
- ・ Lモードのサイト（番組）以外のインターネットホームページなどは、正しく表示されない場合があります。JPEG および GIF 形式以外の画像データは表示されません。JPEG および GIF 形式の画像データでも正しく表示されない場合があります。
- ・ 迷惑メールが届いた場合は、「マイアドレス」に変更するか、「迷惑メールおことわり機能」をご利用ください。詳しくは、『Lモード使用説明書』をご覧ください。
- ・ すでに転送でんわをご契約している場合は、Lモードをご契約することはできません。
- ・ ボイスワープとLモードを併せてご契約する場合は、ボイスワープの設定を「無応答時転送」に変更してください。詳しくは、『Lモード使用説明書』をご覧ください。
- ・ 親機メニュー項目 (P.21) の操作中や、Lモード (P.104) を操作中は【スタート/コピー】を押してもファクス受信ができません。【ストップ】を押して、メニューやLモードを終了後、【スタート/コピー】を押してください（この場合、メニュー項目で新たに追加した設定内容やLモードでの操作内容は保存されません）。

パスワードの変更・メールの設定について

パスワードは設定・変更することができます。また、ご契約時のメールアドレスをお客様の好きなメールアドレス（マイアドレス）に変更することができます。パスワードやマイアドレスの設定については、Lモードの申し込み完了後に当社より送られる『Lモード使用説明書』をご覧ください。

パスワード設定

メールやサイト（番組）によっては、パスワードが必要になります。

※ パスワードを保存すると、ご契約者以外の方も、ご契約者同様にLモードをご利用できるようになりますので、ご注意ください。

マイアドレス設定

メールのご契約時のメールアドレスは、「お客様の電話番号 @pipopa.ne.jp」です。「お客様の電話番号」の部分をお客様の好きな英数字と「_（アンダーバー）」、「.（ピリオド）」および「-（ハイフン）」の組み合わせによる「マイアドレス」に変えることができます。3文字以上16文字以内で設定することができます。ただし、先頭の文字は必ず英字にしてください。

メールアドレスを変更すると、変更前のメールアドレスには、メールが届かなくなります。また、すでに他のお客様が利用しているメールアドレスに変えることはできません。

変更したメールアドレスは、Lモードゲートウェイに保存されます。

料金割引サービスについて

番号指定型料金割引サービス（i・アイプランなど）

Lモードのご利用電話番号（アクセスポイントの電話番号）に対して、料金割引サービスをご契約する場合は、必ず本商品に設定されているアクセスポイント電話番号をご確認のうえ、お申し込みください。

すでにLモードのご利用電話番号（アクセスポイントの電話番号）に対して、料金割引サービスをご契約されている場合は、お客様が以前お使いの機器から本商品に交換してLモードをご利用になると、アクセスポイントの電話番号が変更になり、料金割引サービスが適用されなくなることがあります。このため、本商品に設定されているアクセスポイントの電話番号を必ず確認していただき、ご契約の料金割引サービスの電話番号と異なる場合は、ご契約の電話番号を変更してください。詳しくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご相談ください。

本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのNetFront 3を搭載しています。

Copyright© 1998-2005 ACCESS CO.,LTD.

ACCESSおよび**NetFront** v3.0は株式会社ACCESSの日本国ならびにその他の国における登録商標です。

Lモードについて詳しくは、局番なしの「116」番へお問い合わせください。

受付時間：午前9時～午後5時 年中無休
(年末年始12月29日～1月3日を除きます)

Lモードを使えるように設定する

はじめてLモードをご利用になる場合は、必ず以下の操作を行ってください。Lモードの操作はすべて親機で行います。

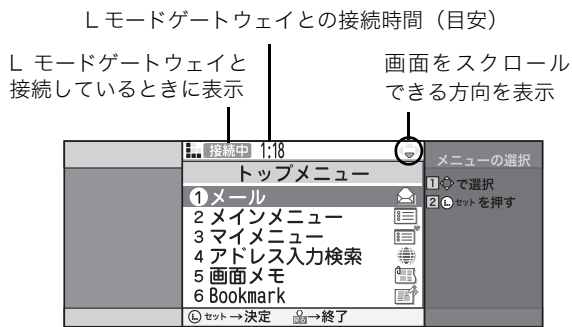
- 1** 【L /セット】 を押す
- 2** **△/▽**で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
「接続中」、「設定中」と表示された後、自動的に設定が完了します。
Lモードをご利用になるには、お客様の電話番号（発信電話番号）を通知する必要があります。必ず「はい」を選択してください。
- 3** 「設定完了」と表示されたら【L /セット】を押す
トップメニューが表示されます。
Lモード画面を終了する場合は、【ストップ】を押します。待機画面に戻ります。



お知らせ

- ・ 今後Lモードをご利用の際は、この操作は必要なくなります。
- ・ 電源を切ったときや、停電があった場合はもう一度この操作を行ってください。
- ・ 「接続中」もしくは「ダウンロード中」と表示されている間はLモードサービス利用中のため電話やファクスのご利用はできません。Lモードの操作を終了し、待機画面に戻ってから電話やファクスをご利用ください。
- ・ 電源コードを抜いたり停電があったとき、引越などによりこの電話機を移動した場合、また、電話番号が変わったときには、再度上記の操作をしてください。
- ・ Lモードの接続は、Lモードの開通日以降に行ってください。
- ・ 子機ではLモードサービスをご利用になれません。

Lモード中のディスプレイ表示について



- ・ 情報検索サービスを利用しているときに【戻る/インク交換 (2秒)】を押すと、トップメニューが表示されます。
- ・ メールサービスを利用しているときに【戻る/インク交換 (2秒)】を押すと、1つ前の画面が表示されます。
- ・ トップメニューで【戻る/インク交換 (2秒)】を押すと、「終了しますか？」と表示されます。△/▽で「はい」を選択して【L /セット】を押すと、Lモードゲートウェイとの接続が切断され、待機画面に戻ります。

Lモード画面を表示する

- 1 【L /セット】を押す
トップメニューが表示されます。トップメニューは7項目あり、主な操作はこの画面からはじめます。



トップメニュー	
1	メール
2	メインメニュー
3	マイメニュー
4	アドレス入力検索
5	画面メモ
6	Bookmark
7	設定メニュー

※情報の内容は予告なしに変更される場合があります。
※ご利用中は通信料金がかかります。

Lモード中に回線を切断する

- 1 Lモード画面で【オンフック】を押す
「切断されました。」と表示され、【オンフック】が消灯します。
- 2 【L /セット】を押す

Lモード画面を終了する

- 1 Lモード画面で【ストップ】を押す
待機画面に戻ります。
【オンフック】が消灯していることを確認してください。

サイト（番組）に接続する（メインメニュー）

情報サービス提供者が提供する各種サービスをご利用になれます。

- 1 【L /セット】を押す
トップメニューが表示されます。
- 2 △/▽で「メインメニュー」を選択し、【L /セット】を押す
Lモードゲートウェイに接続し、メインメニュー画面が表示されます。
- 3 △/▽で接続するサイトを選択し、【L /セット】を押す
選択したサイトに接続します。



お知らせ

- ・ サイトとは、Lモードでご利用になれる情報やサービスが登録されているページ（場所）です。
- ・ サイトに接続するとき、画像データを表示するかしないかを設定できます（P.148）。
- ・ サイトによっては、ご利用の前に別途申し込みが必要な場合があります。詳しくは、Lモードの申し込み完了後に当社より送られる『Lモード使用説明書』をご覧ください。
- ・ Lモードのサイト以外のインターネットホームページなどは、正しく表示されない場合があります。JPEG および GIF 形式以外の画像データは表示されません。また、JPEGおよびGIF形式の画像データでも正しく表示されない場合があります。
- ・ ページ容量は 10KB 以内です。10KB より大きい HTML ファイルは正しく表示されません。
- ・ 表示可能な最大サイズ（約 10KB）を超えたホームページは表示できません（「ページサイズオーバーです」と表示）。
- ・ Lモード対応のホームページ以外は正しく表示できない場合があります。また、正しく表示されなかった場合でも通信料金が掛かりますので、ご注意ください。
- ・ お客様のパスワードの漏洩による純粋経済損失などにつきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ Lモードゲートウェイと接続中は通信料金がかかります。また、Lモードゲートウェイ接続中は、“話し中”となり電話機としてご利用になることができません。
- ・ 情報検索サービスを終了するときは必ず、Lモードゲートウェイとの接続を切断してください。また、情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。
- ・ Lモードゲートウェイと接続が失敗した場合でも通信料金がかかる場合があります。



ワンポイント

■ ディスプレイの上方/下方を見るには

ディスプレイに 1 画面すべてが表示されない場合は、▼を押して下方を表示できます。上方に戻るときは、▲を押します。

■ リンク先に移動するには

下線が表示されている項目を▲/▼で選択して【L /セット】を押すと、別のサイト（リンク先）に移動できます。また、WEB TO 機能（P.123）を使い▲/▼で URL を選択して【L /セット】を押すと、同様にリンク先に移動できます。

■ 前のサイトに戻るには

◀を押すと、直前に表示されていたサイトに戻れます。

■ 文字を入力するには

文字を入力できる項目には、点線や実線の枠のテキストボックスが表示されます。

- ① ▲/▼でテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
- ② 文字を入力し、「確定」をタッチする

■ ラジオボタンのついた項目を選択するには

ラジオボタンとは、複数の項目から 1 つだけ選択できる丸いボタンで、項目名の前に表示されます。

- ① ▲/▼で項目を選択する
- ② 【L /セット】を押す

選択した項目に「・」が表示されます。

■ チェックボックスのついた項目を選択するには

チェックボックスは、複数の項目から複数選択できる四角いボタンで、項目名の前に表示されます。

- ① ▲/▼で項目を選択し、【L /セット】を押す
チェックマークが表示されます。もう一度【L /セット】を押すとチェックマークが消えます。
- ② 他の項目も選択する場合は、手順①を繰り返す

■ プルダウンメニューから項目を選択するには

プルダウンメニューとは、選択項目が隠れている状態で表示されるメニューです。1 つだけ項目を選択できます。

- ① ▲/▼でプルダウンメニューを選択し、【L /セット】を押す
選択項目が表示されます。
- ② ▲/▼で項目を選択し、【L /セット】を押す

■ サイト/ホームページを見るのを中断するには

「取得中」を表示しているとき【L /セット】を押して「中断」を選ぶと元のページに戻ります。

通信を中断した場合でも通信料金がかかりますので、ご注意ください。

■ 今見ているサイト/ホームページを繰り返し見たいときは


「画面メモ」（P.119）に保存すれば、Lモードゲートウェイに接続せずに、何度も同じページを見ることができます。

■ サイト/ホームページが正常に表示できなかったときや、最新のページ情報に更新するときは

【メニュー】を押し、▲/▼で「再読込」を選択して【L /セット】を押して、再読込をしてください。

インターネットホームページを見る (URL 入力)

ホームページアドレス (URL) を入力してインターネットに接続し、インターネットのホームページを見ることができます。

- 1** 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** Δ/∇ で「アドレス入力検索」を選択し、
【L /セット】 を押す
URL 入力画面が表示されます。
- 3** 【L /セット】 を押す
文字入力画面が表示されます。
- 4** タッチパネルで URL を入力し、「確定」を
タッチする 
文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。
最大半角 500 文字まで入力できます。
- 5** Δ/∇ で「OK」を選択し、【L /セット】 を
押す
インターネットホームページに接続します。
【ストップ】 を押すと、待機画面に戻ります。



お知らせ

- ・ L モード対応のインターネットホームページのみ正しく表示されます。
- ・ データ量が多いインターネットホームページに接続すると、すべての内容を表示できない場合があります。その場合も通信料金がかかりますのでご注意ください。



ワンポイント


- URL を確認したり、他のインターネットホームページを表示するには
 - ① インターネットホームページ表示中に【メニュー】を押す
 - ② Δ/∇ で「URL 参照/編集」を選択し、【L /セット】を押す
- インターネットホームページの表示を中止するには
「取得中」と表示されているときに【L /セット】を押します。

パスワードを入力/変更する

表示するサイト（番組）やホームページによっては、パスワードが必要になります。パスワード入力画面が表示されたときに、パスワード入力と同時に「パスワード保存」にチェックを入れると、本商品が自動的にパスワードを送信します。

詳しくは、Lモードの申し込み完了後に当社より送られる『Lモード使用説明書』をご覧ください。

パスワードを入力する

- 1** パスワードが必要なサイト（番組）／ホームページを表示させる
パスワード入力画面が表示されます。
- 2** 【L/セット】を押す
文字入力画面が表示されます。
- 3** 【0】～【9】をタッチしてパスワードを入力し、「確定」をタッチする
- 4** ▲/▼で「OK」を選択し、【L/セット】を押す

STOP お願い

- ・パスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。お客様のパスワードの漏洩による純粋経済損害などにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・パスワードを忘れた場合は、局番なしの 116 番へお問い合わせください。なおその際に本人の確認として、書面の提出が必要になります。
- ・パスワード保存をした場合は、ご契約者本人以外の方が本商品から L モードを利用した場合にも保存したパスワードが自動的に送信されます。本来パスワード入力が必要なサービスもご契約者と同様に利用可能となりますのでご注意ください。電源を切ると保存したパスワードは、消去されます。
- ・パスワード入力の要/不要を選択できる項目は、「マイメニューの利用」、「メールサービスの利用」、「サイト（番組）の閲覧」です。
- ・間違ったパスワードを入力した場合は再度パスワード入力画面が表示されますのでパスワードをお確かめのうえ、正しいパスワードを入力してください。
- ・パスワードを 4 回連続して間違って入力した場合は、メッセージが表示され自動的に回線を切断します。
- ・パスワードの変更方法や設定の状況を確認する方法については、『Lモード使用説明書』をご覧ください。




(2005 年 10 月現在)

ワンポイント

■ パスワードを保存する場合は

- ① 手順 3 の後、▲/▼で「パスワード保存」を選択し、【L/セット】を押す
チェックボックスにチェックマークが付きます。
- ② ▲/▼で「OK」を選択し、【L/セット】を押す

パスワードを変更する

- 1 【L/セット】を押す
トップメニューが表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メインメニュー」を選択し、【L/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「Lモードコーナー」を選択し、【L/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「Lモード各種設定」を選択し、【L/セット】を押す
- 5 表示される内容を確認し、【L/セット】を押す
- 6 Δ/∇ で「パスワード設定」を選択し、【L/セット】を押す
パスワード入力画面が表示されます。
- 7 【L/セット】を押す
文字入力画面が表示されます。
- 8 [0] ~ [9] をタッチしてパスワードを入力し、「確定」をタッチする 
- 9 Δ/∇ で「OK」を選択し、【L/セット】を押す
- 10 Δ/∇ で「パスワード変更」を選択し、【L/セット】を押す
- 11 ∇ で新パスワードの入力欄を選び、【L/セット】を押す
- 12 [0] ~ [9] をタッチして新しいパスワードを入力し、「確定」をタッチする 
- 13 ∇ でもう一度、新パスワードの入力欄を選び、【L/セット】を押す
- 14 [0] ~ [9] をタッチして手順 12 で入力したパスワードと同じパスワードを入力し、「確定」をタッチする 
- 15 Δ/∇ で「決定」を選択し、【L /セット】を押す

STOP お願い

- ・ Lモードのパスワードは契約時には「0000」に設定されていますので、独自のパスワードを設定してください。
- ・ お客様がパスワードを変更されていない場合は、「0000」をパスワードとして設定されたこととなります。
- ・ Lモードにおいてパスワードの入力が必要な場合は以下の通りです（すべて同一のパスワードを使用します）。
 - ・ 有料番組の申し込みおよび解約
 - ・ パスワードの変更
 - ・ L案内メールサービスの申し込みおよび解約
 - ・ サービスの機能設定および変更



ワンポイント




- パスワード入力の要/不要を選択するには
手順9の後に、パスワード入力の要/不要を選択することができます。
- パスワード入力の「要」を選択していて、本商品にパスワードが保存されていない場合は
写真 L メール送信、メール自動受信が利用できません。ご利用になるには、本商品にパスワードを保存しているか、パスワード入力の「不要」を選択している必要があります。

マイアドレスを設定／変更する

ご契約時のメールアドレスは、「お客様の電話番号@ pipopa.ne.jp」です。「お客様の電話番号」の部分をお客様の好きな英数字と「ハイフン (-)」、「アンダーバー ()」、および「ピリオド (.)」の組み合わせによる「マイアドレス」に変えることができます。「マイアドレス」を設定して、迷惑メールを受け取りにくくすることをおすすめします。

メールアドレスを変更すると、変更前のメールアドレスにはメールが届かなくなりますのでご注意ください。マイアドレスの設定／変更について、詳しくは L モードの申し込み完了後に当社より送られる『L モード使用説明書』をご覧ください。

マイアドレスを設定／変更する

- 1 【L / セット】を押す
トップメニューが表示されます。
- 2 Δ / ∇ で「メインメニュー」を選択し、【L / セット】を押す
- 3 Δ / ∇ で「L モードコーナー」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ / ∇ で「L モード各種設定」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 表示される内容を確認し、【L / セット】を押す
- 6 Δ / ∇ で「L メール設定」を選択し、【L / セット】を押す
パスワード入力画面が表示されます。
- 7 【L / セット】を押す
文字入力画面が表示されます。
- 8 [0] ~ [9] をタッチしてパスワードを入力し、「確定」をタッチする 
- 9 Δ / ∇ で「OK」を選択し、【L / セット】を押す
- 10 Δ / ∇ で「マイアドレス設定」を選択し、【L / セット】を押す
- 11 Δ / ∇ で「登録／変更」を選択し、【L / セット】を押す
- 12 Δ / ∇ で第一希望の入力欄を選択し、【L / セット】を押す
- 13 文字をタッチして、希望するメールアドレスを入力する 
- 14 「確定」をタッチする 
- 15 Δ / ∇ で「決定」を選択し、【L / セット】を押す



お知らせ

- ・マイアドレスの初期設定は「お客様の電話番号@ pipopa.ne.jp」です。
- ・マイアドレスの変更後もメールボックスの変更はありません。
- ・マイアドレスには半角英数 (A ~ Z (大文字、小文字区別なし)、0 ~ 9、ハイフン (-)、アンダーバー ()、ピリオド (.) (ただしピリオドは最後の一字には使用不可)) がご利用になれます。
- ・マイアドレスには、3 文字以上 16 文字以内が設定できます。
- ・すでに他のお客様が使用しているマイアドレスは登録できません。
- ・マイアドレスと電話番号を併用している場合、送信するメールの送信元アドレスはマイアドレスとなります。






ワンポイント

- 第二希望、第三希望のメールアドレスを入力するには
 - ① 手順 14 の後、 Δ / ∇ で第二希望または第三希望の入力欄を選択し、【L / セット】を押す
 - ② 文字をタッチして、希望するメールアドレスを入力する
 - ③ 「確定」をタッチする
 - ④ Δ / ∇ で「決定」を選択し、【L / セット】を押す

迷惑メールを防止する

迷惑メールを防止するには、マイアドレスの設定/変更 (P.114) または迷惑メールお断り機能を利用する方法があります。迷惑メールお断り機能を設定し、お断りメールアドレスを登録することをおすすめします。

迷惑メールお断り機能を設定する

- 1 【L/セット】を押す
トップメニューが表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メインメニュー」を選択し、【L/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「Lモードコーナー」を選択し、【L/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「Lモード各種設定」を選択し、【L/セット】を押す
- 5 表示される内容を確認し、【L/セット】を押す
- 6 Δ/∇ で「Lメール設定」を選択し、【L/セット】を押す
パスワード入力画面が表示されます。
- 7 【L/セット】を押す
文字入力画面が表示されます。
- 8 【0】～【9】をタッチしてパスワードを入力し、「確定」をタッチする 
- 9 Δ/∇ で「OK」を選択し、【L/セット】を押す
- 10 Δ/∇ で「着信お断りメール設定」を選択し、【L/セット】を押す
- 11 Δ/∇ で「お断りメールアドレスの登録」を選択し、【L/セット】を押す
- 12 Δ/∇ でお断りメールアドレスの入力欄を選択し、【L/セット】を押す
- 13 文字をタッチし、お断りするメールアドレスを入力する 
- 14 「確定」をタッチする 
- 15 Δ/∇ で「決定」を選択し、【L/セット】を押す
- 16 複数のお断りメールアドレスを登録するときは、「登録を続ける」を選択し、【L/セット】を押す



お知らせ

- ・登録可能なメールアドレスの件数は最大 30 件です。
- ・登録可能なメールアドレスの文字数は、半角 50 文字までです。
- ・着信お断りメール設定をすると、マイアドレスと利用者電話番号アドレスの併用をしている場合、利用者電話番号アドレスおよびマイアドレスの両方に対してメールの受信を拒否します。(2005年10月現在)
- ・着信お断りメール送信者がグループアドレスを変更している場合、電話番号および任意グループアドレスの両方に対して迷惑お断りが有効です。
- ・マイアドレスと電話番号を併用している場合、送信するメールの送信元アドレスはマイアドレスとなります。



ワンポイント

■ 登録したお断りメールアドレスを削除するには

- ① 手順 11 で「お断りメールアドレスの削除」を選択し、【L/セット】を押す
- ② Δ/∇ でお断りメールアドレスの選択欄を選択し、【L/セット】を押す
- ③ Δ/∇ で登録を削除したいメールアドレスを選択し、【L/セット】を押す
- ④ Δ/∇ で「決定」を選択し、【L/セット】を押す
- ⑤ Δ/∇ で「はい」を選択し、【L/セット】を押す
- ⑥ 複数のお断りメールアドレスを削除するときは、「削除を続ける」を選択し、【L/セット】を押す

■ 登録されているお断りメールアドレスを確認するには

- 手順 11 で「設定確認」を選択し、【L/セット】を押す

マイメニューを使う

よく見るサイト（番組）をマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続することができます。

マイメニューに登録する

マイメニューへの登録については、Lモードの申し込み完了後に当社より送られる『Lモード使用説明書』をご覧ください。

マイメニューからサイトを表示する

- 1** 【L / セット】を押す
トップメニューが表示されます。
- 2** **△ / ▽**で「マイメニュー」を選択し、【L / セット】を押す
Lモードゲートウェイに接続し、マイメニュー画面が表示されます。
- 3** **△ / ▽**で接続するサイトを選択し、【L / セット】を押す
選択したサイトに接続します。



お知らせ

- ・ マイメニュー登録にはパスワードが必要です。
- ・ マイメニュー登録ができないサイトもあります。
- ・ マイメニューは、Lモードゲートウェイに登録されます。
- ・ マイメニューからサイトに接続するには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。

ブックマークを使う

お気に入りのサイト（番組）やインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、簡単に接続することができます。

ブックマークを登録する

ブックマークにはURLを20件まで登録できます。

- 1 登録したいサイトまたはインターネットホームページを表示する（P.109、116）
- 2 【メニュー】を押す
ページサブメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「Bookmark 登録」を選択し、【L / セット】を押す


ブックマークからサイトを表示する

- 1 【L / セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「Bookmark」を選択し、【L / セット】を押す
Bookmark 一覧画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ でサイトまたはインターネットホームページを選択し、【L / セット】を押す
 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ でブックマークが表示されているページを切り替えることができます。
「接続中」、「取得中」と表示された後、サイトまたはインターネットホームページが表示されます。


ブックマークのタイトル / URL を編集する

- 1 【L / セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「Bookmark」を選択し、【L / セット】を押す
Bookmark 一覧画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で編集するブックマークを選択する

タイトルを編集するときは

- 4 【メニュー】を押す
- 5 Δ/∇ で「タイトル編集」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 【L / セット】を押す
文字入力画面が表示されます。
- 7 タイトルを編集し「確定」をタッチする 
文字の入力のしかたは42ページをご覧ください。
最大全角8文字、半角16文字まで入力できます。
- 8 Δ/∇ で「OK」を選択し、【L / セット】を押す

URL を編集するときは

- 4 【メニュー】を押す
- 5 Δ/∇ で「URL 編集」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 【L / セット】を押す
文字入力画面が表示されます。
- 7 タッチパネルで URL を編集し、「確定」をタッチする 
文字の入力のしかたは42ページをご覧ください。
最大半角500文字まで入力できます。
- 8 Δ/∇ で「OK」を選択し、【L / セット】を押す

登録したブックマークを削除する

- 1** 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** Δ / ∇ で「Bookmark」を選択し、【L /セット】 を押す
Bookmark 一覧画面が表示されます。
- 3** Δ / ∇ で削除するブックマークを選択し、【メニュー】 を押す
- 4** Δ / ∇ で「一件削除」を選択し、【L /セット】 を押す
確認画面が表示されます。
- 5** Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L /セット】 を押す
ブックマークが削除され、Bookmark 一覧画面に戻ります。



お知らせ

- ・ サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- ・ Bookmark 一覧画面では、タイトルまたは URL が表示されます。
- ・ ブックマークは本商品に登録されます。
- ・ ブックマークには半角 500 文字を超える URL を登録できません。
- ・ ブックマークに 1 件も登録されていない場合は、「Bookmark はありません。」と表示されます。
- ・ タイトルを編集しても Bookmark 一覧画面に表示される順番は変わりません。



ワンポイント

- 「Bookmark が一杯です。削除してください。」と表示された場合はすでに 20 件登録されています。不要なブックマークを削除してから (P.118)、登録し直してください。
- ブックマークをすべて削除するには
手順4のとき Δ / ∇ で「全件削除」を選択し、【L /セット】 を押します。

画面メモを使う

サイトやインターネットホームページで気に入った情報があった場合は、画面メモとして登録し、保存することができます。画面メモは10件まで登録できます。

画面メモに登録する

- 1 登録したいサイトまたはインターネットホームページを表示する (P.109、116)
- 2 【メニュー】を押す
ページサブメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「画面メモ登録」を選択し、【L / セット】を押す
画面が登録され、サイトまたはインターネットホームページに戻ります。

画面メモを表示する

- 1 【L / セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「画面メモ」を選択し、【L / セット】を押す
画面メモ一覧画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で表示する画面メモを選択し、【L / セット】を押す
画面メモが表示されます。

画面メモを削除する

- 1 【L / セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「画面メモ」を選択し、【L / セット】を押す
画面メモ一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で削除する画面メモを選択し、【メニュー】を押す
画面メモサブメニュー画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ で「一件削除」を選択し、【L / セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 5 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す
画面メモが削除され、画面メモ一覧画面に戻ります。

画面メモを印刷する

- 1 記録紙をセットする (P.31)
- 2 【L / セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「画面メモ」を選択し、【L / セット】を押す
画面メモ一覧が表示されます。
- 4 Δ/∇ で印刷したい画面メモを選択し、【L / セット】を押す
画面メモが表示されます。
- 5 【メニュー】を押す
画面メモサブメニュー画面が表示されます。
- 6 「プリント」を選択し、【L / セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す

画面メモの画像を待機画面に登録する

- 1 【L / セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「画面メモ」を選択し、【L / セット】を押す
画面メモ一覧画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で登録する画面メモを選択し、【L / セット】を押す
画面メモが表示されます。
- 4 【メニュー】を押す
画面メモサブメニュー画面が表示されます。
- 5 Δ/∇ で「待機画面登録」を選択し、【L / セット】を押す
- 6 Δ/∇ で画像を選択し、【L / セット】を押す



お知らせ

- ・画面メモには文字データ、画像データおよびリンクの情報が保存されます。画面メモでリンク先を選択して【L /セット】を押すと、自動的にLモードゲートウェイに接続し、リンク先のページが表示されます。
- ・サイトやインターネットホームページで入力した文字や設定は、画面メモに登録されません。
- ・画面メモに登録された情報は、登録したときのものです。最新の情報と異なる場合があります。
- ・画面メモに1件も登録されていない場合は、「画面メモはありません。」と表示されます。
- ・画面メモによっては、「登録できる画像データがありません。」と表示され、待機画面に登録できない場合があります。
- ・画像は1件のみ登録できます。待機画面登録の操作を行うたびに新しい画像に上書きされます。



ワンポイント

- 「画面メモが一杯です。削除してください。」と表示された場合は
すでに10件登録されています。不要な画面メモを削除してから (P.119)、登録し直してください。
- 画面メモをすべて削除するには
画面メモ一覧画面が表示された状態で【メニュー】を押した後、**△**/**▽**で「全件削除」を選択し、【L /セット】を押します。

表示しているページを印刷する

表示中のサイトやインターネットホームページを印刷することができます。

- 1 記録紙をセットする (P.31)
- 2 印刷したいサイトまたはインターネットホームページを表示し (P.109、116)、【メニュー】を押す
- 3 Δ/∇ で「プリント」を選択し、【L /セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
ここで印刷が始まり、回線が切断されます。



お知らせ

- ・ 下記以外のデータファイルは印刷できないことがあります。

HTML

TEXT

GIF (256 カラー)

- ・ ノンインターレース GIF
- ・ インターレース GIF
- ・ 透過 GIF
- ・ アニメーション GIF

JPEG (65536 色カラー)

- ・ ベースライン

- ・ 印刷する場合は必ず記録紙をセットしてください。
- ・ 本機能ではカラー印刷のみ可能です。



ワンポイント

■ 印刷を中止するには

「プリント中です」と表示されているときに【L /セット】を押します。

表示を更新して最新情報を見る（再読込）

表示中のサイトやインターネットホームページを再読込して最新情報に更新できます。サイトなどが正常に表示されなかった場合も再読込を行ってください。

- 1** サイトまたはインターネットホームページを表示する（P.109、116）
- 2** 【メニュー】を押す
ページサブメニュー画面が表示されます。
- 3** **△**/**▽**で「再読込」を選択し、【L / セット】を押す
最新情報に更新されます。



お知らせ

- ・自動的に再読込はされません。

画面上の電話番号／アドレス／URL／ファクス番号を利用する

サイト、インターネットホームページ、画面メモ、メールに表示されている電話番号、メールアドレス、URL、ファクス番号などを利用して、電話をかける、メールを送信する、サイトやインターネットホームページに接続する、ファクスを受信するなどの操作が簡単に行えます。


電話をかける (PHONE TO 機能)

PHONE TO 機能を利用して、表示されている電話番号に電話をかけます。

- 1 サイトやメールなどの表示中に、**△/▽**で電話番号を選択する
電話番号が反転表示されます。
- 2 **【L /セット】** を押す
確認画面が表示されます。電話番号を必ず確認してください。
- 3 **△/▽**で「はい」を選択し、**【L /セット】**を押す
自動的にダイヤルされます。
- 4 相手が出たら、受話器を取って話す

メールを送信する (MAIL TO 機能)

MAIL TO 機能を利用して、表示されているメールアドレスにメールを送信します。

- 1 サイトやメールなどの表示中に、**△/▽**でメールアドレスを選択する
メールアドレスが反転表示されます。
- 2 **【L /セット】** を押す
確認画面が表示されます。
- 3 **△/▽**で「はい」を選択し、**【L /セット】**を押す
- 4 「センタとの接続を切断しますか？」と表示されるので、切断する場合は**△/▽**で「はい」を、切断しない場合は**△/▽**で「いいえ」を選択し、**【L /セット】**を押す
メール作成画面が表示されます。メールアドレスは必ず確認してください。
- 5 題名や本文を入力して送信する 
メール作成、送信のしかたは、「メールを送信する」(P.129)をご覧ください。

サイトやインターネットホームページに接続する (WEB TO 機能)

WEB TO 機能を利用して、表示されている URL に接続します。

- 1 サイトやメールなどの表示中に、**△/▽**で URL を選択する
URL が反転表示されます。
- 2 **【L /セット】** を押す
サイトやインターネットホームページに接続します。

ファクスを受信する (FAX TO 機能)

FAX TO 機能を利用して、表示されているファクス番号からファクスを受信します。

- 1 サイトやメールなどの表示中に、**△/▽**でファクス番号を選択する
ファクス番号が反転表示されます。
- 2 **【L /セット】** を押す
確認画面が表示されます。
- 3 **△/▽**で「はい」を選択し、**【L /セット】**を押す
ファクス番号に自動的にダイヤルされます。
- 4 アナウンスにしたがって操作する
アナウンスがない場合もあります。



お知らせ

- ・ PHONE TO 機能を利用して電話をかける場合は、必ず電話番号を確認してください。海外やダイヤル Q2 の電話番号につながり、高額の通話料金がかかる場合があります。
- ・ サイトやメールによっては、電話番号が反転表示されない場合があります。その場合、「電話をかける (PHONE TO 機能)」(P.123) の操作で電話をかけることはできません。
- ・ Lモードゲートウェイに接続している場合は、自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断してから電話をかけます。
- ・ 発信後の通話には通話料金がかかります。
- ・ PHONE TO 機能による発信とメッセージあり通知 (P.139) の着信が同時に行われた場合、正常に動作しないことがあります。
- ・ 発信後の通信には通信料金がかかります。
- ・ サイトやメールによっては、メールアドレスが反転表示されない場合があります。その場合、「メールを送信する (MAIL TO 機能)」(P.123) の操作でメールを送信することはできません。
- ・ 手順3でLモードゲートウェイと接続を切断しない場合は、メール作成中も通信料金がかかります。
- ・ サイトやメールによっては、URLが反転表示されない場合があります。その場合、「サイトやインターネットホームページに接続する (WEB TO 機能)」(P.123) の操作でサイトやインターネットホームページに接続できません。
- ・ Lモードのサイト以外のインターネットホームページは、正しく表示されない場合があります。
- ・ サイトやメールによっては、ファクス番号が反転表示されない場合があります。その場合、「ファクスを受信する (FAX TO 機能)」(P.123) の操作でファクスを受信できません。
- ・ Lモードゲートウェイに接続している場合は、自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断してからファクス番号に電話をかけます。
- ・ ファクス番号を必ず確認して発信してください。
- ・ FAX TO機能による発信とメッセージあり通知(P.139)の着信が同時に行われた場合、正常に動作しないことがあります。
- ・ 携帯通話設定機能 (P.62～66) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の【オンフック】が点滅します。



ワンポイント

- 「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は
未送信メールと送信済メールの合計が 30 件を超えています。不要なメールを削除してから (P.131、134)、操作をやり直してください。

コンテンツ印刷をする

画面表示で確認することができない詳細な情報（コンテンツ）などを、サイトやインターネットホームページから直接ダウンロードし、印刷することができます。

- 1** コンテンツ印刷対応のサイトまたはインターネットホームページを表示する（P.109、116）
- 2** 記録紙をセットする（P.31）
- 3** **△/▽**で印刷対象を選択し、【L /セット】を押す
ファイルのダウンロードが終了後、確認画面が表示されます。
- 4** **△/▽**で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
ここで印刷が始まり、回線が切断されます。



お知らせ

- ・ 下記以外のデータファイルは印刷できないことがあります。

HTML

TEXT

GIF (256 カラー)

- ・ ノンインターレース GIF
- ・ インターレース GIF
- ・ 透過 GIF
- ・ アニメーション GIF

JPEG (65536 色カラー)

- ・ ベースライン

統合ファイル（コンテンツ印刷のみ）

- ・ 印刷する場合は必ず記録紙をセットしてください。
- ・ 本機能ではカラー印刷のみ可能です。



ワンポイント

- **ダウンロードを中止するには**
手順2で「取得中」と表示されているときに【L /セット】を押します。
- **印刷を中止するには**
「○/○ページ印刷中」と表示されているときに【ストップ】を押します

暗号化 (SSL) サイトを見る

暗号化サイトとは、データを暗号化して送受信（暗号化通信）することで、通信途中での第三者によるデータの盗み見や書き換え、なりすましを防ぐことができる安全性の高いサイト／インターネットホームページのことです。

暗号化サイトでは、クレジットカード番号や住所など、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

暗号化通信を行うときは、必ず日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください (P.37)。



ワンポイント

■ 暗号化サイト／インターネットホームページが表示できないときは

以下の場合には「接続先を認証できませんでしたが続けますか?」と表示されます。お客様の情報が安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

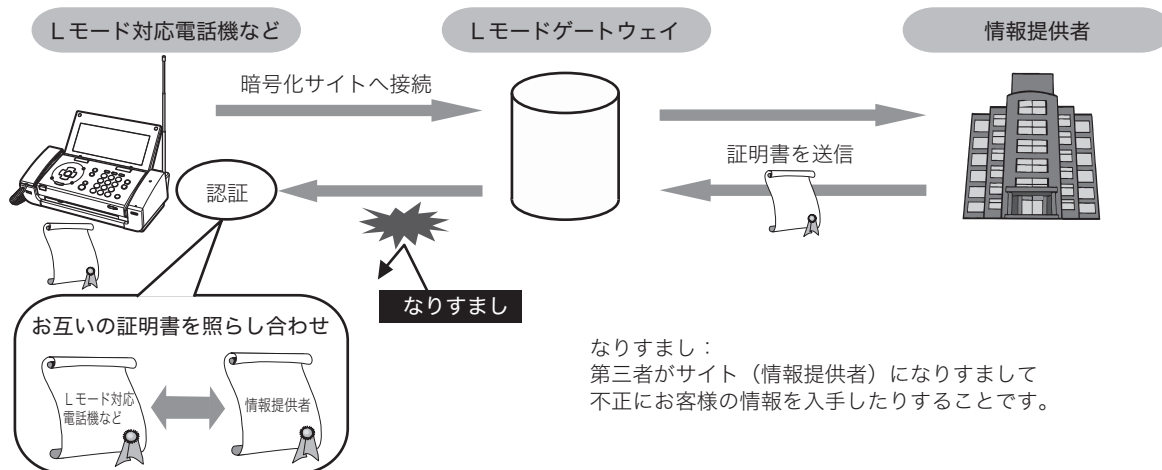
- ・暗号化サイトが本商品に搭載されている証明書に対応していない
- ・暗号化サイトの証明書の有効期限が切れている
- ・本商品の日付・時刻が正しく設定されていない（この場合は、日付・時刻を正しく設定し直してください (P.37)）
- ・「はい」を選択して【L/セット】を押すと、証明書による認証を省略して暗号化通信を行います。
- ・「いいえ」を選択して【L/セット】を押すと、暗号化通信を中止し、1つ前の画面に戻ります。

暗号化通信 (SSL) とは

Lモード対応電話機などから特別な操作なしに、対応サイト（暗号化サイト）と暗号化通信を行うことができます。暗号化通信とは、認証や暗号の技術を使用することで、プライバシーを保護して安全なデータ通信を行う方式です。暗号化サイトではデータを暗号化して送受信することで、通信途中で第三者による“なりすまし”やデータの“盗み見”“書き換え”を防止し、クレジットカード情報や住所など、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

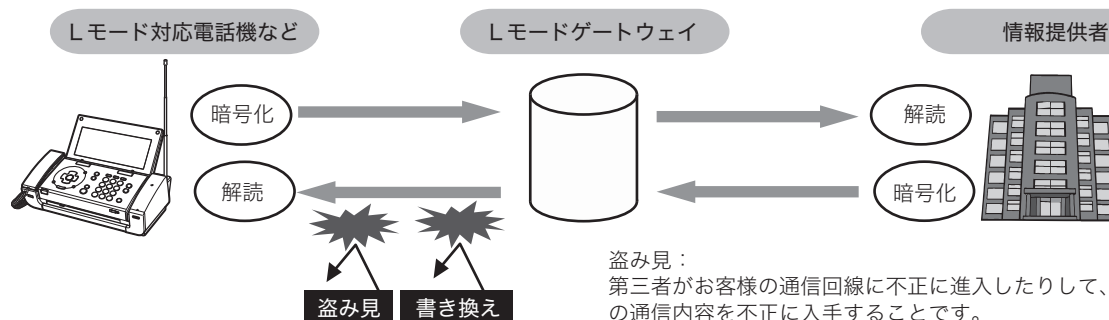
■ 認証機能

実際にデータのやりとりを行う前に、Lモード対応電話機などが持つ証明書（認証局という公的な機関が本人であることを証明するために発行するもの）と、情報提供者から送られてくる証明書を照らし合わせ、その情報提供者が確かに同一の認証局から発行されたものであることをLモード対応電話機などが確認します。この認証機能により、第三者が情報提供者になりすますことを防止することができます。



■ 暗号機能

情報提供者の認証後に、データを暗号化して送受信します。暗号化したデータは、そのLモード対応電話機などと情報提供者以外は解読することができませんので、第三者によるデータの盗み見や書き換えを防止することができます。



ワンポイント

- ・ Lモードの暗号化通信は、SSL（Secure Socket Layer）という認証／暗号技術を使用しています。
- ・ 暗号化通信を正常に動作させるためには、Lモード対応電話機などの日付時刻設定を正しく行ってください。

サイトからメロディをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからお好みのメロディをダウンロードし、最大3件まで親機の着信音として登録することができます。

- 1 サイトまたはインターネットホームページを表示する (P.109、116)
- 2 メロディをダウンロードする
ダウンロードのしかたは、サイトにより異なります。
- 3 ダウンロードが完了したら、**△/▽**で「登録する」を選択し、**【L /セット】**を押す
確認画面が表示されます。
- 4 **【L /セット】**を押す



お知らせ

- ・ 子機の着信音として登録することはできません。
- ・ 試聴を目的としてサイトからダウンロードしたメロディは、著作権により保護されているため、登録できない場合があります。
- ・ 再生できるデータは4和音SMAF形式のみです。
- ・ Lモードゲートウェイとの通信中は、通信料金がかかります。
- ・ Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。



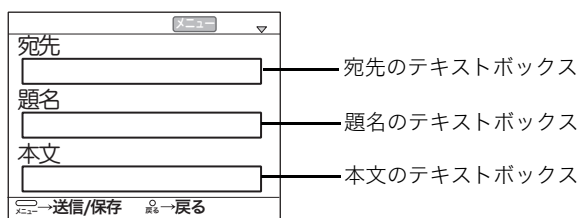
ワンポイント

- 登録場所選択画面が表示された場合は
すでにメロディが3件登録されています。**△/▽**で削除するメロディを選択し、**【L /セット】**を押すと新しくダウンロードしたメロディに置き換えられます。
- メロディを試聴するには
手順2の後、**△/▽**で「再生する」を選択し、**【L /セット】**を押します。再生を止めるときは**【L /セット】**を押します。
- ダウンロードしたメロディを着信音に設定するには
「親機の着信音を設定する」(P.40)をご覧ください。
Lモードゲートウェイに接続している場合は、切断してから操作してください。
- ダウンロードしたメロディを削除するには
 - ① **【メニュー】**を押す
 - ② 「音設定」をタッチする
 - ③ **△/▽**で「着信音選択」を選択し、**【L /セット】**を押す
 - ④ **△/▽**で「変更する」を選択し、**【L /セット】**を押す
 - ⑤ **【スタート/コピー】**を押す
 - ⑥ **△/▽**で削除するメロディを選択し、**【消去/キャッチ】**を押す
 - ⑦ **◀/▶**で「はい」を選択し、**【L /セット】**を押す削除できるのは、ダウンロードしたメロディのみです。

メールを送信する

メールを新規作成して送信します。送信したメールは、送信済メール一覧 (P.131) に保存されるため、後で読み直すことができます。

文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。



- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「新規メール作成」を選択し、【L /セット】を押す
メール作成画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ で「宛先」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
宛先入力画面が表示されます。
- 5 相手のメールアドレスを入力する
最大半角 50 文字まで入力できます。
- 6 Δ/∇ で「題名」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
題名入力画面が表示されます。

- 7 題名を入力する
最大全角 30 文字、半角 60 文字まで入力できます (定型文を含む)。
- 8 Δ/∇ で「本文」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
本文入力画面が表示されます。
- 9 本文を入力する
最大全角 500 文字、半角 1000 文字まで入力できます (定型文を含む)。
- 10 【メニュー】を押す
- 11 Δ/∇ で「送信」を選択し、【L /セット】を押す
L モードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。
送信が完了すると「送信完了 切断しますか?」と表示されます。
- 12 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
「いいえ」を選択した場合は、回線は接続されたままです。

STOP お願い

L モード対応電話機/ファクス以外にメールを送信する場合は、半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。



お知らせ

- ・メール作成中に着信があった場合、着信画面に切り替わります。受話器を取ってお話しください。電話の場合は、そのまま話してください。通話終了後、受話器を戻すとメール作成画面に戻ります。ファクスの場合、自動受信はできません。着信したファクスを手動で受信するには、受話器を上げた状態で【ストップ】を押し、次に【スタート/コピー】を押してください。ファクスの受信が始まります。ただし、この場合、作成中のメールは破棄され、保存されません。
- ・メール送信中は電話をかけることはできません。
- ・L モードゲートウェイ接続中にキャッチホンを受信した場合、回線が切断されることがあります。
- ・送信エラーで送信できなかったメールや、送信せずに保存したメールは未送信メール一覧に保存されます。
- ・L モードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- ・回線の状態によっては、L モードゲートウェイと接続できない場合があります。L モードゲートウェイと接続できなかった場合は、「接続に失敗しました。」と表示されます。
- ・L モード以外のメールサービスをご利用のお客様とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- ・L モードの通信中に、回線の通信状況などによりメールの送受信ができない場合も、通信料金がかかります。



ワンポイント

■ 電話帳を使って宛先を入力するには

- ① 「メールを送信する」(P.129) の手順 5 で「電話帳」をタッチする
- ② **△**/**▽**で「**✉**メール」のついている相手を選択し、【L/セット】を押す
- ③ もう一度【L/セット】を押す

■ 宛先、題名、本文を修正するには

- ① メール作成画面から、**△**/**▽**で修正したい項目を選択し、【L/セット】を押す
- ② 修正し、「確定」をタッチする

■ 作成したメールを保存するには

「メールを送信する」(P.129) の手順 10 の後、「保存」を選択し、【L/セット】を押します。

■ 送信を中止するには

「メールを送信する」(P.129) の手順 10 で「L モード接続中」と表示されているときに【L/セット】を押します。

■ メールが送信できるか確認するには

メールを新規作成し、宛先に本商品のメールアドレスを指定します。送信した後、「メールを受信する」(P.139) の操作を行います。

■ 「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が 30 件を超えています。不要なメールを削除してから (P.131、134)、操作をやり直してください。

送信済メール一覧を使う

送信したメールは、送信済メール一覧に保存されます。送信済メール一覧から、内容を修正して再送信したり、他の相手に送信することなどができます。

送信済メールを確認／削除／印刷する

内容を確認するときは

- 1** 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** Δ / ∇ で「メール」を選択し、【L / セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3** Δ / ∇ で「送信済メール一覧」を選択し、【L / セット】を押す
送信済メール一覧画面が表示されます。
- 4** Δ / ∇ でメールを選択し、【L / セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
【戻る / インク交換 (2 秒)】を押すと、送信済メール一覧画面に戻ります。

削除するときは

- 5** 【メニュー】 を押す
- 6** Δ / ∇ で「削除」を選択し、【L / セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7** Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す

印刷するときは

- 5** 【メニュー】 を押す
- 6** Δ / ∇ で「プリント」を選択し、【L / セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7** Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す


ワンポイント

■ 送信済メールを一括削除するには

- ① 手順3の後、【メニュー】を押す
- ② Δ / ∇ で「全件削除」を選択し、【L / セット】を押す
- ③ Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す

送信済メールからメールアドレスを電話帳に登録する

送信済メールの相手のメールアドレスを電話帳に登録できます。メールアドレスは電話番号と合わせて最大100件まで登録できます。

- 1** 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** **△ / ▽** で「メール」を選択し、【L / セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3** **△ / ▽** で「送信済メール一覧」を選択し、【L / セット】を押す
送信済メール一覧画面が表示されます。
- 4** **△ / ▽** でメールを選択し、【L / セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5** 【メニュー】 を押す
- 6** **△ / ▽** で「電話帳登録」を選択し、【L / セット】を押す
メールの内容画面に戻ります。
電話帳にはメールアドレスが登録され、名前は「名前未登録」となります。
- 7** 必要に応じて電話帳を編集する 
電話帳の編集のしかたについては「電話帳に登録する」(P.49) をご覧ください。




ワンポイント

■「これ以上登録できません。」と表示された場合は

すでに電話帳が100件登録されています。不要な電話帳を消去してから (P.50)、操作をやり直してください。

送信済メールを編集して再送信する

送信済メールの宛先、題名、本文を編集して再送信できます。

- 1 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「送信済メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
送信済メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ でメールを選択し、【L /セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「再編集」を選択し、【L /セット】を押す
編集メール作成画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で編集するテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
- 8 内容を編集し、「確定」をタッチする 
- 9 【メニュー】を押す
- 10 Δ/∇ で「送信」を選択し、【L /セット】を押す
Lモードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。
送信が完了すると「送信完了 切断しますか?」と表示されます。
- 11 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
「いいえ」を選択した場合は、回線は接続されたままです。



お知らせ

- ・メール送信中は電話をかけることはできません。
- ・Lモードゲートウェイ接続中にキャッチホンを受信した場合、回線が切断されることがあります。
- ・送信エラーで送信できなかったメールや、送信せずに保存したメールは未送信メール一覧に保存されます。
- ・Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- ・回線の状態によっては、Lモードゲートウェイと接続できない場合があります。Lモードゲートウェイと接続できなかった場合は、「接続に失敗しました。」と表示されます。
- ・Lモード以外のメールサービスをご利用のお客様とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- ・Lモードの通信中に、回線の通信状況などによりメールの送受信ができない場合も、通信料金がかかります。



ワンポイント

- 編集したメールを保存するには
手順9の後、 Δ/∇ で「保存」を選択し、【L /セット】を押します。
- 送信を中止するには
手順10で「接続中」と表示されているときに【L /セット】を押します。

未送信メール一覧を使う

保存したメールや送信できなかったメールは、未送信メール一覧に保存されます。未送信メール一覧から、内容を修正して送信したり、他の相手に送信することなどができます。

未送信メールを確認／削除／印刷する

内容を確認するときは

- 1 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ / ∇ で「メール」を選択し、【L / セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ / ∇ で「未送信メール一覧」を選択し、【L / セット】を押す
未送信メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ / ∇ でメールを選択し、【L / セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
【戻る / インク交換 (2 秒)】を押すと、未送信メール一覧画面に戻ります。

削除するときは

- 5 【メニュー】 を押す
- 6 Δ / ∇ で「削除」を選択し、【L / セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7 Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す

印刷するときは

- 5 【メニュー】 を押す
- 6 Δ / ∇ で「プリント」を選択し、【L / セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7 Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す




ワンポイント

■ 未送信メールを一括削除するには

- ① 手順3の後、【メニュー】を押す
- ② Δ / ∇ で「全件削除」を選択し、【L / セット】を押す
- ③ Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す

未送信メールからメールアドレスを電話帳に登録する

未送信メールの相手のメールアドレスを電話帳に登録できます。メールアドレスは電話番号と合わせて最大100件まで登録できます。

- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 **△/▽**で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 **△/▽**で「未送信メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
未送信メール一覧画面が表示されます。
- 4 **△/▽**でメールを選択し、【L /セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】 を押す
- 6 **△/▽**で「電話帳登録」を選択し、【L /セット】を押す
メールの内容画面に戻ります。
電話帳にはメールアドレスが登録され、名前は「名前未登録」となります。
- 7 必要に応じて電話帳を編集する 
電話帳の編集のしかたについては「電話帳に登録する」(P.49) をご覧ください。


保存していた未送信メールを送信する

未送信メール一覧からメールを選択して送信します。編集してから送信する場合は、「未送信メールを編集して送信する」(P.136) をご覧ください。

- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 **△/▽**で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 **△/▽**で「未送信メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
未送信メール一覧画面が表示されます。
- 4 **△/▽**でメールを選択し、【L /セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】 を押す
- 6 **△/▽**で「送信」を選択し、【L /セット】を押す
Lモードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。
送信が完了すると「送信完了 切断しますか?」と表示されます。
- 7 **△/▽**で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
「いいえ」を選択した場合は、回線は接続されたままです。

未送信メールを編集して送信する

未送信メールの宛先、題名、本文を編集して送信できます。

- 1 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ / ∇ で「メール」を選択し、【L / セット】 を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ / ∇ で「未送信メール一覧」を選択し、【L / セット】 を押す
未送信メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ / ∇ でメールを選択し、【L / セット】 を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】 を押す
- 6 Δ / ∇ で「編集」を選択し、【L / セット】 を押す
編集メール作成画面が表示されます。
- 7 Δ / ∇ で編集するテキストボックスを選択し、【L / セット】 を押す
- 8 内容を編集し、「確定」をタッチする 
- 9 【メニュー】 を押す
- 10 Δ / ∇ で「送信」を選択し、【L / セット】 を押す
Lモードゲートウェイに接続します。「接続中」と表示された後、メールが送信されます。
送信が完了すると「送信完了 切断しますか?」と表示されます。
- 11 Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】 を押す
「いいえ」を選択した場合は、回線は接続されたままです。






ワンポイント

- 「これ以上登録できません」と表示された場合は
すでに電話帳が100件登録されています。不要な電話帳を削除してから (P.50)、操作をやり直してください。
- 未送信メールを一括送信するには
 - ① 手順3の後、【メニュー】を押す
 - ② Δ / ∇ で「全件送信」を選択し、【L / セット】を押す
- 編集したメールを保存するには
手順9の後、 Δ / ∇ で「保存」を選択し、【L / セット】を押します。
- 送信を中止するには
手順10で「接続中」と表示されているときに【L / セット】を押します。

写真 L メールを送信する

写真 L メールとは、当社が提供する写真 L メールを利用した機能で、メモリーカードに保存されている写真を 1 枚選び、添付メールとして送信することができます (1 枚まで)。

文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。また、メモリーカードについての詳細は、『ダイレクトプリントガイド』をご覧ください。

- 1** 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** メモリーカードをカードスロットにセットする
すでにセットされている場合、この手順は不要です。
- 3** Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 4** Δ/∇ で「写真 L メール作成」を選択し、【L /セット】を押す
メール作成画面が表示されます。
- 5** Δ/∇ で「宛先」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
宛先入力画面が表示されます。
- 6** 相手のメールアドレスを入力する 
最大半角 50 文字まで入力できます。
- 7** Δ/∇ で「題名」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
題名入力画面が表示されます。
- 8** 題名を入力する 
最大全角 30 文字、半角 60 文字まで入力できます (定型文を含む)。
- 9** Δ/∇ で「本文」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
本文入力画面が表示されます。
- 10** 本文を入力する 
最大全角 500 文字、半角 1000 文字まで入力できます (定型文を含む)。
- 11** Δ/∇ で「写真選択」を選択し、【L /セット】を押す
写真選択画面が表示されます。
【ワンタッチ 1】 / 【ワンタッチ 2】を押すと、前後のページが見られます。表示サイズを変更するときは【*】を押します。
- 12** $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で写真を選択し、【L /セット】を押す
写真選択画面の操作については、画面のナビを参考にしてください。
アイコンが写真選択済みになります。
- 13** 【メニュー】を押す
- 14** Δ/∇ で「送信」を選択し、【L /セット】を押す
L モードゲートウェイに接続し、メールが送信されます。
送信が完了すると、自動的に回線が切断されます。

STOP お願い

- ・ L モード対応電話機 / ファクス以外にメールを送信する場合は、半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。
- ・ 写真 L メール送信中はメモリーカードを抜き差ししないでください。



お知らせ

- ・メール送信中は電話をかけることはできません。
- ・Lモードゲートウェイ接続中にキャッチホンを受信した場合、回線が切断されることがあります。
- ・写真Lメールの添付ファイルは保存することはできません。
- ・画像はカラーのJPEG形式で添付されます。
- ・本商品から送信した写真Lメールは、携帯電話またはLモード対応機器に送信した場合のみ、Lモードゲートウェイに14日間保存されます。14日を過ぎると、自動的に削除されます。
- ・送信には数分かかることがあります。
- ・100KBを超える写真は小さいサイズに変換してから送信されます。
- ・写真Lメールの送信時に「パスワードが設定されています」と表示され送信ができない場合は、写真Lメールの送信時にゲートウェイからパスワード要求があった場合、本商品にパスワードが保存されていれば写真Lメールが送信ができますが、パスワードが保存されていない場合は、写真Lメールを送信することができません。本商品の「パスワード保存」を「パスワード保存」にするか、Lモードに接続して「パスワード設定」の「パスワード要否」を「不要」に設定する必要があります。（「パスワードの変更・メールの設定について」(P.107)）
- ・Lモードゲートウェイと接続中は通信料金がかかります。
- ・未送信メールと送信済メールが合わせて30件あると新規メールが作成できません。不要なメールを削除してください(P.131、134)。
- ・相手機種および読み取る原稿によっては、画像が見えにくい場合や、相手が正しく受信できない場合があります。
- ・一度送信した写真や画像は、再送信できません。送信したメールの本体は、送信済メール一覧(P.131)に保存されますが、写真や画像は自動的に削除されます。
- ・電話回線の通信状況によりメールの送信ができなかった場合や、送信を中止した場合でも、通信料金が発生します。送信できなかったメールの本体は未送信メール一覧(P.134)に保存され、写真や画像は自動的に削除されます。再度、同じ写真Lメールを送信する場合は、手順1からやり直してください。



ワンポイント

■ 電話帳を使って宛先を入力するには

- ① 手順5で「電話帳」をタッチする
- ② Δ/∇ で「メール」のついている相手を選択し【L/セット】を押す
- ③ もう一度【L/セット】を押す

■ 宛先、題名、本文を修正するには

- ① メール作成画面から、 Δ/∇ で修正したい項目を選択し、【L/セット】を押す
- ② 修正し、【L/セット】を押す

■ 送信する写真を変更するには

- ① メール作成画面から、 Δ/∇ で「写真選択」を選択し、【L/セット】を押す
- ② $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で変更する写真を選択し、【L/セット】を押す

■ 写真Lメール操作中に外から電話がかかってきたときは

メール送信開始までの間に着信があると、写真Lメールの送信を自動的に中止し、外からの電話の着信音(P.40)が鳴ります。受話器を取るとお話しできます。話し終わったら、はじめから操作をやり直してください。

■ 【L/セット】押したときに「Lモードがご利用できません。設定しますか？」と表示された場合は

Lモードの設定がされていません。「はい」を選択し、【L/セット】を押してLモードの自動設定(P.108)を行ってください。

■ 写真Lメールの送信時に「パスワードが設定されています」と表示され、送信ができない場合は

写真Lメールの送信時にゲートウェイからパスワード要求があった場合、本商品にパスワードが保存されていれば写真Lメールが送信できますが、パスワードが保存されていない場合は、写真Lメールを送信することができません。本商品の「パスワード保存」を「パスワード保存」にする(P.112)か、Lモードに接続して「パスワード設定」の「パスワード要否」を「不要」に設定する必要があります（「パスワード入力の際の要/不要を選択するには」(P.113)）。

メールを受信する

メールを受信する／読む

メッセージ到着お知らせサービス（メッセージあり通知）を利用すると、新しいメールがLモードゲートウェイに到着したときに、ディスプレイに「新着メールがあります」と表示され、新着ランプが点滅します。

メールをLモードゲートウェイから本商品に受信するには、受信メール読出を行います。受信したメールは、受信メール一覧（P.144）に保存されます。

また、まだ読んでいない（未読）メールが保存されているときにも、新着ランプが点滅します。未読メールは、受信メール一覧または、「新着メールがあります」の表示から確認することができます。

- 1** 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** Δ / ∇ で「メール」を選択し、【L / セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3** Δ / ∇ で「受信メール一覧」を選択し、【L / セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
まだ読んでいないメールには「」が表示されません。

未読メールがあるときは

- 4** Δ / ∇ で未読メールを選択し、【L / セット】を押す
メールの内容が表示されます。
- 5** 読み終わったら、【戻る / インク交換（2秒）】を押す
受信メール一覧画面に戻ります。

未読メールがないときは

- 4** 【戻る / インク交換（2秒）】 を押し、メールメニュー画面に戻る
- 5** Δ / ∇ で「受信メール読出」を選択し、【L / セット】を押す
「接続中」と表示され、メールの受信を開始します。受信が完了すると「受信完了 切断しますか?」と表示されます。
- 6** Δ / ∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
まだ読んでいないメールには「」が表示されません。
「いいえ」を選択した場合は、回線は接続されたままです。
- 7** Δ / ∇ で受信メールを選択し、【L / セット】を押す
メールの内容が表示されます。
- 8** 読み終わったら、【戻る / インク交換（2秒）】を押す
受信メール一覧画面に戻ります。



お知らせ

- ・受信メッセージと新着ランプは、メールを読むと消えます。Lモードゲートウェイでのメール保存期間は14日間、メール保存件数は200件です。14日間を過ぎたメールは自動的に削除されます。
- ・Lモードゲートウェイ接続中に新しいメールを受信した場合は、回線切断後に受信メッセージが表示されます。
- ・メール1件につき、本文は最大全角500文字、半角1000文字まで受信することができます。
- ・メールでは、200KBを超えないJPEG、PNG、TIFF（プロファイルS）形式の添付ファイルを受けることができます。
- ・通信中や操作中は、メッセージあり通知を表示しません。
- ・おやすみモード（P.71）にセットしているときは、メール通知音は鳴りません。
- ・停電時、メッセージ到着お知らせサービスはご利用になれません。
- ・メッセージあり表示中に停電し、そのあと復旧しても表示は戻りません。
- ・本商品では、「Sメール」はご利用になれません。INSネット用のSメール対応の電話機をお使いください。
- ・Lモードをご利用中には、メッセージ到着お知らせ機能は作動しません。回線を切断後に作動します。
- ・ISDN回線をご利用の場合、接続したターミナルアダプタの種類によっては、ディスプレイに「新着メールがあります」の表示がでないことがあります。必ずLモード対応のターミナルアダプタをご利用ください。
- ・受信できるメールは、本文全角500文字、題名全角30文字、宛先半角50文字以内です。超過分は削除されます。
- ・Lモードゲートウェイとの接続が必要なのは、メールを受信するときだけです。受信したメールを読むときなどは、接続している必要はありません。
- ・受信メールはLモードゲートウェイからは削除されます。再度、メールを受信することはできません。
- ・Lモード以外のメールサービスをご利用のお客さまとメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- ・Lモードの通信中に、回線の通信状態などによりメールの送受信ができない場合も、通信料金がかかります。
- ・受信メールを保護できるのは、最大25件です。
- ・メッセージあり通知は、メディア種別は表示されません。
- ・Lモードゲートウェイに接続している間は、電話をかけることができません。
- ・待機画面のディスプレイ左端に表示される用件数は、すでに再生済みの用件も含めてメモリに残っているすべての用件数を示しています。




ワンポイント

- 「受信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は
受信メールが50件を超えるため、メールが受信できません。不要なメールを削除してから（P.144）操作をやり直してください。
- メッセージ到着お知らせサービス（メッセージあり通知）を利用すると
Lモードゲートウェイに新着メールが到着したときに、メールが届いたことをお知らせする通知音（P.143）が鳴り、新着ランプが点滅します。また、ディスプレイには「新着メールがあります」が表示されます。
- 本体に未読メールが受信されている場合は
新着ランプが点滅し、ディスプレイ中央上部に「新着メールがあります」と表示され、メールアイコンのまわりが光ります。
- メールを自動受信するには
メールの受信方法を変更することができます（「メール受信動作を設定する」P.141）。
- すべての受信メールを消去するには
「メモリに保存されている内容を一括消去する」（P.161）をご覧ください。一括消去で消去されたくない受信メールは、保護してください（P.147）。

メール受信動作を設定する

新着メールが L モードゲートウェイに到着したときに、自動的にメール本文を本商品に受信するかどうかを設定できます。

(お買い上げ時の設定は「手動受信」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「メール受信動作」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で設定を選択し、【L / セット】を押す
 自動受信：
 メールが自動的に受信されるため「受信メール読出」(下記)を行わなくてもメールを読むことができます。
 手動受信：
 メールを読むときは「受信メール読出」を行い、手動でメールを受信します。
- 5 【スタート/コピー】を押す



お知らせ

- ・ 停電中にメールを受信した場合や、受信メッセージまたは受信メッセージ画面が表示されているときに停電した場合は、復電した後受信メッセージは表示されません。手動でメールを受信し直してください。記録紙のサイズは A4 しか選べません。

メールを手動受信して読む

メール受信動作を手動受信に設定している場合、メールはLモードゲートウェイでお預かりします。新着メールを受信するときは、受信メール読出を行います。

- 1 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「受信メール読出」を選択し、【L /セット】を押す
「接続中」と表示され、メールの受信を開始します。受信が完了すると「受信完了 切断しますか?」と表示されます。
- 4 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。まだ読んでいないメールには「」が表示されます。
- 5 Δ/∇ で受信メールを選択し、【L /セット】を押す
メールの内容が表示されます。
- 6 読み終わったら、【戻る/インク交換 (2 秒)】を押す
受信メール一覧画面に戻ります。



お知らせ

- ・受信メール読出でLモードゲートウェイからメールを受信すると、Lモードゲートウェイのメールは削除され、再度受信することはできません。
- ・Lモードゲートウェイに接続している間は、電話をかけることはできません。
- ・Lモードゲートウェイに接続する必要があるのは、メールを受信するときだけです。すでに受信したメールを読む場合は接続する必要はありません。
- ・写真Lメールの送信時に「パスワードが設定されています」と表示され送信ができない場合は、写真Lメールの送信時にゲートウェイからパスワード要求があった場合、本商品にパスワードが保存されていれば写真Lメールが送信できますが、パスワードが保存されていない場合は、写真Lメールを送信することができません。本商品の「パスワード保存」を「パスワード保存」にするか、Lモードに接続して「パスワード設定」の「パスワード要否」を「不要」に設定する必要があります。(「パスワードの変更・メールの設定について」(P.107))
- ・「自動受信」を選ぶと、Lモードゲートウェイに新しいメールが届くたびに、自動的にLモードゲートウェイと接続するため、通信料金がかかります。メールを受信したあと、Lモードゲートウェイとの接続は切断されます。
- ・「自動受信」を選ぶときは、パスワード入力の「不要」を選択するか、本商品にパスワードを保存してください(P.113)。
- ・「無監視」に設定していても、何も操作しない状態が続いた場合、Lモードゲートウェイ側から接続を切断されることがあります。




ワンポイント

- 「受信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は
受信メールが50件を超えるため、メールが受信できません。不要なメールを削除してから(P.144)操作をやり直してください。

親機のメール通知音を設定する

新着メールを受信したとき、メール通知音を鳴らすか、鳴らさないかを設定することができます。(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「着信設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「メール通知音」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で設定を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す

Lモードで画像を受信する（写真Lメール）

「画像付きメールが届きました。」というメールを受信したら、記載されているURLにアクセスして画像を見ます。

- 1 送られてきたメールを表示中に、 Δ/∇ でURLを選ぶ
URLが反転表示されます。
- 2 【L / セット】を押す
送られてきた画像の内容が画面に表示されます。



お知らせ

- ・ Lモードに対応していないターミナルアダプタを接続している場合、メール通知音を「する」に設定していても、メール通知音が鳴らないことがあります。
- ・ メールを手動受信したときは、通知音は鳴りません。
- ・ おやすみモード (P.71) にセットしているときは、メール通知音は鳴りません。
- ・ プレビュー画面は画面メモとして保存できます (P.119)。実際に相手から送られてきた画像は、印刷することはできませんが、保存することはできません。
- ・ 画像は本商品の画像表示能力に合わせてLモードゲートウェイで自動的に変換されて表示されます。送られてきた画像によっては、見えにくい場合があります。
- ・ コンテンツ (P.125) によっては画像が表示されない場合があります。また、画像によってはコンテンツ印刷による印刷ができない場合があります。印刷について、詳しくはコンテンツ印刷 (P.125) をご覧ください。
- ・ 添付画像として受けられる画像ファイル形式は、JPEG、PNG、TIFF (プロファイルS) です。また200KBを超えるような画像を受けることはできません。
- ・ 添付画像として受けられる画像ファイルはメール1通につき1つです。
- ・ Lモードゲートウェイでの保存期間は14日間です。14日間を過ぎると自動的に削除されます。(Lモードゲートウェイでの画像保存容量は3MBです。)
- ・ 待機画面には1件のみ登録できます。待機画面登録の操作を行うたびに新しい画像に上書きされます。



ワンポイント

■ 送られてきた画像を印刷するには

- ① 【メニュー】を押す
- ② Δ/∇ で「プリント」を選び【L / セット】を押す
- ③ 「回線切断してプリントしますか？」と表示されたら、 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L / セット】を押すと画像の印刷がはじまります。
記録紙のサイズはA4しか選べません。

■ 送られてきた画像を待機画面に登録するには

- ① 【メニュー】を押す
- ② Δ/∇ で「待機画面登録」を選択し、【L / セット】を押す
- ③ Δ/∇ で画面をスクロールして表示する範囲を決め、【L / セット】を押す

受信メール一覧を使う

受信したメールは、受信メール一覧に保存されます。受信メール一覧から、差出人に返事を送信したり、他の相手に転送することなどができます。

受信メールを確認／削除／印刷する

内容を確認するときは

- 1 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「受信メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
まだ読んでいないメールには「 \square 」が表示されません。
- 4 Δ/∇ でメールを選択し、【L /セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
【戻る／インク交換 (2 秒)】を押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

削除するときは

- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「削除」を選択し、【L /セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す

印刷するときは

- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「プリント」を選択し、【L /セット】を押す
確認画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す



ワンポイント

■ 受信メールを一括削除するには

- ① 手順3の後で【メニュー】を押す
- ② Δ/∇ で「全件削除」を選択し、【L /セット】を押す
- ③ Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す


受信メール一覧に保護されたメール (P.147) がある場合は、「保護メールを削除しますか?」という確認メッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択して【L /セット】を押してください。

■ すべての受信メールを消去するには

「メモリに保存されている内容を一括消去する」(P.161) をご覧ください。一括消去で消去されたくない受信メールは、保護してください (P.147)。

受信メールに返事を出す（返信）

受信したメールに返事を出すことができます。

- 1 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「受信メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ でメールを選択し、【L /セット】を押す
メールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「返信」を選択し、【L /セット】を押す
返信メール作成画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で「本文」のテキストボックスを選択し、【L /セット】を押す
本文入力画面が表示されます。
- 8 タッチパネルで入力し、「確定」をタッチする

文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。
- 9 【メニュー】を押す
- 10 Δ/∇ で「送信」を選択し、【L /セット】を押す
「〇〇に送信しますか？」と表示されます。

- 11 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す

Lモードゲートウェイに接続します。「Lモード接続中」と表示された後、メールが送信されます。送信が完了すると「送信完了 切断しますか？」と表示されます。

- 12 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】を押す

「いいえ」を選択した場合は、回線は接続されたままです。



ワンポイント

■ 題名を入力するには

返信メールには自動的に「Re>XXX」と題名が入力されます。「Re>」は「XXX」というメールへの返信であることを示しています。題名を変える場合は、手順6の後、 Δ/∇ で「題名」のテキストボックスを選択して【L /セット】を押して編集してください。

■ 編集したメールを保存するには

手順10で「保存」を選択します。

■ 送信を中止するには


手順11で「Lモード接続中」と表示されているときに【L /セット】を押します。

■ 「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件を超えています。不要なメールを削除してから（P.131、134）、操作をやり直してください。

受信メールを他の宛先に送信する (転送)

受信メールをそのまま他の相手に転送することができます。

- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】
を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「受信メール一覧」を選択し、【L /
セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ でメールを選択し、【L /セット】を
押す
メールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「転送」を選択し、【L /セット】
を押す
転送メール作成画面が表示されます。
- 7 Δ/∇ で「宛先」のテキストボックスを選
択し、【L /セット】を押す
宛先入力画面が表示されます。
- 8 タッチパネルで入力し、「確定」をタッチする

文字の入力のしかたは 42 ページをご覧ください。
- 9 【メニュー】を押す

- 10 Δ/∇ で「送信」を選択し、【L /セット】
を押す

Lモードゲートウェイに接続します。「Lモード接続中」と表示された後、メールが送信されます。送信が完了すると「送信完了 切断しますか?」と表示されます。

- 11 Δ/∇ で「はい」を選択し、【L /セット】
を押す

「いいえ」を選択した場合、回線は接続されたままです。



ワンポイント

■ 電話帳を使って宛先を入力するには

- ① 手順8で「電話帳」をタッチする
- ② Δ/∇ で「メール」のついている相手を選択し、【L /セット】を押す
- ③ もう一度【L /セット】を押す

■ 題名を入力するには

転送メールには自動的に「Fw>XXX」と題名が入力されます。「Fw>」は「XXX」というメールの転送であることを示しています。題名を変える場合は、手順8の後、 Δ/∇ で「題名」のテキストボックスを選択して【L /セット】を押して編集してください。

■ 編集したメールを保存するには

手順10で「保存」を選択します。

■ 送信を中止するには


手順11で「Lモード接続中」と表示されているときに【L /セット】を押します。

■ 「送信メールが一杯です。削除してください。」と表示された場合は

未送信メールと送信済メールの合計が30件を超えています。不要なメールを削除してから (P.131、134)、操作をやり直してください。


差出人のメールアドレスを電話帳に登録する

受信メールから差出人のメールアドレスを電話帳に登録できます。メールアドレスは電話帳と合わせて最大 100 件まで登録できます。

- 1 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「受信メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ でメールを選択し、【L /セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「電話帳登録」を選択し、【L /セット】を押す
メールの内容画面に戻ります。
電話帳にはメールアドレスが登録され、名前は「名前未登録」となります。
- 7 必要に応じて電話帳を編集する 
電話帳の編集のしかたについては「電話帳に登録する」(P.49)をご覧ください。

受信メールを保護／保護解除する

一括消去 (P.161) で消去されたくない受信メールを、25 件まで保護することができます。未開封のメッセージは保護できません。

- 1 【L /セット】を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「メール」を選択し、【L /セット】を押す
メールメニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「受信メール一覧」を選択し、【L /セット】を押す
受信メール一覧画面が表示されます。
- 4 Δ/∇ でメールを選択し、【L /セット】を押す
選択したメールの内容が表示されます。
- 5 【メニュー】を押す
- 6 Δ/∇ で「保護／解除」を選択し、【L /セット】を押す
メールが保護され、「」が表示されます。
保護されていたメールに対してこの操作を行うと、保護が解除されます。

ワンポイント

- 「これ以上登録できません」と表示された場合は
すでに電話帳が 100 件登録されています。不要な電話帳を消去してから (P.50)、操作をやり直してください。
- 「これ以上保護できません」と表示された場合は
すでに受信メールが 25 件保護されています。保護を解除するか、不要な保護メールを削除してから (P.144)、操作をやり直してください。

Lモードの設定を変更する

Lモードをご利用になるための設定を確認したり、変更することができます。

画像表示の設定をする

サイトやインターネットホームページに含まれる画像データを表示するかしないか、設定することができます。画像データを表示しないようにすると、サイトやインターネットホームページを速く表示できます。

(お買い上げ時の設定は「する」になっています。)

- 1** 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2** **△ / ▽** で「設定メニュー」を選択し、【L / セット】 を押す
Lモード設定メニュー画面が表示されます。
- 3** **△ / ▽** で「画像表示設定」を選択し、【L / セット】 を押す
画像表示設定画面が表示されます。
- 4** **△ / ▽** で「画像を表示する」または「画像を表示しない」を選択し、【L / セット】 を押す
- 5** **△ / ▽** で「OK」を選択し、【L / セット】 を押す



お知らせ

- ・ 画像表示設定で「画像を表示しない」に設定した場合、ページ取得時に画像データのみが取得されません。

端末機器の自動設定をする

L モードをご利用になるために必要なアクセスポイントの電話番号（センタ番号）を自動的に登録するための設定です。

「L モードを使えるように設定する」(P.108) の操作を行って、すでに L モードをご利用になっている場合は、この設定は必要ありません。

- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「設定メニュー」を選択し、【L /セット】 を押す
L モード設定メニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「端末機器自動設定」を選択し、【L /セット】 を押す
- 4 「はい」を選択し、【L /セット】 を押す
接続が開始され、設定が行われた後、「設定完了」と表示されます。
- 5 【L /セット】 を押す

センタ番号を確認する

「端末機器自動設定」で登録されたアクセスポイントの電話番号（センタ番号）を確認することができます。

- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「設定メニュー」を選択し、【L /セット】 を押す
L モード設定メニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「センタ番号確認」を選択し、【L /セット】 を押す
アクセスポイントの電話番号（センタ番号）が表示されます。
- 4 確認が終わったら、【L /セット】 を押す



お知らせ

・ アクセスポイントの電話番号（センタ番号）が登録されていない場合は、表示されません。

無通信監視時間を設定する

Lモードゲートウェイに接続している状態で、サイトへの接続やメールの送受信などの通信をしていない時間を監視し、設定した時間が過ぎると自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断します。(お買い上げ時の設定は「3分」になっています。)

- 1 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 **△ / ▽** で「設定メニュー」を選択し、【L / セット】 を押す
Lモード設定メニュー画面が表示されます。
- 3 **△ / ▽** で「無通信監視時間設定」を選択し、【L / セット】 を押す
無通信監視時間設定画面が表示されます。
- 4 【L / セット】 を押す
- 5 **△ / ▽** で時間を選択し、【L / セット】 を押す
1分～10分、または無監視を選択できます。
- 6 **△ / ▽** で「OK」を選択し、【L / セット】 を押す

メール一覧の表示を設定する

送信済 / 未送信 / 受信メール一覧に、題名とメールアドレス (宛先または差出人) のどちらを表示するかを設定できます。(お買い上げ時の設定は「題名表示」になっています。)

- 1 【L / セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 **△ / ▽** で「設定メニュー」を選択し、【L / セット】 を押す
Lモード設定メニュー画面が表示されます。
- 3 **△ / ▽** で「メール一覧設定」を選択し、【L / セット】 を押す
メール一覧設定画面が表示されます。
- 4 **△ / ▽** で「題名表示」または「アドレス表示」を選択し、【L / セット】 を押す
- 5 **△ / ▽** で「OK」を選択し、【L / セット】 を押す



お知らせ

- ・「無監視」に設定していても、何も操作しない状態が続いた場合、Lモードゲートウェイ側から接続を切断されることがあります。
- ・メール一覧設定で「アドレス表示」に設定していても、差出人のメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録した名前が表示されます。

暗号化サイト用の証明書を設定する

暗号化通信 (P.126) でサイトの認証に必要な証明書の内容を表示したり、証明書の有効/無効を設定することができます。証明書を無効にすると、暗号化サイトへの接続を制限できます。


(お買い上げ時の設定は、すべての証明書が「有効」になっています。)

- 1 【L /セット】 を押す
トップメニュー画面が表示されます。
- 2 Δ/∇ で「設定メニュー」を選択し、【L /セット】 を押す
Lモード設定メニュー画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「証明書設定」を選択し、【L /セット】 を押す
- 4 Δ/∇ で証明書を選択し、【メニュー】 を押す
【L /セット】 を押すと、選択した証明書の内容が表示されます。
- 5 Δ/∇ で「有効」または「無効」を選択し、【L /セット】 を押す

Lモード通信速度を変更する

Lモードゲートウェイと接続するときの通信速度を変更することができます。

(お買い上げ時の設定は「14.4kbps になっています。)

- 1 【メニュー】 を押す
- 2 「初期設定」 をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「Lモード通信速度」を選択し、【L /セット】 を押す
- 4 Δ/∇ で「33.6kbps」を選択し、【L /セット】 を押す
- 5 【スタート/コピー】 を押す

STOP お願い

回線の状況によっては、Lモードに接続しづらい場合があります。その場合は14.4kbpsに戻してください。



お知らせ

- ・証明書を無効にすると、その証明書が認証するサイトに接続する際、「正しく暗号化通信ができない可能性があります、続けますか?」という確認画面が表示されます。「はい」を選択すると証明書による認証を省略して暗号化通信を行います。「いいえ」を選択すると暗号化通信を中止して1つ前の画面に戻ります。

その他のサービス

ファクシミリ通信網（F ネット）を使う

ファクシミリ通信網（F ネット）は、NTT コミュニケーションズの提供するファクス専用の有料サービスです。本サービスの詳細につきましてはNTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

ファクシミリ通信網でできること

できること	説明
一斉同報通信	1回の操作で同じ原稿を最大10000カ所まで同時に送信することができます。夜間割引もあります。
短縮ダイヤル	最大 10000 個の短縮ダイヤルが利用できます。
再コール	相手が通信中のとき、2分間隔で5回まで自動的にダイヤルします。再ダイヤルの回数は変更できます。
不達通知	再コールをしても相手が話し中などで送信できなかったとき、そのことを送信側に通知します。
閉域接続	サークル仲間など、特定の相手との通信ネットワークを作ることができます。



お知らせ

・ご利用になるには、NTT コミュニケーションズとの加入契約が必要です。

iFAX を使う

iFAX は、NTT コミュニケーションズが提供する有料サービスです。本商品では、このサービスを利用してファクスを E メールとして送信することができます。

E メールにファクスを送信する

- 相手が iFAX 利用者の場合は、ユーザ ID (iFAX 利用者が取得している 10 桁のお客様番号) を指定することで送信できます。
- 相手が iFAX 利用者でない場合でも、メールアドレスを iFAX 宛先リストに登録すれば送信できます。また、宛先リストに宛先をグループ化して登録すると、指定したグループに一斉同報することができます (宛先リスト同報)。宛先リスト同報サービスを使用するには、別途 NTT コミュニケーションズが提供する「グループ指定通信機能」の申し込みが必要です。

宛先リスト番号 00 に登録した E メールアドレスに送信する場合 (例)

「ファクスを送信する」(P.80) の手順 1 ~ 2 にしたがって原稿をセットし、受話器を取るか、【オンフック】を押します。

- 1 【0】【0】【3】【5】【0】【1】を押す
ブップブップという音が鳴ります。
- 2 【#】【2】【3】【3】【*】を押す
ダイヤル (パルス) 回線をご使用の場合は【#】の前に【*】(トーン)を押してください。
- 3 宛先リスト番号【0】【0】を押す
- 4 【#】【#】を押す
ピーという音が鳴ります。
- 5 【スタート/コピー】を押す



お知らせ

- ・ E メールをファクスで受信するには、Eメールの送信側で「iFAX」をご契約いただくか、ファクス受信側で着信課金機能のご契約が必要です。
- ・ ご利用になるには、NTT コミュニケーションズとの加入契約が必要です。「iFAX 接続型サービス」でご契約ください。
- ・ 「iFAX」について詳しくは、NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

ドアホン

ドアホンを接続する

JC-761LC には 2 台のドアホン（別売品）が接続できます。

ドアホン 1 では「ピンポーン」、ドアホン 2 では「ピンポンピンポン」の呼出音が鳴ります。

接続にはドアホンのほかにドアホンボックス（別売／品名：U ードアホンボックス）が必要です。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

ドアホンの呼び出しに応答する

親機で応答する

- 1 ドアホンからの呼出音が鳴ったら、受話器を取る
ディスプレイに「ドアホン 1 (2) から呼び出しされています」と表示されている間（約 30 秒間）に受話器を取ってください。
【L / セット】または【オンフック】を押しても応答できます。
- 2 相手と話す
- 3 終わったら、受話器を戻す

子機で応答する

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る
充電器に置いていないときは、【通話】を押します。
ディスプレイに「ドアホン 1 (2)」と表示されている間（約 30 秒間）に子機を取ってください。
- 2 相手と話す
- 3 終わったら、子機を充電器に戻すか、【切】を押す



お知らせ

- ・ ファクス送受信中および L モード接続中は、ドアホンからの呼出音は鳴りません。
- ・ 子機間通話中にドアホンからの呼び出しがあると、子機間通話が中止されます。ドアホンの呼出音が聞こえたら、【通話】を押すと応答できます。
- ・ おやすみモード（P.71）にセットしてあるときでも、ドアホンからの呼出音は鳴ります。
- ・ ファクス通信中および L モード接続中は、ドアホンからの呼出音は鳴りません。



ワンポイント

■ ドアホンの呼出音について

呼び出すドアホンによって次のように鳴ります。

ドアホン	呼出音 (親機)	呼出音 (子機)
ドアホン1	「ピンポン」	「ピロピロピロピロ ピロピロピロピロ」
ドアホン2	「ピンポン ピンポン」	「ピロピロ ピロピロ ピロピロ」

■ 呼出音の音量を調節するには (P.38)

■ 外線通話中にドアホンで呼び出されたときは

親機の場合、ドアホンの呼出音が聞こえたら、受話器を取ったまま【L /セット】を押してドアホンに応答します（外線は保留となります）。外線との通話に戻るときは、いったん受話器を戻した後、受話器を取ります。

子機の場合、ドアホンの呼出音が受話口から聞こえたら、【切】を押して外線通話を切り、再度ドアホンの呼出音が聞こえたら、【通話】を押してドアホンに応答します。

■ 内線通話中にドアホンで呼び出されたときは

親機の場合、ドアホンの呼出音が聞こえたら、受話器を取ったまま【L /セット】を押してドアホンに応答します（内線通話は自動的に切れます）。

子機の場合、ドアホンの呼出音が受話口から聞こえたら、【切】を押して内線通話を切り、再度ドアホンの呼出音が聞こえたら、【通話】を押してドアホンに応答します。

■ ドアホンと通話中に外線電話がかかってきたときは


親機の場合、外線の呼び出し（スピーカからは P.40 で設定した着信音、受話口からは「ブルルル〜」という呼出音）が聞こえたら、いったん受話器を戻した後、受話器を取ります（ドアホン通話は自動的に切れます）。

子機の場合、外線の呼出音（ブルルル〜）が受話口から聞こえたら、【切】を押してドアホン通話を切り、再度外線の着信音が聞こえたら、【通話】を押して応答します。

親機のディスプレイを設定する

待機画面を選択する


親機のディスプレイに表示される待機画面をお好みに合わせて変更できます。表示させる画像には、あらかじめ内蔵されている画像のほか、メモリーカードに保存されている写真や、Lモード画像（あらかじめ待機画面登録されている画面メモの画像やLメールで受信した画像）を使うこともできます。メモリーカードについての詳細は、『ダイレクトプリントガイド』をご覧ください。


- 1 【メニュー】を押す
- 2 「画面設定」をタッチする
- 3 Δ/∇ で「待機画面選択」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート / コピー】を押す
- 6 Δ/∇ で待機画面に設定する画像の種類を選択し、【L / セット】を押す
※選べる待機画面、表示形式については、右の「待機画面選択内容」をご覧ください。

「内蔵画像」または「無地」を選択したときは

- 7 Δ/∇ で表示形式を選択し、【L / セット】を押す

「写真（カードから取り込む）」を選択したときは

- 7 メモリーカードをカードスロットにセットする
メモリーカードのセット方法については、『ダイレクトプリントガイド』「メモリーカードをセットする」(P.14)をご覧ください。
- 8 Δ/∇ で写真サイズを選択し、【L / セット】を押す
メモリーカード内に保存されている写真のサムネイルが表示されます。
- 9 使用する写真をタッチする

- 10 「確定」をタッチする

手順8で「小さい写真」を選択したときは、設定が終了します。「全画面写真」を選択したときは、手順11に進んでください。

- 11 Δ/∇ で画面をスクロールして表示する範囲を決め、【L / セット】を押す

- 12 Δ/∇ で表示形式を選択し、【L / セット】を押す

「Lモード画像」を選択したときは

設定が終了し、Lモード画像が表示されます。


■待機画面選択内容

項目	オプション	内容
内蔵画像	時計	内蔵されている画像の上に時計が表示される
	カレンダー	内蔵されている画像の上にカレンダーが表示される
	写真のみ	内蔵されている画像のみが表示される
写真（カードから取り込む）	—	メモリーカードに保存されている画像を選択する 「全画面写真」サイズの場合は、時計やカレンダーも表示させることができる
Lモード画像	—	待機画面登録されているLモード画像が表示される*
無地	時計	無地の画面に時計が表示される
	カレンダー	無地の画面にカレンダーが表示される
	写真のみ	無地の画面のみ表示される

*待機画面登録については、「画面メモの画像を待機画面に登録する」(P.119)、「Lメールで画像を受信する」(P.143)をご覧ください。

ディスプレイのコントラストを調節する

コントラスト（表示される濃さ）を調節できます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「画面設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「コントラスト設定」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「する」を選択し、【L /セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す
- 6 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を押してコントラストを調節する
- 7 【L /セット】を押す




お知らせ

- ・カードから読み込んだ画像を待機画面に設定した場合、停電するとこの待機画面情報は消え、お買い上げ時の待機画面に戻ります。Lモードでダウンロードした画像を待機画面に設定した場合は、停電しても待機画面情報は消えずにそのまま残ります。
- ・待機画面の選択と画面コントラストの変更を一度の操作で同時に行うことはできません。一方の設定を完了してから次の設定を行ってください。

キータッチ音量を設定する

親機の操作パネル上の各ボタンやタッチパネルを押したときに鳴る「ピッ」という音（キータッチ音）の大きさを調節することができます。鳴らないようにすることもできます。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「音設定」をタッチする 
- 3 Δ / ∇ で「キータッチ音量」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 【L / セット】を押し、 Δ / ∇ で設定を選択して【L / セット】を押す
「切る」を選択するとキータッチ音が鳴らなくなります。
- 5 【スタート / コピー】を押す



お知らせ

- ・ キータッチ音量を「切る」にすると、キー操作音とキー操作エラー音が鳴らなくなります。


電話がかかってきたときの音声読上げを設定する

本商品には、電話やファクスの着信を音声でお知らせする機能があります。


通常は「電話です」という音声で呼び出し、ナンバー・ディスプレイ（またはネームディスプレイ）をご利用の場合は電話番号や名前呼び出します。

「着信相手読上げ」を「しない」にすると、着信音のみの呼び出しになります。

（お買い上げ時の設定は「する」になっています。）

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「音設定」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で「着信相手読上げ」を選択し、【L /セット】を押す
- 4 Δ/∇ で設定を選択して【L /セット】を押す
- 5 【スタート/コピー】を押す


親機の便利な機能を設定する

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「ライフサポート」をタッチする 
- 3 Δ/∇ で設定したい項目を選択し、【L /セット】を押す
設定できる項目については、下記の「ライフサポート設定の項目」をご覧ください。
- 4 各項目の設定をする



お知らせ

・ ライフサポート設定の項目

 : お買い上げ時の設定

手順 3 で選択する設定項目	手順 4 での操作
ワンタッチ 電話番号を登録し、ワンタッチで電話がかけられるようにする	48 ページ参照
キータッチ確定時間 ボタンを押してから機能が動作するまでの時間を設定する。「長く」にすると、ボタンを長めに押さないと反応しなくなる	① Δ/∇ で設定を選択し、【L /セット】を押す 設定値：「普通」「長く」 ②【スタート/コピー】を押す
タッチパネル確定時間 タッチパネルをタッチしてから機能が動作するまでの時間を設定する。「長く」にすると、タッチパネルを長めにタッチしないと反応しなくなる	① Δ/∇ で設定を選択し、【L /セット】を押す 設定値：「普通」「長く」
キーロックタイマー 親機のボタン操作を無効にする時間の長さを設定する	① Δ/∇ で設定を選択し、【L /セット】を押す 設定値： 「おそうじモード (3分)」「チャイルドロック (連続)」 ②【スタート/コピー】を押す
音声読上げ辞書 ナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイをご利用の場合にのみ有効な設定。着信時に、電話帳の登録名や電話番号の代わりにニックネームなどが読み上げられるようにする。最大 10 件登録できる	① Δ/∇ で「文字 (1 ~ 10)」を選択し、【L /セット】を押す ② タッチパネルで、電話帳に登録されているフリガナ（または「なまえ」 / 「TEL」の内容）を入力する ③ Δ/∇ で「読み方 (1 ~ 10)」を選択し、【L /セット】を押す ④ タッチパネルで、ニックネームなどを入力する ⑤【スタート/コピー】を押す

親機のボタン操作を無効にする（キーロック）

親機のボタン操作を設定時間の間無効にすることができます。操作パネルの掃除をするときなどに便利です。

キーロックをセットする

- 1 【#】（キーロック）を約 2 秒間押す
お買い上げ時は、約 3 分たつと自動的に解除される設定（おそうじモード）になっています。

キーロックを解除する

- 1 【#】（キーロック）を約 2 秒間押す



お知らせ

- ・ 操作パネルを水を固くしぼった布で拭くときや親機内部の掃除をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ キーロック中に電話がかかってきても、キーロックを解除するまで親機で電話を受けることができません。
- ・ キーロック中でも、子機は使用できます。子機を使った留守録設定 (P.70) や、電話帳転送 (P.51) を行うこともできます。



ワンポイント

- ボタン操作を無効にしたままにするには
キーロックタイマーを「チャイルドロック（連続）」に設定すると (P.159)、3 分を過ぎてもキーロックが解除されません。小さなお子様やペットによる誤操作の防止に便利です。解除するときは、【#】（キーロック）を約 2 秒間押します。

メモリに保存されている内容を一括消去する（全消去）

メモリに保存されている受信ファクスや留守番電話、受信メールを一括して消去することができます。メモリがいっぱいになって用件の録音やファクスの受信ができなくなったときなどに使用します。

- 1** 待機画面表示中に【消去／キャッチ】を押す
留守番電話、ファクス受信画像、受信メールの件数が表示されます。
- 2** **△／▽**で一括消去したい項目を選択し、**【L／セット】**を押す
確認画面が表示されます。
- 3** **◀／▶**で「はい」を選択し、**【L /セット】**を押す
処理が終了すると「消去しました」と表示されます。



お知らせ

- 一括消去では、送信済／未送信メールや、保護された受信メールは消去されません。消去する場合は、131、134、144ページをご覧ください。



ワンポイント

■ 1件ずつ消去するには

用件の場合は69、70ページ、ファクスの場合は87ページ、受信メールの場合は144ページをそれぞれご覧ください。

子機の便利な機能を設定する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー／セット】を押す
- 2 Δ / ∇ で「便利設定」を選択し、【メニュー／セット】を押す
- 3 Δ / ∇ で設定したい項目を選択し、【メニュー／セット】を押す
設定できる項目については、下記の「便利設定の項目」をご覧ください。
- 4 各項目の設定をする



お知らせ

・ 便利設定の項目

： お買い上げ時の設定

手順3で選択する設定項目	手順4での操作
キータッチトーン ボタンを押したときに「ピッ」という音を鳴らすかどうかを設定する	① Δ / ∇ で設定を選択し、【メニュー／セット】を押す 設定値：「ON（鳴らす）」「OFF（鳴らさない）」 ②【メニュー／セット】を押す
クイック通話 子機を充電器から取るだけで外線につながるようにするかを設定する	61 ページ参照
液晶コントラスト 子機のディスプレイのコントラストを調節する	① Δ / ∇ でコントラストを調節する ②【メニュー／セット】を押す

子機のモーニングコールを利用する

子機を目覚まし時計として使うことができます。モーニングコールを設定すると、毎日指定した時刻にアラームが約2分間鳴ります。

モーニングコールを設定する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「モーニングコール」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「時刻」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 【0】～【9】を押して時刻を入力する
1桁の数字は0から入力します。
24時間制で入力します。
- 5 【メニュー/セット】を押す
モーニングコールが設定され、ディスプレイに「🕒」が表示されます。

モーニングコールの設定/解除を切り替える

時刻の設定を変えずに、モーニングコールのON/OFFを切り替えることができます。

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「モーニングコール」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「ON」または「OFF」を選択し、【メニュー/セット】を押す
設定したときはディスプレイに「🕒」が表示され、解除したときは消えます。

鳴っているアラームを止める

アラームは、鳴りはじめて1分経過すると鳴りかたが速くなります。約2分後には自動的に止まりますが、途中で止めるときは次のように操作します。

- 1 子機のいずれかのボタンを押す
アラームが止まります。
充電器から取ったり、充電器に置いていないときは充電器に戻してもアラームが止まります。

設定



お知らせ

- ・子機の時刻が設定 (P.37) されていないと、モーニングコールは使えません。
- ・子機が2台以上ある場合は、それぞれモーニングコールを設定できます。
- ・子機の音量を「消音」に設定していても、モーニングコールは鳴ります。
- ・アラームを止めても、モーニングコールの設定そのものは解除されません。
- ・設定した時刻に子機を使用している場合は、モーニングコールは動作しません。



ワンポイント

- モーニングコールの設定を確認するには
 - ① 手順1～2の操作をする
 - ② Δ/∇ で「設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
 - ③ 設定状態や設定時刻を確認し、【切】を押す
- アラームが鳴っているときに電話がかかってきたときは
アラームが止まって着信/呼出音が鳴ります。
親機または他の子機で電話に出ると、再度アラームが鳴りはじめます。

子機のキッチンタイマを使う

子機をタイマとして使うことができます。キッチンタイマを設定すると、指定した時間が経過したときにアラームが約1分間鳴ります。

キッチンタイマを設定する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ / ∇ で「キッチンタイマ」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 【0】～【9】を押して時間を入力する
1桁の数字は0から入力します。秒単位で60分まで設定できます。
(例：5分30秒に設定するときは、「0530」と入力します。)
- 4 【メニュー/セット】を押す
秒単位でカウントダウンが開始されます。

鳴っているアラームを止める

アラームは、鳴りはじめて約1分間後には自動的に止まりますが、途中で止めるときは次のように操作します。

- 1 子機のいずれかのボタンを押す
アラームが止まります。
充電器から取ったり、充電器に置いていないときに充電器に戻してもアラームが止まります。



お知らせ

- ・ カウントダウン中の子機では、中止するまで他の操作を行うことはできません。
- ・ モーニングコールを設定しているときは、キッチンタイマは使えません。
- ・ 子機が2台以上あるときは、それぞれの子機でキッチンタイマをセットすることができます。



ワンポイント

- 設定を解除するには
カウントダウン表示中に【切】を押します。
- カウントダウン中にかかってきた電話や内線、ドアホンの呼び出しに応答するには
カウントダウン中は着信/呼出音は鳴らずにディスプレイに着信が表示され、【通話】が点滅します。
【切】を押してカウントダウンを中止し、子機の着信/呼出音が鳴ってから【通話】を押します。
- 外線や内線、ドアホンなどの着信中にタイマの時間になったときは
アラームが鳴りはじめます。いずれかのボタンを押してアラームを止め、子機の着信/呼出音が鳴ってから【通話】を押すと、応答できます。
- アラームが鳴っているときにかかってきた電話や内線、ドアホンの呼び出しに応答するには
着信/呼出音は鳴らずにディスプレイに着信が表示され、【通話】が点滅します。
いずれかのボタンを押してアラームを止め、子機の着信/呼出音が鳴ってから【通話】を押します。

子機に使う人の名前を表示する

子機のディスプレイに、使う人の名前を表示させることができます。

使用者名を登録する

登録すると、待機画面表示中のディスプレイに名前が表示されます。

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「使用者表示」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「登録」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 5 使用者の名前を入力する
文字の入力のしかたは 45 ページをご覧ください。
- 6 【メニュー/セット】を押す

登録した使用者名を消去する

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「使用者表示」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「消去」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 5 Δ/∇ で「はい」を選択し、【メニュー/セット】を押す

子機をお買い上げ時の状態に戻す




子機のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻し、電話帳の登録内容も一括して消去することができます。

- 1 【通話】が消灯している状態で【メニュー/セット】を押す
- 2 Δ/∇ で「初期設定」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 3 Δ/∇ で「初期化」を選択し、【メニュー/セット】を押す
- 4 Δ/∇ で「はい」を選択し、【メニュー/セット】を押す
処理が終了すると「初期化が終了しました」と表示されます。

さまざまなリストを印刷する

ファクスの送受信結果や電話帳、機能設定のリストを印刷することができます。

リストを印刷する

- 1 待機画面表示中に【メニュー】を押す
- 2 「各種プリント」をタッチする 
- 3  /  で印刷したい項目を選択し、【L / セット】を押す
次のいずれかを選択します。
通信結果リスト：
 ファクス送受信の結果の一覧
電話帳リスト：
 親機に登録されている電話帳の一覧
機能設定リスト：
 親機の登録・設定状態の一覧
- 4 【スタート/コピー】を押す
リストが印刷されます。



お知らせ

- ・ 記録紙がなくなると、印刷は中止されます。



ワンポイント

- 印刷を中止するには
【ストップ】を押します。

通信結果リストの見かた

送受信した最新10件までのファクスの記録を確認することができます。

***** 通信結果 リスト *****					
【 送信 】					
【送信日時】	【相手先電話番号】	【ページ数】	【通信時間】	【通信結果】	【エラーの内容】
10/17 19:43	035678XXXX	1	00'10	NG	ストップで中止
10/17 19:46	035678XXXX	0	00'00	NG	相手話し中
10/17 20:03	035678XXXX	1	01'22	OK	
【 受信 】					
【受信日時】	【相手先電話番号】	【ページ数】	【通信時間】	【通信結果】	【エラーの内容】
10/17 19:35	035678XXXX	1	00'45	OK	
10/17 19:40	035678XXXX	1	00'37	NG	受信のやり直し

通信結果リストには、送信と受信を分けて、次の内容が記録されます。

[送信日時] / [受信日時]	ファクスの送信/受信を開始した日時
[相手先電話番号]	送信: ダイアルした番号 受信: 相手のファクスに登録されている番号
[ページ数]	送信/受信したファクスの総ページ数
[通信時間]	送信/受信にかかった時間
[通信結果]	「OK」: 送信/受信が正常に完了した 「NG」: 異常が発生し、送信/受信が正常に完了しなかった
[エラーの内容]	通信結果「NG」時のエラーの内容 (「通信結果リストのエラー表示」下記)

通信結果リストのエラー表示

エラーの内容	意味
相手応答なし	相手と話した後の送信時、相手側がファクスを受信しなかった/受信時に相手側が送信しなかった
相手話し中	自動送信時、相手が話し中だった
原稿が長すぎ	原稿がつまった/長さが90cm以上の原稿を送ろうとした/送信時間が32分を超えた
原稿を点検	原稿が正しくセットされていない
受信のやり直し	受信が正常に行われなかった
送信のやり直し	送信が正常に行われなかった
ストップで中止	【ストップ】を押して中断した
メモリーオーバー	ファクスを受信している途中でメモリーがいっぱいになった
カラー機能なし	相手先のファクスがカラーに対応していません

電話帳リストの見かた

電話帳リストには、登録した相手の名前、電話番号、メールアドレスが印刷されます。

***** 電話帳 リスト *****		
【相手の名前】	相川花子	
【電話番号】	031234XXXX	
【メールアドレス】	aaa@bbb.cccc.dd.ee	
【相手の名前】	時報	
【電話番号】	117	
【メールアドレス】		
【相手の名前】	天気予報	
【電話番号】	112	
【メールアドレス】		

機能設定リストの見かた

機能設定リストには、機能設定項目名、現在の登録・設定内容およびお買い上げ時の設定が印刷されます。

***** 機能設定 リスト *****		
【機能設定項目】	【設定内容】	【初期値】
【初期設定】		
・あなたの名前	松浦	設定なし
・あなたの電話番号	031234XXXX	設定なし
・回線種別	フッシュ	フッシュ
・ナンバーディスプレイ	する	しない
・リモート通信速度	3.0kbps	
・リモート通信		

こんなときは

正常に動作しないときは

電話が正常に動作しない

電源プラグを電源コンセントから抜いた後、10秒以上置いてから差し込んでください。

※電源プラグを差し直したときは、日付時刻設定が必要です。

- ①「セットボタンを押して時刻設定して下さい」と表示されたら、【L/セット】を押す
- ②【0】～【9】を押して日付と時刻を入力し、【L/セット】を押す

正常に動作するようになりましたか？

いいえ

当社のサービス取扱所へ修理を依頼してください。

次のように、電源プラグを抜いたときでも保存されるデータと、保存されないデータがあります

保存されるデータ	<ul style="list-style-type: none">・メモリに保存されている受信ファクスや録音された用件、自作応答メッセージ・本商品の登録、設定内容*1・電話帳の内容・本商品に保存されているダウンロードしたメモディ・本商品に保存されているメール文書や画面メモ・本商品に保存されているブックマーク
保存されないデータ	<ul style="list-style-type: none">・日付時刻設定・待機画面に設定されていたメモリーカードの画像*2・登録、設定途中だったデータ・録音中だった用件・Lモードゲートウェイとの接続情報と保存しているパスワード・再ダイヤル（親機）・着信履歴

*1 以下の内容が保存されます。
待機画面選択、コントラスト設定、応答メッセージ録音、おやすみタイマー設定、留守録転送、リモート暗証番号、留守録保存、トールセーバー、ワンタッチ、キータッチ確定時間、タッチパネル確定時間、キーロックタイマー、音声読上げ辞書、あなたの名前とTEL、回線種別、ナンバー・ディスプレイ、Lモード通信速度、携帯通話設定、らくらくFAX、FAX受信動作、FAX受信同時プリント、メール通知音、メール受信動作、優先呼出、電話帳着信音呼出、着信拒否設定、着信音選択、キータッチ音量、子機受話音量、子機送話音量、着信相手読上げ、回線検出

*2メモリーカードの画像を待機画面に設定していた場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。Lモードでダウンロードした画像を設定していた場合は、そのまま残ります。



お知らせ

・電源プラグ接続後は強制的に留守電モードになります。また、応答メッセージは固定の応答メッセージになります。

記録紙がうまく送られない/ 記録紙がつまった

原因	対処方法
適切な記録紙を使用していない	厚い記録紙や反りのある記録紙などを使用していないかどうか確認してください (P.30)。
記録紙がつまった	記録紙を取り除いてください (P.177)。

白紙が出る

原因	対処方法
コピーやファックスの原稿が正しくセットされていない	原稿面をウラ向きにセットしてください (P.32)。
インクがなくなっている	インクタンクを交換してください (P.174)。

デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラから直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。

- 本商品と接続して直接印刷できるのは、“PictBridge” 対応のデジタルカメラです。
- “PictBridge” 対応以外のデジタルカメラは絶対に接続しないでください。火災や感電、本商品の損傷の原因になることがあります。また、誤って接続してしまった場合は、電源プラグの抜き差しが必要となります。その際には登録されたデータが失われる場合があります (P.168)。
- 以下の説明は、“PictBridge” 対応のデジタルカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。カメラのエラー表示を確認して、エラーを解除してください。
- 接続した状態での操作時間が長過ぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いてから、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをお使いの場合は、手で電源を入れてください。それでも改善されない場合は、ほかの写真を選んで印刷できるかどうか確認してください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。「印刷にかすれやむらがあるときは」(P.172) をご覧になり、対処してください。
- 印刷時に記録紙がカールしたり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な記録紙に印刷しているか確認してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の使用説明書もあわせてご覧ください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

- カメラによっては、“PictBridge” の設定が必要な場合があります。

カメラ側エラー表示	対処方法
プリンターは使用中です/ プリンターは準備中です	印刷が終了するまでお待ちください。 または、準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
ペーパーがありません/ ペーパーエラー	記録紙をセットして、カメラのエラー画面で [続行] * を選んでください。
ペーパーが詰まりました	カメラのエラー画面で [中止] を選び、印刷を中止してください。記録紙を取り除き、記録紙をセットし直してから本商品の [L / セット] を押し、再度印刷を行ってください。
カバーが開いています	操作パネルを閉じてください。
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていない場合は、プリントヘッドを取り付けてください。それでもエラーが表示される場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。
廃インクタンク (廃インク吸収体) が満杯です	廃インク吸収体が満杯になりました。 本商品は、クリーニング操作などにより、余分なインク (廃インク) が廃インク吸収体に吸収されます。吸収体が満杯になると印刷が行えません。お早めにお買い求めの販売店または修理受付窓口プリンタの点検をご依頼ください (部品の交換が必要になる場合があります)。
インクがありません	インクタンクが取り付けられていないときはインクタンクを取り付けてください。インクタンクが取り付けられているときは、インクタンク上部の (FUSI) 部分を押し、しっかり取り付けてください。インクタンクが正しく取り付けられると、印刷を再開します。

* [続行] を選ぶ代わりに、本商品の [L / セット] を押しても有効です。

赤外線通信でうまく印刷できない

原因	対処方法
設置場所、距離、角度が正しくない	「赤外線通信で印刷するには」をご覧ください。正しい設置場所、距離、角度を確認してください。 → 『ダイレクトプリントガイド』
赤外線通信で正しく印刷するための条件を満たしていない	IrDA ポートを搭載し、IrMCバージョン 1.1 規格に準拠した機種を使用してください。

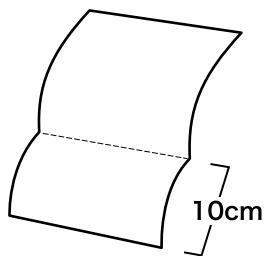
記録紙や原稿が汚れるときは

印刷した記録紙や原稿が汚れるときは、プリンタ内部のクリーニングを行ってください。

インクふき取りクリーニングをする

プリンタ内部にインクが付着していると、印刷した記録紙や原稿が汚れることがあります。定期的にインクふき取りクリーニングを行ってください。

- 1 セットされているすべての原稿および記録紙を取り除く
- 2 【メニュー】を押す
- 3 「プリンタ設定」をタッチする
- 4 Δ / ∇ で「インクふき取りクリーニング」を選択し、【L / セット】を押す
- 5 【スタート / コピー】を押す
- 6 A4 サイズの普通紙の下から 10cm のところを折り、開いたものを 1 枚用意する



- 7 用意した紙のオモテ面を谷折りにして、記録紙トレイにセットする



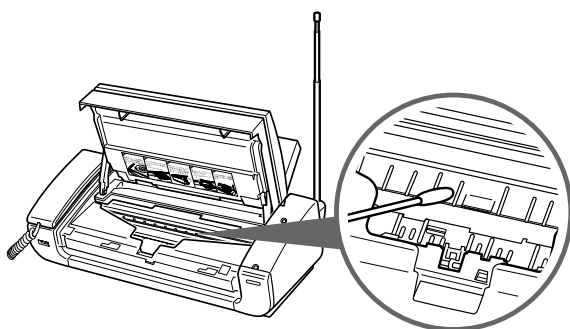
- 8 【L / セット】を押す

プリンタ内部の突起をクリーニングする

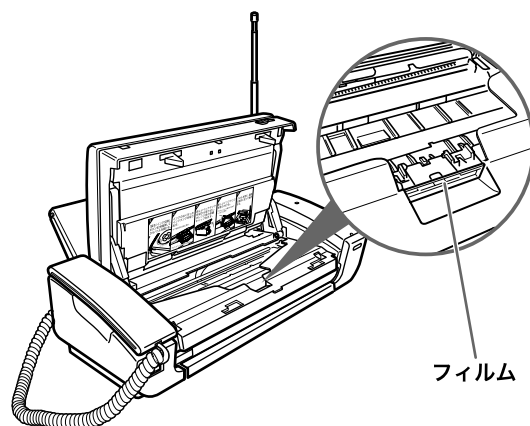
3回インクふき取りクリーニングを行ってもインクが付くときは、プリンタ内部の突起が汚れている場合があります。手順にしたがって、クリーニングしてください。

警告 プリンタ内部をクリーニングするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 1 電源プラグを電源コンセントから抜く
- 2 操作パネルを開ける
- 3 綿棒などを使って、インク汚れをていねいにふき取る



注意 フィルムには、絶対触れないようにしてください。印字不良や故障の原因となり、印刷できなくなります。



- 4 操作パネルを閉める



お知らせ

・電源プラグを抜くと、停電になったときと同様の状態になります (P.178)。

印刷にかすれやむらがあるときは

【戻る/インク交換 (2 秒)】を 2 秒押し、操作パネルを開け、インクタンクの状態を確認します。インクタンクの「PUSH」の部分を押して、しっかりセットされていることを確認する

プリントヘッドのクリーニングをします (P.173)。

ノズルチェックパターンの印刷をします (P.172)。

パターンは正常に印刷できましたか？

いいえ

はい

通常の印刷をします。正常に印刷できましたか？

いいえ

正常に印刷されない場合、プリントヘッドのクリーニングを繰り返してください (3 回まで)。それでも改善されないときは下記へ進んでください。

プリントヘッドをリフレッシュします (P.173)。

再度ノズルチェックパターンの印刷をします。改善されましたか？

いいえ

はい

通常の印刷をします。正常に印刷できましたか？

いいえ

プリントヘッドの位置を調整します (P.174)。

再度ノズルチェックパターンの印刷をします。改善されましたか？

いいえ

はい

通常の印刷をします。正常に印刷できましたか？

いいえ

インクタンクを交換します (P.174)。

再度ノズルチェックパターンの印刷をします。改善されましたか？

いいえ

はい


通常の印刷をします。正常に印刷できましたか？

いいえ

当社のサービス取扱所へ修理を依頼してください。

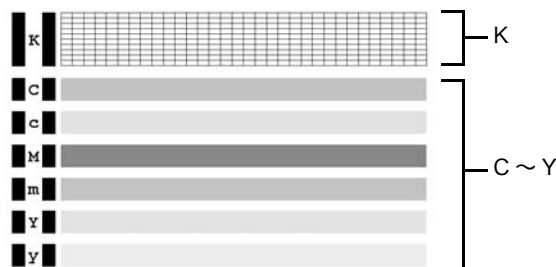
ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

- 1 A4サイズの記録紙(普通紙)を1枚セットする
- 2 【メニュー】を押す
- 3 「プリンタ設定」をタッチする 
- 4 Δ / ∇ で「ノズルチェック」を選択し、【L / セット】を押す
クリーニングには約 20 秒かかります。
- 5 【スタート/コピー】を押す
- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認する


印刷されたノズルチェックパターンを確認します。欠けや白いすじがなければ OK です。



「K」の部分の線が欠けていたり、「C～Y」の部分に白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングが必要です。


プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってノズルのつまりを解消してください。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「プリンタ設定」をタッチする 
- 3 Δ / ∇ で「ヘッドクリーニング」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 【スタート / コピー】を押す
- 5 クリーニング終了後、A4 サイズの記録紙（普通紙）を 1 枚セットし、ノズルチェックパターンを印刷する（P.172）
- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認する（P.172）

プリントヘッドをリフレッシュする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、ヘッドリフレッシュを行ってください。

- 1 【メニュー】を押す
- 2 「プリンタ設定」をタッチする 
- 3 Δ / ∇ で「ヘッドリフレッシュ」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 【スタート / コピー】を押す
- 5 クリーニング終了後、A4 サイズの記録紙（普通紙）を 1 枚セットし、ノズルチェックパターンを印刷する（P.172）
- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認する（P.172）
特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します（P.174）。




お知らせ

- ・プリントヘッドをクリーニングすると、インクを消費します。クリーニングは必要な場合のみ行ってください。
- ・クリーニングには約 60 秒かかります。この間、ほかの操作は行わないでください。
- ・ヘッドリフレッシュをすると、インクを大量に消費します。ヘッドリフレッシュは、必要な場合のみ行ってください。
- ・ヘッドリフレッシュには約 2～3 分かかります。この間、ほかの操作は行わないでください。

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれて印刷されるなど、印刷結果が思わしくないときには、プリントヘッドの位置を調節してください。プリントヘッド位置調整パターンを印刷し、その結果を見てプリントヘッドの位置を調整します。

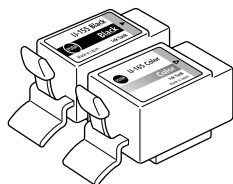
- 1 【メニュー】を押す
- 2 「プリンタ設定」をタッチする
- 3 Δ / ∇ で「ヘッド位置調整」を選択し、【L / セット】を押す
- 4 A4サイズの記録紙（普通紙）を1枚セットし、【スタート/コピー】を押す
- 5 ヘッド位置調整画面が表示されたら、【L / セット】を押す
プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。印刷されたものを見ながら、手順6の操作を行ってください。
- 6 Δ / ∇ で行を選択し、 \blacktriangleleft / \blacktriangleright で目的の番号を表示させる
もっとも縦すじが目立たないパターンの番号を表示させます。この操作を繰り返して「A」～「K」すべての数値を選択します。
- 7 【L / セット】を押す

インクタンクを交換する

インクがなくなったときは、インクタンクを交換してください。

インクタンクの型番や取り付け位置を間違えると正しく印刷できません。本商品では、次のインクタンクを使用しています。

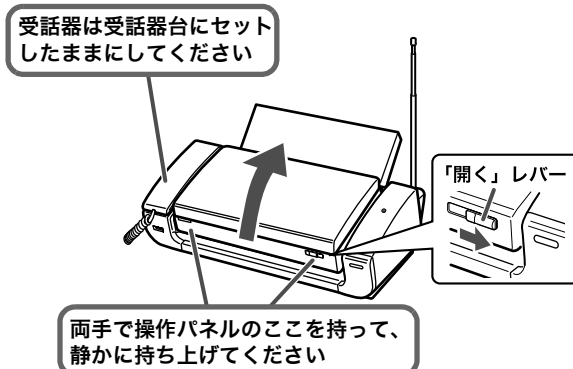
- ブラックインクタンク：IJ-155 Black
ファクシミリ用IJ「H」形「5」インクカートリッジ
- カラーインクタンク：IJ-165 Color
ファクシミリ用IJ「H」形「6」インクカートリッジ



交換の操作

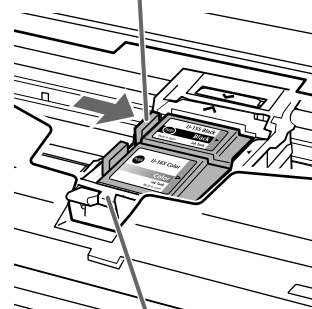
インクタンクの交換は、操作パネル裏に書かれている説明を参考にしてください。

- 1 【戻る/インク交換（2秒）】を約2秒間押す
- 2 ディスプレイを閉め、「開く」レバーを右に引きながら、操作パネルを開ける



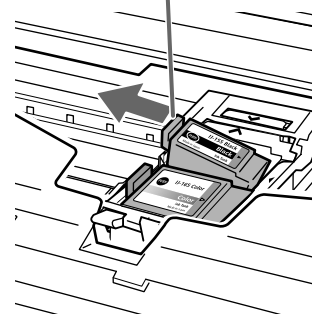
- 3 インクがなくなったインクタンクを取り外す
◆インクタンクの取り外しかた

タブを矢印の方向に押す



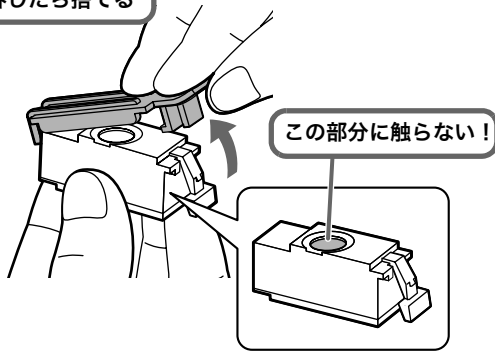
プリントヘッドは取り外さない

インクタンクを取り出す



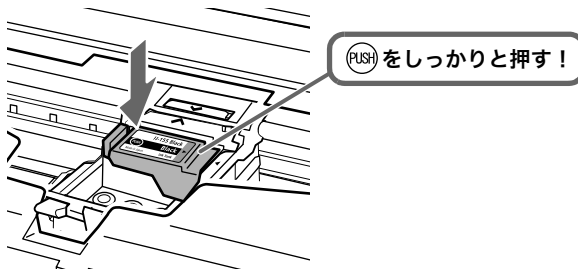
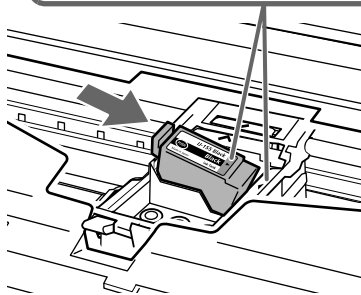
4 新しいインクタンクを準備する

取り外したら捨てる



5 インクタンクを取り付ける ◆インクタンクの取り付けかた

▶マークと ◀マークを合わせて、斜めに差し込む



6 操作パネルを「カチッ」と音がするまで閉め、ディスプレイを開く

7 【ストップ】を押す

ブラックインクタンクを交換していない場合は、手順9に進みます。

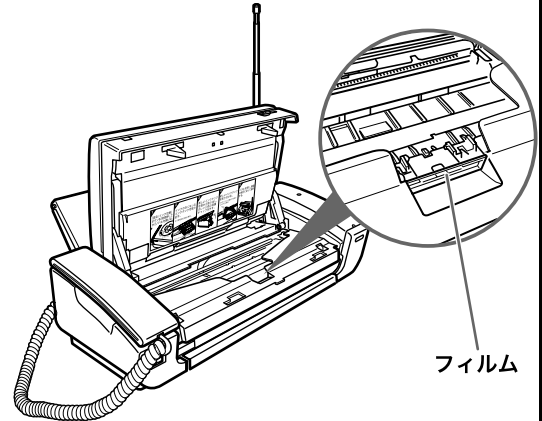
8 「ブラックインクタンクを交換しましたか？」と表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択し、【L/セット】を押す

9 「カラーインクタンクを交換しましたか？」と表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択し、【L/セット】を押す

カラーインクタンクを交換していない場合はここで終了です。

10 「はい」を選択すると「インクふき取りクリーニングをおすすめします」という画面が現れます。このあと「インクふき取りクリーニング」(P.170)の手順5に進んで、インクふき取りクリーニングを行ってください。

⚠注意 フィルムには、絶対触れないようにしてください。印字不良や故障の原因となり、印刷できなくなります。





お知らせ

- ・インクタンクを取り付ける際は、並び順を間違えないよう、表示をよくご確認ください。
- ・最適な印刷品質を保つため、当社指定インクタンクのご使用をおすすめします。また、インクのみのはめ替えはおすすめできません。
- ・インクタンクの交換はすみやかに行き、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- ・交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- ・最適な印刷品質を保つため、インクタンクは開封後6か月以内に、未開封の場合でも購入後2年以内に使い切ってください。(取り付け年月日を控えておくことをおすすめします)。
- ・黒のみの原稿やグレースケール印刷を指定した場合でも、各色のインクが使われる可能性があります。また、ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシュでも、各色のインクが使われます。
- ・インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。
- ・衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- ・インク取付窓周辺はインクで汚れています。手が汚れないように気をつけてください。
- ・新しいインクタンクの包装は、手順どおりにはがしてください。
- ・インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- ・新しいインクタンクから取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって捨ててください。
- ・保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。
- ・ナビメニューでも手順の確認ができます。



ワンポイント

■ プリントヘッドの乾燥や目づまりを防ぐには

きれいな印刷を保つためには、定期的(月1回程度)に印刷を行うことをおすすめします。長期間使用されないと、プリントヘッドが乾燥して目づまりを起こす場合があります。

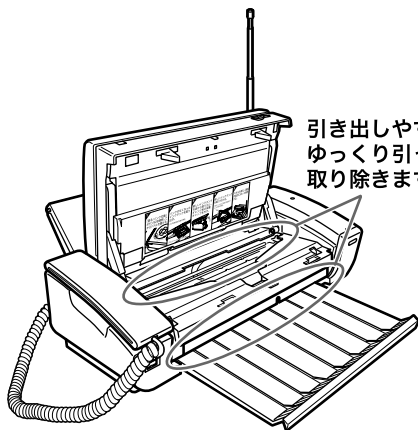
■ インクタンクを交換し終わったら

コピーをする(P.91)などして正しくプリントできることを確認することをおすすめします。

原稿または記録紙がつまったときは

つまった原稿または記録紙は、次の手順で取り除いてください。

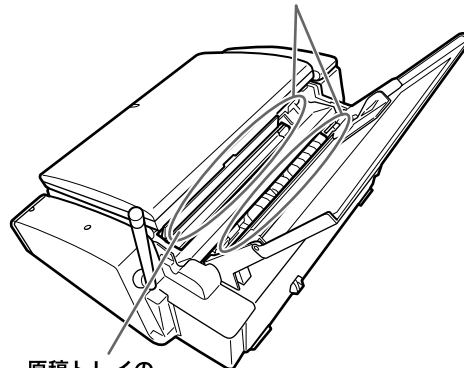
- 1 つまっていない原稿や記録紙をすべて取り除く
原稿トレイ、記録紙トレイ、排紙トレイなどに残っているすべての原稿や記録紙を取り除きます。
- 2 原稿トレイおよび記録紙トレイからはみ出している紙を、ゆっくり引き抜く
なるべく破れないように、慎重に引き抜いてください。
- 3 排紙トレイからはみ出している紙を、ゆっくり引き抜く
なるべく破れないように、慎重に引き抜いてください。
- 4 操作パネルを開き、つまっている紙を取り除く



引き出しやすいほうから
ゆっくり引っ張って
取り除きます。

- 5 つまっている紙を後方から取り除く

引き出しやすいほうから
ゆっくり引っ張って取り除きます。



原稿トレイの
付け根部分のふたも開きます

- 6 取り除き終わったら操作パネルを閉め、【ストップ】を押す

STOP お願い

- ・記録紙や原稿は、抜き取りやすい方向に静かに引いて、破れないように注意して取り除いてください。
- ・無理な力を加えると、記録紙が破れることがあります。親機内部で記録紙が破れたときは、内部につまった記録紙をすべて取り除いてください。
- ・つまった紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても紙づまりのエラー (P.181) が解除されない場合には、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



お知らせ

- ・つまった原稿または記録紙を取り除くときに、電源プラグを抜く必要はありません。

停電になったときは

本商品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。そのため、あらかじめ停電時用の電話機（AC 電源がなくても使える電話機）をご用意いただくことをおすすめします。次のように、停電になったときでも保存されるデータと、保存されないデータがあります。

保存されるデータ	<ul style="list-style-type: none">・メモリに保存されている受信ファクスや録音された用件、自作応答メッセージ・本商品の登録、設定内容*1・電話帳の内容・本商品に保存されているダウンロードしたメモディ・本商品に保存されているメール文書や画面メモ・本商品に保存されているブックマーク
保存されないデータ	<ul style="list-style-type: none">・日付時刻設定・待機画面に設定されていたメモリーカードの画像*2・登録、設定途中だったデータ・録音中だった用件・Lモードゲートウェイとの接続情報と保存しているパスワード・再ダイヤル（親機）・着信履歴

- *1 以下の内容が保存されます。
待機画面選択、コントラスト設定、応答メッセージ録音、おやすみタイマー設定、留守録転送、リモート暗証番号、留守録保存、ツールセーバー、ワンタッチ、キータッチ確定時間、タッチパネル確定時間、キーロックタイマー、音声読上げ辞書、あなたの名前と TEL、回線種別、ナンバーディスプレイ、Lモード通信速度、携帯通話設定、らくらく FAX、FAX 受信動作、FAX 受信同時プリント、メール通知音、メール受信動作、優先呼出、電話帳着信音呼出、着信拒否設定、着信音選択、キータッチ音量、子機受話音量、子機送話音量、着信相手読上げ、回線検出
- *2 メモリーカードの画像を待機画面に設定していた場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。Lモードでダウンロードした画像を設定していた場合は、そのまま残ります。



お知らせ

- ・ 停電復帰後は強制的に留守電モードになります。また、応答メッセージは固定の応答メッセージになります。

故障かな？と思ったら

修理に出したり、当社のサービス取扱所にお問い合わせいただく前に、次のことをチェックしてください。

親機のトラブル

全般

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
正常に動作しない	—	一度電源プラグを電源コンセントから抜いた後、10秒以上おいてから差し込んでください。	P.168
ディスプレイに何も表示されない	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグを正しく差し込んでください。	P.23
	待機画面がOFFになっていませんか？	最後の操作から約5分以上たっています。【ストップ】を押してください。	P.17

電話／留守番電話

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
電話がかけられない	電話回線の種類が正しく自動設定されていますか？	電話回線の種類をご契約の回線種別に手動で設定してみてください。	P.25
	電話回線や受話器が正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	P.24
ダイヤルした番号に電話がかからない	ターミナルアダプタやADSLモデムに接続していますか？ 通話を切ってからすぐにダイヤルしましたか？	通話を切った後、しばらくしてからダイヤルしてください。	—
	発信音(ツー音)を確認しましたか？	受話器を取ってからかける場合は、ダイヤルする前に必ず発信音(ツー音)を確認してください。	P.52
携帯電話に電話がつかない	NTTのひかり電話サービスと携帯通話設定をご利用中ですか？	携帯通話設定を解除してください。	P.62
	携帯通話設定は正しく設定されていますか？	事業者番号などの設定を確認してください。	P.62

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
110、119、177、186、184や、0120(フリーダイヤル)などの番号にかからない	ADSLモデムなどに接続していますか？	電話回線の種類をご契約の回線種別に手動で設定してください。	P.25
ダイヤル終了後、着信音が聞こえはじめるまでの時間が長い	相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、長くなる可能性があります。	—	—
着信音が鳴らない	着信音量が「消音」(OFF)に設定されていませんか？	着信音量を「消音」以外に設定してください。	P.38
	おやすみモードにセットしていませんか？	おやすみモードを解除してください。	P.71
	ADSLやISDN回線に接続していますか？	ADSLモデムやターミナルアダプタの接続方法を確認してください。	—
こちらの声が相手に届かない	ADSLモデムやターミナルアダプタ(TA)の設定は合っていますか？	ADSLモデムの着信音設定を『IR』に設定し直してください。ターミナルアダプタのアナログポートの設定が間違っていないか確認してください。	—
	受話器の下の穴を手でふさいでいませんか？	ふさがないように正しくお持ちください。	—
雑音がひどい	適切な場所に設置されていますか？	適切な場所に設置してください。	『工事説明書』P.4
スピーカ(オンフック)からの音が聞こえない、聞こえにくい	音量が小さくなっていませんか？	スピーカ(オンフック)の音量を調節するか、受話器で聞いてください。	P.38
用件が録音されない	メモリがいっぱいになっていませんか？	不要な用件やファクスを消去してください。	P.69 P.87 P.161
	留守モードにセットされていますか？	留守モードにセットしてください。	P.67
【消去／キャッチ】が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？	着信拒否に設定した相手先からの電話はいっさい受けられません。受けたい場合は着信拒否を解除してください。	P.99

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
外出先からリモート操作ができない	トーン信号（ピポパ音）の出る電話機を使っていますか？	トーン信号の出る電話機から操作してください。	—
	# に続いて正しい暗証番号（4桁の数字）を入力していますか？	# を押してから正しい暗証番号（4桁の数字）を入力してください。	P.74

コピー/ファクス

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ファクスを送信できない	ファクス番号はありますか？	相手のファクス番号を確認してください。	—
	原稿はセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときは、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押ししてください。	P.32 P.80
	原稿がつまっていませんか？	つまっている原稿を取り除いてください。	P.177
	原稿をオモテ向きにセットしていませんか？	送る面をウラ向きにセットしてください。	P.80
	相手側のファクスの記録紙がなくなっていますか？	相手に確認してください。	—
	回線は正しく接続されていますか？	電話回線の種類を手動で設定してみてください。	P.25
	回線検出は「する」になっていますか？	時間をおいてから再度、送信してください。それでも送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。	P.82
	カラー非対応のファクスにカラーファクスを送ろうとしていますか？	相手先のファクスがカラー非対応の場合は、モノクロファクスを送信してください。	P.80
ファクスで送信した画像が汚い	紙送りローラや原稿読み取り部、記録ヘッドが汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。	P.188
原稿や記録紙が汚れる	プリンタ内部が汚れていませんか？	インクふき取りクリーニングを行い、それでも汚れる場合はプリンタ内部の突起をクリーニングしてください。	P.170
ファクスを受信できない	受話器を置く前に【スタート/コピー】を押しましたか？	先に受話器を置くと、電話が切れてしまいます。受信し直してください。	P.83
	メモリがいっぱいになっていませんか？	不要なファクスや用件を消去してください。	P.69 P.87 P.161
	印刷中ではありませんか？	印刷中はファクスを受信できません。印刷を中止するか、終了してから受信し直してください。	—

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ファクスを受信したのに、印刷されない	ファクス受信同時プリントが「しない」に設定されていませんか？	ファクスが自動的に印刷されるようにするには、ファクス受信同時プリントを「する」に設定してください。	P.89
コピーやファクス受信した画像が汚い (P.170もご覧ください。)	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	相手側にもう一度送信してもらってください。	—
	ファクス受信中にキャッチホンが入りましたか？	相手側にもう一度送信してもらってください。	—
	適切な記録紙を使っていますか？	使用できる記録紙かどうか確認してください。当社指定の記録紙を使ってください。	P.30 P.190
	紙送りローラや原稿読み取り部、記録ヘッドが汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。	P.188
コピーした画像に横線が入る	紙送りローラや原稿読み取り部、記録ヘッドが汚れていませんか？	汚れを拭きとってください。	P.188
白紙が出てくる (P.174もご覧ください。)	インクがきれいでいませんか？	インクタンクを交換してください。	P.174
	コピー原稿をオモテ向きにセットしていませんか？	コピーする面をウラ向きにセットします。	P.91
	相手側がファクス原稿の向きを逆にセットしている場合があります。	相手側に確認してください。	—
	インクタンクが取り付けられていますか？	インクタンクを取り付けてください。	P.28
	プリントヘッドのノズルが詰まっていますか？	ヘッドクリーニングを行い、それでも解消されない場合はヘッドリフレッシングを行ってください。	P.173
	うまく紙送りされない	紙送りローラが汚れている場合があります。	紙送りローラの清掃を行ってください。
	セットされている記録紙が、残り1枚になっていませんか？	残っている記録紙の下に用紙を追加してみてください。	P.31
	セットされている記録紙が、多すぎませんか？	一度にセットできる枚数を確認してください。	P.30 『ダイレクトプリントガイド』 P.10

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ファクス情報サービスをうまく受けられない	トーン（ブッシュ）信号が出ていますか？	お使いの電話がダイヤル回線の場合は【*】（トーン）を押してください。	P.52、 P.83
	相手から受信状態にするよう指示はありましたか？	最後に【スタート/コピー】を押してください。	—
何度も紙づまりが起きる	記録紙を正しくセットしましたか？	記録紙を正しくセットしてください。	P.31
	適切な記録紙を使っていますか？	使用できる記録紙かどうか確認してください。当社指定の記録紙を使ってください。	P.30 P.190
	紙送りローラが汚れていませんか？	紙送りローラの清掃を行ってください。	P.188

電話サービス、その他

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ドアホンが使えない	正しく接続していますか？	当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	P.154
	ドアホンボックスの電源プラグが外れていませんか？	当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	P.154
ナンバー・ディスプレイが正しく動作しない	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。ナンバー・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.93
	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	回線状態によっては表示できない場合があります。	—
	ナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっていますか？	ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	P.93

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ネーム・ディスプレイが正しく動作しない	ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイの付加サービスです。ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	表示させるときは、ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約が必要です。ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.96
	静電気や雷などで電話回線の状態が悪くありませんか？	回線状態によっては表示できない場合があります。	—
	ナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっていますか？	ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	P.93
キャッチホン・ディスプレイが正しく動作しない	キャッチホン・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	相手の番号を表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンII、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。	P.57 P.97
	ナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっていますか？	ナンバー・ディスプレイの設定を「する」にしてください。	P.93
鳴り分け着信ができない	電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？	相手の電話番号を市外局番から登録してください。	P.98
	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。ナンバー・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.93

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
メールが利用できない	Lモードサービスの利用契約をされましたか？	当社との契約が必要です。Lモードサービスの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.104
	Lモードを使用するように設定しましたか？	Lモードを使用するように設定してください。	P.108 P.148
メールの送信・受信ができない	送信先のメールアドレスが正しく合っていますか？	正しいメールアドレスを入力してください。	P.129
	受信メールがいっぱいになっていませんか？	受信メールが50件になると、メールを受信することができません。不要なメールを削除してから操作をやり直してください。	P.144 P.161
	送信メールがいっぱいになっていませんか？	未送信メールと送信済メールの合計が30件になると、メールを送信することができません。不要なメールを削除してから操作をやり直してください。	P.131 P.134
	Lモード通信速度を33.6kbpsに変更していませんか？	Lモード通信速度を14.4kbpsに変更してください。	P.151
メールの自動受信ができない	ターミナルアダプタやモデムを接続している場合、Lモード対応のターミナルアダプタやモデムを使用されていますか？	Lモード対応のターミナルアダプタやモデムをお使いください。	—
	お使いのターミナルアダプタやモデムは正しく設定されていますか？	お使いのターミナルアダプタやモデムの設定を確認してください。	—
メール通知音が鳴らない	ターミナルアダプタやモデムを接続している場合、Lモード対応のターミナルアダプタやモデムを使用されていますか？	Lモード対応のターミナルアダプタやモデムをお使いください。	—
	お使いのターミナルアダプタやモデムは正しく設定されていますか？	お使いのターミナルアダプタやモデムの設定を確認してください。	—

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
Lモードのサイト(番組)に接続できない	Lモード通信速度を33.6kbpsに変更していませんか?	Lモード通信速度を14.4kbpsに変更してください。	P.151
	回線検出は「する」になっていますか?	時間を置いてから再度、送信してください。それでも送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。	P.82

印刷

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
デジタルカメラの写真の印刷が始まらない/途中で止まる	長すぎる接続ケーブルを使っていますか?	5m以内のUSBケーブルを使用してください。	『ダイレクトプリントガイド』P.27
ディスプレイに「？」が表示される。インデックスプリントに空白が印刷される	サポートされていない形式のファイルです。	ファイルを差し替えてください。(JPEGであってもサポートしていないファイル形式があります。)	—
L判の写真の印刷時間が長い	写真の画素数が大きすぎませんか?	400万画素以下の画像をご利用ください。	—
携帯電話の写真の印刷が始まらない/途中で止まる	親機と携帯電話を正しく配置していますか?	親機と携帯電話の赤外線通信ポートが、正しい角度、正しい距離で向き合うように置き、間をささぎるものを取り除いて、印刷をやり直してください。	『ダイレクトプリントガイド』P.33
	本商品との赤外線通信を行うための条件は満たされていますか?	携帯電話が対応機種かどうかを確認してください。	『ダイレクトプリントガイド』P.32
記録紙がうまく送られない	紙送りローラが汚れていませんか?	紙送りローラの清掃を行ってください。	P.188
	セットされている記録紙が残り1枚になっていませんか?	残っている記録紙の下に用紙を追加してみてください。	P.30
	セットされている記録紙が多すぎませんか?	A4普通紙は30枚以下、2L判、L判、はがきサイズの記録紙は10枚以下にしてセットし直してください。	P.30
	記録紙ガイドを記録紙に押しつけていませんか?	記録紙ガイドは記録紙に強く押しつけず、軽く沿わせるようにしてください。	P.31
印刷が汚い(P.170もご覧ください。)	適切な記録紙を使っていますか?	使用できる記録紙かどうか確認してください。当社推奨の用紙を使ってみてください。	P.30 P.192
	紙送りローラや原稿読み取り部が汚れていませんか?	汚れを拭きとってください。	P.188
印刷にかすれやむらがある	インクがなくなっているか、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。	ノズルチェックパターンを印刷してみてください。	P.172

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
白紙が出てくる	インクタンクが取り付けられていますか？	インクタンクを取り付けてください。	P.28 P.174
	ファイル形式はJPEGですか？	JPEGファイルに差し替えてください。(JPEGであってもサポートしていないファイル形式があります。)	『ダイレクトプリントガイド』 P.13

親機のディスプレイのメッセージ

メッセージ	意味	参照ページ
回線検出できません	回線検出を「しない」に設定してください。	P.82
ブラックインクをセット	インクタンクを取り付けていないときに表示されます。インクタンクを取り付けてください。	P.28 P.174
カラーインクをセット		
ブラック・カラーインクをセット		
ブラックインクが少なくなっています		
カラーインクが少なくなっています		
ブラック・カラーインクが少なくなっています		
プリントヘッド 高温エラー	長時間印刷をしたため、プリントヘッドが過熱しています。しばらく時間を置いてから印刷を行ってください。	—
原稿を確認して下さい	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときには、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	P.32
原稿を点検して下さい	原稿を正しくセットしてください。読み取りを開始しないときには、原稿の反りを直して、原稿の後端を軽く押してください。	P.32
原稿を取り除いて下さい	原稿がつまっています。つまった原稿を取り除いて、もう一度操作してください。	P.177
	長さが90cm以上の原稿は、コピーおよびファクス送信ができません。適切なサイズの原稿をセットしてください。	P.32
子機使用中	子機が使用中です。表示が消えるまで親機は操作できません。	—
子機操作中	電話帳転送などで子機が操作中です。表示が消えるまで親機は操作できません。	—

メッセージ	意味	参照ページ
登録できません	電話番号、メールアドレスを入力していないために、親機の電話帳に登録できません。電話番号またはメールアドレスを入力してください。	P.49
話し中でした	相手が応答しませんでした。もう一度やり直してください。	—
表示することができませんでした	メモリ残量が少なくなっているか、受信したファクス画像の一部が壊れているため、ファクスの内容を画面に表示できません。【消去/キャッチ】を押してこのファクスを消去する操作を行ってください。また不要な用件やファクスも消去してください。	P.69 P.87 P.161
メモリ残量ありません	メモリがいっぱいです。不要な用件やファクスを消去してください。	P.69 P.87 P.161
メモリがありません	電話帳登録時に表示された場合は、すでに電話帳が100件登録されています。不要な電話帳を消去してください。	P.49
メモリ残量わずかです	メモリが残り少なくなっています。不要な用件やファクスを消去してください。	P.69 P.87 P.161
メモリ消去	何らかの原因でメモリが壊れたため、用件、ファクス、自作応答メッセージが消去されている可能性があります。	—
セットボタンを押して時刻設定して下さい	停電や電源プラグの差し直しなどで、日付時刻設定が消えています。日付と時刻を設定してください。	P.37
やり直して下さい	ファクスが送信できていません。もう一度送信してください。	—
	ファクスが受信できませんでした。もう一度送信してもらってください。	—
相手にカラー機能がありません	カラーファクスを送信するには、相手先のファクスもカラーに対応する必要があります。カラー非対応のファクスへは、モノクロファクスを送信してください。	P.81
記録紙を確認して下さい	記録紙を正しくセットしてください。	P.31
記録紙の位置が違います	原稿トレイから紙を取り除き、記録紙トレイに正しく記録紙をセットしてください。	P.31
記録紙を取り除いて下さい	記録紙がつまっています。 ①つまった記録紙を取り除いてください。	P.177
操作パネルを開けて、用紙を取除いて下さい	②それでもこの表示が出るときは、本商品をお買い上げになった販売店または当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。	
宛先が入力されていません	送信や保存するメールに宛先が入力されていません。宛先を入力してから送信や保存の操作をやり直してください。	P.129
印刷できません	Lモードで表示しているページやメールが印刷できないときに表示されます。記録紙やインクタンクが正しくセットされているか、記録紙がつまっていないかを確認してください。	P.28 P.30 P.177

メッセージ	意味	参照ページ
接続に失敗しました	Lモードとの接続に失敗しました。もう一度操作をやり直してください。	P.108
	回線検出が「する」に設定されていることを確認し、時間をおいてから再度、送信してください。それでも送信できないときは、回線検出を「しない」に設定してください。	P.82
設定に失敗しました	Lモードが使えるように設定されていません。	P.108 P.148
パスワードが設定されています	パスワード入力の「要」が選択されていて、本商品にパスワードが保存されていません。パスワードを保存するか、パスワード入力の「不要」を選択してください。	P.107 P.113
受信エラー	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をしていない場合は、ナンバー・ディスプレイの利用を「しない」に設定してください。	P.93
	回線状態が悪い場合に表示されることもあります。	—
ブラックインクタンクを交換しましたか？	インクタンクを交換した場合は「はい」を、交換していない場合は「いいえ」を選んで、【L/セット】を押してください。	—
カラーインクタンクを交換しましたか？	インクタンクを交換した場合は「はい」を、交換していない場合は「いいえ」を選んで、【L/セット】を押してください。	—
操作パネルが開いてます	操作パネルが開いています。操作パネルをきちんと閉めてください。操作パネルが閉まっている場合は、一度パネルを開けてから、閉め直してください。	—
プリンタエラー 電源入れ直し	プリンターの異常を検出しました。 ①電源プラグを電源コンセントから抜き、差し直してください。 ②それでもこの表示が出るときは、本商品をお買い上げになった販売店または当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。	—
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、誤ったプリントヘッドが取り付けられています。	P.26
廃インクタンク満杯	廃インク吸収体が満杯になったため、各種の印刷やコピーができません。当社のサービス取扱所にプリンタの点検をご依頼ください（部品の交換が必要になる場合があります）。	P.169
優先呼出設定です	着信の優先呼出が設定されています。	P.61
回線種別を確認	電話機コードが接続されているかどうか確認し、ご契約の回線種別を設定してください。	P.25
留守録転送モード	留守録転送が設定されています。	P.76
着信音 OFF です	着信音量が消音に設定されています。	P.38
プリンターを点検	プリンターの異常を検出しました。待機画面でメッセージを確認してください。	—

子機のトラブル

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
ディスプレイに何も表示されない	電池パックのプラグは正しく接続されていますか？	プラグを奥まで確実に差し込んでください。	P.34
	子機を充電器に戻さないで、長期間放置していませんか？	充電器に戻して15時間以上充電してください。	P.34
短いアラーム音が鳴り、使えない	親機の電源プラグが抜けていませんか？	親機の電源プラグを確実に差し込んでください。	P.23
	親機を使っていますか？	親機が使用中のときは使えません。	—
	親機と離れすぎていませんか？	親機に近づいてもう一度【通話】を押してください。	—
	他の子機を使っていますか？	他の（増設）子機が使用中のときは使えません。	—
【通話】を押しても【通話】が点灯しない	電池パックは十分に充電されていますか？	充電器に戻して充電してください。	P.34
	「ナンバー・ディスプレイ」を利用している場合など、子機を使うタイミングによっては、このような症状になることがあります。	一度子機を充電器に戻すか、【切】を押すと、普通に使えるようになります。	—
途中で電話が切れる	テレビやコンピュータなど、雑音が発生する機器が近くにありますか？	雑音が発生する機器から離れてください。	P.35
	親機に近づきすぎていませんか？	親機から離れてください。	P.35
	電池パックのプラグがしっかりと差し込まれていますか？	プラグを奥まで確実に差し込んでください。	P.34
—	—	電話を受ける、かけるの操作をやり直してください。	—
	電話がかからない／受けられない	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	ご使用の電話回線を調べ、親機で回線の種別を合わせてください。
ダイヤルした番号に電話がかからない	発信音（ツープ音）を確認しましたか？	ダイヤルする前に、必ず発信音（ツープ音）を確認してください。	P.53

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
相手の声が聞き取りにくい	受話音量が小さくなっていませんか？	受話音量を調節してください。	P.39
こちら側の声が相手に聞こえない、または、とぎれて聞こえる	送話口を指でふさいでいませんか？	送話口をふさがないように子機を持ち直してください。	—
雑音がひどい	適切な場所に設置されていますか？	適切な場所に設置してください。	P.35
着信音が聞こえない	着信音量が「消音」(OFF)に設定されていますか？	着信音量を「消音」以外に設定してください。	P.39
	おやすみモードが設定されていますか？	親機のおやすみモードを解除してください。	P.71
充電しても、すぐに電池がなくなる	電池パックが古くなっていませんか？	新しい電池パックに交換してください。	P.35 P.36
充電器に置いてても【切】が点灯しない	充電端子が汚れていませんか？	充電端子の汚れを綿棒などで拭きとってください。	P.187
	充電器の電源アダプタが電源コンセントから抜けていませんか？	電源アダプタを電源コンセントに接続してください。	P.34
	充電器に正しく置いてありますか？	端子同士が接続されるよう子機を充電器に正しく置いてください。	P.35
子機で外線を受けたとき、きちんとつながらない	—	もう一度【通話】を押してください。	—
子機の一部があたたかい	—	充電によるものです。故障ではありません。	—
【クリア / キャッチ】が効かない	着信拒否の登録をした相手先からのキャッチホンではありませんか？	着信拒否に設定した相手先からの電話はいっさい受けることができません。受けたい場合は着信拒否を解除してください。	P.99

こんなときは	これをチェックしてください	こうしてください	参照ページ
鳴り分け着信ができない	電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？	相手の電話番号を市外局番から登録してください。	P.98
	電話帳に特番ダイヤル(186 / 184)をつけて登録していますか？	特番ダイヤルをつけずに、相手の電話番号を市外局番から別に登録してください。	P.98
	ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？	ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。ナンバー・ディスプレイの詳細につきましては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。	P.93
電話帳操作中に強制終了される	操作中に親機が使用されませんでしたか？	親機使用後に再度操作してください。	P.51
アラーム音が鳴り続ける(約15秒間)	子機と親機の距離が離れすぎていませんか？	通話エリア外と思われる。子機を親機に近づけてください。	—
	【通話】などを押した直後に親機が使用されませんでしたか？	親機使用後に再度操作してください。	—

子機のディスプレイのメッセージ

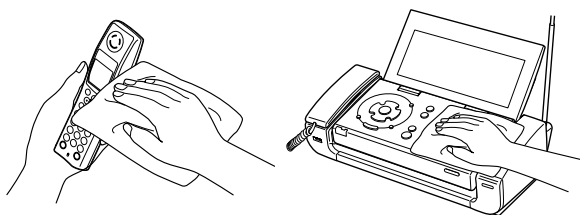
メッセージ	意味	参照ページ
電池残量がありません	子機の電池パックが消耗しています。子機を充電器に置いて、充電してください。	P.34
電話帳登録されていません	子機の電話帳に1件も登録されていません。	—
電話帳メモリが一杯です	すでに子機の電話帳に100件登録されています。不要な電話帳を消去し、もう一度登録し直してください。	P.51
用件再生メッセージはありません	留守番電話に用件が録音されていません。	—
転送失敗	電話転送中に、子機と親機との距離が離れすぎています。子機を親機に近づけてもう一度操作してください。	—
親機と通信できません	親機が使用中です。親機使用後に再度操作してください。	—
接続できません	他の子機が使用されています。また、電波状態が悪いときに表示されます。	—
モーニングコール設定できません	子機の時刻が設定されていないため、モーニングコールの設定ができません。時刻を設定してください。	P.37
名前未入力	子機の使用者名が入力されていません。使用者名を入力してください。	P.165

各部のお手入れ

親機外部と子機

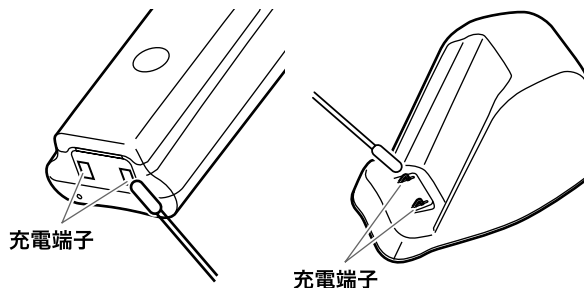
親機や子機の汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、水を含ませて固くしぼった布で拭きとった後、から拭きしとってください。

警告 水拭きするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。また、ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、中性洗剤などは使用しないでください。



充電端子

子機や充電器の充電端子は、綿棒などを使って定期的に清掃してください。充電端子が汚れていると充電できなくなることがあります。



親機ディスプレイ

ディスプレイが汚れたときは乾いたやわらかい布、または中性洗剤に浸し、よく絞った布で拭いてください。

警告 ディスプレイを拭くときは、酸性またはアルカリ性の洗剤や有機溶剤などを使用しないでください。

ワンポイント

■ 親機のボタン操作を無効にするには

【#】（キーロック）を約 2 秒間押し、キーロックをセットしてください。親機のボタン操作が設定時間の間無効になるため、操作パネルの掃除をするときなどに便利です。キーロックを解除するには、【#】（キーロック）を約 2 秒間押しします。

お買い上げ時は、約 3 分たつと自動的に解除される設定（おそうじモード）になっています。

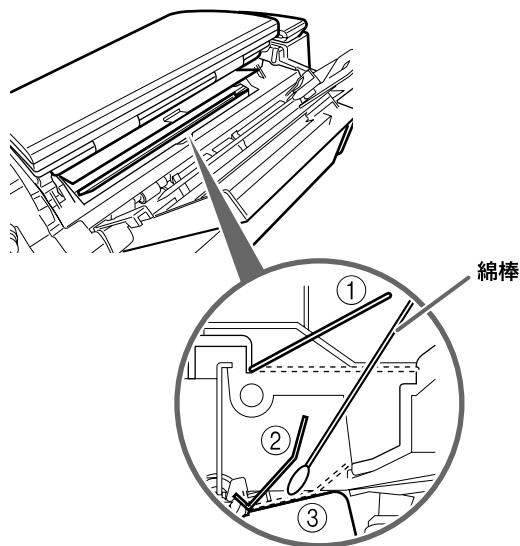
親機内部

原稿や記録紙が汚れたりつまったりするトラブルを防ぐため、親機内部の清掃を定期的に行ってください。

⚠ 警告 親機の内部を清掃するときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

原稿読み取り部を清掃する

- 1 原稿トレイの付け根の部分のフタ①を開け、その奥のもう一つのフタ②を開ける
- 2 原稿読み取り部のガラス面③とフタ②の裏側の白い部分を、水を含ませて固く絞った綿棒または薄い布で拭く



内部を横から見た図

- 3 拭いた部分を、乾いた綿棒または薄い布でから拭きする

こんなときは

STOP お願い

- ・ 清掃するときは、原稿読み取り部に傷をつけないようご注意ください。傷がつくと、コピーやファクスに線が入ったりすることがあります。
- ・ 原稿トレイの付け根の部分にインクの汚れがついていることがあります。あらかじめ、水に浸してよく絞った布で拭くなどして、手に汚れがつかないようにお気をつけください。

主な仕様

■ファクス部

形名	JC-761LC
適用回線	一般加入電話回線、NCC回線、ファクシミリ通信網 (F ネット: 16 Hz)
圧縮方式	MH方式
通信モード	G3 / ECM 主: 8 dot / mm 副: 3.85 line / mm (普通) 7.7 line / mm (細かい)
記録方式	インクジェット方式
表示装置	液晶ディスプレイ (640 × 240 ドット、8.9 インチ、バックライト付カラー)
通信速度	9600 / 7200 / 4800 / 2400bps: 自動 フォールバック
電送時間	約 18 秒 ^{*1}
中間調伝送	64 階調
記録紙サイズ	A4
最大記録有効幅	204 mm
最大読取幅	A4 サイズ
ファクス受信枚数	最大約 50 枚 (20 件) ^{*2*}

■電話部

ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル / 押しボタン式トーンダイヤル
選択信号種別	DP 信号 (20PPS) PB 信号 (DTMF)
電話番号の記憶容量	親機: 電話帳ダイヤル 100 局 (23 桁以内)、ワンタッチ番号 3 局 (32 桁以内)、着信履歴 30 局、再ダイヤル 1 局 子機: 電話帳ダイヤル 100 局 (23 桁以内)、着信履歴 20 局、再ダイヤル 10 局

■留守録部

自作応答メッセージ	1 件 (最大 40 秒)
用件録音時間	最大約 20 分 (30 件) ^{*2} (1 件最大 3 分)

■コードレス部 (子機)

使用可能距離	約 100 m (環境により異なる)
充電完了時間	約 15 時間
使用可能時間 (充電完了後)	「連続通話時: 約 7 時間」 「待ち受け時: 約 200 時間」 (使用環境温度が 25 °C のとき)

■共通部

寸法 (幅 × 奥行 × 高さ) 単位: mm	親機: 363 × 300 × 223 (用紙カバー展開時) 363 × 259 × 159 (用紙カバー折りたたみ時) 子機: 46 × 32 × 181 充電器: 53 × 102 × 87
質量	親機: 約 4.6kg (受話器を含む) 子機: 約 150 g (電池パック含む) 充電器: 約 75 g (電源アダプタ含まず)
電源	親機: AC100 V 50 / 60 Hz 子機: 2.4 V、600 mAh (ニッケル水素電池) ^{*4} 充電器: 電源アダプタ DC9 V、100 mA
直流抵抗値	約 110Ω
消費電力	親機: 約 7.3 W (待機バックライトオフ時) / 約 12.2 W (待機バックライトオン時) / 約 33 W (動作時最大) 子機、充電器: 約 1.8 W (充電中、電源アダプタ含む)
使用環境	動作保証範囲 温度: 5 °C ~ 35 °C 湿度: 10 % ~ 90 %RH (一部高温高湿、低温低湿状態除く) 画像品質保証範囲 (搬送性含む) 温度: 15 °C ~ 27.5 °C 湿度: 20 % ~ 80 %RH

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

*1: 当社 A4 標準原稿 (A4 サイズ 700 字程度: 標準画質 (8 × 3.85 本/mm)) を「普通」で送ったときの時間です。これは画像情報だけの転送速度で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

*2: 用件録音とファクス受信はメモリを共用しています。

*3: 当社 A4 標準原稿 (A4 サイズ 700 字程度: 標準画質 (8 × 3.85 本/mm)) の場合。

*4: ニッケル水素電池はリサイクル可能です。使用済みの電池は、当社のサービス取扱所までお持ちいただき、リサイクル推進にご協力をお願いいたします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

・電源高調波抑制規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

消耗品／別売品について

本商品の消耗品には、以下のものがあります。指定以外の消耗品は使用しないでください。

消耗品について

■ インクタンク

- ・ ブラックインクタンク IJ-155 Black
ファクシミリ用 IJ「H」形「5」インクカートリッジ
- ・ カラーインクタンク IJ-165 Color
ファクシミリ用 IJ「H」形「6」インクカートリッジ
インクカートリッジについては、パーツサービスセンタ（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

キヤノン製インクタンクも使用できます

品番：ブラックインクタンク BCI-15 Black

品番：カラーインクタンク BCI-16 Color

■ 電池パック

電池パック 086（コードレス電話機用）

電池パックについては、パーツサービスセンタ（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ ファクシミリ用記録紙

EP 形 A4 記録紙（1）（A4 サイズ（250 枚 1 組））

ファクシミリ用記録紙については、パーツサービスセンタ（☎0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

別売品について

■ 増設子機※

アナログコードレス電話機「C3」：漢字子機

■ ドアホン※

ドアホンは 2 台まで接続することができます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンが使用できます。

■ ドアホンボックス※

U ードアホンボックス

■ 充電器※

アナログコードレス電話機「C3」充電器

■ 充電器用電源アダプタ※

電源アダプタ（K）-077

■ キャリアシート※

A4 サイズ、5 枚／袋

破れた原稿や、薄い原稿、反っている原稿など、状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーに使用します。

※ 印は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

■ フォトプリント用記録紙

下記の表のキヤノン製フォトプリント専用紙が使用できます。

記録紙の名称	型番	一度にセットできる枚数	記録紙サイズ	印刷時に「種類」で選択する項目	
カラー BJ 用普通紙	LC-301 A4	30 枚	[A4]	[普通紙]	
スーパーホワイトペーパー	SW-101 A4 SW-201 A4	30 枚	[A4]		
プロフェッショナルフォトペーパー	PR-101 A4	1 枚	[A4]	[プロフォトペーパー]	
	PR-101 L	10 枚	[L 判]		
	PR-101 2L	10 枚	[2L 判]		
プロフェッショナルフォトはがき	PH-101	10 枚	[はがき]	[スーパーフォトペーパー]	
スーパーフォトペーパー	SP-101 A4	5 枚	[A4]		
	SP-101 L	10 枚	[L 判]		
	SP-101 2L	10 枚	[2L 判]		
スーパーフォトペーパー・シルキー	SG-101 A4	5 枚	[A4]		[高品位専用紙]
	SG-101 L	10 枚	[L 判]		
	SG-101 2L	10 枚	[2L 判]		
マットフォトペーパー	MP-101 A4	10 枚	[A4]	[高品位専用紙]	
	MP-101 L	10 枚	[L 判]		
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L	10 枚	[L 判]	[スーパーフォトペーパー]	
	EC-101 2L	10 枚	[2L 判]		
	EC-101C	5 枚	[カード]		
フォト光沢ハガキ	KH-201N	10 枚	[はがき]	[フォトはがき]	
ハイグレードコートはがき	CH-301	10 枚	[はがき]		
キヤノン光沢紙	GP-401 A4	10 枚	[A4]	[光沢紙]	
片面光沢名刺用紙	KM-101	5 枚	[名刺]	[スーパーフォトペーパー]	
両面マット名刺用紙	MM-101	5 枚			
ピクサスブチシール (16 面光沢) (フリーカット)	PS-101	1 枚	[シール]	[プロフォトペーパー]	
	PS-201				
フォトシールセット (2 面、4 面、9 面、16 面)	PSHRS	1 枚	[シール]	[高品位専用紙]	

当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

各機能に使用可能な記録紙サイズ

	A4	2L判	L判	はがき	カード	名刺	シール
メモリーカードから印刷	○	○	○	○	○	○	○
携帯電話から印刷	○	○	○	○	○	○	○
カメラダイレクト印刷	○	○	○	○	○	○	○
カラーコピー	○	×	○	○	×	×	×
モノクロコピー	○	×	×	×	×	×	×
受信カラーファクスの印刷	○	×	×	×	×	×	×
受信モノクロファクスの印刷	○	×	×	×	×	×	×

区点コード表—JIS 漢字第一水準漢字

漢字コードは左列の番号と上横列の番号を組み合わせた4桁の番号です。(例) 亜 漢字コード 1601
 下記の漢字コード表は JIS 区点コード (第一水準漢字) に準じています (一部記号を除く)。

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
記号	010	(SP)	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、
	011	!	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、
	012	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	013	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	014	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	015	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	016	+	∞	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	¥
	017	≥	∞	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	¥
	018	\$	c	£	%	#	&	*	@	s	☆	
	019	★	◆	●	◎	◇	△	▽	▼	※	〒	
	020	◇	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		
	021	→	←	↑	↓	≡	⇒	⇔	≪	≫	√	
	022						€	⇒	⇔	≪	≫	
	023	∫	∮	∯	∰	∱	⇒	⇔	≪	≫	√	
	024	∫	∮	∯	∰	∱	⇒	⇔	≪	≫	√	
	026	∠	∟	∩	∪	∩	∪	∩	∪	∩	∪	
	027	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	
	028	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	
	029			Å	%		b	♪	†	‡	¶	
												○
	数字	031						0	1	2	3	
		032	4	5	6	7	8	9				
	アルファベット	033			A	B	C	D	E	F	G	
		034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
		035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
		036					a	b	c	d	e	
		037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
		038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
		039	z									
ひらがな	040	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	041	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	042	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	043	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	044	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	045	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	046	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
	047	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お		
048	あ	か	い	き	う	く	え	げ	お			
カタカナ	050	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	051	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	052	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	053	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	054	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	055	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	056	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	057	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	058	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	059	ア	カ	イ	キ	ウ	ク	エ	ケ	オ		
	特殊記号	060	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	
061		K	Λ	M	N	Ω	O	Π	Σ	T		
062		Υ	Φ	X	Ψ	Ω	O	Π	Σ	T		
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η		
064		θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	
065		σ	τ	υ	φ	ψ	ω					
070			A	B	B	Γ	Δ	E	E	Ж	З	
071		И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	
072		Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	
073		Ь	Э	Ю	Я							
074											а	
075		б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	
076		к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	
077		ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	
078		ю	я									
079												
080		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
081		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
082	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
083	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
あ	160	亜	西	亜	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
	161	梓	庄	槐	惡	握	渥	旭	葦	芦	鱒	
	162	帖	或	幹	扱	宛	姐	虹	鮎	綯	綾	
	163	鮎	杏	粟	拾	安	庵	按	暗	案	間	
	164	鞍										

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
い	164			以	伊	位	依	偉	困	夷	委
	165	威	耐	以	伊	位	依	偉	困	夷	委
	166	移	維	意	慰	易	倚	椅	為	畏	異
	167	井	緯	胃	萎	衣	椅	謂	違	遺	逸
	168	福	域	育	郁	磯	一	言	志	益	烟
	169	引	芋	鯨	允	印	咽	員	因		
	170		淫	胤	蔭	時					
う	170								右	宇	鳥
	171	迂	雨	卯	鞠	窺	丑	碓	白	渦	嘘
	172	咽	霽	蔚	蹴	姥	厩	浦	瓜	閨	噓
	173	云	運	雲	雲	姥	厩	浦	瓜	閨	噓
え	173										
	174										
	175	曳	栄	永	往	餌	穀	營	嬰	影	映
	176	衛	詠	銳	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英
	177	閏	櫻	麻	液	洩	瑛	盈	穎	穎	英
	178	掩	援	沿	円	洩	瑛	盈	穎	穎	英
お	178										
	179	凹	央	奥	往	応			於	汚	甥
	180		押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖	鶯
	181	鴨	黄	岡	沖	狄	温	屋	憶	臆	桶
	182	杜	乙	岡	卸	狄	温	屋	憶	臆	桶
か	182										
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	下	化
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	夏	嫁
	185	禍	禾	稼	箇	花	架	歌	荷	火	菓
	186	蝦	課	稼	箇	迦	架	歌	荷	華	峨
	187	我	牙	画	箇	迦	架	歌	荷	華	峨
	188	介	会	解	箇	迦	架	歌	荷	華	峨
	189	恢	懷	改	改	塊	改	改	改	改	改
	190		懷	改	改	塊	改	改	改	改	改
	191	蟹	開	階	階	凱	界	皆	皆	皆	皆
	192	慨	開	階	階	凱	界	皆	皆	皆	皆
	193	馨	蛙	涯	涯	蓋	該	該	該	該	該
	194	赫	攪	拵	拵	核	該	該	該	該	該
	195	赫	攪	拵	拵	核	該	該	該	該	該
	196	額	掛	笠	笠	核	該	該	該	該	該
	197	恰	括	括	括	渴	渴	渴	渴	渴	渴
	198	叶	花	花	花	渴	渴	渴	渴	渴	渴
	199		鴨	鴨	鴨	渴	渴	渴	渴	渴	渴
200		粥	粥	粥	渴	渴	渴	渴	渴	渴	
201	勤	勤	卷	喚	堪	冠	冠	冠	冠	冠	
202	幹	患	感	慣	憾	完	完	完	完	完	
203	款	歡	汗	慣	憾	完	完	完	完	完	
204	竿	管	簡	緩	澗	環	環	環	環	環	
205	諫	貫	選	鑑	間	環	環	環	環	環	
206	館	丸	選	鑑	間	環	環	環	環	環	
207	贖	雁	頑	頑	頑	頑	頑	頑	頑	頑	
き	207										
	208	基	奇	嬉	寄	岐	企	伎	危	喜	器
	209	旗	既	期	棋	棄	希	幾	忌	揮	机
	210		機	期	棋	棄	希	幾	忌	揮	机
	211	紀	微	規	記	氣	起	軌	祈	季	稀
	212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	輝	飢	騎
	213	儀	疑	偽	義	妓	宜	戲	輝	飢	騎
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	却	却
	215	客	脚	慮	逆	丘	久	仇	休	吸	吸
	216	宮	弓	急	救	丘	久	仇	休	吸	吸
217	究	窮	筴	級	糾	給	旧	牛	居	居	
218	巨	拒	抛	拳	渠	給	旧	牛	居	居	
219	禦	魚	俠	享	京	給	旧	牛	居	居	
220		供	供	享	兇	強	強	強	強	強	
221	脚	叫	供	境	峽	強	強	強	強	強	
222	扶	教	橋	境	狂	強	強	強	強	強	
223	養	鄉	鏡	響	櫻	強	強	強	強	強	
224	業	局	曲	響	玉	強	強	強	強	強	
225	巾	錦	斤	極							

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け	232		卦	契	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	圭	型	契	祁	徑	惠	慶	慧	懇	揭
	234	携	敬	景	形	溪	睦	稽	系	經	繼
	235	繫	野	莖	桂	蚩	計	詣	警	輕	頸
	236	繫	去	迎	荆	蚩	載	詣	激	際	桁
	237	傑	欠	決	潔	劇	結	擊	訣	月	件
	238	傑	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		憲	權	拳	捲					
	241	肩	見	謙	賢	軒					
	242	鮫	元	原	原	幻					
243	鮫	元	原	原	幻						
こ	243						乎	個	古	呼	固
	244	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯	湖	狐
	245	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鉅	雁
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	異	跨	娛	後
	247	顧	悟	梧	胡	胡	暮	語	吾	娛	闕
	248	御	鯉	交	侯	侯					
	249	乞	厚	厚	向	向					
	250	効	厚	厚	向	向					
	251	巧	巷	厚	向	向					
	252	拘	控	厚	向	向					
	253	江	洪	厚	向	向					
	254	紅	絃	厚	向	向					
	255	航	荒	厚	向	向					
	256	航	荒	厚	向	向					
257	號	鋼	厚	向	向						
258	號	鋼	厚	向	向						
259	告	國	厚	向	向						
260	忽	惚	厚	向	向						
261	昏	昆	厚	向	向						
さ	261										些
	262	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂
	263	詐	鎖	娑	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	探	催	再	濟
	265	災	采	犀	碎	岩	祭	探	裁	裁	阪
	266	載	際	劑	在	材	罪	齋	細	菜	削
	267	塚	神	看	咲	崎	罪	財	牙	坂	削
	268	昨	揮	看	咲	崎	罪	財	牙	坂	削
	269	昨	世	匙	册	冊	罪	財	牙	坂	削
	270	鮭	世	匙	册	冊	罪	財	牙	坂	削
	271	鮭	察	抄	册	冊	罪	財	牙	坂	削
272	鮭	察	抄	册	冊	罪	財	牙	坂	削	
273	鮭	察	抄	册	冊	罪	財	牙	坂	削	

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	273										伺
	274										姿
	275										斯
	276										糸
	277	使	刺	司	史	嗣	四	士	仕	仔	伺
	278	子	屍	市	師	志	思	指	始	姊	姿
	279	施	旨	枝	止	死	氏	獅	支	姊	斯
	280	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	祉	私	糸
	281	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	詩	試	兒
	282	字	寺	慈	時	飼	齒				
	283	耳	次	滋	爾	爾	鹿	式	識	室	而
	284	軸	自	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	285	湿	穴	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	286	屢	漆	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	287	社	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	288	尺	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	289	恚	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	290	腫	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	291	綬	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	292	終	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	293	輯	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	294	從	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	295	夙	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	296	述	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	297	旬	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	298	醇	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	299	署	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	300	恕	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	301	妾	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	302	彰	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	303	松	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	304	照	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	305	紹	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	306	詳	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
	307	文	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺
308	情	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
309	釀	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
310	蝕	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
311	心	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
312	疹	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
313	身	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
314	尋	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
315	尋	蔕	蔕	夕	夕	執	失	識	室	竺	
す	315										筍
	316	須	醉	凶	厨	逗	吹	帥	凄	制	水
	317	炊	睡	粹	翠	袁	遂	醉	聖	棲	隨
	318	瑞	龍	崇	崇	崇	數	趨	精	聲	隨
	319	福	管	嶺	雀	雀	据	趨	静	斧	杉
	320	福	管	嶺	雀	雀	据	趨	静	斧	杉
せ	320										制
	321	勢	姓	征	世	瀨	歐	是	凄	制	水
	322	栖	正	清	成	政	整	星	晴	棲	水
	323	西	誠	誓	生	政	精	聖	聲	棲	水
	324	脆	隻	席	逝	政	青	静	斧	棲	水
	325	籍	隻	脊	威	政	昔	析	石	棲	水
	326	接	撰	折	赤	政	蹟	研	切	棲	水
	327	蟬	撰	先	窃	政	説	雪	絶	棲	水
	328	扇	撰	先	窃	政	説	雪	絶	棲	水
	329	扇	撰	先	窃	政	説	雪	絶	棲	水
	330	選	撰	先	窃	政	説	雪	絶	棲	水
	331	全	撰	先	窃	政	説	雪	絶	棲	水
	332	全	撰	先	窃	政	説	雪	絶	棲	水
そ	332										會
	333	曾	楚	狙	疏	樾	墮	咀	措	會	素
	334	組	蘇	訴	阻	疎	鼠	租	粗	素	叢
	335	倉	喪	壯	奏	遡	宋	創	粗	叢	想
	336	搜	掃	挿	爽	遡	早	匠	粗	叢	槽
	337	漕	燥	争	操	遡	葱	巢	粗	叢	聰
	338	草	燥	争	操	遡	葱	巢	粗	叢	聰
	339	霜	騷	争	操	遡	葱	巢	粗	叢	聰
	340		騷	争	操	遡	葱	巢	粗	叢	聰
	341	捉	騷	争	操	遡	葱	巢	粗	叢	聰
342	卒	騷	争	操	遡	葱	巢	粗	叢	聰	
た	343										打
	344	他	多	太	汰	訖	唾	妥	恠	打	耐
	345	柁	舵	桶	陀	駄	體	堆	恠	耐	胎
	346	位	帶	待	怠	態	替	泰	恠	耐	代
	347	腿	苔	袋	貸	退	隊	隊	恠	耐	啄
	348	台	大	第	第	題	滝	滝	恠	耐	濁
	349	宅	托	折	折	沢	濯	濯	恠	耐	濁
	350	諾	叩	但	但	達	奪	奪	恠	耐	濁
	351	棚	担	胆	胆	淡	湛	湛	恠	耐	濁
	352	綻	綻	綻	綻	綻	綻	綻	恠	耐	濁
	353	綻	綻	綻	綻	綻	綻	綻	恠	耐	濁
	354	暖	綻	綻	綻	綻	綻	綻	恠	耐	濁

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ち	354											
	355	智	池	痴	稚	置	值	知	地	弛	恥	
	356	蓄	竹	筑	蓄	逐	致	如	遲	馳	着	
	357	中	仲	宙	忠	抽	秩	室	茶	適	衷	
	358	註	耐	宙	駐	櫛	屋	柱	注	虫	貯	
	359	丁	兆	洞	喋	龍	瀟	猪	芋	著		
	360		帖	帳	庁	吊	張	彫	微	懲	挑	
	361	暢	朝	帳	牒	町	眺	彫	脹	腸	蝶	
362	調	謀	潮	牒	銚	長	頂	陳	勅	抄		
363	直	朕	追	鎚	痛	通	塚					
つ	363											
	364	梶	追	鎚	痛	通	塚					
	365	瀆	柘	薦	薦	緞	冢	梅	楸	楸	壺	
	366	婦	袖	爪	吊	釣	鶴	椿	瀆	坪		
て	366											
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	低	停	偵		
	368	梯	抵	挺	提	提	汀	庭	廷	弟		
	369	艇	訂	諦	蹄	通	汀	禎	程	締		
	370		邱	鄭	釘	鼎	泥	擢	敵	滴		
	371	的	笛	適	鑄	濁	哲	徹	敵	貼		
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	敵			
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電			
と	373											
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	兎	吐	
	375	賭	途	都	鍍	砥	斫	努	度	登	克	
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	土	套	
	377	宕	島	嶋	悼	凍	搭	東	桃	塘	棟	
	378	盜	湯	湯	清	投	燈	当	痘	拷	等	
	379	答	筒	糖	統	到						
	380		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	
	381	鐘	陶	頭	騰	問	働	動	同	堂	導	
	382	撞	洞	洞	瞳	董	洞	同	道	銅	毒	
	383	鴉	匪	得	德	洗	特	督	秃	篤	苦	
	384	獨	誦	滌	橡	凸	突	檄	屈	篤	遁	
385	寅	香	香	香	香	香	香	香	香	香		
386	頓											
な	386											
	387	謎	灘	捺	鍋	奈	那	内	乍	瓜	雍	
	388	軟	難	汝	汝	猶	馴	繩	暇	南	楠	
に	388											
	389	虹	廿	日	二	尼	式	迹	句	販	肉	
	390		如	尿	乳	入	妊	忍	認			
ぬ	390										濡	
ね	390										襦	
	391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃	
	392	粘										
の	392										能	
	393	腦	乃	廩	之	莖	囊	惱	濃	納	能	
は	393											
	394	波	派	琶	破	婆	巴	把	播	霸	杷	
	395	拜	排	敗	杯	盃	罵	芭	馬	俳	駢	
	396	倍	排	媒	梅	煤	牌	背	肺	俳	駢	
	397	陪	培	媒	梅	煤	疥	背	肺	俳	駢	
	398	柏	泊	白	粕	荪	荪	荪	荪	荪	荪	
	399	爆	縛	縛	縛	縛	縛	縛	縛	縛	縛	
	400		函	箱	箱	箱	箱	箱	箱	箱	箱	
	401	畑	函	箱	箱	箱	箱	箱	箱	箱	箱	
	402	拔	筏	反	反	反	反	反	反	反	反	
	403	半	犯	班	班	班	班	班	班	班	班	
	404	犯	班	班	班	班	班	班	班	班	班	
	405	頒	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	飯	
ひ	405											
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	匪	
	407	比	費	疲	皮	碑	秘	扉	批	披	匪	
	408	詠	避	避	非	碑	秘	扉	批	披	匪	
	409	批	毘	毘	眉	美	美	美	美	美	美	
	410		鼻	終	神	匹	匹	匹	匹	匹	匹	
	411	肘	弼	必	彪	標	標	標	標	標	標	
	412	百	評	豹	廟	品	品	品	品	品	品	
	413	評	豹	廟	品	品	品	品	品	品	品	
	414	蛇	鱈	瓶	瓶	瓶	瓶	瓶	瓶	瓶	瓶	
	415	敏										
	ふ	415										
		416	府	佈	不	付	埠	夫	婦	富	富	布
417		膚	芙	扶	敷	斧	普	浮	父	符	撫	
418		武	舞	諧	負	賦	赴	阜	附	侮	露	
419		伏	副	復	復	復	復	復	復	復	復	
420			福	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	
421		物	耐	耐	耐	耐	耐	耐	耐	耐	耐	
422		粉	糞	糞	糞	糞	糞	糞	糞	糞	糞	

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
へ	422										
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	丙	併	兵	堀
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	閉	陛	米	真
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	匏	偏	變
	426	鞭									
ほ	426										
	427	穂	保	舗	舗	圃	捕	歩	甫	補	輔
	428	俣	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	俣
	429	俣	包	呆	報	奉	暮	母	簿	菩	俣
	430	抱	捧	放	方	朋	寶	鋒	芳	萌	蓬
	431		法	訪	芳	邦	鋒	芳	萌	蓬	蓬
	432		褒	訪	坊	妨	鋒	芳	萌	蓬	蓬
	433		傍	訪	坊	妨	鋒	芳	萌	蓬	蓬
	434		某	防	坊	妨	鋒	芳	萌	蓬	蓬
	435		防	防	坊	妨	鋒	芳	萌	蓬	蓬
	436	牧	本	本	盆	盆	盆	盆	盆	盆	盆
	ま	436									
437		味	枚	每	哩	摩	磨	魔	麻	埋	妹
438		鱒	樹	亦	俚	模	幕	膜	枕	鋪	証
439		鱒	樹	亦	俚	模	幕	膜	枕	鋪	証
440											
み	440										
	441	蜜	湊	蓑	稔	未	魅	巳	箕	岬	密
む	441										
	442	夢	無	牟	矛	霧	鶻	掠	婿	娘	務
め	442										
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	冥
	444	免	棉	綿	緬	面	麵	麵	媪	滅	滅
も	444										
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	摸	模	茂	妄
	446	目	李	勿	餅	尤	戾	蒙	儲	木	悶
	447	紋	門								
や	447										
	448	矢	厄	夕	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	449	鐘		役	約	葉	詛	躍	靖	柳	菽
ゆ	449										
	450		愉	愈	油	癒	優	勇	有	幽	
	451		諭	輸	唯	佑	湧	猶	猷	由	
	452	悠	憂	裕	遊	邑	郵	雄	夕		
よ	452										
	453	余	与	誉	輿	預	備	幼	妖	容	予
	454	揚	搖	耀	曜	楊	樣	洋	浴	溶	庸
	455	養	羊	抑	欲	沃	浴	翌	躍	暎	陽
	456										
ら	456										
	457	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	羅
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	酪	酪
り	458										
	459	履	李	梨	理	璃	離	陸	律	率	立
	460		痢	裏	裡	流	溜	琉	留	硫	粒
	461	律	掠	略	劉	慮	流	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	流	琉	留	硫	粒
	463	両	良	涼	料	梁	涼	琉	留	硫	粒
	464	糧	良	涼	料	梁	涼	琉	留	硫	粒
	465	厘	林	淋	煉	琳	臨	輪	隣	麟	麟
る	466										
	466	瑠	壘	涙	累	類					
	467										
	468	嶺	伶	玲	礼	苓	伶	例	冷	勵	
	470	齡	曆	歷	列	劣	伶	例	冷	勵	
ろ	470										
	471	露	劣	婁	廊	呂	魯	樓	炉	酪	路
	472	牢	狼	論	老	弄	朗	樓	榔	浪	漏
	473	肋	録	論	老	弄	朗	樓	榔		

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
781	遞	遞	遞	遞	隨	遲	避	遞	遞	遞
782	邊	邊	邊	邊	邇	邇	邇	邇	邇	邇
783	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨	邨
784	酥	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅
785	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅	醅
786	釭	釭	釭	釭	釭	釭	釭	釭	釭	釭
787	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
788	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
789	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
790	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
791	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
792	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
793	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
794	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
795	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞
796	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
797	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
798	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
799	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
800	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
801	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
802	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
803	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
804	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
805	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
806	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
807	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
808	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
809	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
810	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
811	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
812	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
813	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
815	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
816	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
817	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
818	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
819	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
820	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
821	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
822	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
823	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
824	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
825	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
826	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
827	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
828	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
829	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
830	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
831	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
832	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
833	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
834	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
835	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
836	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
837	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
838	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
839	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱
840	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱	閱

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※ PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は：03-5667-7100（通話料がかかります）

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-109217

※ PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区： 06-6341-5411（通話料がかかります）

九州地区： 092-720-4862（通話料がかかります）

受付時間：9:00～21:00

※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます

電話番号はお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

索引

索引

数字

3 ピンプラグ式コンセント24

A

ADSL 179

F

FAX TO 機能 123

FAX 受信動作 21, 88

FAX 受信同時プリント 21, 89

F ネット 152

I

iFAX 153

IP 電話25, 62, 64

ISDN 回線23

ISDN ターミナルアダプタ23

i・アイプラン 107

L

L モード 104

L モード画面 109

L モードゲートウェイ 104

L モード中のディスプレイ表示 109

L モード通信速度21, 151

L モードの設定 148

L モードを使えるように設定 108

M

MAIL TO 機能 123

P

PHONE TO 機能 123

W

WEB TO 機能 123

あ

宛先ラベルシート14

あなたの名前と TEL 21, 47

アラームを止める163, 164

暗号化 (SSL) サイト 126

暗号化サイト用の証明書 151

暗証番号74, 76, 77

アンテナ 15, 23

い

一括削除 131, 134, 144

インクタンク 174, 190

インクタンクを取り付ける 28

インクふき取りクリーニング21, 170

インクを交換する20, 174

インク/メモリ残量 17

印刷 ...30, 86, 119, 121, 125, 131, 134, 143, 144, 166

印刷可能範囲 30

インターネットホームページ ... 111, 123

え

英字入力43, 46

液晶コントラスト (子機)22, 162

絵文字入力 43

エラー表示 167

お

応答メッセージ67, 83

応答メッセージ録音21, 73

応答メッセージを確認する 73

応答メッセージを切り替える 73

応答メッセージを消去する 73

お手入れ187

音設定21, 39, 40, 158, 159

親機 正面 15

親機 操作パネル部 16

親機で受信する 83

親機の着信音を設定する 40

親機のディスプレイのメッセージ 184

親機のディスプレイを設定する 156

親機の電話帳画面 54

親機のトラブル 179

親機のメール通知音 143

親機 背面 15

親機メニュー 21

親機や子機に転送する 57

おやすみタイマー設定21, 72

おやすみモード 71

音声読上げ機能94, 159

音声読上げ辞書21, 159

オンフック 52

音量 38

音量を調節する38, 39

か	
カーソル	42, 45
カードスロット	137, 156
海外の電話番号	50, 51
外出先からのリモート操作早見表	205
回線検出	21, 82
回線種別	21, 25
回線と電源に接続する	23
外線リモート操作	74
ガイド表示	17
各機能に使用可能な記録紙サイズ	192
各種プリント	21, 166, 167
確定エリア	42, 45
画像表示	148
カタカナ入力	43, 46
加入電話選択番号	63
加入電話選択番号一覧表	64
壁掛け用ねじ	35
画面設定	21, 156, 157
画面メモ	119
カラーインクタンク	14, 174, 190
カラー／モノクロコピーする	20, 91
漢字がうまく変換されないとき	43, 46
漢字入力	43, 46
漢字変換	43, 46
き	
キータッチ音量	21, 158
キータッチ確定時間	21, 159
キータッチトーン (子機)	22, 162
キーロック	160
キーロックタイマー	21, 159
記号入力	43, 46
キッチンタイマ (子機)	22, 164
機能設定リスト	21, 167
キャッチホン	57
キャッチホンIIサービス	58
キャッチホン・ディスプレイ	97, 95
キャリアシート	33, 190
記録紙ガイド	15, 31
記録紙がつまったとき	177
記録紙トレイ	15, 31, 86
記録紙について	30
記録紙をセットする	31
記録紙を追加する	31
く	
クイック通話 (子機)	22, 61, 162
区点コード	43
区点コード表	193
け	
携帯通話設定	21, 62, 65
携帯通話設定とは	62

携帯通話設定を設定／解除するには	63
携帯電話から印刷	20
携帯番号帯設定を行う	66
原稿ガイド	15, 32, 80, 91
原稿トレイ	15, 32
原稿について	32
原稿のセット方法	32
原稿をセットする	80, 81, 91, 92

こ

構内交換機 (PBX)	23, 64, 94, 97, 106
子機 受話口	18
子機 送話口	18
子機受話音量	21, 39
子機 操作パネル部	18
子機送話音量	21, 39
子機で受信する	84
子機の設置場所	35
子機の着信音を設定する	41
子機のディスプレイのメッセージ	186
子機の電話帳画面	54
子機のトラブル	185
子機 背面	19
子機メニュー	22
子機をお買い上げ時の状態に戻す	165
子機を壁にかけて使う	35
子機を充電する	34
子機を持たずに話をする	60
コピー	91, 180
コピー部数を指定する	92
コンテンツ印刷	125
コントラスト設定	21, 157
こんなときは	168

さ

再ダイヤル	54
サイト (番組)	109
再読込	122

し

時刻設定 (子機)	22, 37
自作応答メッセージ	73
自動 (TEL / FAX) モード	88
写真 E メール	105, 137, 143
充電	34
充電器	19, 34
充電端子	19, 187
受信	83, 123, 139
受信メール一覧	144
手動受信	142
受話器	15, 23
受話器コード	15, 23
受話器用モジュラージャック	23
仕様	189

使用者表示 (子機)	22, 165
情報検索サービス	105
消耗品	190
初期化 (子機)	22, 165
初期設定	21, 24, 37, 47, 82, 93, 151
初期設定 (子機)	22, 37, 165
新着ランプ	15, 16, 139

す

数字入力	43, 46
スピーカ	15, 19
スピーカホン	39, 60
スペースを入力する	42, 45

せ

設定	156
セットできる原稿	32
全消去	161
センタ番号を確認する	149

そ

操作パネル	15, 16, 18
送信	80, 123, 129, 136, 153
送信済メール一覧	131

た

待機画面	17
待機画面選択	21, 156
待機画面に登録	119
ダイヤル回線	53
ダイヤルボタン	16, 18, 45
タッチパネル	17
タッチパネル確定時間	21, 159
端末機器の自動設定	149

ち

チェックボックス	110
着信相手読上げ	21, 159
着信音設定 (子機)	22, 39, 41, 98
着信音選択	21, 40
着信音選択 (子機)	22, 41
着信音量	38
着信音量 (子機)	22, 39
着信拒否設定	21, 99
着信設定	21, 61, 88, 89, 90, 98, 99, 141, 143
着信ランプ	15
着信履歴	59, 101
着信履歴検索機能	101
着信履歴ダイヤル機能	101
直接配線	24

つ

通信結果リスト	21, 167
通話時間	52

使う人の名前を表示する	165
-------------	-----

て

定型文入力	43, 46
ディスプレイ	15, 17, 18
ディスプレイのコントラストを調節する	157, 162
停電	178
テキストボックス	21
デジタルカメラから印刷	20
電源アダプタ	14, 34
電源アダプタ接続端子	19
電源コード	15, 23
電源プラグ	23
転送	57, 76, 146
転送先で用件を聞く	77
電池カバー	14, 19, 34, 36
電池残量	35
電池パック	34
電池パックについて	35
電池パックを交換する	36
電話	52, 179
電話回線用モジュージャック	15, 23
電話機コード	14, 23
電話サービス	181
電話線コンセント	23, 24
電話帳ダイヤルで電話をかける	54
電話帳着信音呼出	21, 98
電話帳に登録する	49, 147
電話帳に登録する (子機)	51
電話帳の相手先にファクスを送信する	82
電話帳プリセット	49, 51
電話帳リスト	21, 167
電話帳を子機にコピーする	51
電話に出なかった場合	59
電話モード	88
電話を受ける	57
電話をかけ直す	54
電話をかける	52

と

ドアホン	154
ドアホンの呼出音	155
ドアホンの呼び出しに応答する	154
ドアホンボックス	154
ドアホンを接続する	154
トールセーバー	21, 78
トーン	52
トーン (プッシュ) 信号	74, 77
特番ダイヤル	98, 186
トラブル	179, 185

な

内線通話	55
内線リモート操作	70

ナビ	16, 20, 25
ナビにしたがって初期設定をする	25
ナビメニュー	20
名前と電話番号を登録する	47
鳴り分け着信音	98
鳴り分け（子機）	22, 98
ナンバー・ディスプレイ	21, 93
ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター	94
に	
入力エリア	42, 45
入力モード	45
ね	
ネーム・ディスプレイ	96
の	
ノズルチェック	21, 172
ノズルチェックパターン	172
は	
廃インクタンク	169
廃棄（または譲渡、返却）される場合	9
排紙トレイ	15, 80, 91
白紙が出るとき	169
発信電話番号表示機能	93
発信履歴	54
バッテリーマーク	35
話している相手をお待たせする	57
ひ	
ひかり電話	25
日付時刻設定	21, 37
日付と時刻を合わせる	37
ひらがな入力	43, 46
「開く」レバー	15, 26, 174
ふ	
ファクス	80, 180
ファクス受信一覧	85
ファクス同時受信プリント	89
ファクス情報サービス	83
ファクス専用モード	88
ファクス専用モードを設定する	89
ファクスの受信モードについて	88
ファクス優先モード	88
ファクス優先モードを設定する	89
ファクスを受信する	83
ファクスを消去する	87, 161
ファクスを送信する	20, 80
ファクスを見る	20, 86
フォトプリント用記録紙	191
付属子機（漢字）で入力する	45

ブックマーク	117
ブッシュホンサービス	52, 53
ブラックインクタンク	14, 174, 190
プリンタ設定	21, 170, 173, 174
プリントヘッド	14, 26, 172, 174
プリントヘッドホルダ	26
へ	
別売品	190
ヘッド位置調整	21, 174
ヘッドクリーニング	21, 173
ヘッドリフレッシュング	21, 173
返信	145
便利設定（子機）	22, 61, 162
ほ	
ポーズ	52, 53
保護／保護解除	147
保守サービスのご案内	199
保留	57
保留転送	57
ま	
マイアドレス設定	107
マイアドレスを設定／変更する	114
マイメニュー	116
み	
未送信メール一覧	134
む	
無通信監視時間	150
め	
迷惑メールを防止する	115
メール一覧の表示	150
メールサービス	105
メール受信動作	21, 141
メール通知音	21, 143, 182
メールを受信する	139
メールを手動受信する	142
メールを送信する	123, 129
目覚まし時計	163
メニュー項目一覧	21
メモリーカードアクセスランプ	16
メモリーカードから印刷	20
メモリ内の受信ファクスを印刷する	86
メモリ内の受信ファクスを確認する	86
メモリ内の受信ファクスを消去する	87
メモリに保存されている内容を 一括消去する	161
メモリ保存件数	17
メロディをダウンロードする	128

も	
モーニングコール（子機）	22, 163
文字入力	21, 42, 45
モジュラー式コンセント	24
文字リスト	45
文字を修正する	44, 46
文字を消去する	44, 46
文字を追加する	44, 46

ゆ

優先呼出	21, 61, 185
------	-------------

よ

用件再生（子機）	22, 70
用件の再生音量	39
用件の再生中にできる操作	69, 70
用件を再生する	69, 70
用件を消去する	69, 70, 75
用紙カバー	15, 31, 32, 91
用紙排出口	15
呼出時間	88, 89
読み取り可能範囲	32

ら

ライフサポート	21, 48, 159
らくらくFAX	21, 90
らくらくファクス機能	83, 84, 90
ラジオボタン	21, 110

り

リストを印刷する	166
リモート暗証番号	21, 76
料金割引サービス	107

る

留守セット／留守解除（子機）	22, 70
留守電操作（子機）	22, 70
留守番電話	21, 67, 72, 73, 76, 78, 79
留守モード	16, 67, 70, 71, 75, 179
留守録転送	21, 75, 76, 185
留守録保存	21, 79

ろ

録音件数	67
録音時間	67

わ

ワンタッチダイヤルで電話をかける	54
ワンタッチダイヤルに登録する	21, 48

外出先からのリモート操作早見表

外出先からのリモート操作早見表です。切り取って、定期入れや名刺入れなどに入れてご活用ください。詳しい操作方法については「外出先から操作する」(P.74)をご覧ください。

外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

1 自宅に電話をかける



トーン信号の出
せる電話機から
操作します。

2 応答メッセージが流れている間に
① (#) を押す

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ⑩ #



3 「暗証番号を入れてください」
→ 暗証番号 (4桁の数字) を入力
する
暗証番号:

4 外線リモート操作する
裏面をご覧ください。

5 終わったら
電話を切る



外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

1 自宅に電話をかける



トーン信号の出
せる電話機から
操作します。

2 応答メッセージが流れている間に
① (#) を押す

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ⑩ #



3 「暗証番号を入れてください」
→ 暗証番号 (4桁の数字) を入力
する
暗証番号:

4 外線リモート操作する
裏面をご覧ください。

5 終わったら
電話を切る



外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

1 自宅に電話をかける



トーン信号の出
せる電話機から
操作します。

2 応答メッセージが流れている間に
① (#) を押す

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ⑩ #



3 「暗証番号を入れてください」
→ 暗証番号 (4桁の数字) を入力
する
暗証番号:

4 外線リモート操作する
裏面をご覧ください。

5 終わったら
電話を切る



外線リモート操作早見表

■外線リモート操作の手順

1 自宅に電話をかける



トーン信号の出
せる電話機から
操作します。

2 応答メッセージが流れている間に
① (#) を押す

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
* ⑩ #



3 「暗証番号を入れてください」
→ 暗証番号 (4桁の数字) を入力
する
暗証番号:

4 外線リモート操作する
裏面をご覧ください。

5 終わったら
電話を切る



■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

- 次の用件を聞く ⑥
 - 再生中の用件を最初から聞く ④
 - 1つ前の用件を聞く ④
 - 再生を途中で止める ⑤
 - 今聞いている用件を消去する ④
 - 再生速度を変える ②
- 通常再生 → 早聞き → 遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
⑦ ⑦ #

外線リモート操作終了
⑨ #

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

- 次の用件を聞く ⑥
 - 再生中の用件を最初から聞く ④
 - 1つ前の用件を聞く ④
 - 再生を途中で止める ⑤
 - 今聞いている用件を消去する ④
 - 再生速度を変える ②
- 通常再生 → 早聞き → 遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
⑦ ⑦ #

外線リモート操作終了
⑨ #

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

- 次の用件を聞く ⑥
 - 再生中の用件を最初から聞く ④
 - 1つ前の用件を聞く ④
 - 再生を途中で止める ⑤
 - 今聞いている用件を消去する ④
 - 再生速度を変える ②
- 通常再生 → 早聞き → 遅聞き

留守モードセット/解除
① #

留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
⑦ ⑦ #

外線リモート操作終了
⑨ #

■外線リモート操作

用件を聞く
② #

再生中にできること

- 次の用件を聞く ⑥
 - 再生中の用件を最初から聞く ④
 - 1つ前の用件を聞く ④
 - 再生を途中で止める ⑤
 - 今聞いている用件を消去する ④
 - 再生速度を変える ②
- 通常再生 → 早聞き → 遅聞き

留守モードセット/解除
① #

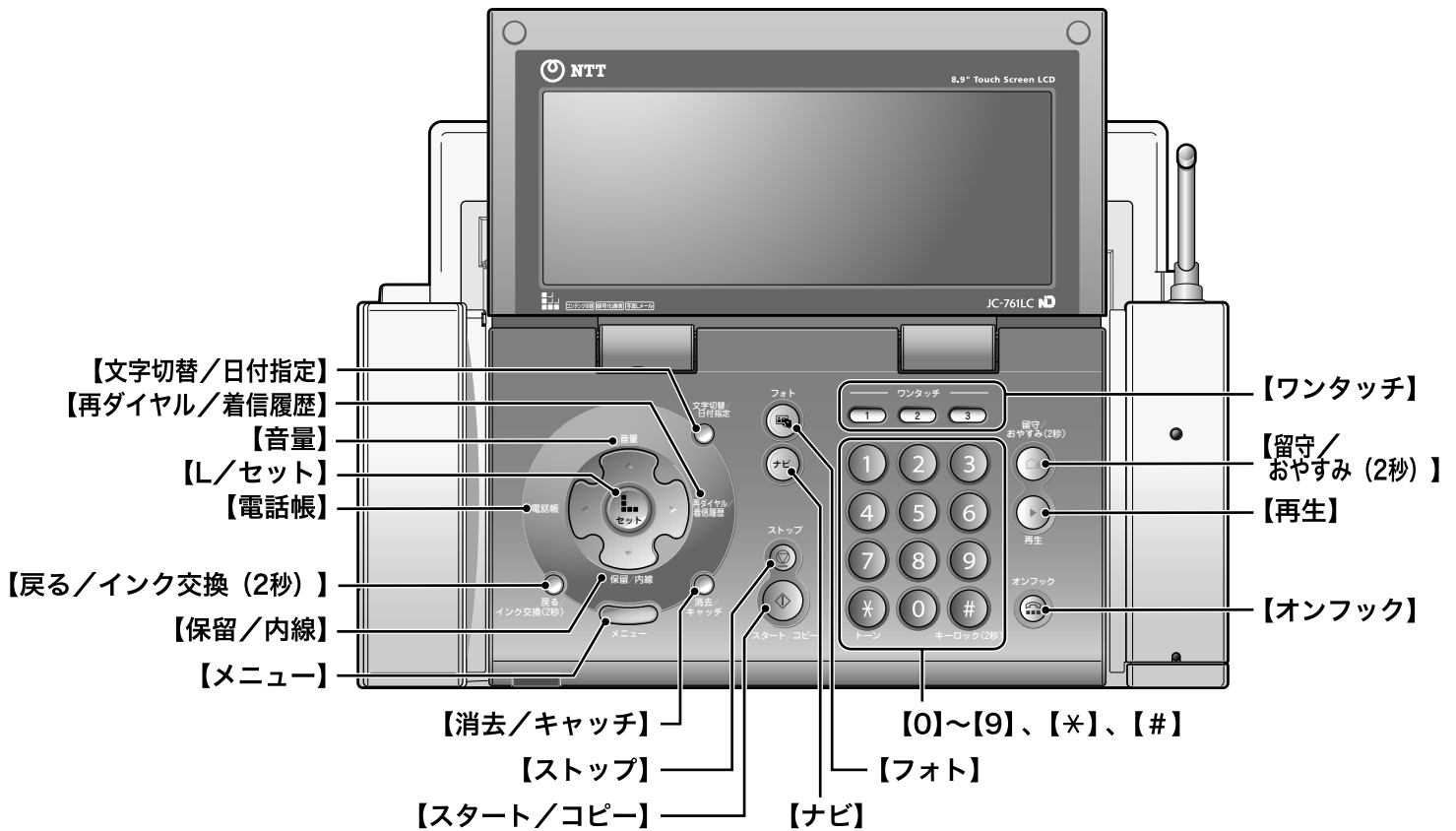
留守録転送のセット/解除
⑦ #

すべての用件を消去する
⑦ ⑦ #

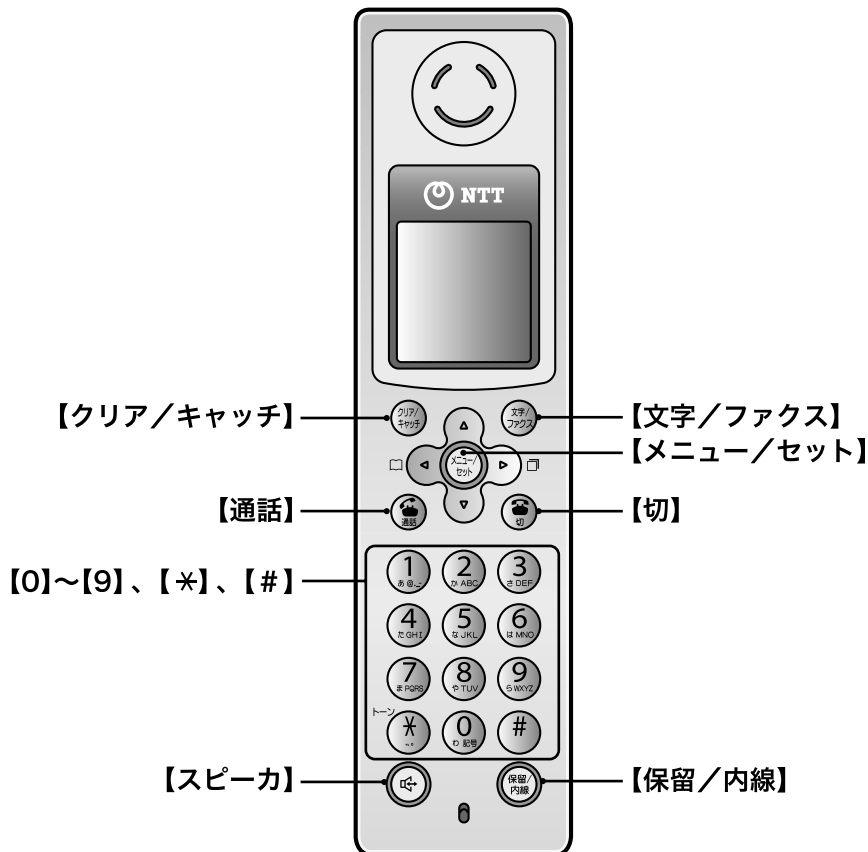
外線リモート操作終了
⑨ #

本文中の操作パネル部ボタン名

親機 操作パネル部



子機 操作パネル部





本商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
電池のリサイクルにご協力ください。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本商品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は：03-5667-7100（通話料がかかります）

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-109217

※PHS・携帯電話・050IP電話からのご利用は
東海、北陸、近畿、中国、四国地区：06-6341-5411（通話料がかかります）
九州地区：092-720-4862（通話料がかかります）

受付時間：9:00～21:00

※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます

電話番号はお間違えにならないように、ご注意願います。

